

城陽市市民意識調査

報告書

令和5年度

(2023年度)

城陽市

－ 目 次 －

I 調査の概要	1
1 調査目的	1
2 調査対象	1
3 調査方法	1
4 調査期間等	1
5 調査内容	1
(1) 回答者の属性について	1
(2) 城陽市について	1
(3) さまざまな行政分野について	1
(4) 暮らしの満足度	1
6 報告書の見方	2
II 調査結果	3
1 回答者の属性	3
(1) 性別	3
(2) 年齢	3
(3) 職業	4
(4) 通勤・通学先	4
(5) 通勤・通学時間	5
(6) 居住年数	5
(7) 同居者	6
(8) 居住形態	6
(9) 居住小学校区	7
(10) 以前の居住地	7
(11) 転居のきっかけ	8
(12) 現住所を転居先に選んだ理由	9
2 城陽市について	10
(1) 城陽市の住みやすさ	10
(2) 城陽市への「ふるさと」感の有無	12
(3) 今後の居住意向の有無	14
(4) 住みつづけたいと考える理由	15
(5) 転居希望の理由	17
3 城陽市のさまざまな行政分野について	19
(1) どのような地域活動に参加しているか	19
(2) 地域活動に参加する際に支障となること	21
(3) 生涯学習の内容	22
(4) 生涯学習活動の方法	24
(5) 生涯学習に取り組まなかった理由	26
(6) スポーツの実施状況について	28
(7) 京都サンガ F.C. 応援の有無	29

(8) 京都サンガ F.C. 試合観戦経験の有無	30
(9) 京都サンガ F.C. に関する認知度	31
(10) 使用している通信機器	33
(11) 活用している城陽市についての情報収集手段	35
(12) 力を入れるべき城陽市についての情報発信手段	37
(13) 「市議会だより」「広報じょうよう」などの閲読状況	39
(14) 城陽市イメージキャラクター「じょうりんちゃん」の認知度	48
(15) 「じょうりんちゃん」の認知経路	49
(16) 実施している災害への備え	51
(17) 大規模災害が発生した際の避難先	55
(18) 住宅用火災警報器設置の有無	58
(19) 城陽市で実施している環境施策の認知度	59
(20) 環境イベント・学習会への参加の有無	61
(21) カーボンニュートラル（地球温暖化対策）について	63
(22) カーボンニュートラル（地球温暖化対策）に対する取り組み	64
(23) 墓地の有無	67
(24) 墓地の必要性	69
(25) 必要とする墓地の形態	71
(26) 市の緑化推進の施策で知っているもの	72
(27) 市の緑化推進のために必要だと思うもの	74
(28) 公園の利用頻度	76
(29) 利用したい公園	78
(30) 城陽市消費生活センターの利用状況	80
(31) 城陽市消費生活センターを利用したことがない理由	81
(32) 運転免許証、自家用車の保有の有無と外出時の交通手段について	82
(33) 公共交通機関の利用頻度	87
(34) 生活の中でよく利用する駅について	90
(35) 市内の各種公共施設の利用状況	93
(36) 市内の各種公共施設を利用していない理由	97
4 城陽市での暮らしの満足度について	98
(1) 日常生活全般の満足度	98
(2) 自然環境・周辺環境の満足度	103
(3) 都市基盤整備の必要性	108
(4) 生活環境整備の必要性	114
(5) 教育・文化に対する整備の必要性	120
(6) 福祉・健康に対する整備の必要性	123
(7) 交通機関の整備の必要性	127
(8) 産業に対する整備の必要性	133

資料編

調査票

I 調査の概要

1 調査目的

この調査は、市民の声を市政に反映させるべく、昭和57年度から実施しており、市民の意見・考え方を聴き、その経年変化を把握して、今後の市政運営に資することを目的とします。

2 調査対象

城陽市に居住する18歳以上の方から無作為で1,000人を抽出しました。

3 調査方法

郵送により調査票を配布及び回収

4 調査期間等

次のように調査を実施しました。

- ・調査票配布：令和6年2月7日
- ・回収終了：令和6年2月29日
- ・回収状況：回収数 522件 回収率 52.2%

5 調査内容

(1)回答者の属性について

性別、年齢、職業、通勤・通学先、通勤・通学時間、居住年数、同居者、居住形態、居住小学校区、以前の居住地、転居のきっかけ、現住所を転居先に選んだ理由

(2)城陽市について

住みやすさ、「ふるさと感」の有無、居住意向、住みつづけたい理由、転居希望理由

(3)さまざまな行政分野について

地域活動への参加、生涯学習の内容、スポーツの実施状況、京都サンガF.C.について、使用している情報媒体、広報紙などの閲読状況、「じょうりんちゃん」について、災害対策、住宅用火災警報器の設置状況、環境施策、墓地の充足、緑化推進、公園の利用、城陽市消費生活センターの利用状況、運転免許証・自家用車の有無、公共交通機関の利用頻度、よく利用する駅、公共施設の利用状況

(4)暮らしの満足度

日常生活全般、自然環境・周辺環境、都市基盤、生活環境、教育・文化、福祉・健康、交通機関、産業

6 報告書の見方

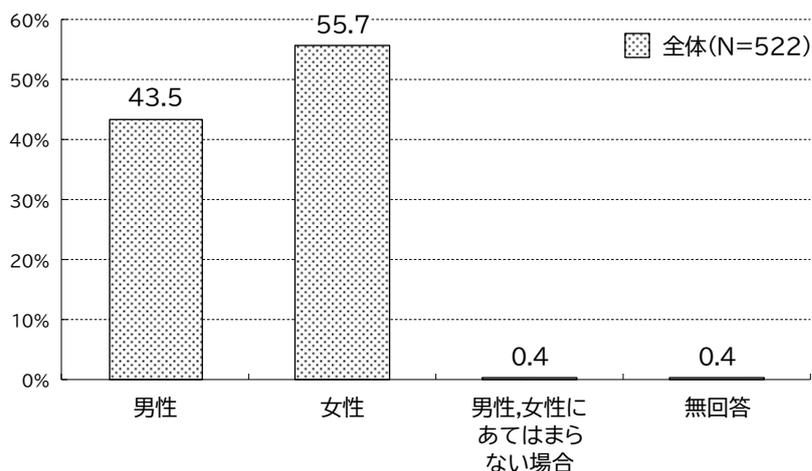
- ・集計結果はすべて、小数第二位を四捨五入しており、比率の合計が100.0%にならないことがあります。
- ・原則として回答比率（%）は、その質問の回答者数（N=Number of case）を100.0%として算出しています。
- ・設問によっては、別の設問の回答によって回答者が限定されるものがあります。その場合、非該当となる回答者数を除いた分だけN値が減少しています。
- ・百分比（%）の比較における差は、原則として「…ポイント」という表現としています。
- ・調査結果の考察文中にある二重括弧（『・・・』）は2つの選択肢を総合したことを表します。
（例：「住みよい」＋「どちらかといえば住みよい」→『住みよい』）
- ・前回調査との比較の前回調査とは、令和元年10月に行われた「城陽市市民意識調査」を指しています。

Ⅱ 調査結果

1 回答者の属性

(1)性別

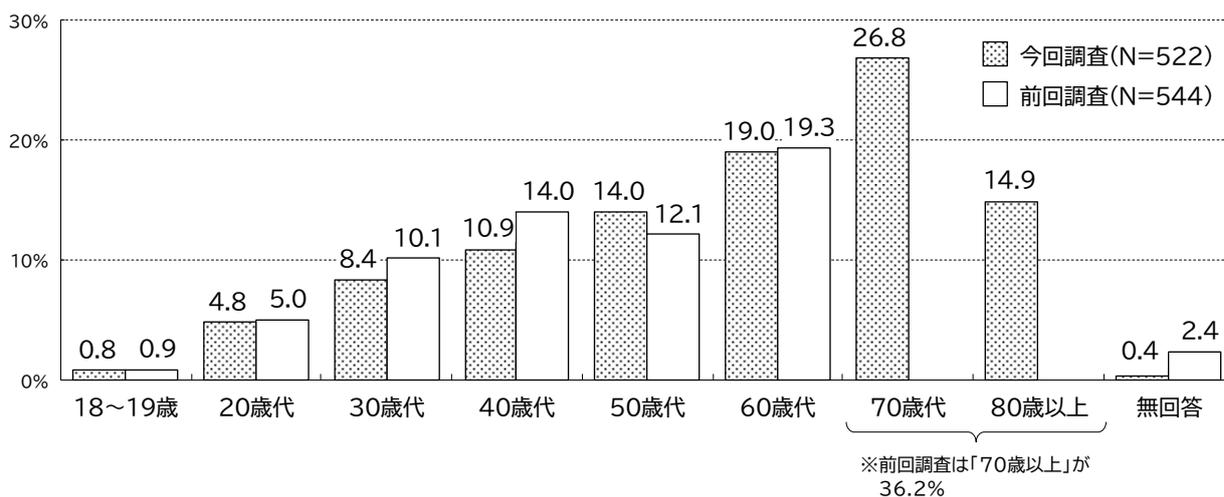
図1-1 性別



回答者の性別は、「男性」が43.5% (227件)、「女性」が55.7% (291件) となっており、女性が5割以上を占めています。(図1-1)

(2)年齢

図1-2 年齢(前回調査との比較)

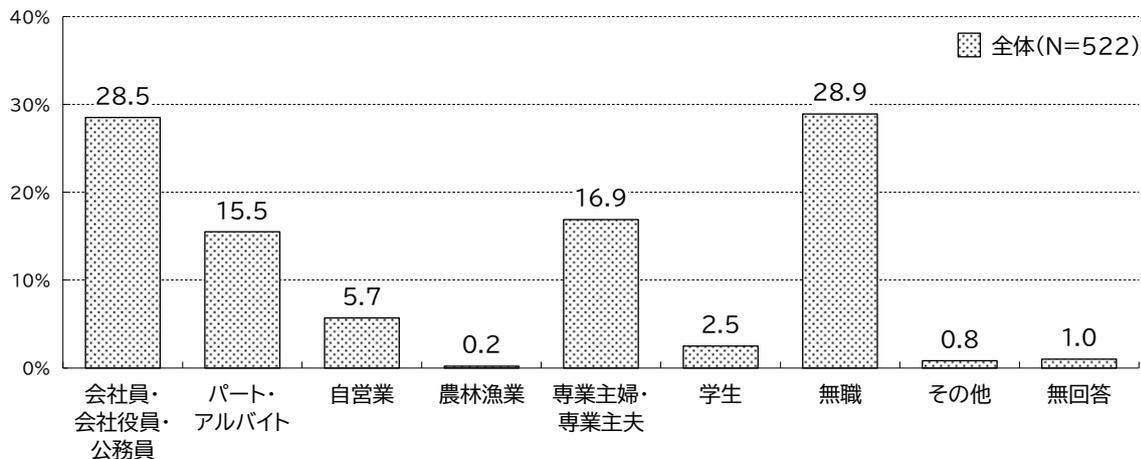


回答者の年齢は、「70歳代」が26.8% (140件) で最も高く、次いで、「60歳代」が19.0% (99件) となっており、60歳以上の高齢層が60.7% (317件) を占めています。

60歳以上の年代は、前回調査の55.5% (302件) より5.2ポイント増となっています。(図1-2)

(3)職業

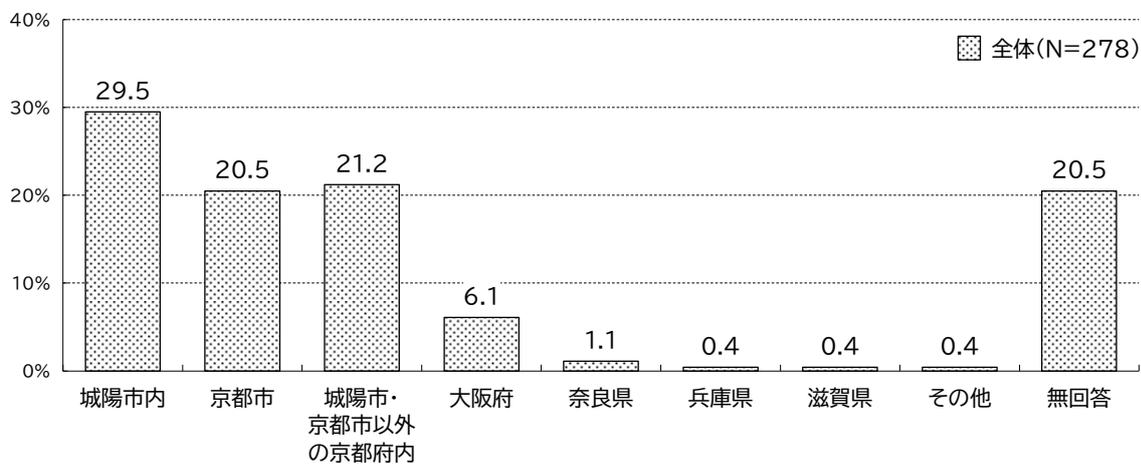
図1-3 職業



回答者の職業は、「無職」が28.9%（151件）で最も高く、次いで、「会社員・会社役員・公務員」が28.5%（149件）、「専業主婦・専業主夫」が16.9%（88件）となっています。（図1-3）

(4)通勤・通学先

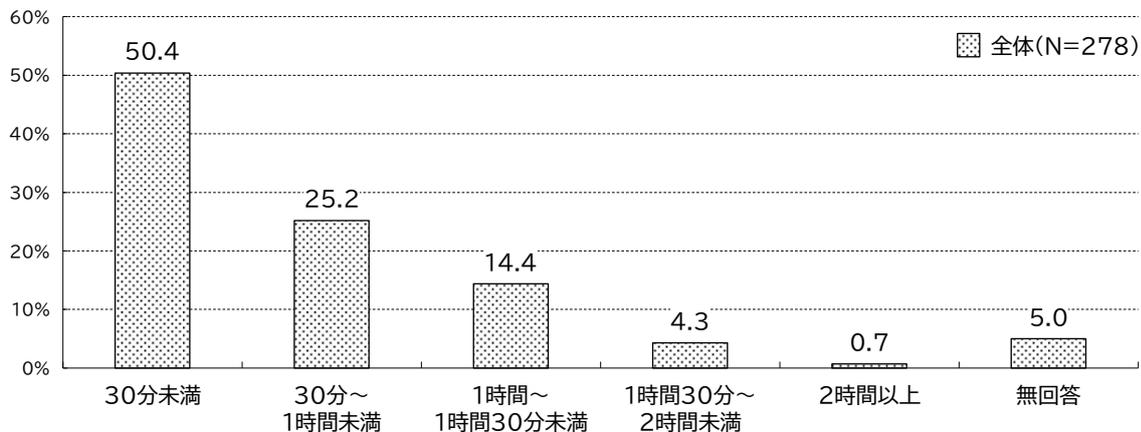
図1-4 通勤・通学先



通勤・通学先は、「城陽市内」が29.5%（82件）で最も高く、次いで、「城陽市・京都市以外の京都府内」が21.2%（59件）、「京都市」が20.5%（57件）となっています。（図1-4）

(5)通勤・通学時間

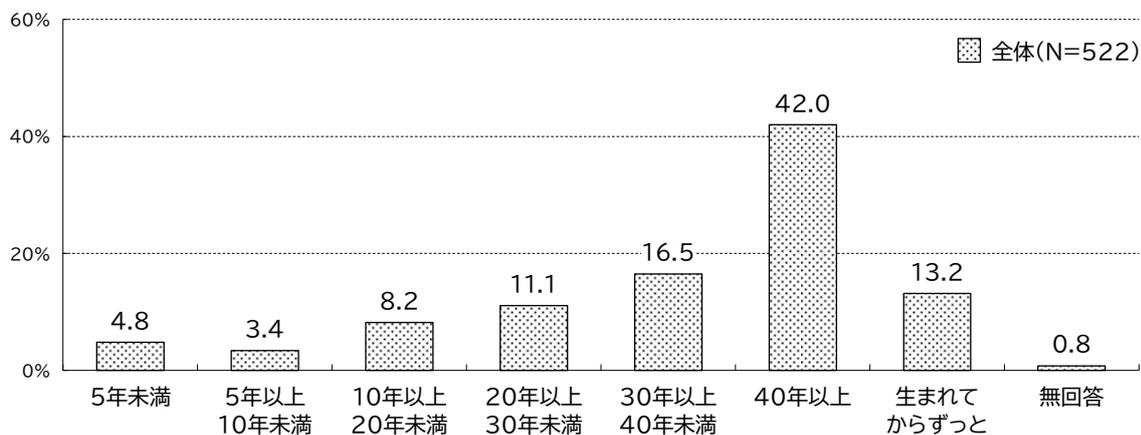
図1-5 通勤・通学時間



通勤・通学時間は、「30分未満」が50.4%（140件）と最も高く約5割を占めています。次いで、「30分～1時間未満」が25.2%（70件）、「1時間～1時間30分未満」が14.4%（40件）となっています。（図1-5）

(6)居住年数

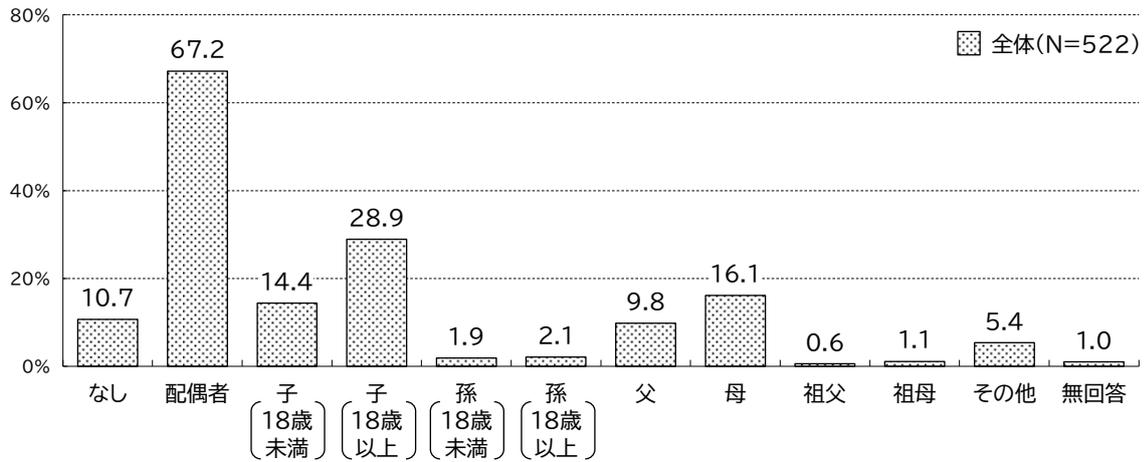
図1-6 居住年数



居住年数は、「40年以上」が42.0%（219件）で最も高く、次いで、「30年以上40年未満」が16.5%（86件）、「生まれてからずっと」が13.2%（69件）となっています。「40年以上」と「生まれてからずっと」の合計が55.2%（288件）で5割以上を占めています。（図1-6）

(7)同居者

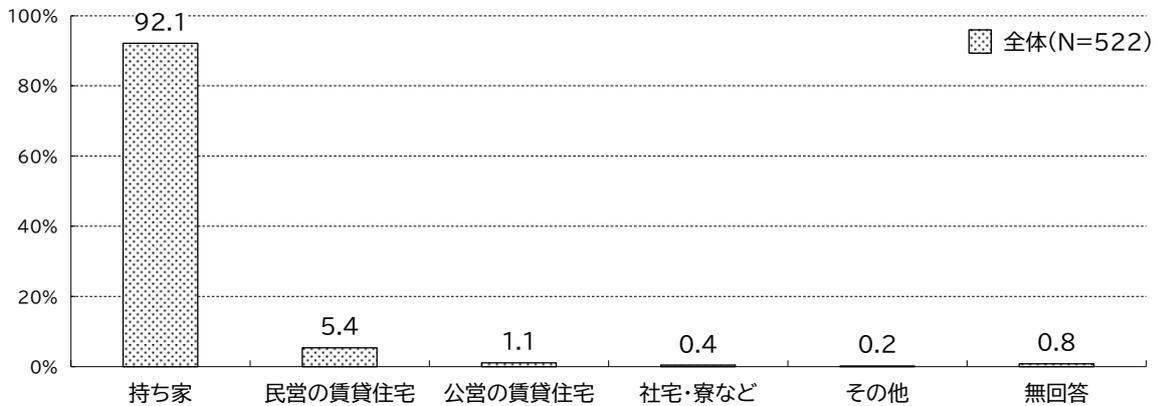
図1-7 同居者



同居者は、「配偶者」が67.2% (351件) で最も高く、次いで、「子 (18歳以上)」が28.9% (151件)、「母」が16.1% (84件)、「子 (18歳未満)」が14.4% (75件)、「なし」が10.7% (56件)、「父」が9.8% (51件) などとなっています。(図1-7)

(8)居住形態

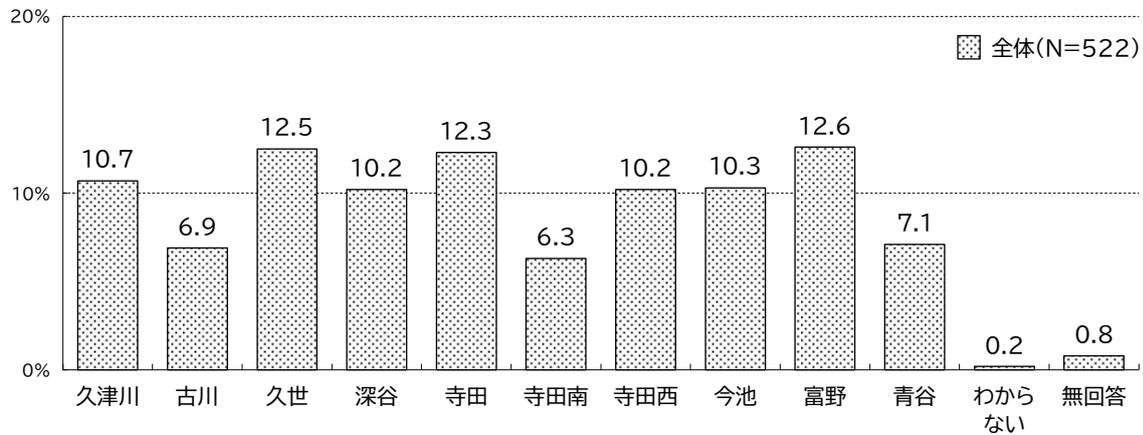
図1-8 居住形態



居住形態は、「持ち家」が92.1% (481件) と9割以上を占めています。(図1-8)

(9)居住小学校区

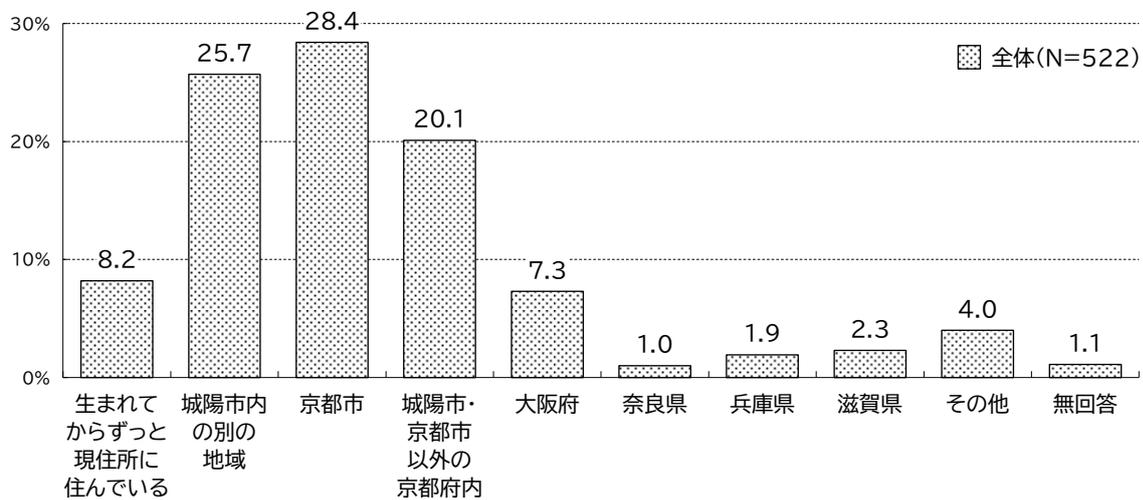
図1-9 居住小学校区



居住小学校区は、「富野」12.6% (66件)、「久世」12.5% (65件)、「寺田」12.3% (64件) がほぼ同率で上位となっており、これに続く「久津川」「深谷」「寺田西」「今池」が10%強となっています。(図1-9)

(10)以前の居住地

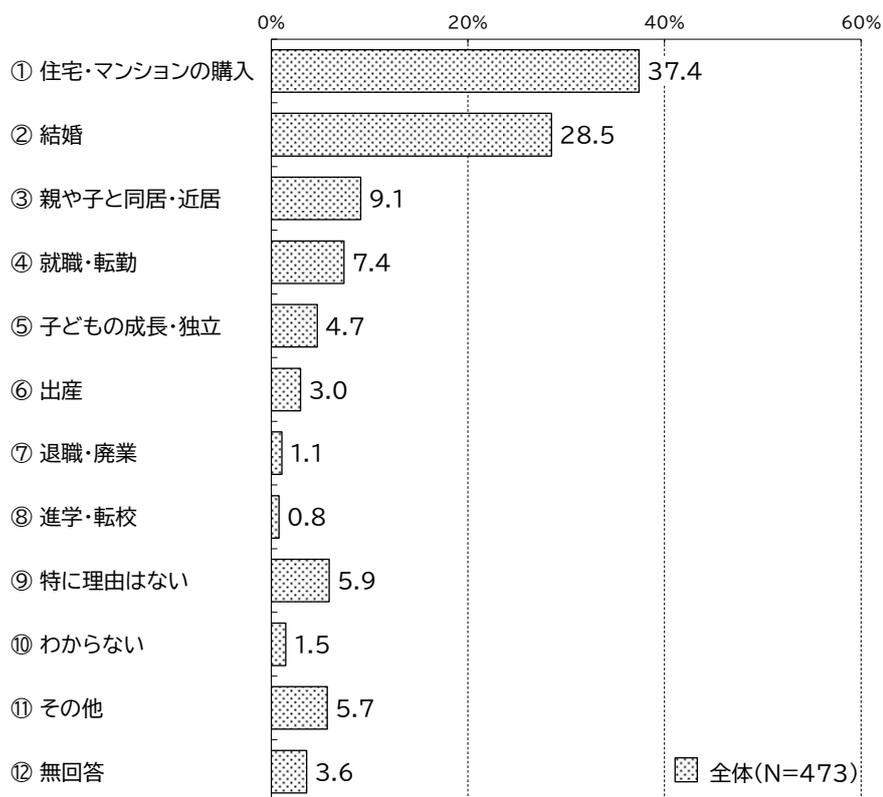
図1-10 以前の居住地



以前の居住地は、「京都市」が28.4% (148件) で最も高く、次いで、「城陽市内の別の地域」が25.7% (134件)、「城陽市・京都市以外の京都府内」が20.1% (105件) となっています。(図1-10)

(11) 転居のきっかけ

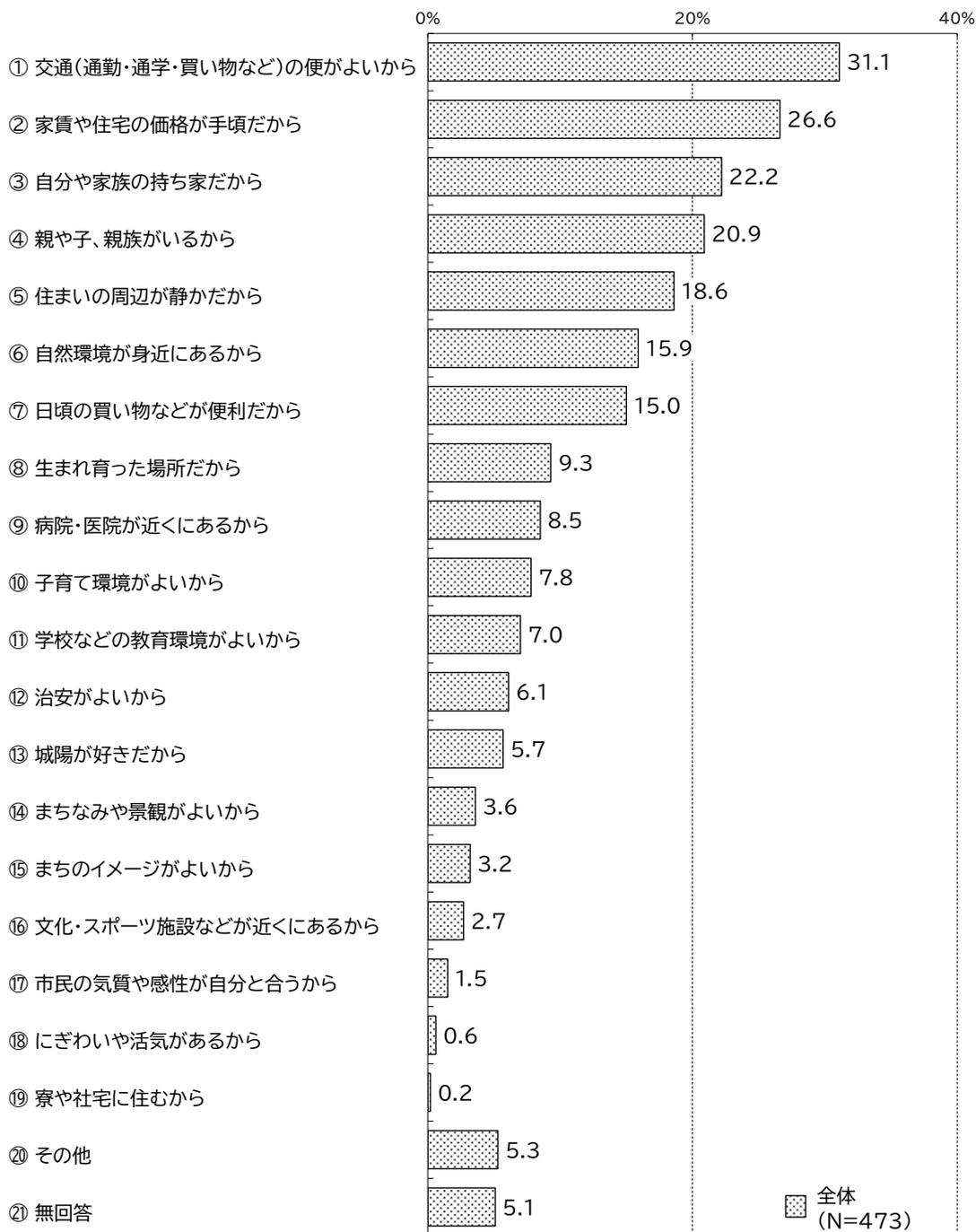
図1-11 転居のきっかけ



転居のきっかけは、「①住宅・マンションの購入」が37.4%（177件）で最も高く、次いで、「②結婚」が28.5%（135件）、「③親や子と同居・近居」が9.1%（43件）、「④就職・転勤」が7.4%（35件）となっています。（図1-11）

(12) 現住所を転居先に選んだ理由

図1-12 現住所を転居先に選んだ理由



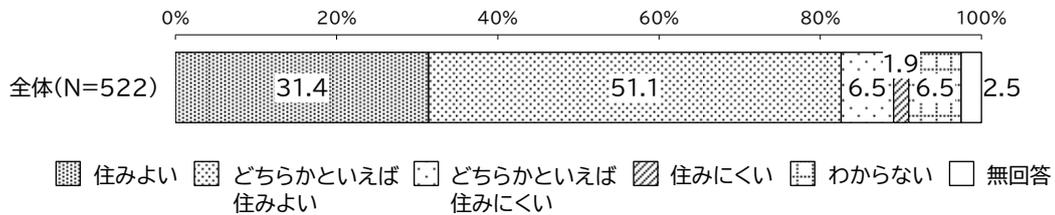
現住所を転居先に選んだ理由は、「①交通（通勤・通学・買い物など）の便がよいから」31.1%（147件）と3割以上で最も高く、次いで、「②家賃や住宅の価格が手頃だから」が26.6%（126件）、「③自分や家族の持ち家だから」が22.2%（105件）、「④親や子、親族がいるから」が20.9%（99件）の順で2割台となっています。（図1-12）

2 城陽市について

(1) 城陽市の住みやすさ

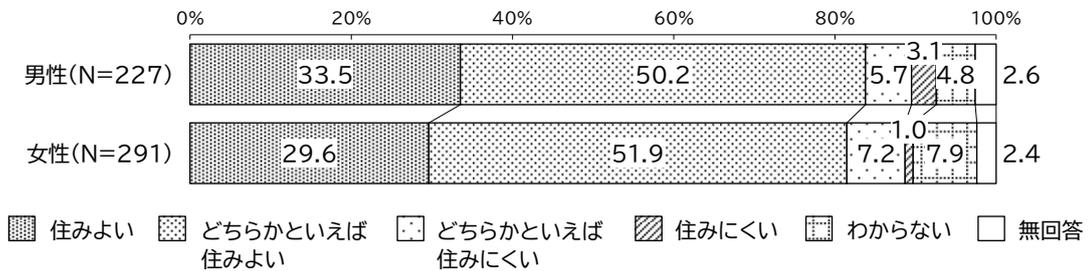
Ⅱ. 問1 あなたは城陽市を住みよいと感じていますか。

図2-1 城陽市の住みやすさ



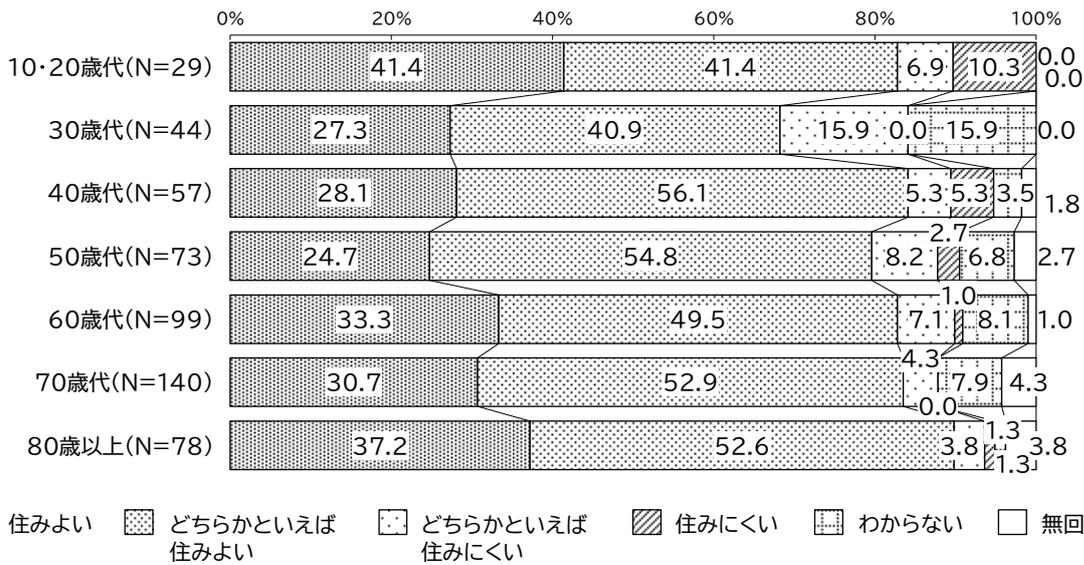
城陽市の住みやすさについては、「どちらかといえば住みよい」が51.1%（267件）と5割強を占めており、「住みよい」31.4%（164件）を合わせると、全体の82.5%（431件）が『住みよい』と回答しています。一方、『住みにくい』（「どちらかといえば住みにくい」と「住みにくい」を合わせた割合）は8.4%（44件）となっています。（図2-1）

図2-1-1 男女別 城陽市の住みやすさ



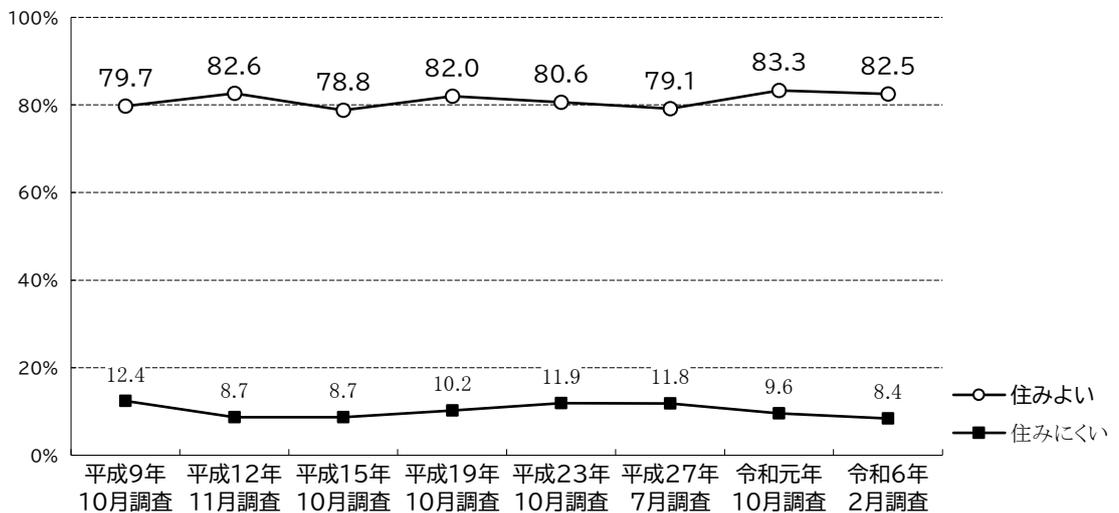
男女別にみると、『住みよい』（「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」を合わせた割合）は、男性で83.7%（190件）、女性で81.5%（237件）を占めており、男性でやや高くなっています。（図2-1-1）

図2-1-2 年齢別 城陽市の住みやすさ



年齢別にみると、『住みよい』（「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」を合わせた割合）という人は、80歳以上で89.8%（70件）、40歳代で84.2%（48件）、70歳代で83.6%（117件）の順で高くなっており、10・20歳代では「住みよい」が41.4%（12件）と高くなっています。（図2-1-2）

図2-1-3 経年比較 城陽市の住みやすさ

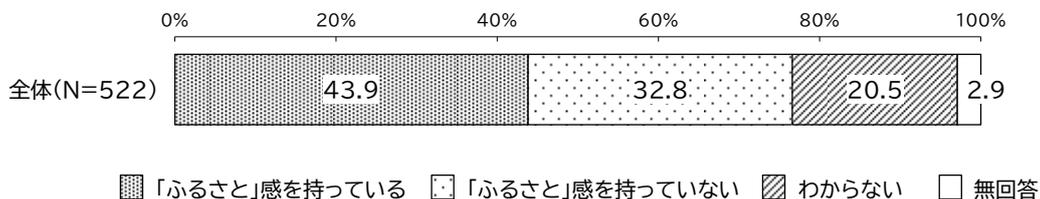


前回調査と比較すると、『住みよい』（「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」を合わせた割合）という人が、今回調査では0.8ポイント減少し、『住みにくい』（「どちらかといえば住みにくい」と「住みにくい」を合わせた割合）という人が、今回調査では1.2ポイント減少しています。（図2-1-3）

(2)城陽市への「ふるさと」感の有無

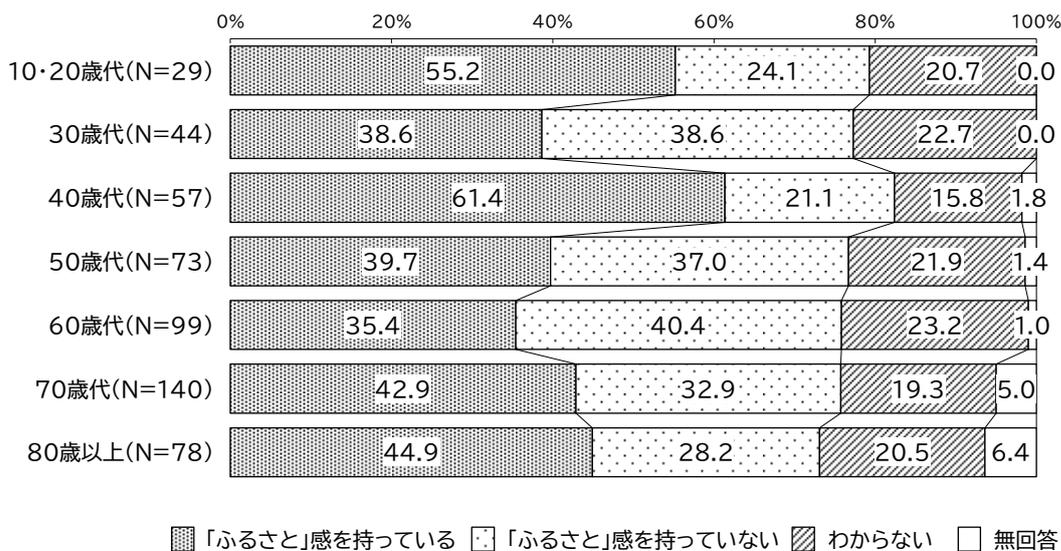
Ⅱ. 問2 あなたは城陽市に「ふるさと」感をお持ちですか。

図2-2 城陽市への「ふるさと」感の有無



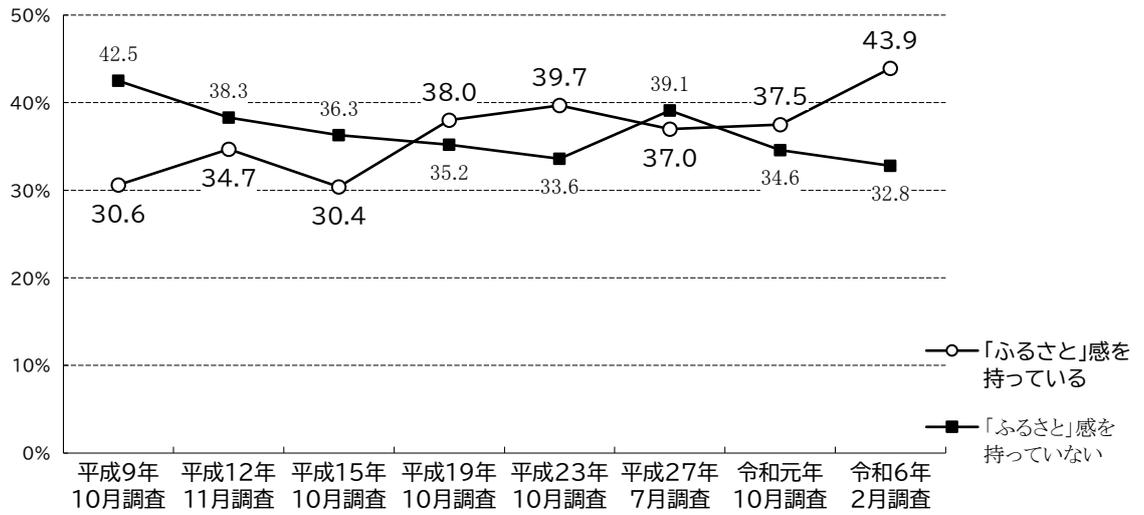
城陽市への「ふるさと」感の有無については、「ふるさと」感を持っている人が43.9%（229件）、「ふるさと」感を持っていない人が32.8%（171件）となっており、「ふるさと」感を持っている人の方が11.1ポイント高くなっています。（図2-2）

図2-2-1 年齢別 城陽市への「ふるさと」感の有無



年齢別にみると、「ふるさと」感を持っている人の割合は40歳代で61.4%（35件）、10・20歳代で55.2%（16件）と高くなっています。いずれの年代も「わからない」という人が約1～2割を占めています。（図2-2-1）

図2-2-2 経年比較 城陽市への「ふるさと」感の有無

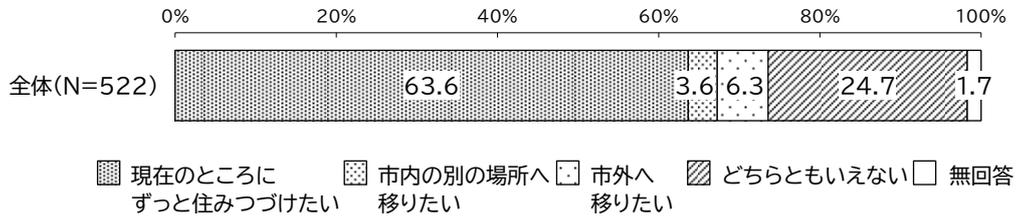


前回調査と比較すると、「ふるさと」感を持っている人の割合が、今回調査では6.4ポイント増加し、「ふるさと」感を持っていない人が、今回調査では1.8ポイント減少しています。(図2-2-2)

(3)今後の居住意向の有無

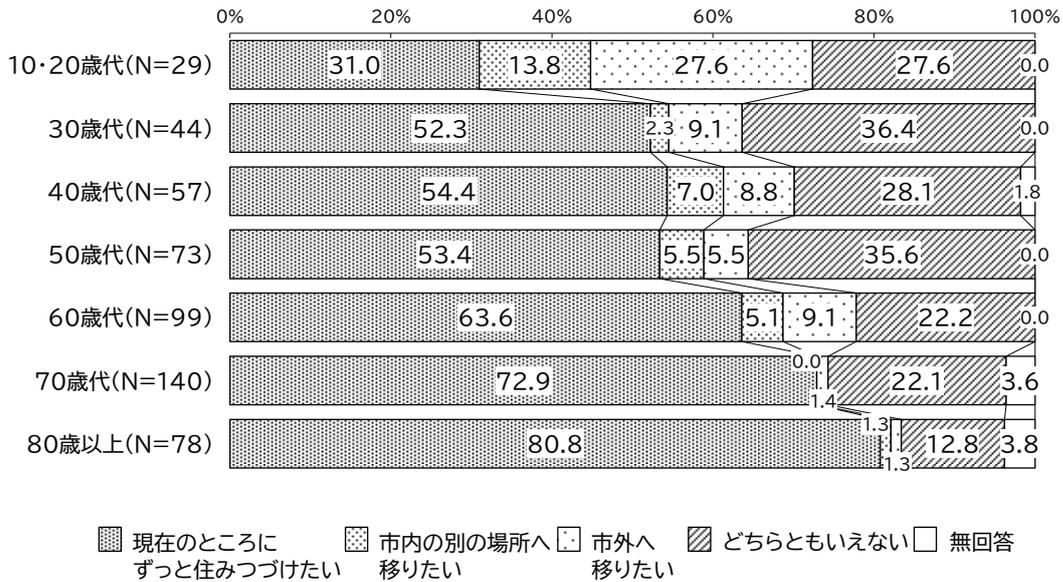
Ⅱ. 問3 あなたは今後も現在のところに住みつづけたいと思いますか。

図2-3 今後の居住意向の有無



今後の居住意向の有無については、「現在のところにずっと住みつづけたい」が63.6%（332件）と6割以上を占めており、「市外へ移りたい」6.3%（33件）、「市内の別の場所へ移りたい」3.6%（19件）を大きく上回っています。（図2-3）

図2-3-1 年齢別 今後の居住意向の有無

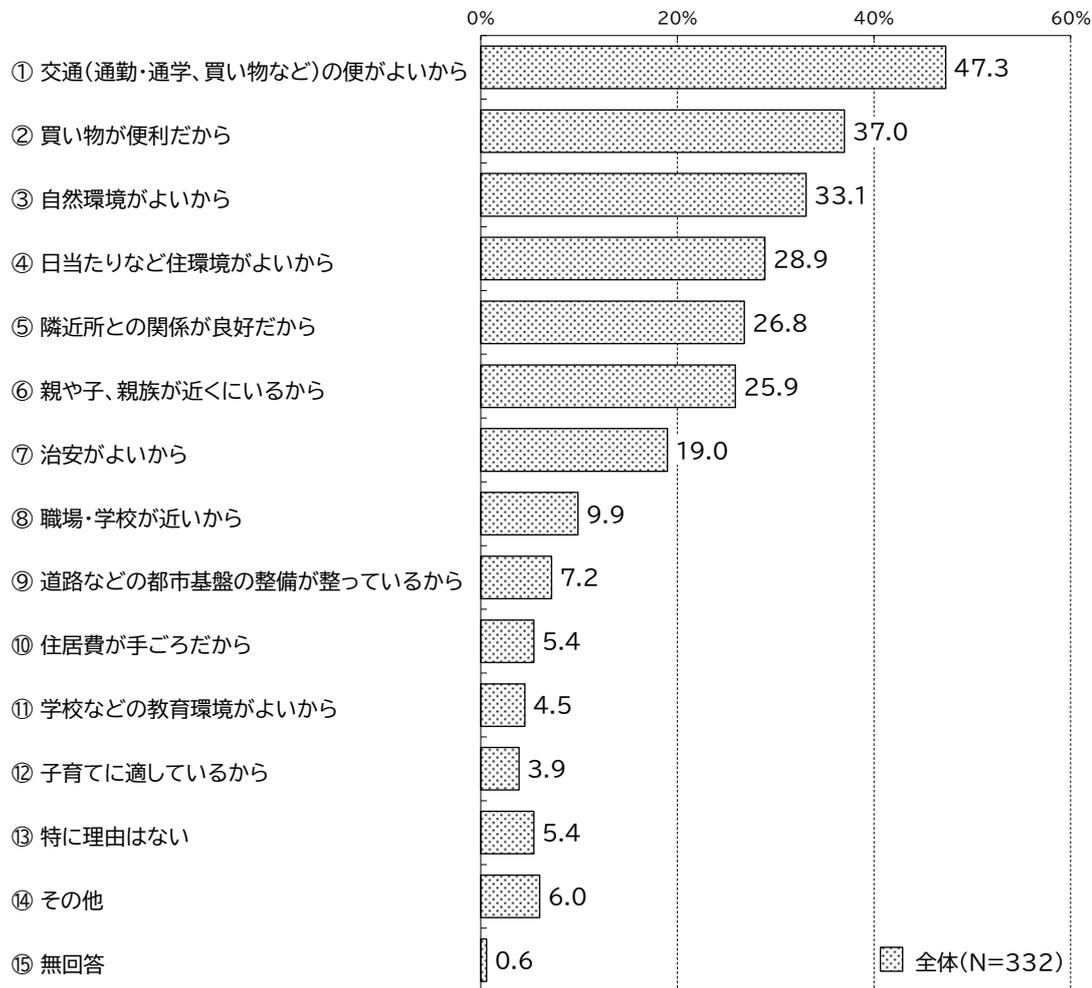


年齢別にみると、年代が高くなるにつれて「現在のところにずっと住みつづけたい」の割合が高くなる傾向がみられ、80歳以上では80.8%（63件）、70歳代では72.9%（102件）を占めています。一方、10・20歳代では、「現在のところにずっと住みつづけたい」は約3割で他の年代より低い一方で「市外へ移りたい」の割合が他の年代よりも高くなっています。（図2-3-1）

(4)住みつづけたいと考える理由

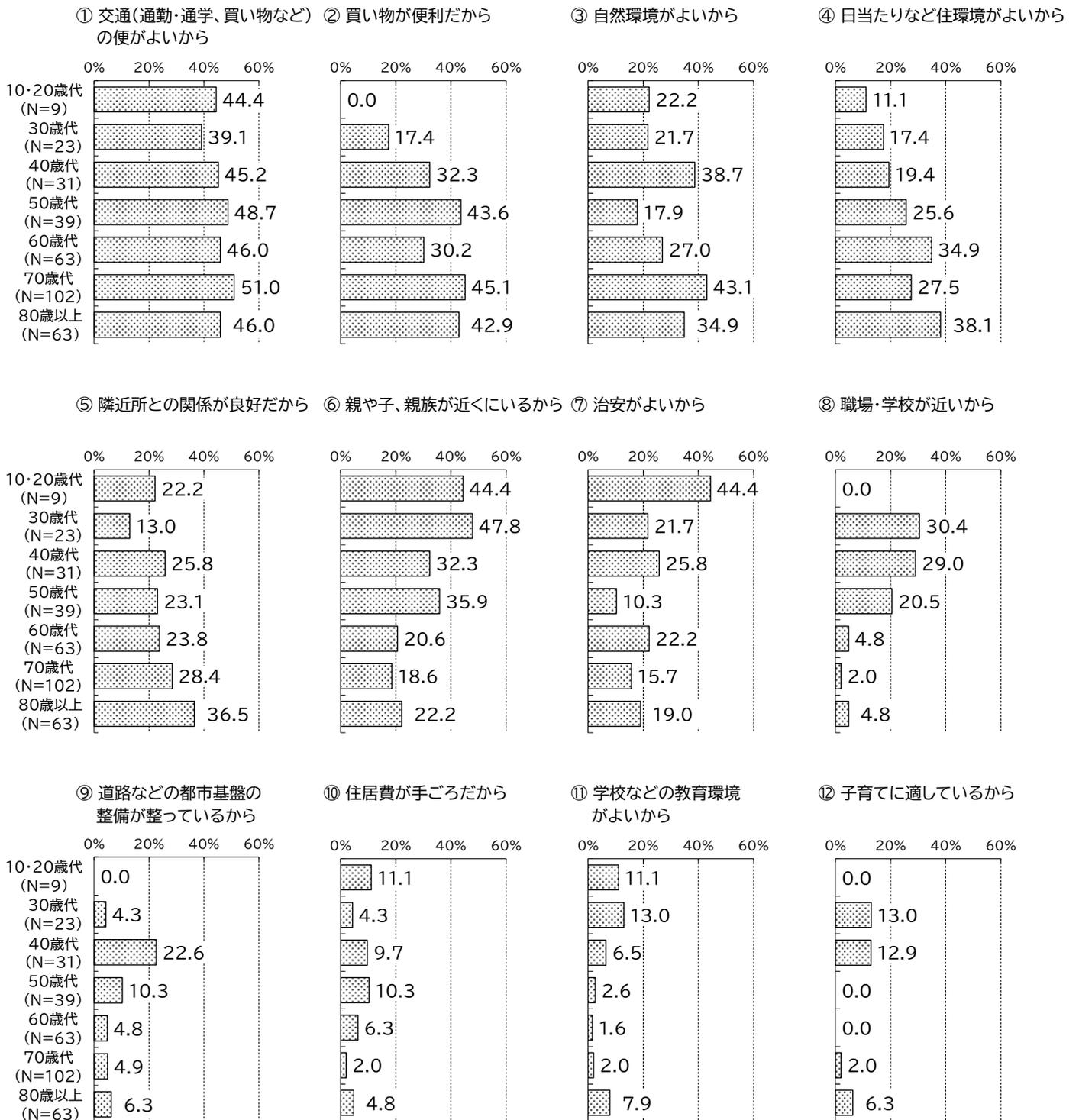
Ⅱ. 問3-1 問3で「1. 現在のところにずっと住みつづけたい」と回答した方にお聞きします。
 あてはまるものすべてに○をつけてください。

図2-4 住みつづけたいと考える理由



住みつづけたいと考える理由については、「①交通（通勤・通学、買い物など）の便がよいから」が47.3%（157件）と最も高く、次いで、「②買い物が便利だから」が37.0%（123件）、「③自然環境がよいから」が33.1%（110件）、「④日当たりなど住環境がよいから」が28.9%（96件）、「⑤隣近所との関係が良好だから」が26.8%（89件）、「⑥親や子、親族が近くにいるから」が25.9%（86件）となっています。（図2-4）

図2-4-1 年齢別 住みつづけたいと考える理由

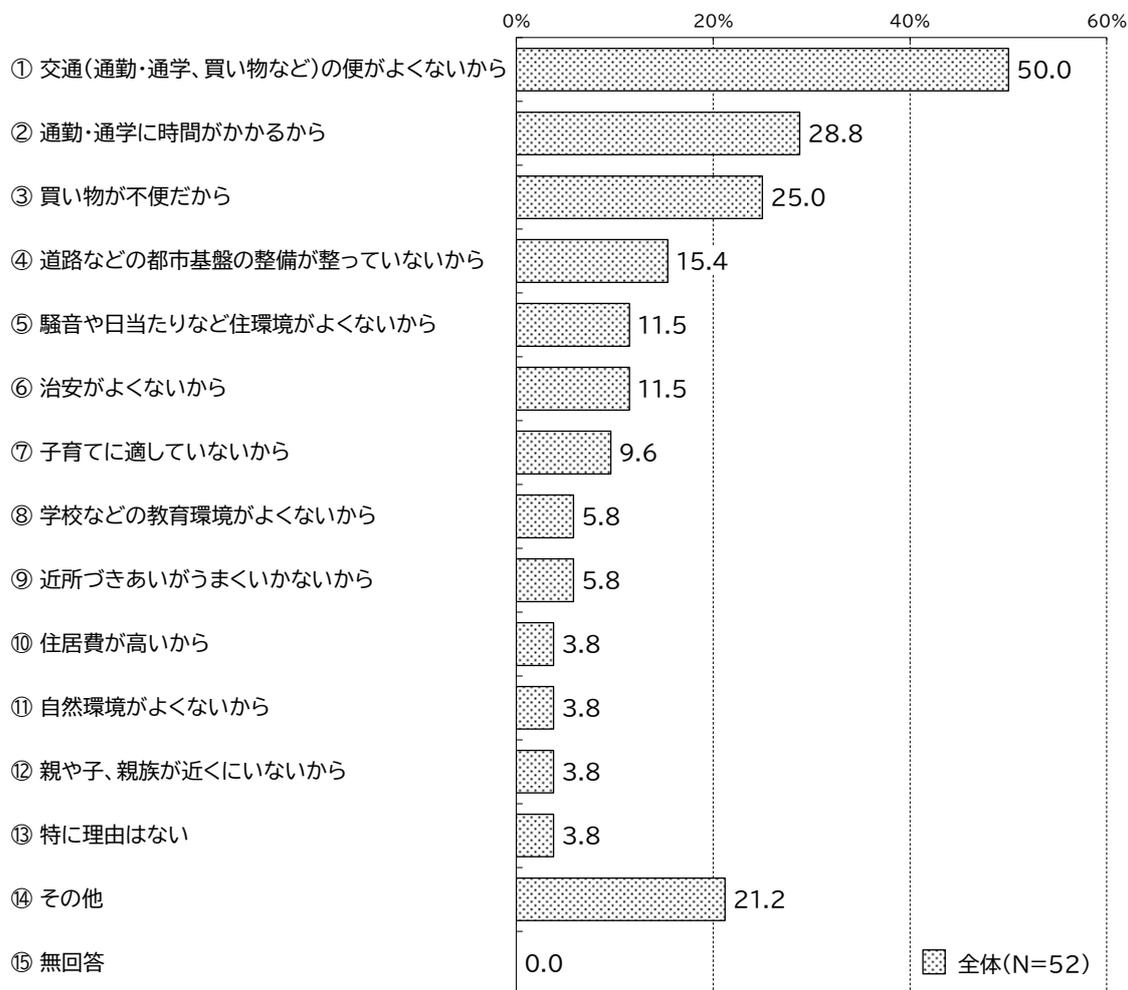


年齢別にみると、年代が高くなるにつれ「④日当たりなど住環境がよいから」「⑤隣近所との関係が良好だから」が概ね高い傾向で、80歳以上ではそれぞれ38.1% (24件)、36.5% (23件) となっています。10・20歳代では「⑦治安がよいから」が高く、4割を超えています。また、40歳代では「⑨道路などの都市基盤の整備が整っているから」22.6% (7件) が他の年代より高くなっています。(図2-4-1)

(5) 転居希望の理由

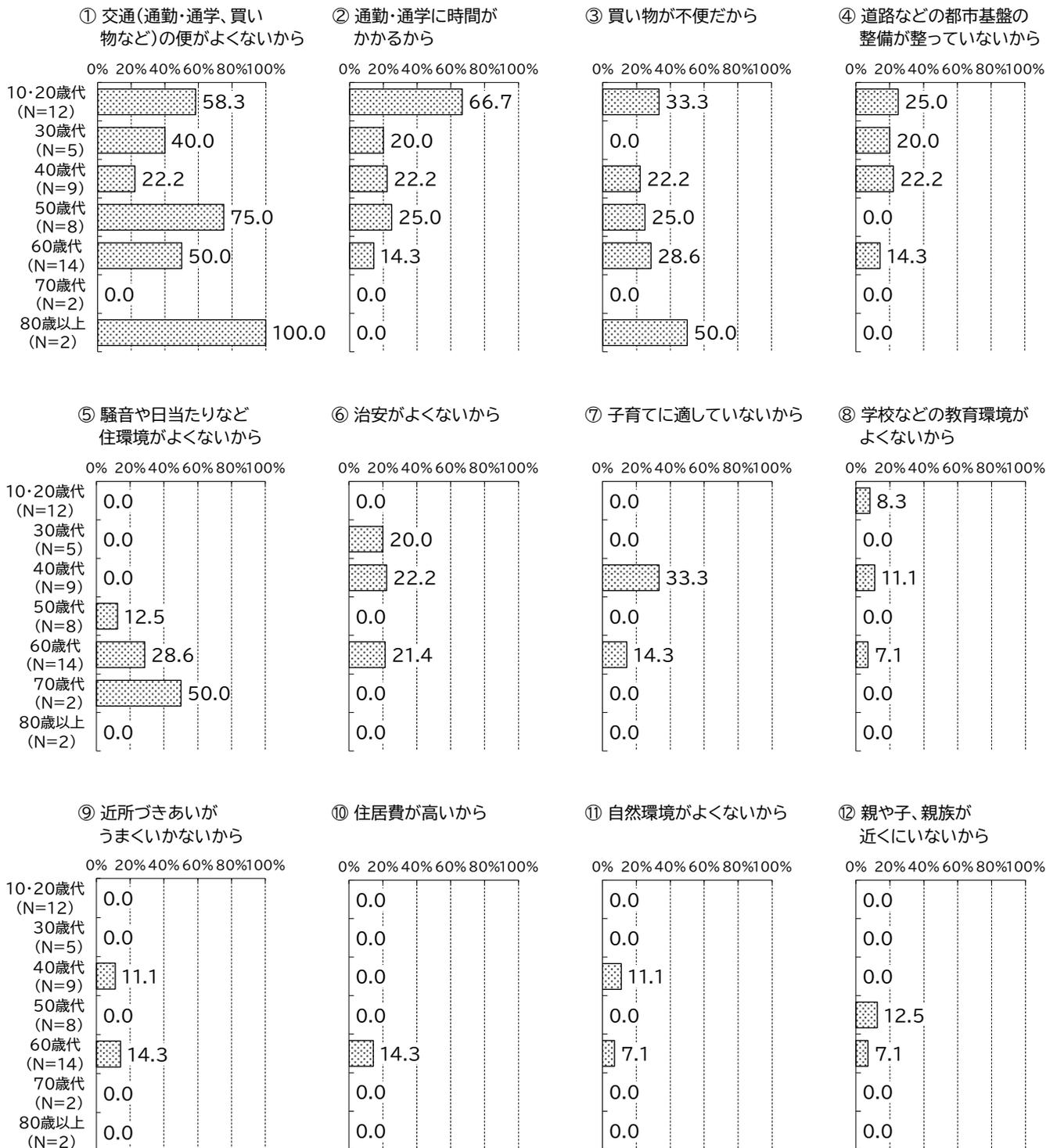
Ⅱ. 問3-2 問3で「2. 市内の別の場所へ移りたい」または「3. 市外へ移りたい」と回答した方にお聞きします。移りたい理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

図2-5 転居希望の理由



転居希望の理由については、「①交通（通勤・通学、買い物など）の便がよくないから」が50.0%（26件）と最も高く、次いで、「②通勤・通学に時間がかかるから」が28.8%（15件）、「③買い物が不便だから」が25.0%（13件）となっています。（図2-5）

図2-5-1 年齢別 転居希望の理由



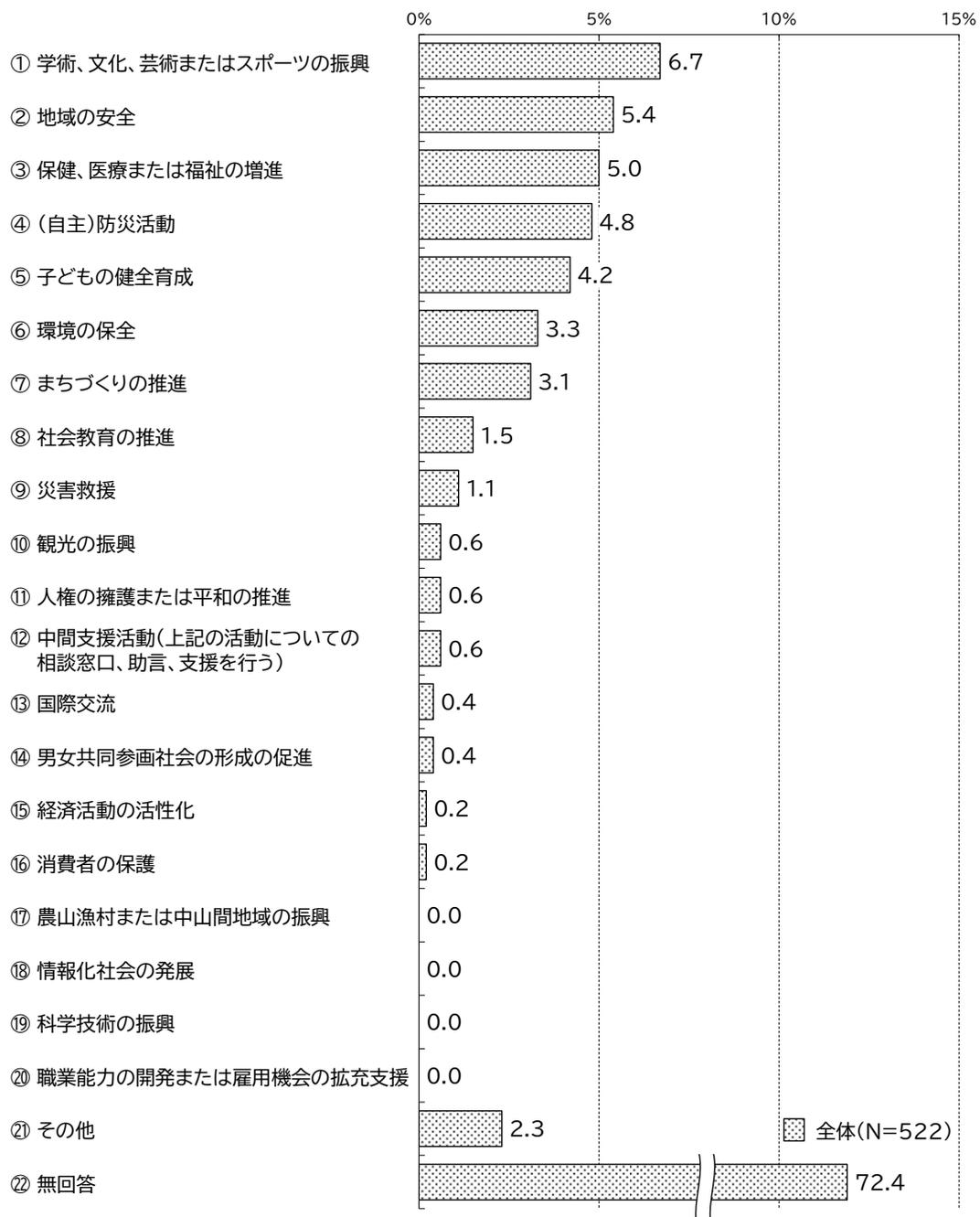
年齢別にみると、10・20歳代では「②通勤・通学に時間がかかるから」、70歳代では「⑤騒音や日当たりなど住環境がよくないから」の割合が最も高くなっています。(図2-5-1)

3 城陽市のさまざまな行政分野について

(1) どのような地域活動に参加しているか

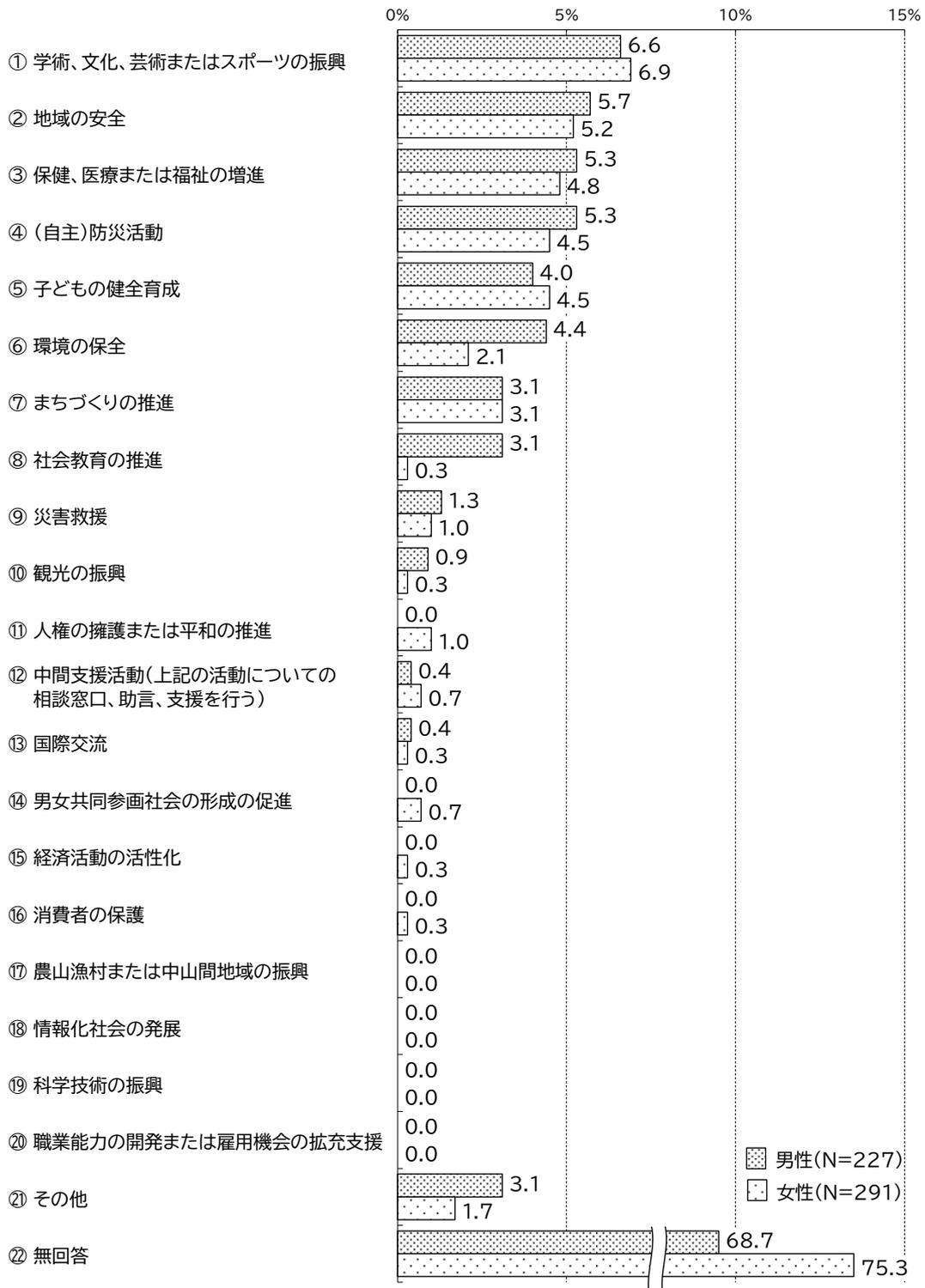
Ⅲ. 問1 あなたはどのような地域活動(ボランティアなど)に参加していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

図3-1 どのような地域活動に参加しているか



参加している地域活動については、「①学術、文化、芸術またはスポーツの振興」が6.7% (35件)で最も高く、次いで、「②地域の安全」が5.4% (28件)、「③保健、医療または福祉の増進」が5.0% (26件)となっており、いずれの地域活動においても1割以下となっています。(図3-1)

図3-1-1 男女別 どのような地域活動に参加しているか

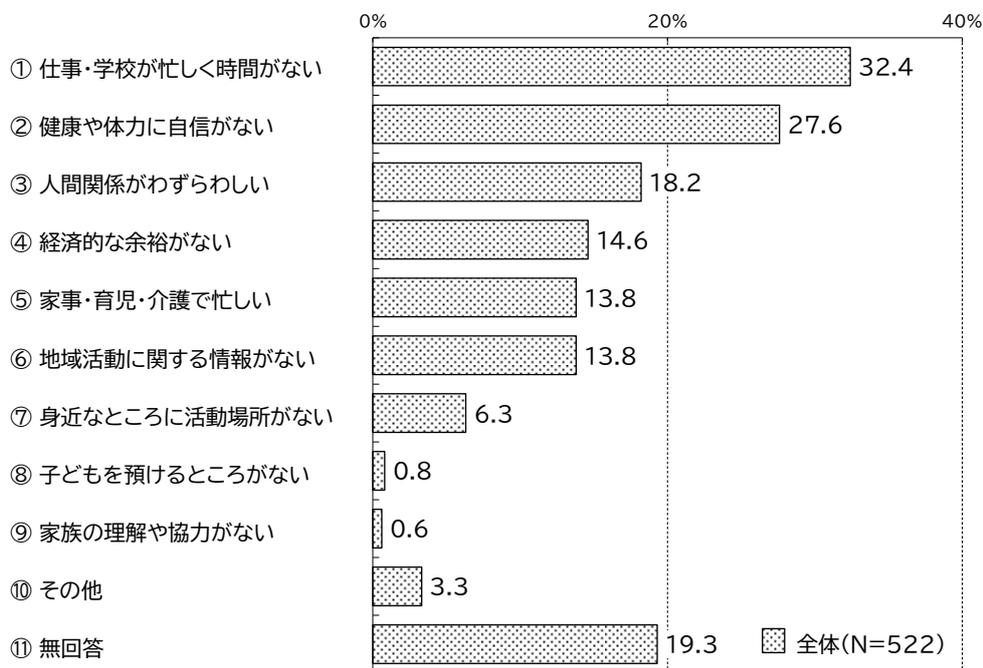


男女別にみると、男女とも「①学術、文化、芸術またはスポーツの振興」が最も高く、男性が6.6%（15件）、女性が6.9%（20件）となっています。次いで、「②地域の安全」が男性で5.7%（13件）、女性で5.2%（15件）、「③保健、医療または福祉の増進」が男性で5.3%（12件）、女性で4.8%（14件）となっています。（図3-1-1）

(2)地域活動に参加する際に支障となること

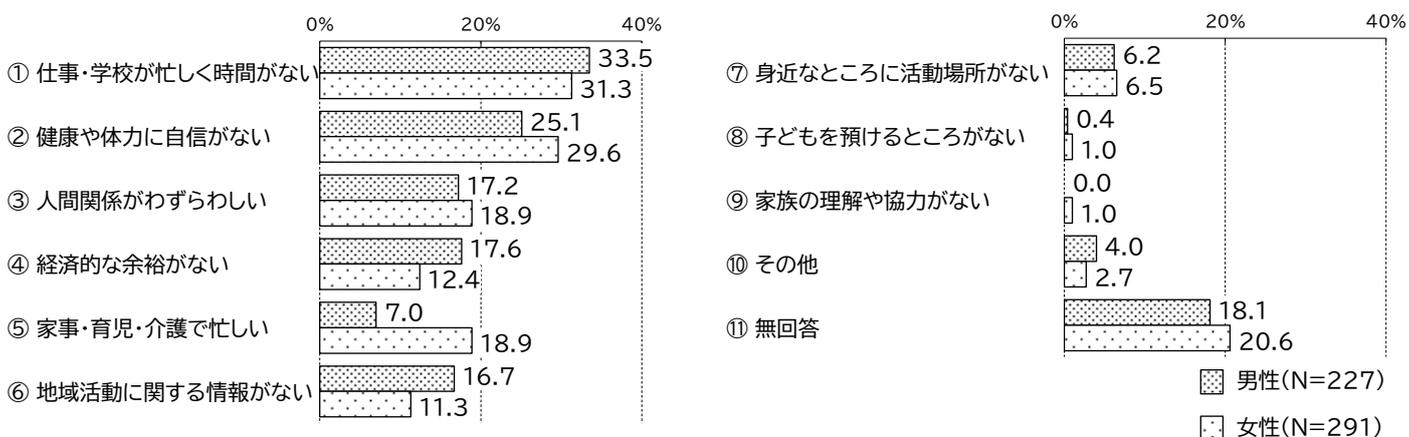
Ⅲ. 問2 あなたが地域活動に参加する際に支障となることは何でしょうか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

図3-2 地域活動に参加する際に支障となること



地域活動に参加する際に支障となることについては、「①仕事・学校が忙しく時間がない」が32.4% (169件) で最も高く、次いで、「②健康や体力に自信がない」が27.6% (144件)、「③人間関係がわずらわしい」が18.2% (95件)、「④経済的な余裕がない」が14.6% (76件)、「⑤家事・育児・介護で忙しい」と「⑥地域活動に関する情報がない」がともに13.8% (72件) となっています。(図3-2)

図3-2-1 男女別 地域活動に参加する際に支障となること

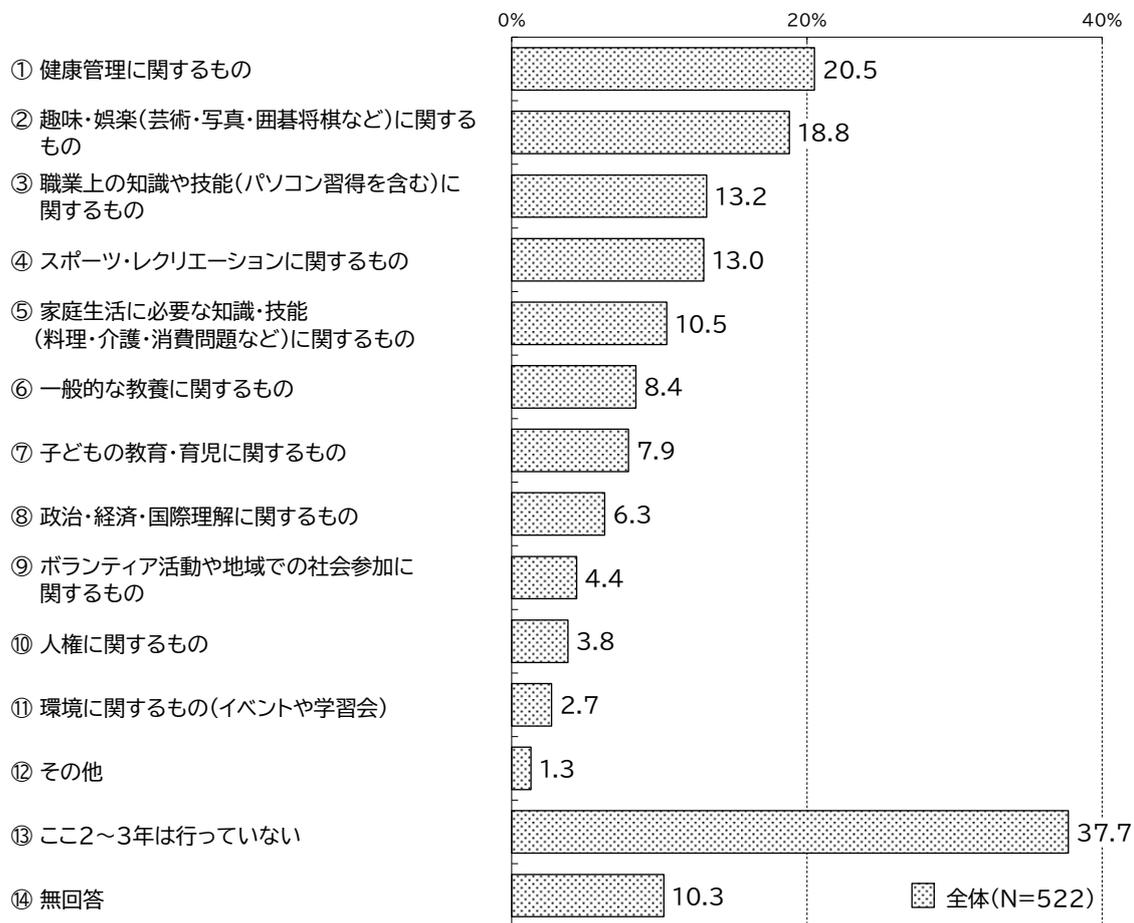


男女別にみると、男女とも「①仕事・学校が忙しく時間がない」が最も高く、男性が33.5% (76件)、女性が31.3% (91件) となっています。次いで、「②健康や体力に自信がない」が男性で25.1% (57件)、女性が29.6% (86件) となっています。(図3-2-1)

(3)生涯学習の内容

Ⅲ. 問3 生涯学習についてお聞きします。あなたは、この2～3年でどんな内容の学習をしましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

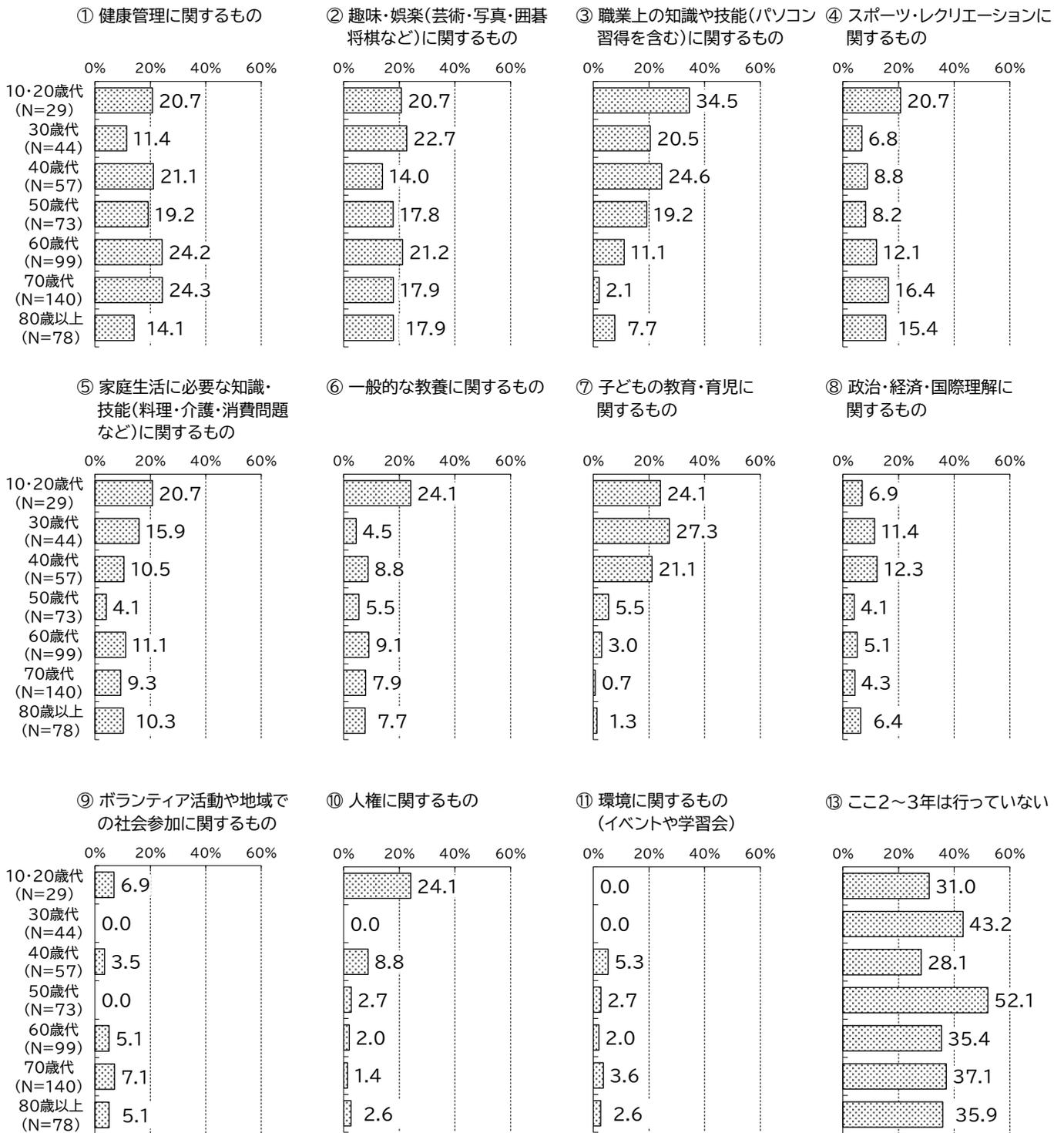
図3-3 生涯学習の内容



生涯学習の内容については、「⑬ここ2～3年は行っていない」が37.7%（197件）で最も高くなっています。

学習した内容としては、「①健康管理に関するもの」が20.5%（107件）と高く、次いで、「②趣味・娯楽（芸術・写真・囲碁将棋など）に関するもの」が18.8%（98件）、「③職業上の知識や技能（パソコン習得を含む）に関するもの」が13.2%（69件）となっています。（図3-3）

図3-3-1 年齢別 生涯学習の内容

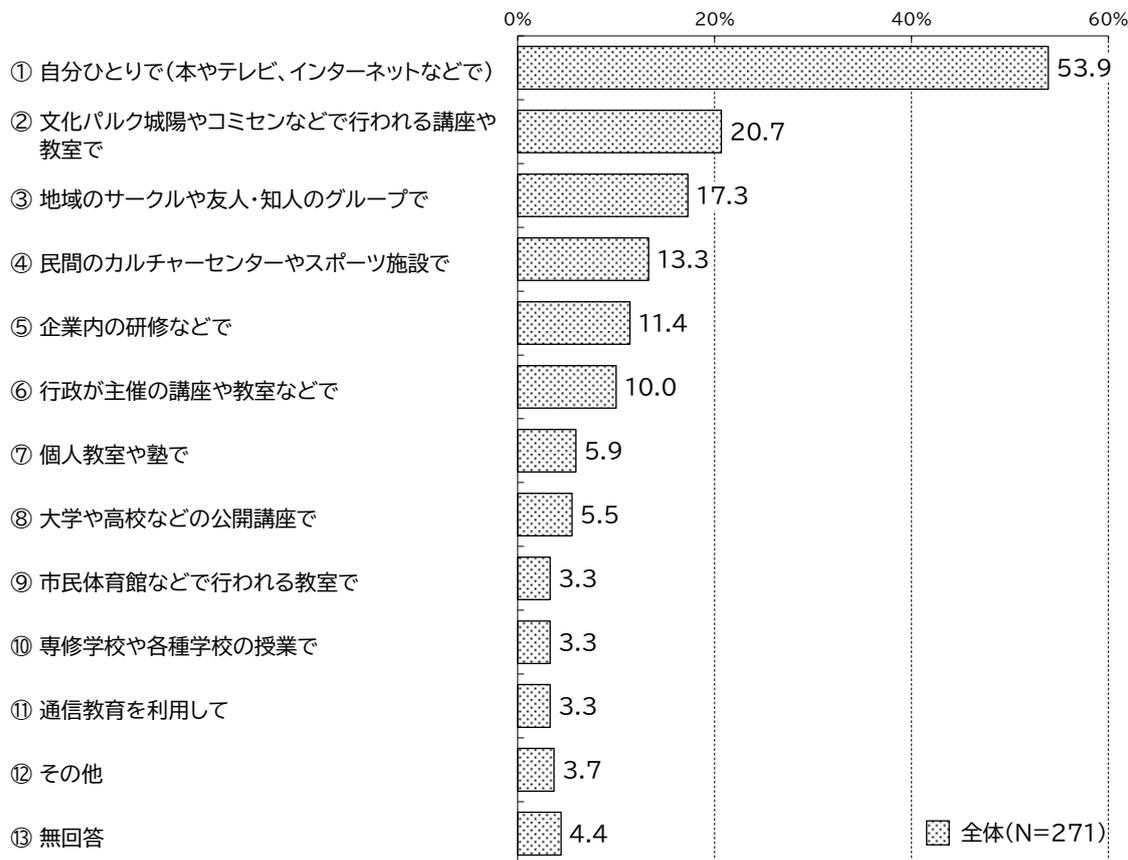


年齢別にみると、30歳代以上では「⑬ここ2~3年は行っていない」が最も高くなっています。実際に学習した内容では、10・20歳代では「③職業上の知識や技能(パソコン習得を含む)に関するもの」34.5%(10件)が最も高く、「⑩人権に関するもの」が24.1%(7件)で、他の年代と比較して高くなっています。(図3-3-1)

(4)生涯学習活動の方法

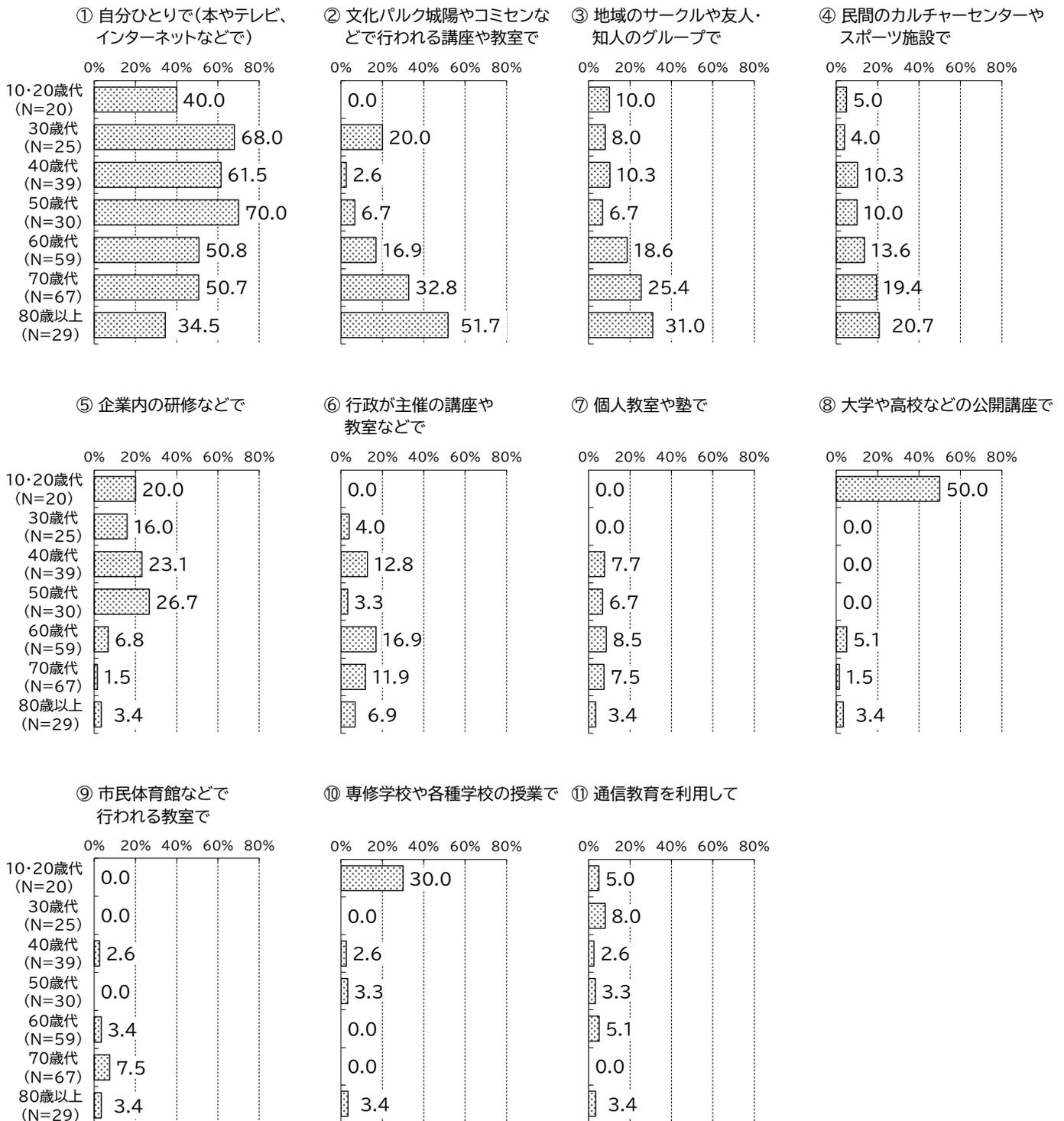
Ⅲ. 問3-1 問3でなんらかの学習活動を行った方にお聞きします。あなたはどんな方法で生涯学習活動を行いましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

図3-4 生涯学習活動の方法



生涯学習活動の方法については、「①自分ひとりで(本やテレビ、インターネットなどで)」が53.9% (146件)と最も高く、次いで、「②文化パーク城陽やコミセンなどで行われる講座や教室で」が20.7% (56件)、「③地域のサークルや友人・知人のグループで」が17.3% (47件)、「④民間のカルチャーセンターやスポーツ施設で」が13.3% (36件)、「⑤企業内の研修などで」が11.4% (31件)と続いています。(図3-4)

図3-4-1 年齢別 生涯学習活動の方法

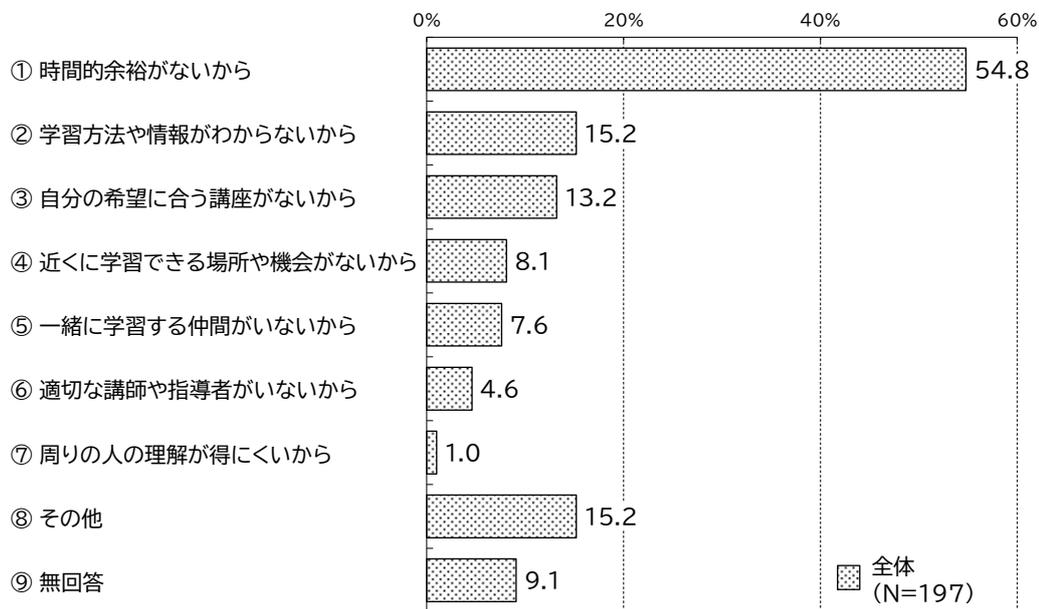


年齢別にみると、10・20歳代では「⑧大学や高校などの公開講座で」が50.0%（10件）が最も高くなっています。30歳代から50歳代では「①自分ひとりで（本やテレビ、インターネットなどで）」が最も高くいずれも6割を超えています。10・20歳代と40歳代、50歳代では「⑤企業内の研修などで」が、いずれも2割以上となっています。また、80歳以上では「②文化パーク城陽やコミセンなどで行われる講座や教室で」が51.7%（15件）と最も高くなっています。（図3-4-1）

(5)生涯学習に取り組まなかった理由

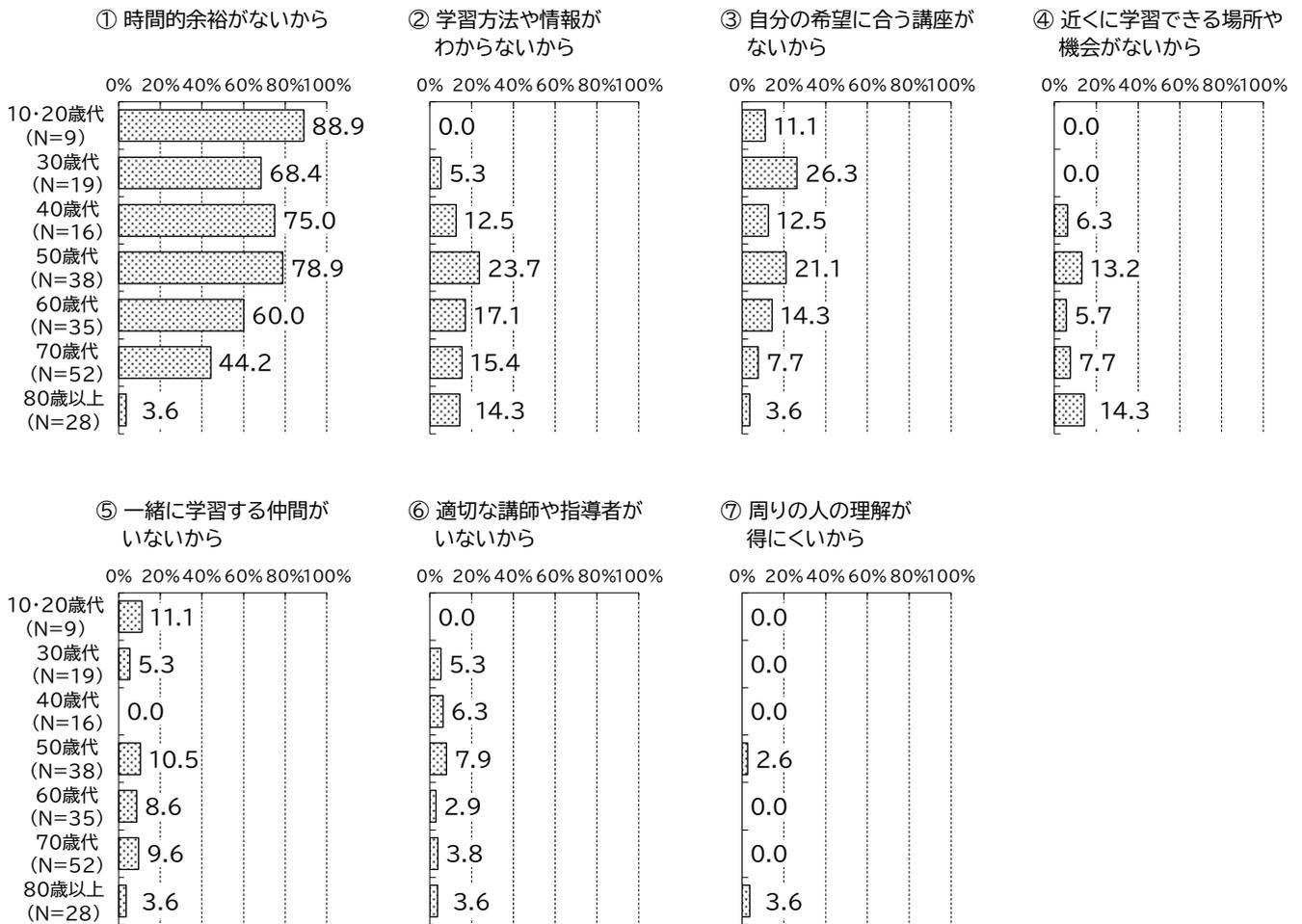
Ⅲ. 問3-2 問3で「13. ここ2～3年は行っていない」と回答した方にお聞きします。生涯学習に取り組まなかった理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

図3-5 生涯学習に取り組まなかった理由



生涯学習に取り組まなかった理由については、「①時間的余裕がないから」が54.8%（108件）と最も高く、次いで、「②学習方法や情報がわからないから」と「⑧その他」がともに15.2%（30件）、「③自分の希望に合う講座がないから」が13.2%（26件）となっています。（図3-5）

図3-5-1 年齢別 生涯学習に取り組まなかった理由

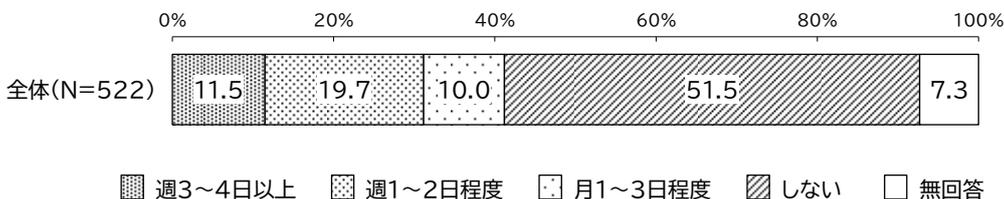


年齢別にみると、80歳以上を除いた年代では「①時間的余裕がないから」が最も高くなっており、特に、10・20歳代では9割弱となっています。また、50歳代では「②学習方法や情報がわからないから」、30歳代と50歳代では「③自分の希望に合う講座がないから」が、いずれも2割を超えています。(図3-5-1)

(6)スポーツの実施状況について

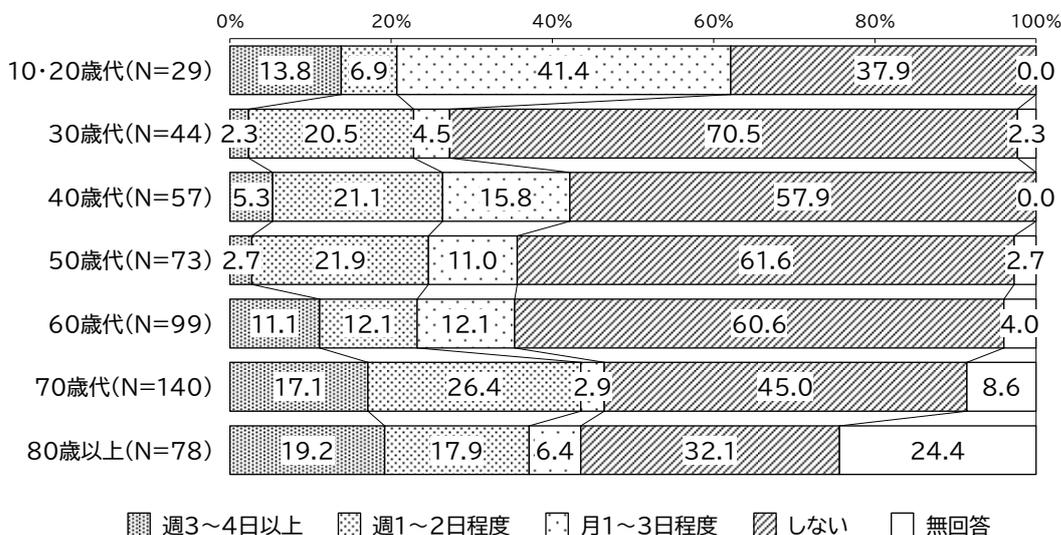
Ⅲ. 問4 スポーツの実施状況についてお聞きします。どのくらいの頻度で運動をしていますか。

図3-6 スポーツの実施状況について



スポーツの実施状況については、「週1~2日程度」が19.7% (103件)、「週3~4日以上」が11.5% (60件)、「月1~3日程度」が10.0% (52件) となっています。「週1~2日程度」「週3~4日以上」「月1~3日程度」を合わせた『運動をしている』は41.2% (215件) となり、「しない」の51.5% (269件) を10.3ポイント下回っています。(図3-6)

図3-6-1 年齢別 スポーツの実施状況について

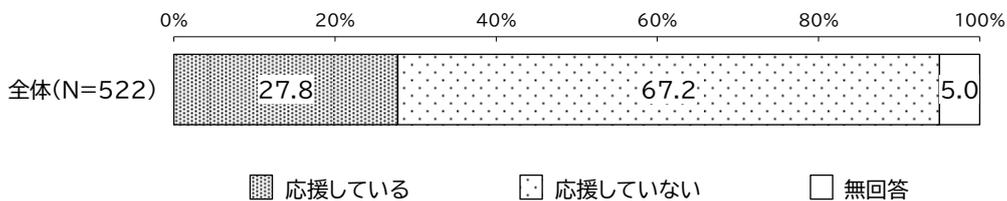


年齢別にみると、30歳代から60歳代では、「しない」が5割を超えており、30歳代では約7割にのぼっています。70歳以上では、『運動をしている』（「週1~2日程度」「週3~4日以上」「月1~3日程度」を合わせた割合）が「しない」を上回っており、「週1~2日以上」は70歳代が26.4% (37件) と、他の年代よりも高い割合となっています。(図3-6-1)

(7)京都サンガF.C.応援の有無

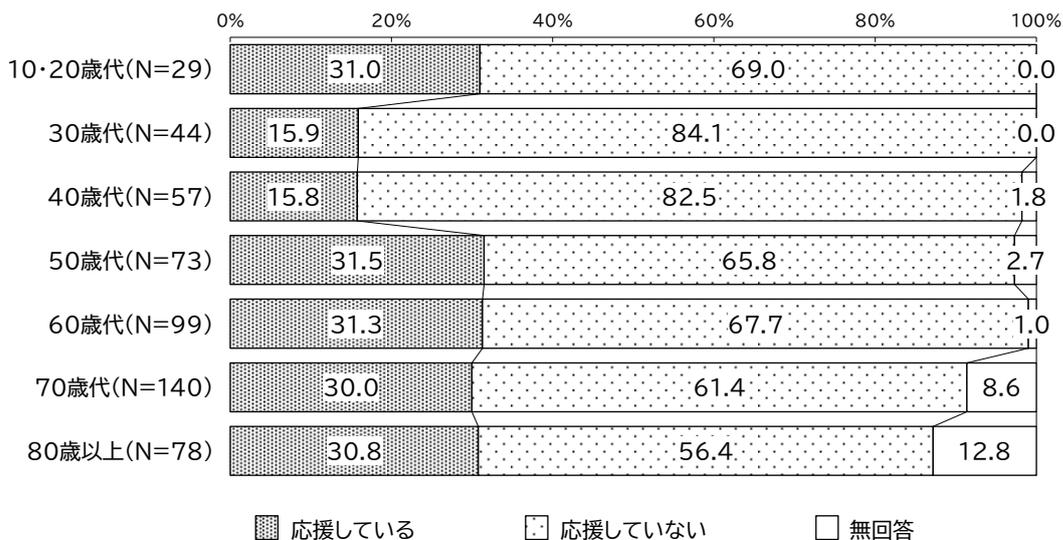
Ⅲ. 問5 京都サンガF.C.を応援していますか。

図3-7 京都サンガF.C. 応援の有無



京都サンガF.C.の応援の有無については、「応援している」は27.8%（145件）となっており、「応援していない」が67.2%（351件）と6割以上を占めています。（図3-7）

図3-7-1 年齢別 京都サンガF.C.応援の有無

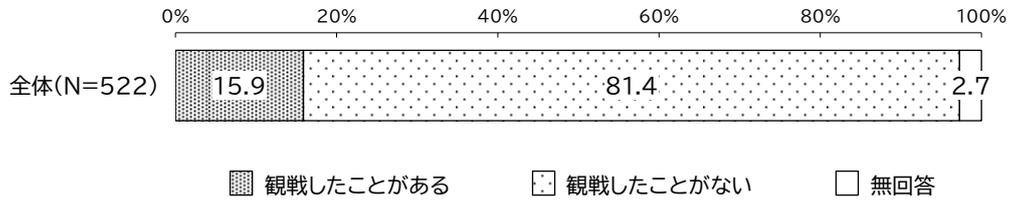


年齢別にみると、京都サンガF.C.を「応援している」割合は、30歳代と40歳代で比較的低く、2割以下となっています。（図3-7-1）

(8)京都サンガF.C.試合観戦経験の有無

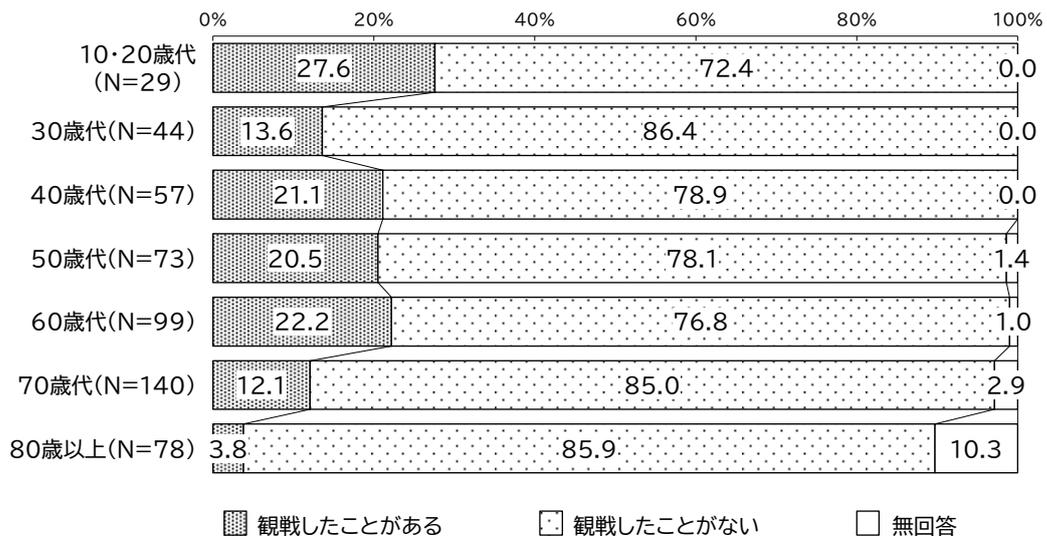
Ⅲ. 問6 京都サンガF.C.の試合を観戦したことがありますか。

図3-8 京都サンガF.C. 試合観戦経験の有無



京都サンガF.C.の試合観戦経験の有無については、「観戦したことがある」は15.9%（83件）となっており、「観戦したことがない」が81.4%（425件）となっています。（図3-8）

図3-8-1 年齢別 京都サンガF.C.試合観戦経験の有無

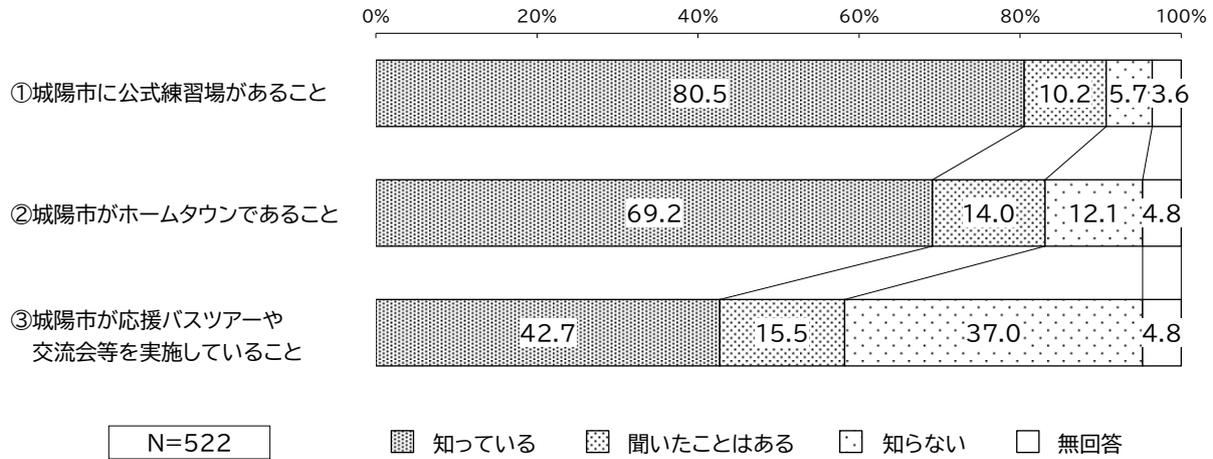


年齢別にみると、京都サンガF.C.の試合を「観戦したことがある」割合は、10・20歳代が27.6%（8件）で3割弱となっています。（図3-8-1）

(9)京都サンガF.C.に関する認知度

Ⅲ. 問7 京都サンガF.C.についてお聞きます。

図3-9 京都サンガF.C.に関する認知度



①城陽市に公式練習場があることについての認知度は、「知っている」が80.5%（420件）と高く、「知らない」の5.7%（30件）を大きく上回っています。また、「知っている」と「聞いたことはある」10.2%（53件）を合わせた『認知度』は90.7%（473件）となっています。

②城陽市がホームタウンであることについての認知度は、「知っている」が69.2%（361件）と高く、「知らない」12.1%（63件）を大きく上回っています。「知っている」と「聞いたことはある」14.0%（73件）を合わせた『認知度』は83.2%（434件）となっています。

③城陽市が応援バスツアーや交流会等を実施していることについての認知度は、「知っている」が42.7%（223件）となっており、「知らない」37.0%（193件）を上回っています。「知っている」と「聞いたことはある」15.5%（81件）を合わせた『認知度』は58.2%（304件）となっています。

(図3-9)

図3-9-1 年齢別 ①城陽市の公式練習場の認知度

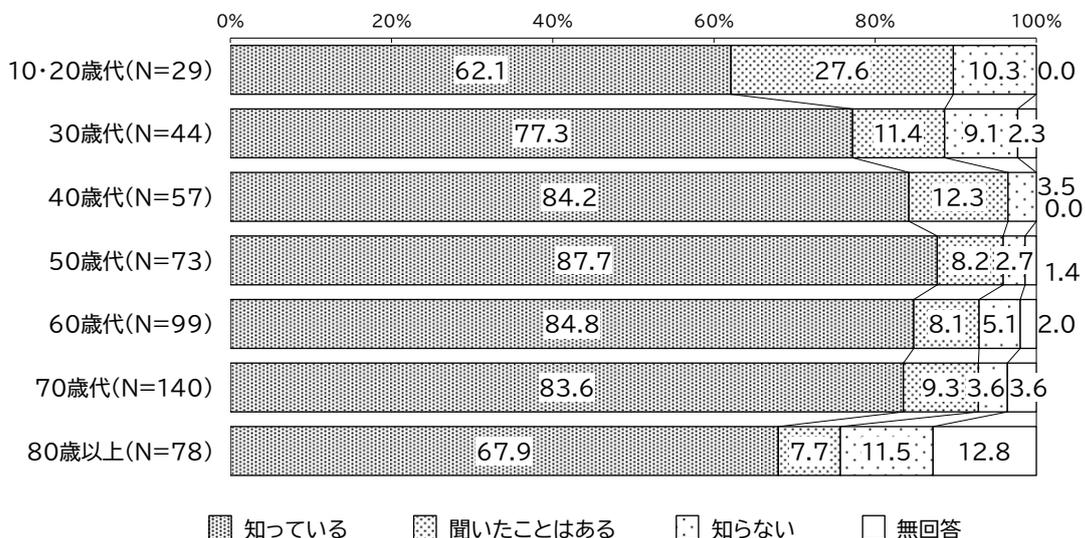


図3-9-2 年齢別 ②城陽市がホームタウンであることの認知度

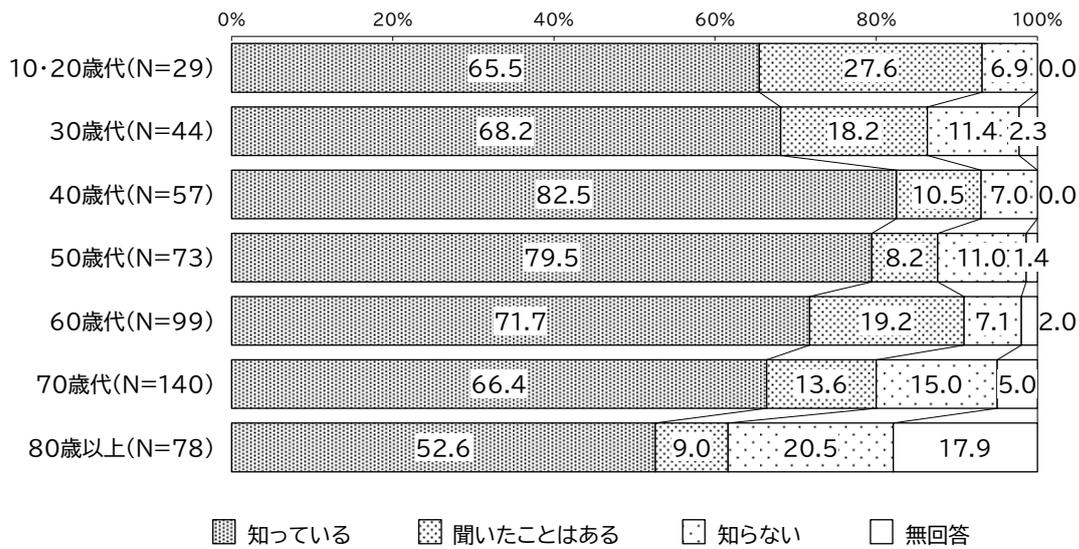
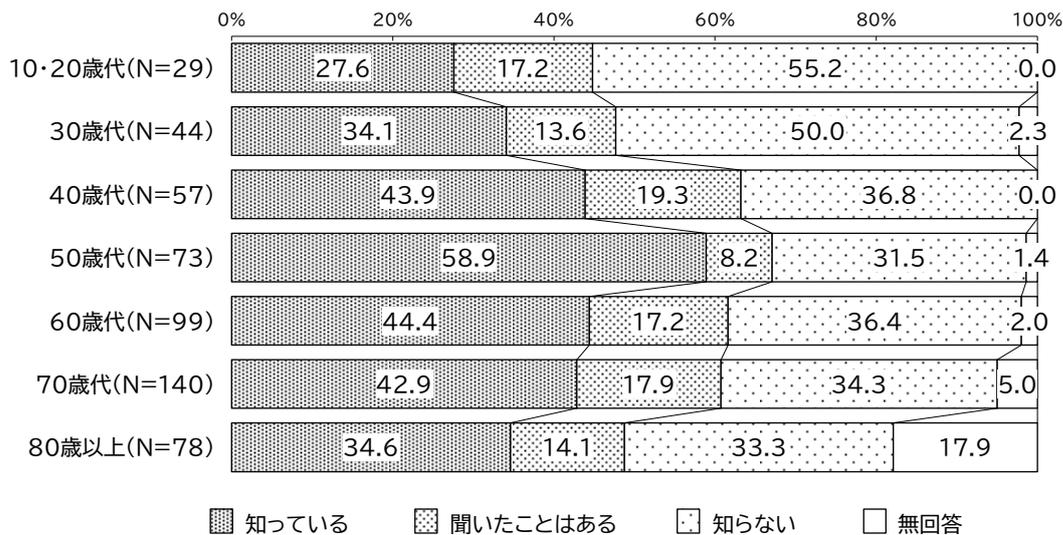


図3-9-3 年齢別 ③城陽市が応援バスツアーや交流会などを実施していることの認知度



年齢別にみると、①城陽市に公式練習場があることについての認知度は、いずれの年代でも「知っている」が多数を占めており、最も低い10・20歳代でも62.1%（18件）と高くなっています。（図3-9-1）

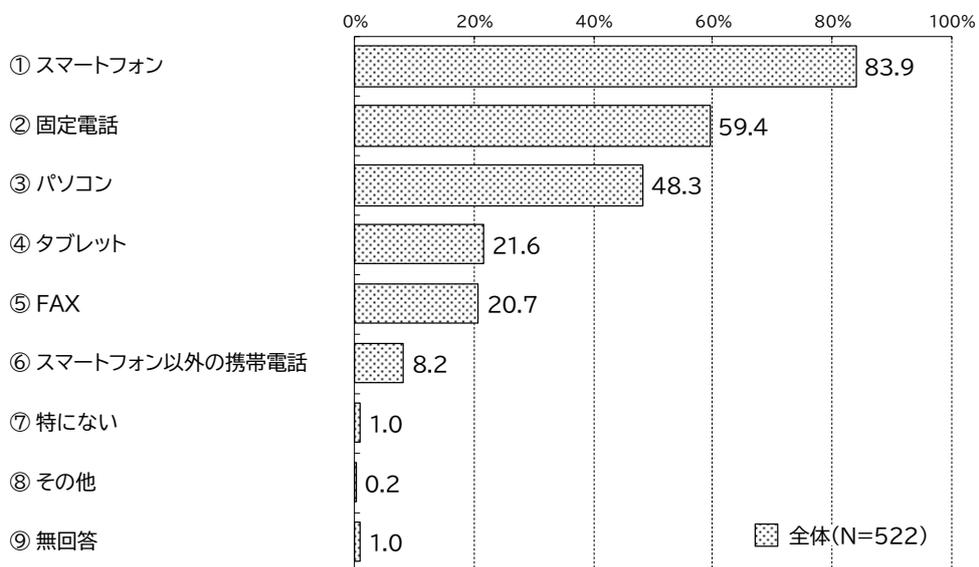
②城陽市がホームタウンであることの認知度も同様に、全年代で「知っている」が多数を占めており、最も低い80歳以上でも52.6%（41件）と高くなっています。（図3-9-2）

③城陽市が応援バスツアーや交流会などを実施していることの認知度は、40歳代以上の年代では「知っている」が最も高くなっていますが、10・20歳代では「知らない」の割合が55.2%（16件）と最も高くなっています。（図3-9-3）

(10)使用している通信機器

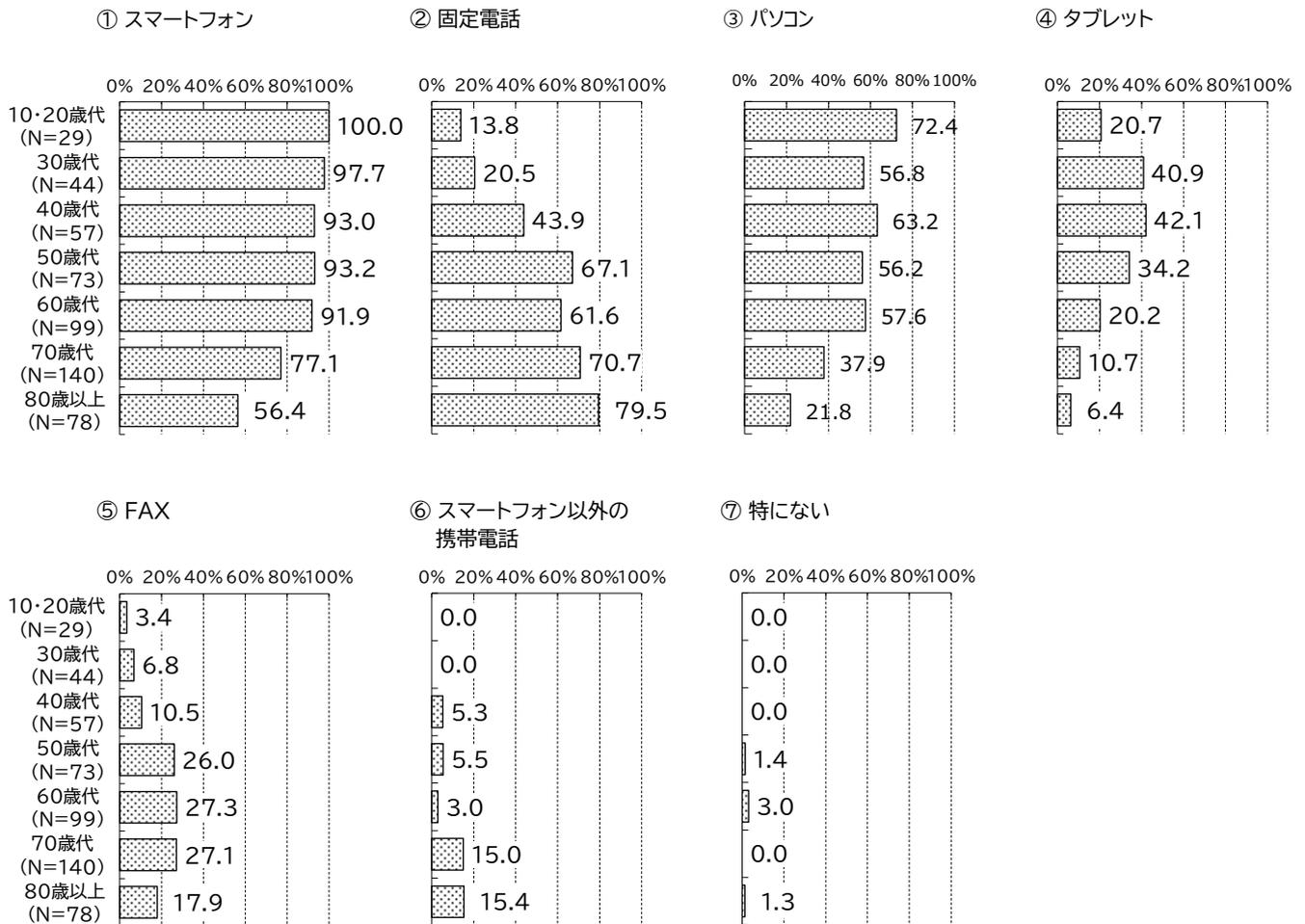
Ⅲ. 問8 以下の通信機器のうち、あなたが使用しているものは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

図3-10 使用している通信機器



使用している通信機器は、「①スマートフォン」が83.9%（438件）で最も高く、次いで「②固定電話」が59.4%（310件）、「③パソコン」が48.3%（252件）、「④タブレット」が21.6%（113件）と続いています。（図3-10）

図3-10-1 年齢別 使用している通信機器

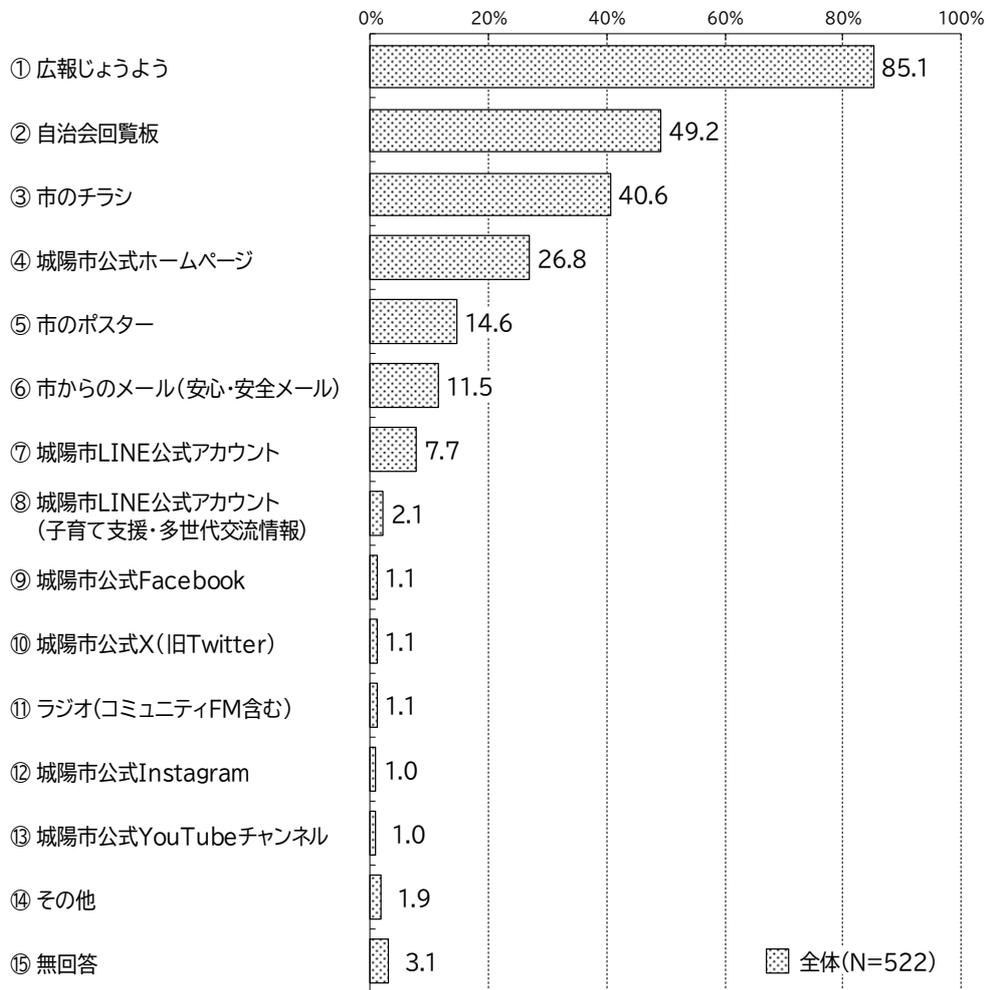


年齢別で見ると、60歳代以下では「①スマートフォン」が9割以上、「③パソコン」が5割以上と高く、70歳代以上を大きく引き離しています。また、30歳代と40歳代では「⑤タブレット」がいずれも約4割と他の年代より高くなっています。30歳代以下では「②固定電話」と「⑤FAX」が他の年代より低く、「④FAX」は1割未満となっています。(図3-10-1)

(11)活用している城陽市についての情報収集手段

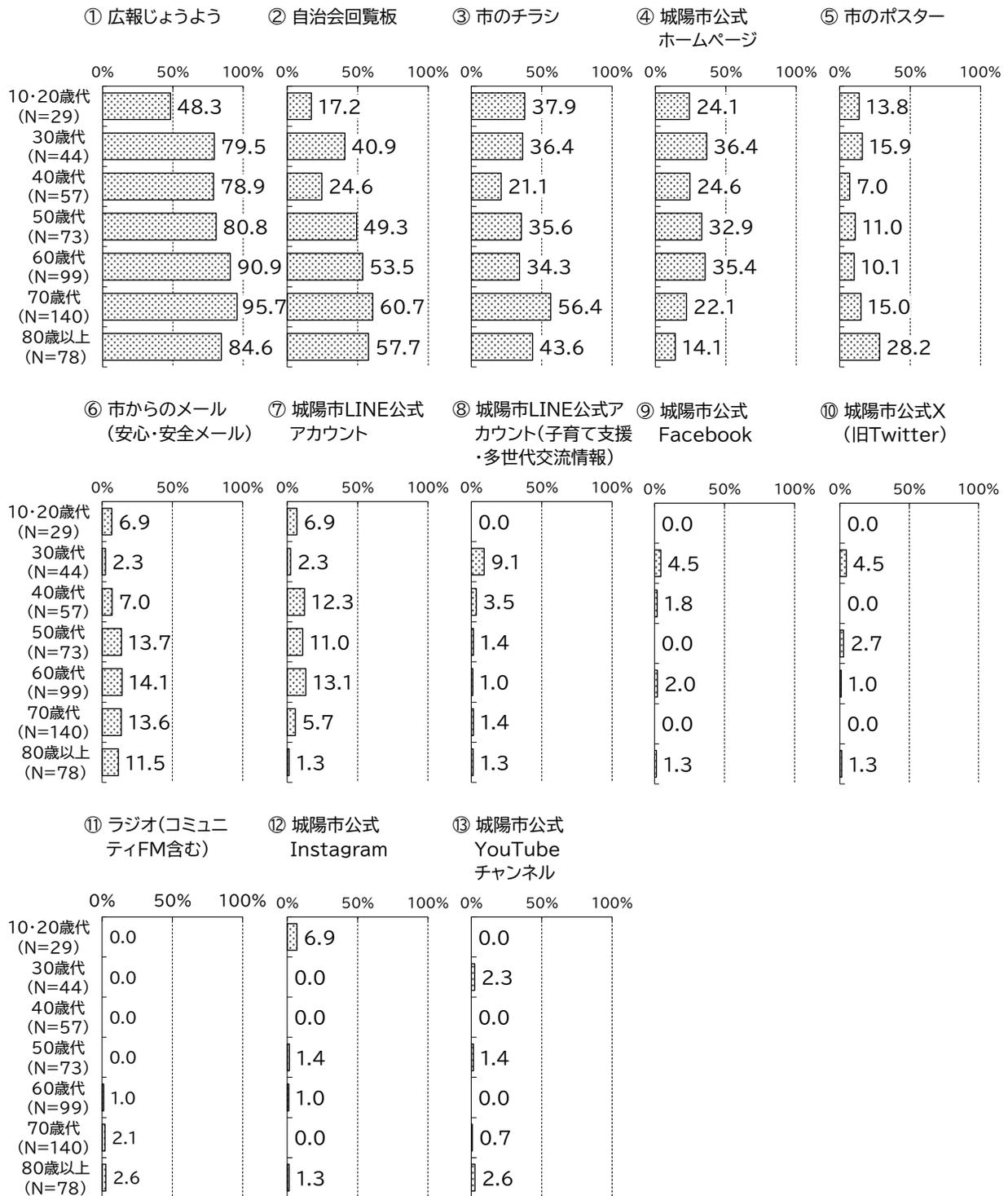
Ⅲ. 問9 城陽市からの情報を収集する手段として活用しているものは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

図3-11 活用している城陽市についての情報収集手段



活用している城陽市についての情報収集手段は、「①広報じょうよう」が85.1%（444件）と最も高くなっています。次いで、「②自治会回覧板」が49.2%（257件）、「③市のチラシ」が40.6%（212件）、「④城陽市公式ホームページ」が26.8%（140件）となっています。（図3-11）

図3-11-1 年齢別 活用している城陽市についての情報収集手段

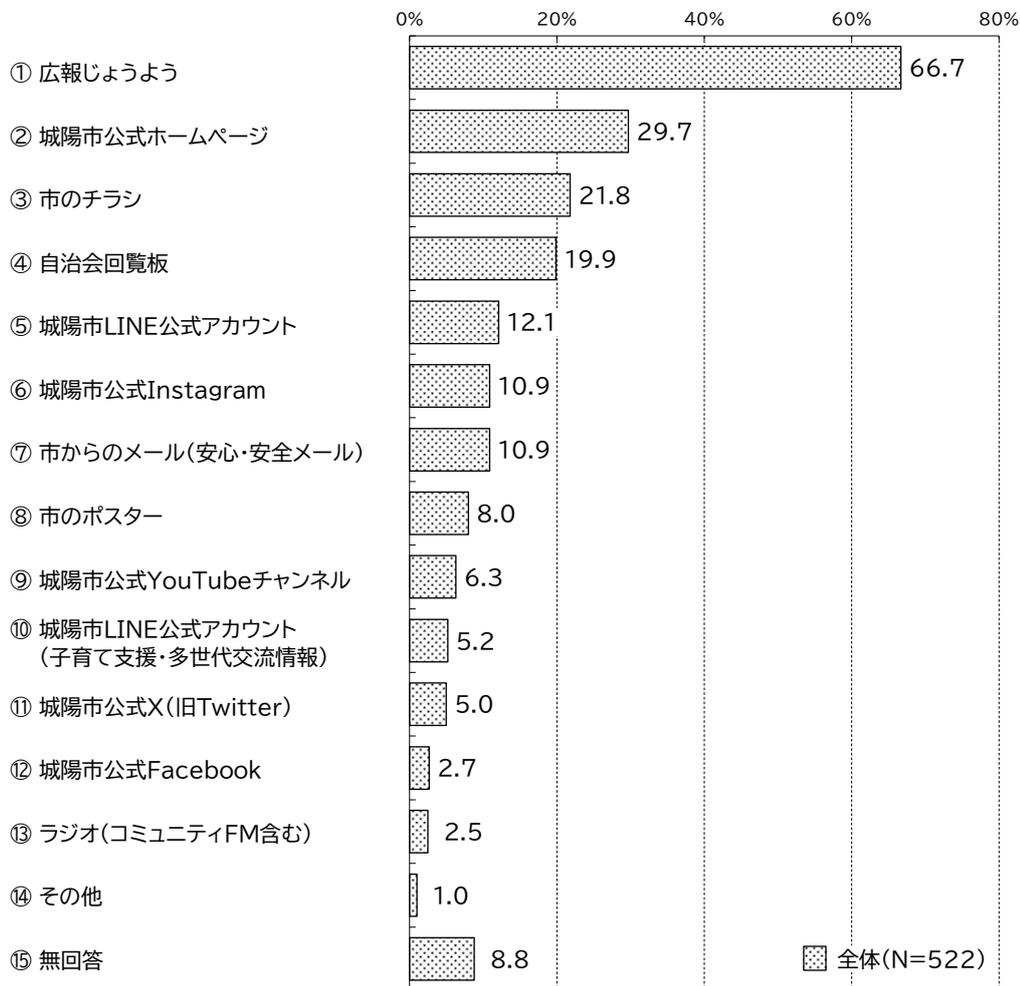


年齢別でみると、活用している城陽市についての情報収集手段の上位2項目の「①広報じょうよう」「②自治会回覧板」は、いずれも年代が高くなるにつれて割合も概ね高くなる傾向で、「①広報じょうよう」は、10・20歳代でも48.3%（14件）と他の媒体と比較して高くなっています。また、70歳代では「③市のチラシ」が56.4%（79件）と他の年代より高くなっています。（図3-11-1）

(12)力を入れるべき城陽市についての情報発信手段

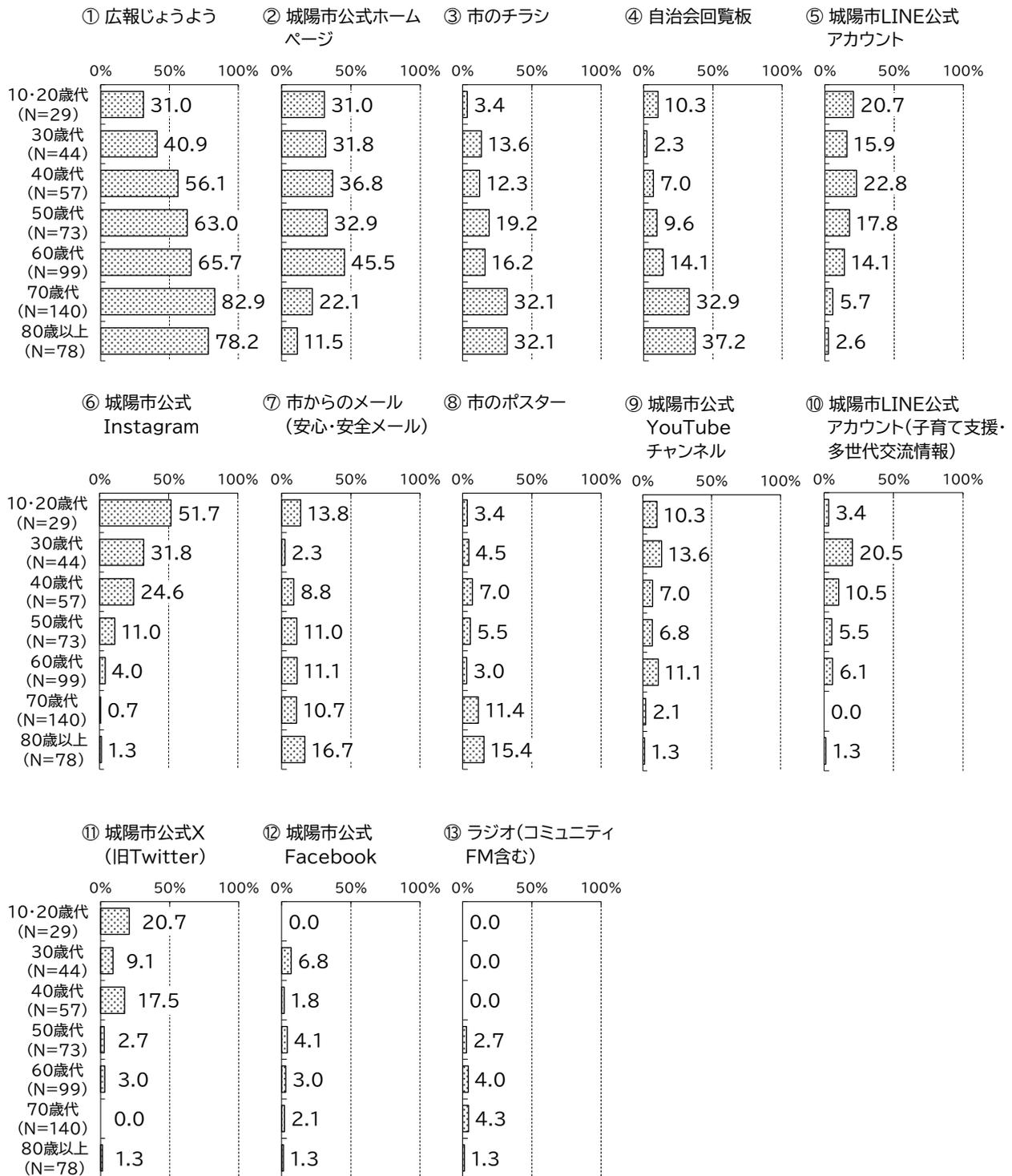
Ⅲ. 問 10 城陽市からの情報を発信する手段として、以下のうち、今後力を入れるべきと考えるものはどれですか。あてはまるもの3つ以内で○をつけてください。

図3-12 力を入れるべき城陽市についての情報発信手段



今後力を入れるべき城陽市についての情報発信手段は、「①広報じょうよう」が66.7% (348件)で最も高く、次いで、「②城陽市公式ホームページ」が29.7% (155件)、「③市のチラシ」が21.8% (114件)、「④自治会回覧板」が19.9% (104件)と続いています。(図3-12)

図3-12-1 年齢別 力を入れるべき城陽市についての情報発信手段

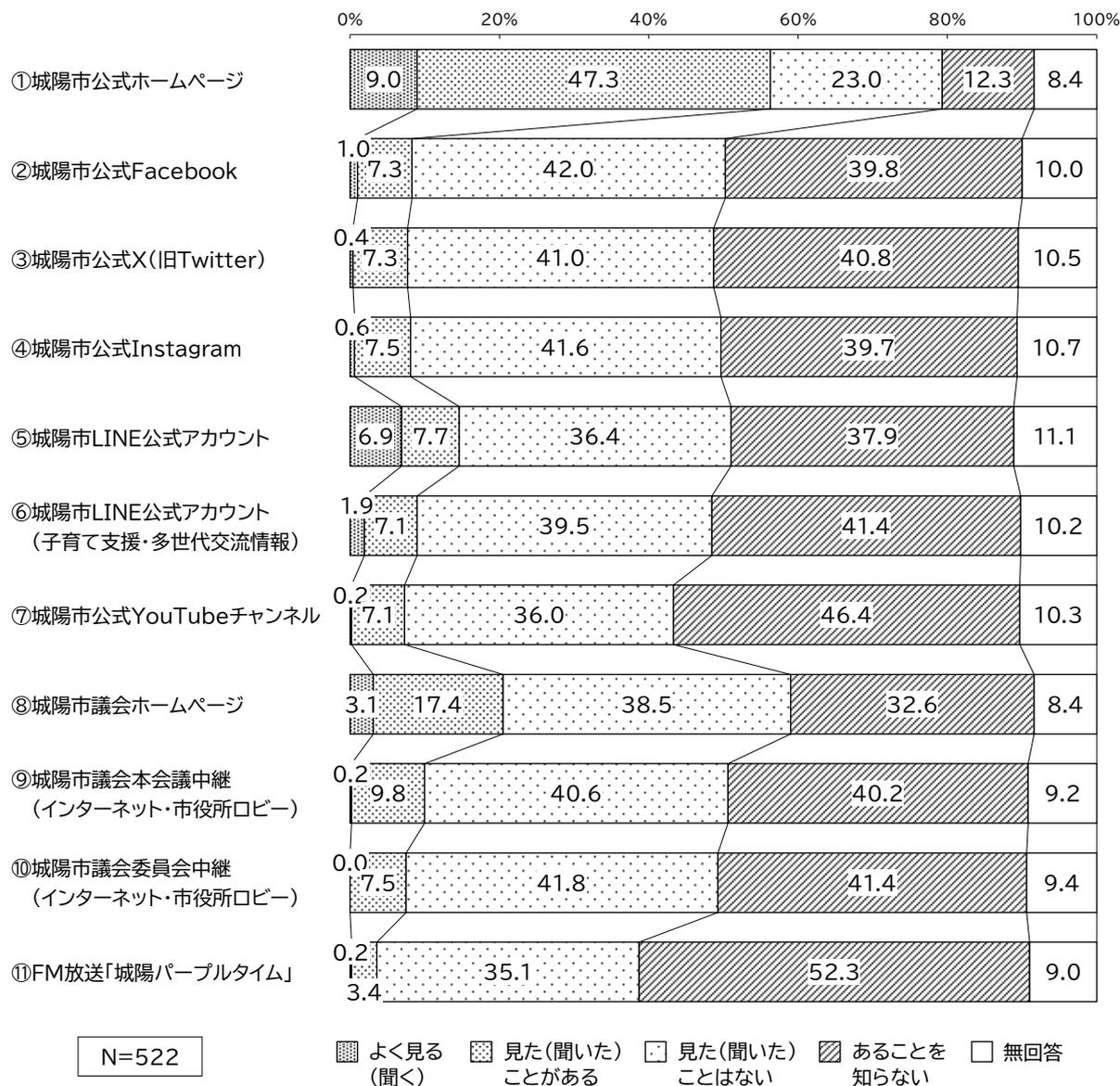
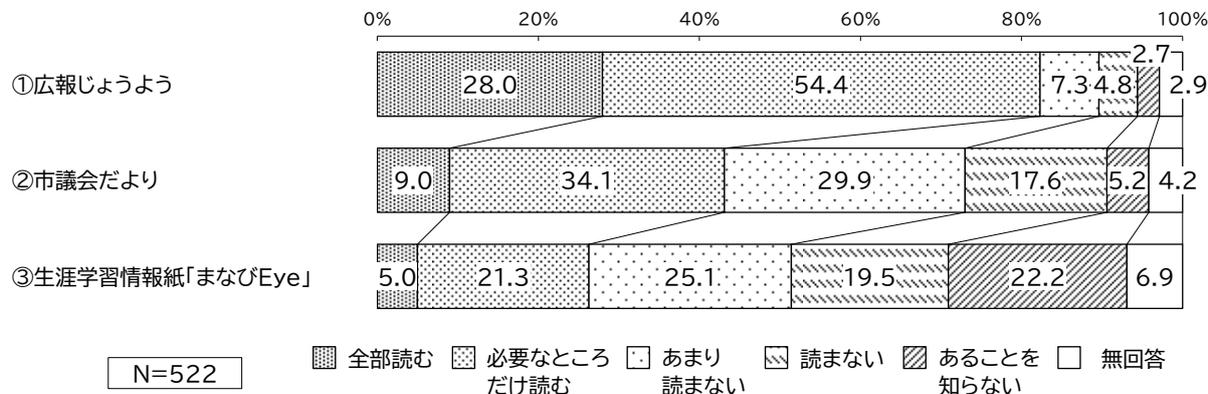


年齢別でみると、活用している情報収集手段同様、「①広報じょうよう」「③市のチラシ」「④自治会回覧板」は年代が高くなるにつれて割合が高くなる傾向にあります。一方、「⑤城陽市LINE公式アカウント」「⑥城陽市公式Instagram」「⑩城陽市公式X (旧Twitter)」は年代が低くなるにつれて割合が高くなる傾向となっており、特に10・20歳代では「⑥城陽市公式Instagram」は51.7% (15件) と高くなっています。また、「②城陽市公式ホームページ」は、60歳代以下のすべての年代で3割以上を占めています。(図3-12-1)

(13)「市議会だより」「広報じょうよう」などの閲読状況

Ⅲ. 問 11 あなたは「広報じょうよう」「市議会だより」などをご覧になっていますか。次の項目ごとにあてはまるものに○をつけてください。

図3-13 「市議会だより」「広報じょうよう」などの閲読状況



「①広報じょうよう」の閲読状況は、「必要なところだけ読む」が54.4%（284件）と最も高く、「全部読む」28.0%（146件）を合わせた『読む』（「全部読む」と「必要なところだけ読む」を合わせた割合）という人は82.4%（430件）となっています。

「②市議会だより」の閲読状況は、「必要なところだけ読む」が34.1%（178件）と最も高く、次いで「あまり読まない」が29.9%（156件）、「読まない」が17.6%（92件）となっています。『読む』（「全部読む」と「必要なところだけ読む」を合わせた割合）という人は43.1%（225件）、『読まない』（「読まない」と「あまり読まない」を合わせた割合）という人は47.5%（248件）で、『読まない』人の割合がやや高くなっています。

「③生涯学習情報紙「まなびEye」」の閲読状況は、「あまり読まない」が25.1%（131件）と最も高く、『読む』（「全部読む」と「必要なところだけ読む」を合わせた割合）という人は26.3%（137件）、『読まない』（「読まない」と「あまり読まない」を合わせた割合）は44.6%（233件）となっています。

「①城陽市公式ホームページ」の閲覧状況は、「見た（聞いた）ことがある」が47.3%（247件）で最も高く、『見たことがある』（「よく見る」と「見たことがある」を合わせた割合）という人は56.3%（294件）で半数を超えています。

「②城陽市公式Facebook」、「③城陽市公式X（旧Twitter）」、「④城陽市公式Instagram」の閲覧状況は、いずれも「見た（聞いた）ことはない」が4割を超えており、『見たことがある』（「よく見る」と「見たことがある」を合わせた割合）という人は1割未満となっています。

「⑤城陽市LINE公式アカウント」の閲覧状況は、「あることを知らない」が37.9%（198件）と最も高く、次いで、「見た（聞いた）ことはない」が36.4%（190件）となっており、『見たことがある』（「よく見る」と「見たことがある」を合わせた割合）という人は14.6%（76件）となっています。

「⑥城陽市LINE公式アカウント（子育て支援・多世代交流情報）」の閲覧状況は、「あることを知らない」が41.4%（216件）と最も高く、次いで、「見た（聞いた）ことはない」が39.5%（206件）となっており、『見たことがある』（「よく見る」と「見たことがある」を合わせた割合）という人は9.0%（47件）となっています。

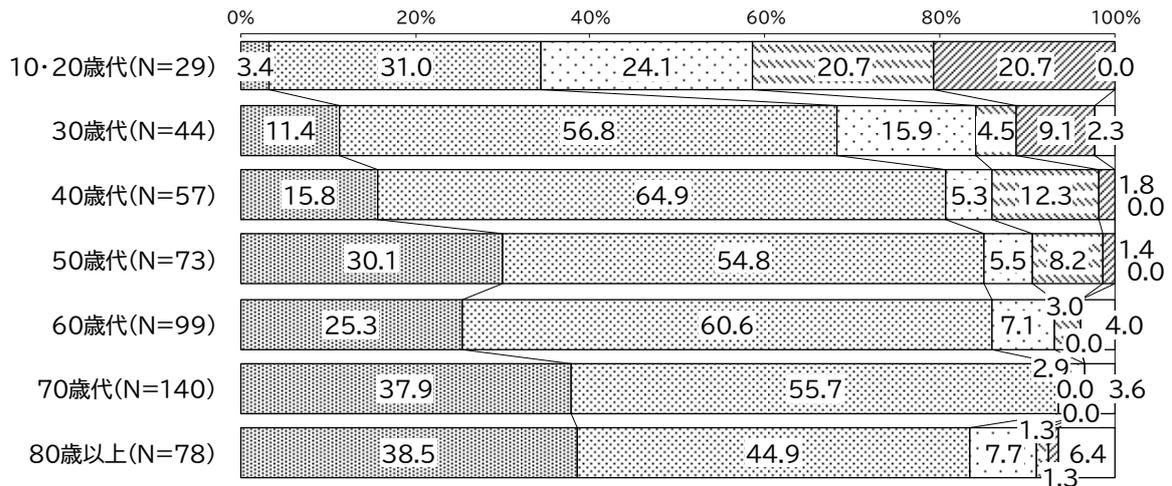
「⑦城陽市公式YouTubeチャンネル」の視聴状況は、「あることを知らない」が46.4%（242件）で最も高く、次いで、「見た（聞いた）ことはない」が36.0%（188件）となっており、『見たことがある』（「よく見る」と「見たことがある」を合わせた割合）という人は7.3%（38件）となっています。

「⑧城陽市議会ホームページ」の閲覧状況は、「見た（聞いた）ことはない」が38.5%（201件）で最も高く、次いで「あることを知らない」が32.6%（170件）となっており、『見たことがある』（「よく見る」と「見たことがある」を合わせた割合）という人は20.5%（107件）となっています。

「⑨城陽市議会本会議中継（インターネット・市役所ロビー）」、「⑩城陽市議会委員会中継（インターネット・市役所ロビー）」の視聴状況は、いずれも「見た（聞いた）ことはない」と「あることを知らない」が、ほぼ同率の約4割で、『見たことがある』（「よく見る」と「見たことがある」を合わせた割合）という人は1割以下となっています。

「⑪FM放送「城陽パープルタイム」」の聴取状況は、「あることを知らない」が52.3%（273件）で最も高く、次いで「聞いたことはない」が35.1%（183件）となっており、『聞いたことがある』（「よく聞く」と「聞いたことがある」を合わせた割合）という人は3.6%（19件）となっています。（図3-13）

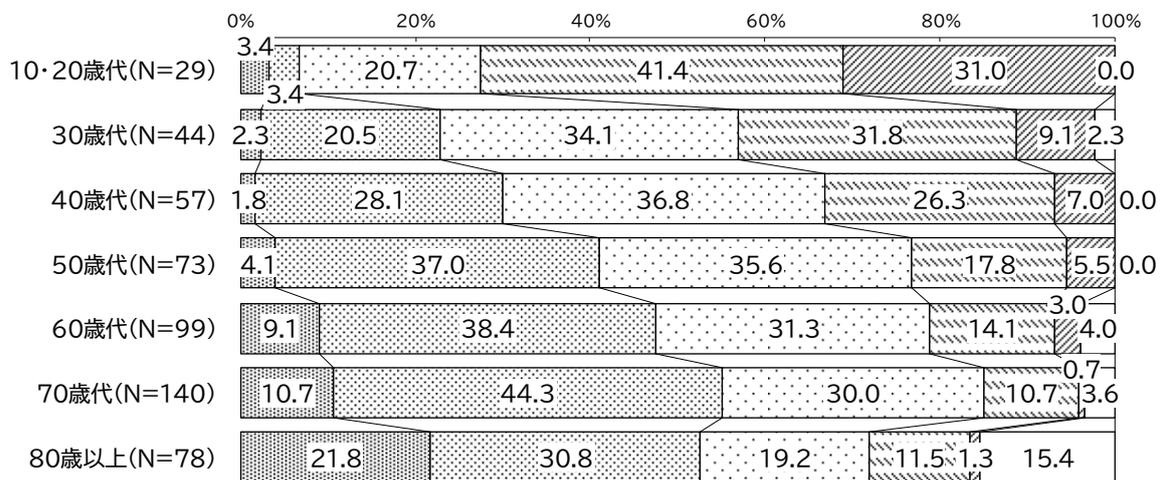
図3-13-1 年齢別「広報じょうよう」の閲読状況



■ 全部読む ■ 必要なところだけ読む □ あまり読まない ▨ 読まない ▩ あることを知らない □ 無回答

「広報じょうよう」の閲読状況を年齢別にみると、10・20歳代では、『読まない』（「読まない」と「あまり読まない」を合わせた割合）が44.8%（13件）、「あることを知らない」が20.7%（6件）と高く、『読む』（「全部読む」と「必要なところだけ読む」を合わせた割合）は34.4%（10件）にとどまっています。40歳代以上では『読む』が8割を超えており、中でも70歳代以上は「全部読む」が4割近くになっています。（図3-13-1）

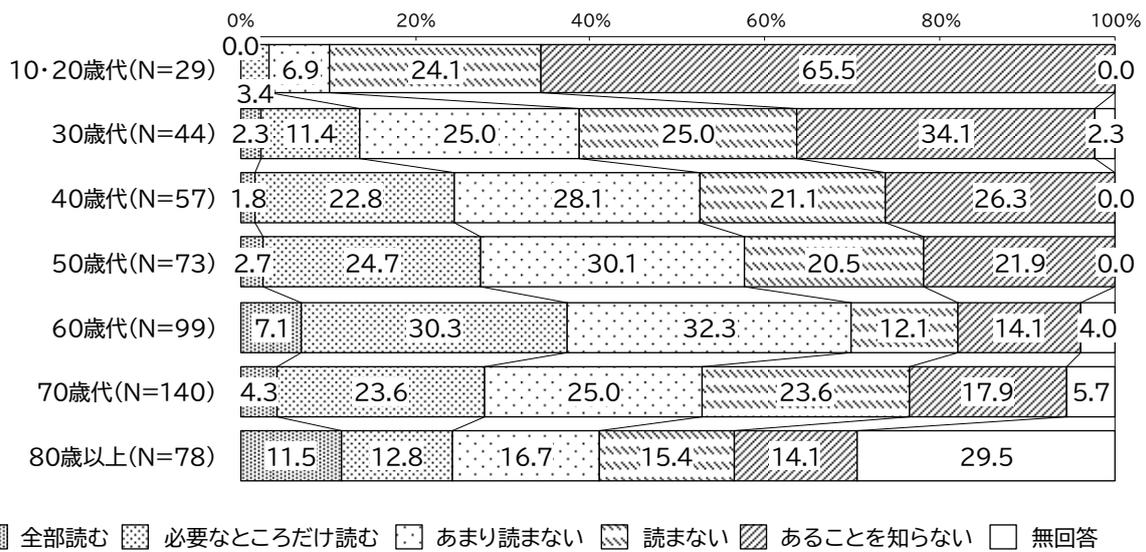
図3-13-2 年齢別「市議会だより」の閲読状況



■ 全部読む ■ 必要なところだけ読む □ あまり読まない ▨ 読まない ▩ あることを知らない □ 無回答

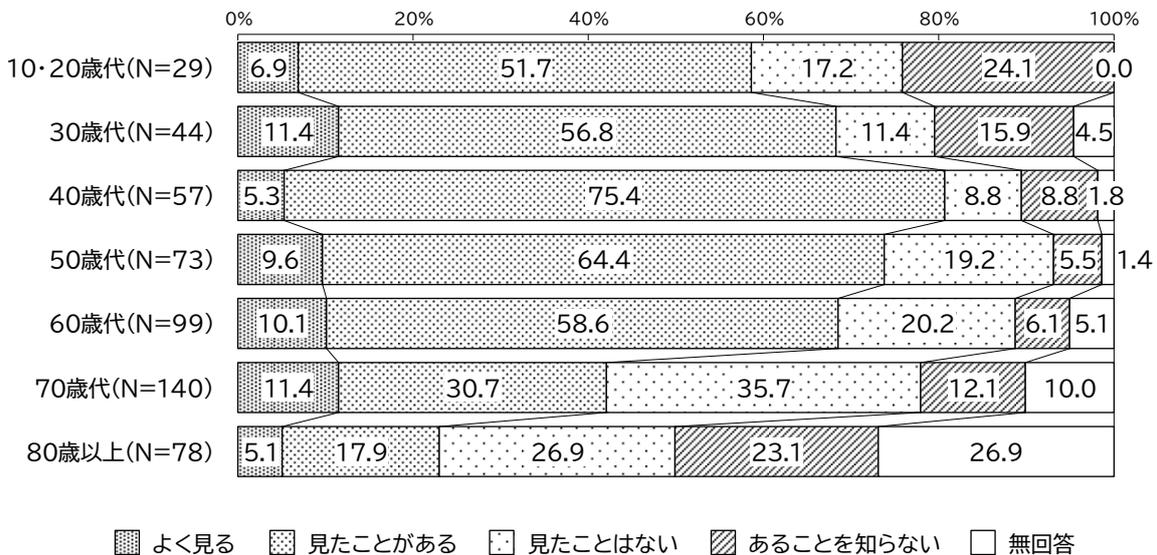
「市議会だより」の閲読状況を年齢別にみると、『読む』（「全部読む」と「必要なところだけ読む」を合わせた割合）という人の割合は年代が高い層ほど概ね高く、10・20歳代では1割未満と低くなっていますが、70歳代以上では5割を超えています。（図3-13-2）

図3-13-3 年齢別 生涯学習情報紙「まなびEye」の閲読状況



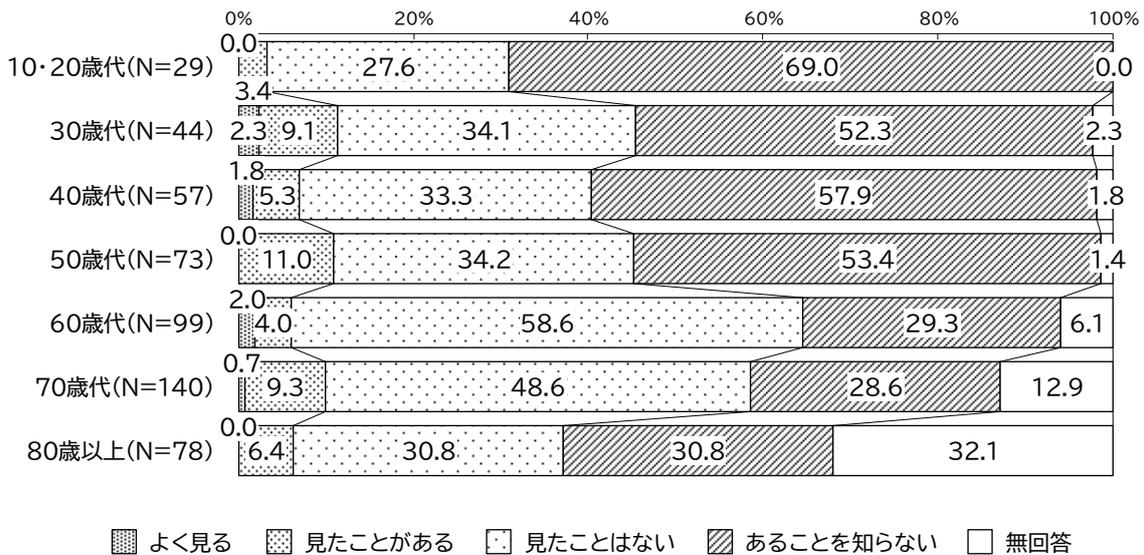
生涯学習情報紙「まなびEye」の閲読状況を年齢別にみると、30歳代から50歳代では『読まない』（「読まない」と「あまり読まない」を合わせた割合）が約5割、「あることを知らない」は10・20歳代で6割台と高くなっています。60歳代では『読む』（「全部読む」と「必要なところだけ読む」を合わせた割合）が4割弱で、他の年代よりも高くなっています。（図3-13-3）

図3-13-4 年齢別 城陽市公式ホームページの閲覧状況



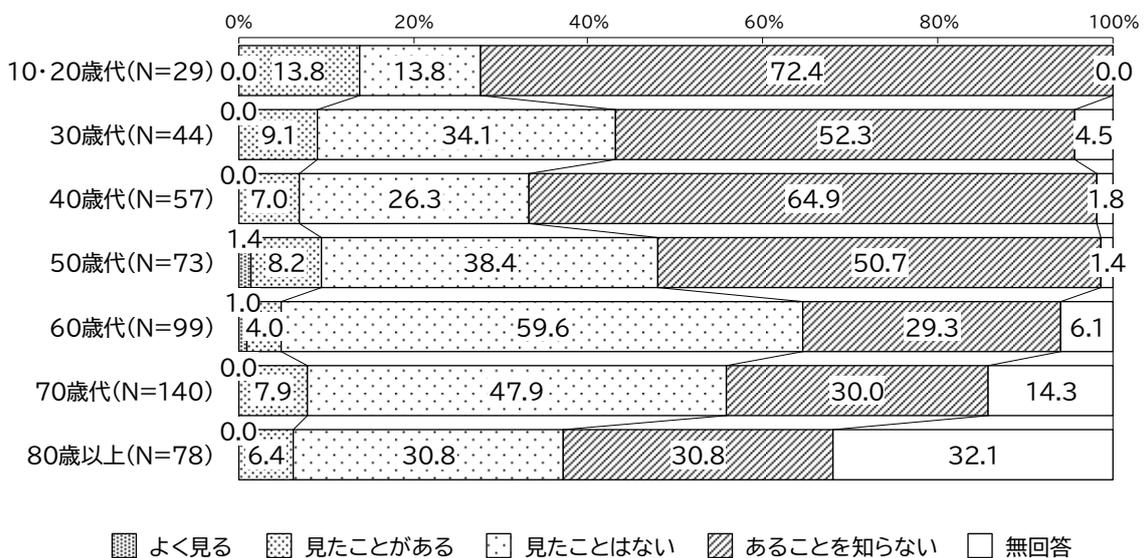
城陽市公式ホームページの閲覧状況を年齢別にみると、『見たことがある』（「よく見る」と「見たことがある」を合わせた割合）は40歳代で80.7%（46件）と最も高くなっており、その他の年代でも60歳代以下ではいずれも5割以上となっています。一方、70歳代では42.1%（59件）、80歳以上では23.0%（18件）と年代が高くなるにつれて割合が低くなっています。（図3-13-4）

図3-13-5 年齢別 城陽市公式Facebookの閲覧状況



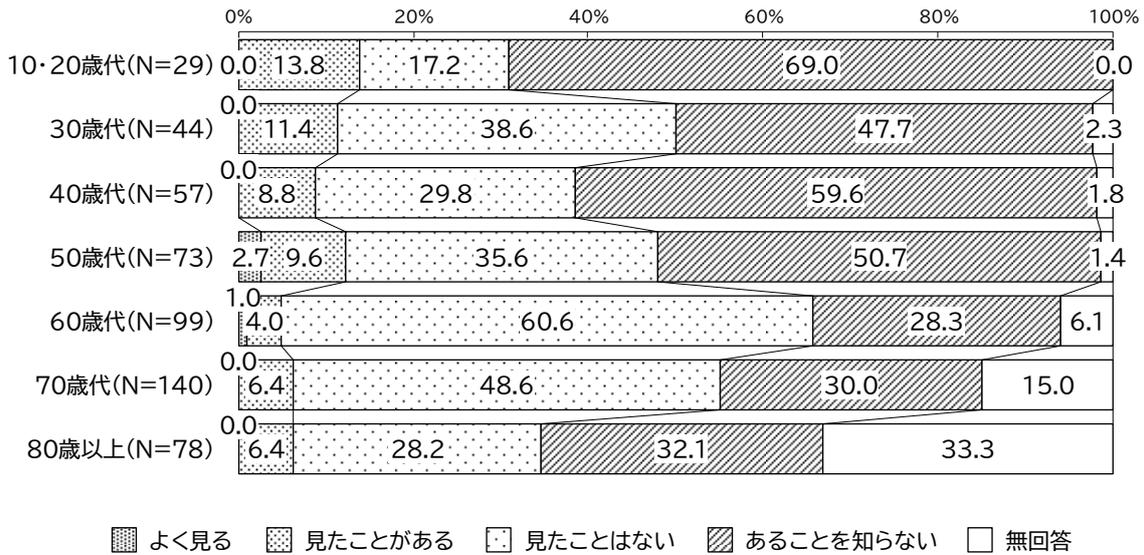
城陽市公式Facebookの閲覧状況を年齢別にみると、いずれの年代でも「見たことはない」と「あることを知らない」が多くを占め、10・20歳代では特に「あることを知らない」の割合が高くなっています。『見たことがある』（「よく見る」と「見たことがある」を合わせた割合）は30歳代では11.4%（5件）、50歳代では11.0%（8件）と他の年代よりもやや高くなっています。（図3-13-5）

図3-13-6 年齢別 城陽市公式X(旧Twitter)の閲覧状況



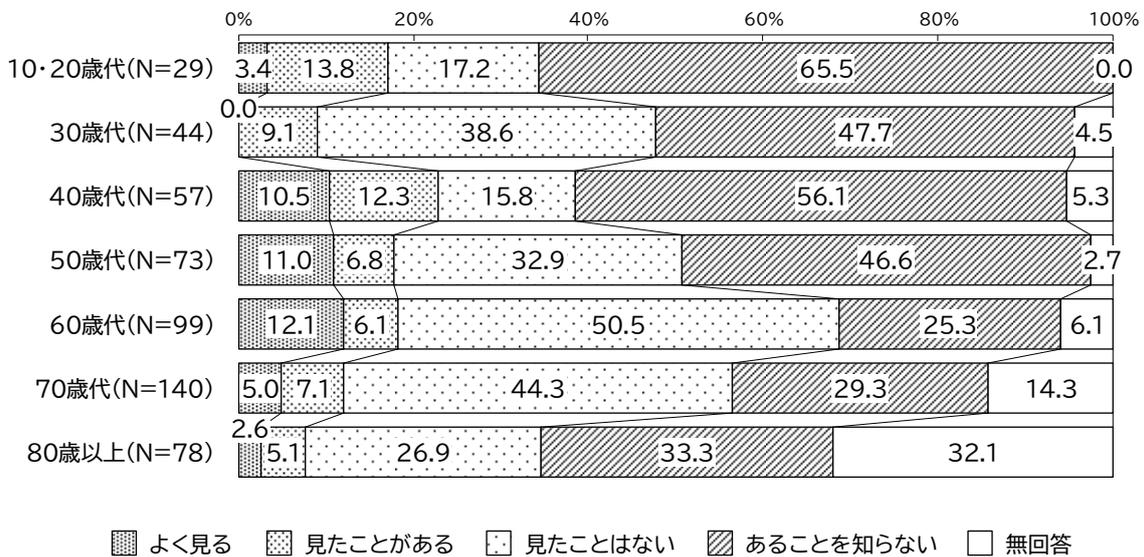
城陽市公式X（旧Twitter）の閲覧状況を年齢別にみると、50歳代以下では「あることを知らない」、60歳代から70歳代では「見たことはない」、80歳以上では「見たことはない」と「あることを知らない」の割合が最も高くなっています。10・20歳代では『見たことがある』（「よく見る」と「見たことがある」を合わせた割合）が13.8%（4件）と他の年代よりもやや高くなっています。（図3-13-6）

図3-13-7 年齢別 城陽市公式Instagramの閲覧状況



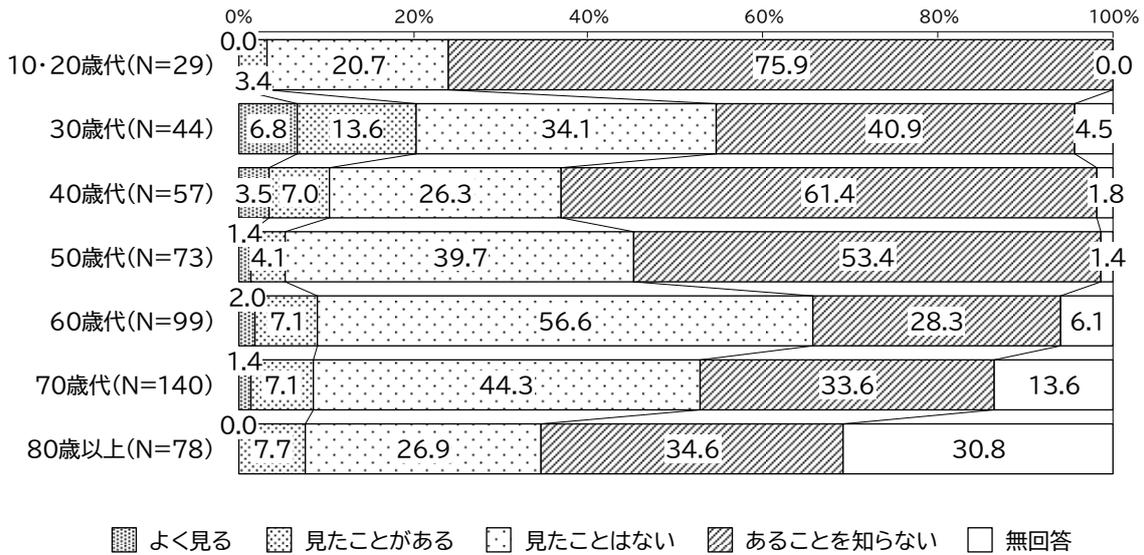
城陽市公式Instagramの閲覧状況を年齢別にみると、50歳代以下と80歳以上では「あることを知らない」、60歳代から70歳代では「見たことはない」の割合が最も高くなっています。10・20歳代では『見たことがある』（「よく見る」と「見たことがある」を合わせた割合）が13.8%（4件）と他の年代よりもやや高くなっています。（図3-13-7）

図3-13-8 年齢別 城陽市LINE公式アカウントの閲覧状況



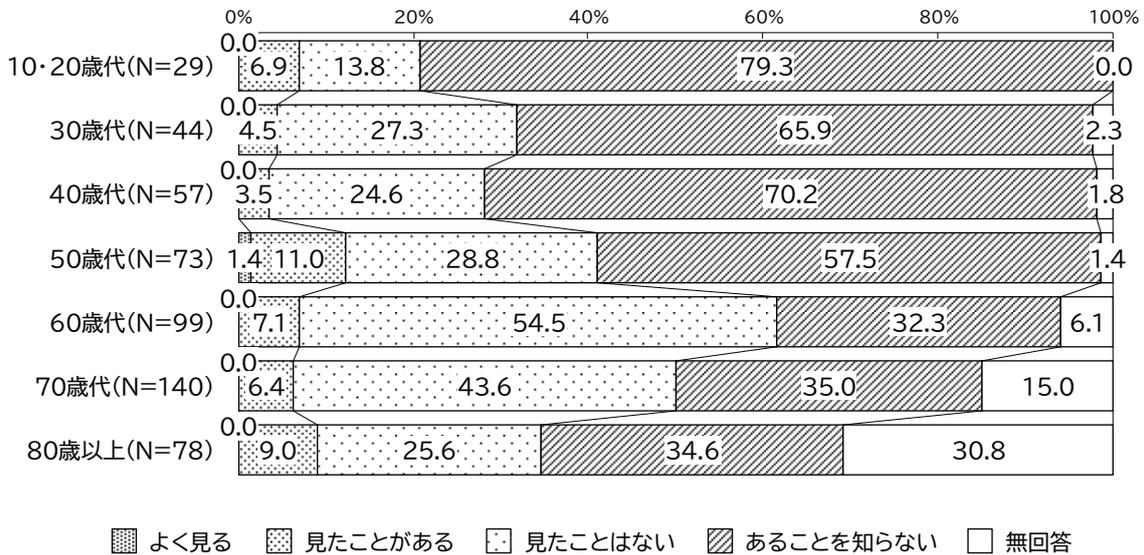
城陽市LINE公式アカウントの閲覧状況を年齢別にみると、50歳代以下と80歳以上では「あることを知らない」、60歳代から70歳代では「見たことはない」の割合が最も高くなっています。40歳代では『見たことがある』（「よく見る」と「見たことがある」を合わせた割合）が22.8%（13件）と他の年代よりも高くなっています。（図3-13-8）

図3-13-9 年齢別 城陽市LINE公式アカウント(子育て支援・多世代交流情報)の閲覧状況



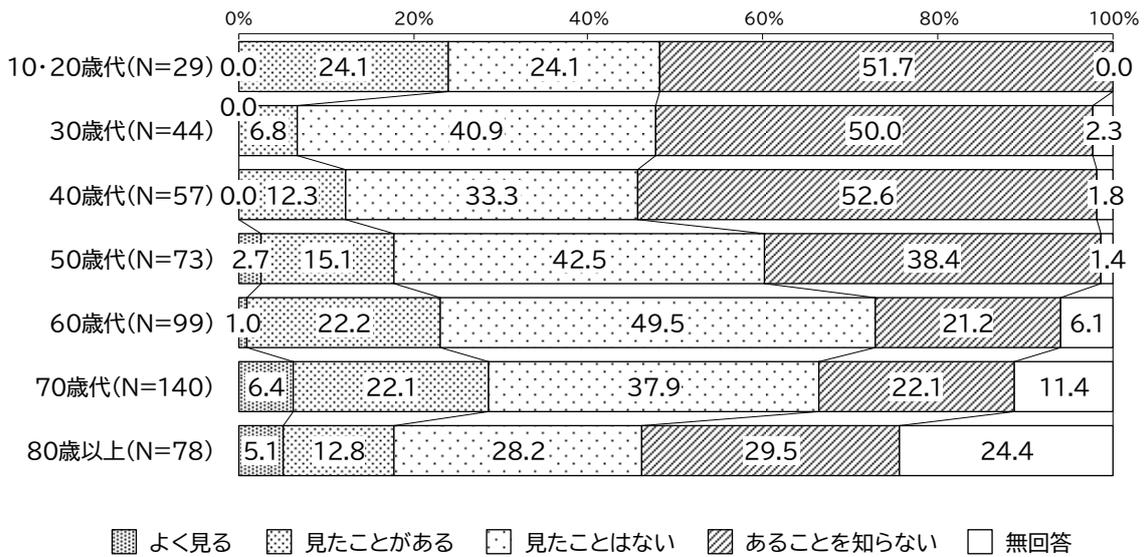
城陽市LINE公式アカウント(子育て支援・多世代交流情報)の閲覧状況を年齢別にみると、50歳代以下と80歳以上では「あることを知らない」、60歳代から70歳代では「見たことはない」の割合が最も高くなっています。30歳代では『見たことがある』(「よく見る」と「見たことがある」を合わせた割合)が20.4%(9件)と他の年代よりも高くなっています。(図3-13-9)

図3-13-10 年齢別 城陽市公式YouTubeチャンネルの視聴状況



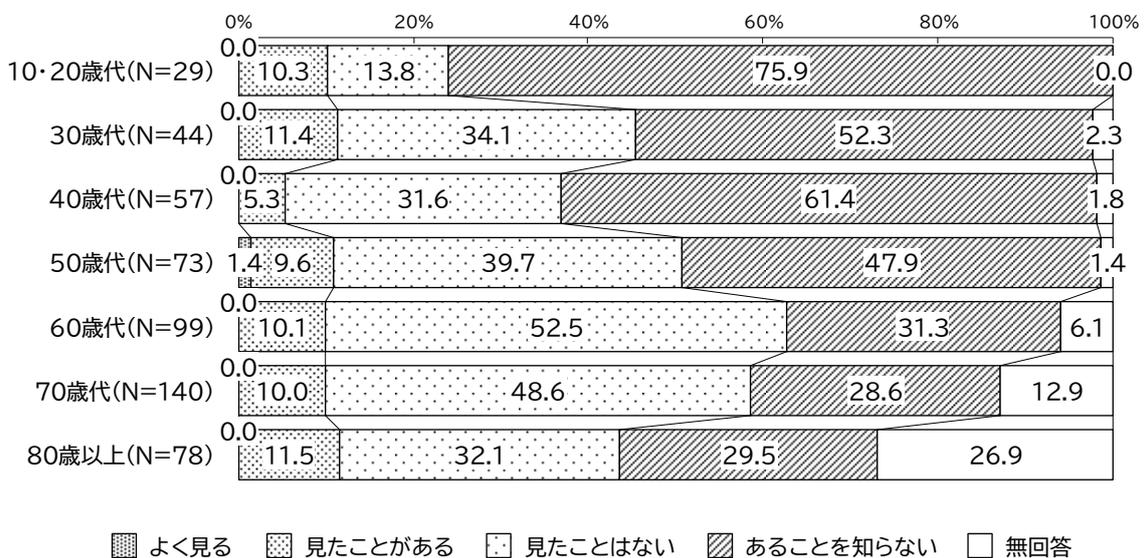
城陽市公式YouTubeチャンネルの視聴状況を年齢別にみると、50歳代以下と80歳以上では「あることを知らない」、60歳代から70歳代では「見たことはない」の割合が最も高くなっています。50歳代では『見たことがある』(「よく見る」と「見たことがある」を合わせた割合)が12.4%(9件)と他の年代よりも高くなっています。(図3-13-10)

図3-13-11 年齢別 城陽市議会ホームページの閲覧状況



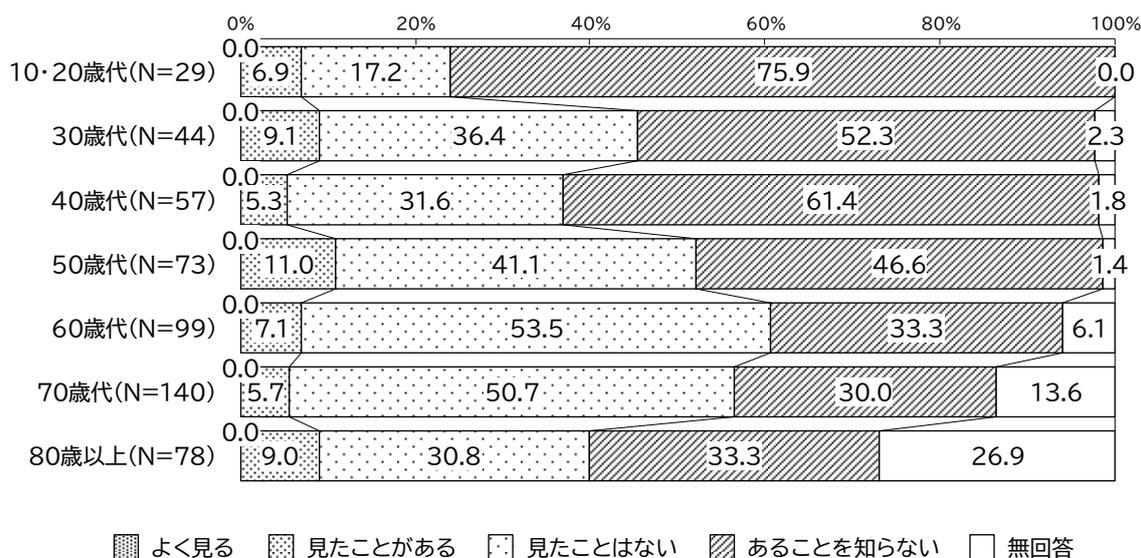
城陽市議会ホームページの閲覧状況を年齢別にみると、10・20歳代から40歳代で「あることを知らない」がいずれも5割以上となっています。『見たことがある』（「よく見る」と「見たことがある」を合わせた割合）は10・20歳代、60歳代から70歳代でいずれも2割台で、他の年代よりも高くなっています。（図3-13-11）

図3-13-12 年齢別 城陽市議会本会議中継(インターネット・市役所ロビー)の視聴状況



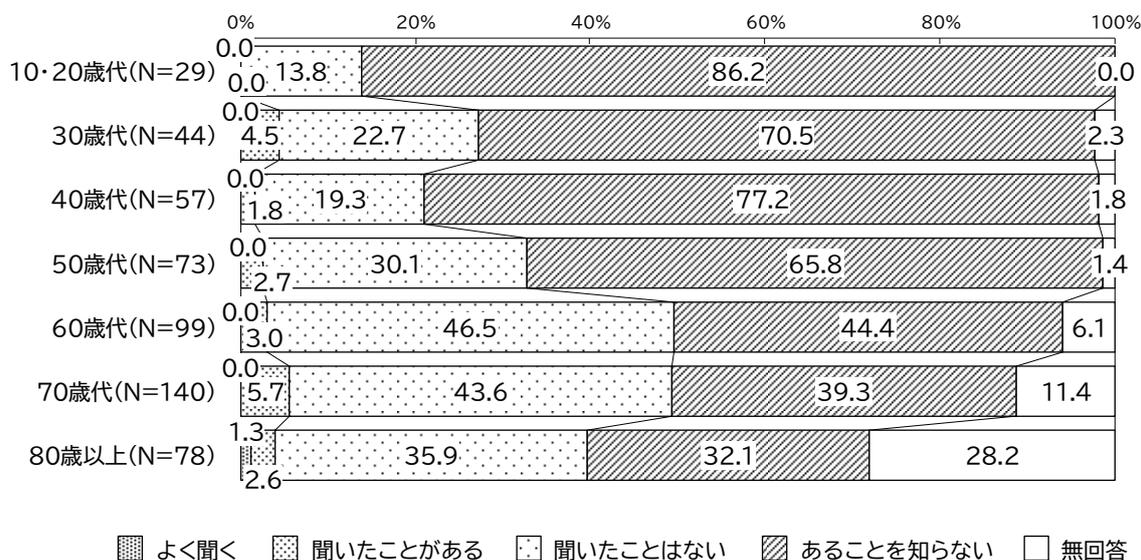
城陽市議会本会議中継の視聴状況を年齢別にみると、50歳代以下の年代では「あることを知らない」の割合が最も高くなっています。『見たことがある』（「よく見る」と「見たことがある」を合わせた割合）は40歳代の5.3%（3件）が各年代の中で最も低くなっています。（図3-13-12）

図3-13-13 年齢別 城陽市議会委員会中継(インターネット・市役所ロビー)の視聴状況



城陽市議会委員会中継の視聴状況を年齢別にみると、50歳代以下の年代では「あることを知らない」の割合が最も高くなっています。『見たことがある』（「よく見る」と「見たことがある」を合わせた割合）は50歳代の11.0%（8件）が各年代の中で最も高くなっています。（図3-13-13）

図3-13-14 年齢別 FM放送「城陽パープルタイム」の聴取状況

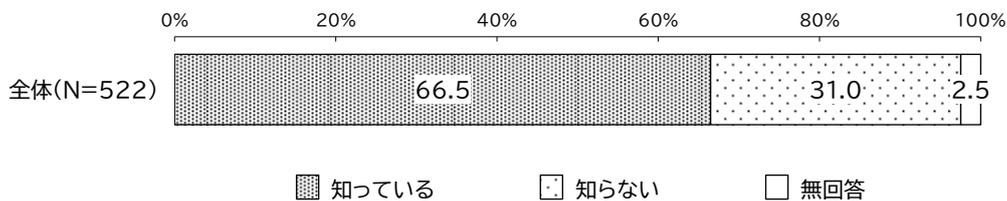


FM放送「城陽パープルタイム」の聴取状況を年齢別にみると、『聞いたことがある』（「よく聞く」と「聞いたことがある」を合わせた割合）は70歳代で5.7%（8件）などとなっており、50歳代以下の年代では「あることを知らない」の割合が最も高くなっています。（図3-13-14）

(14)城陽イメージキャラクター「じょうりんちゃん」の認知度

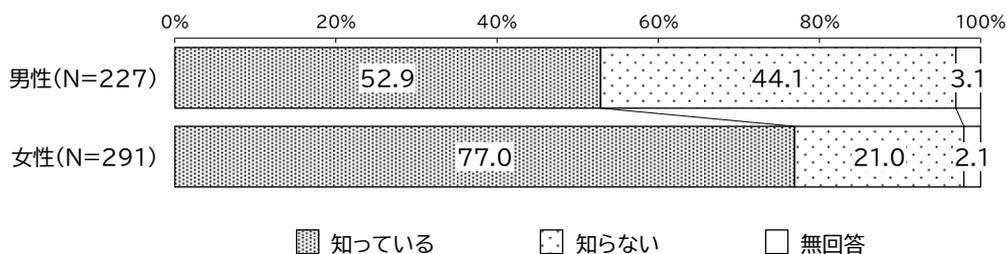
Ⅲ. 問 12 城陽イメージキャラクター「じょうりんちゃん」を知っていますか。

図3-14 「じょうりんちゃん」の認知度



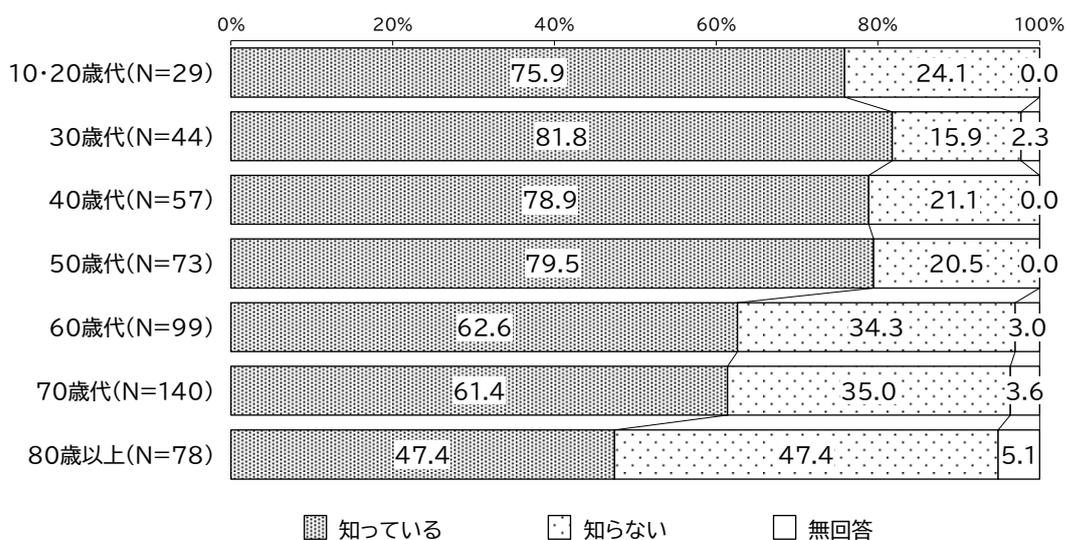
城陽市のイメージキャラクター「じょうりんちゃん」の認知度については、「知っている」が66.5% (347件)、「知らない」が31.0% (162件) となっています。(図3-14)

図3-14-1 男女別「じょうりんちゃん」の認知度



男女別にみると、「知っている」の割合は、男性52.9% (120件) よりも、女性77.0% (224件) の方が高くなっています。(図3-14-1)

図3-14-2 年齢別「じょうりんちゃん」の認知度

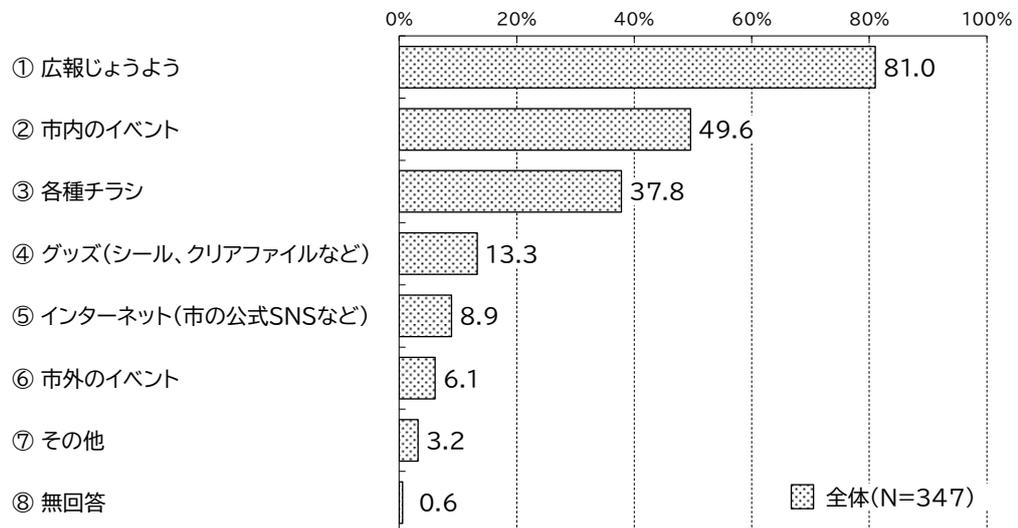


年齢別にみると、30歳代で「知っている」の割合が特に高く、8割を超えています。(図3-14-2)

(15)「じょうりんちゃん」の認知経路

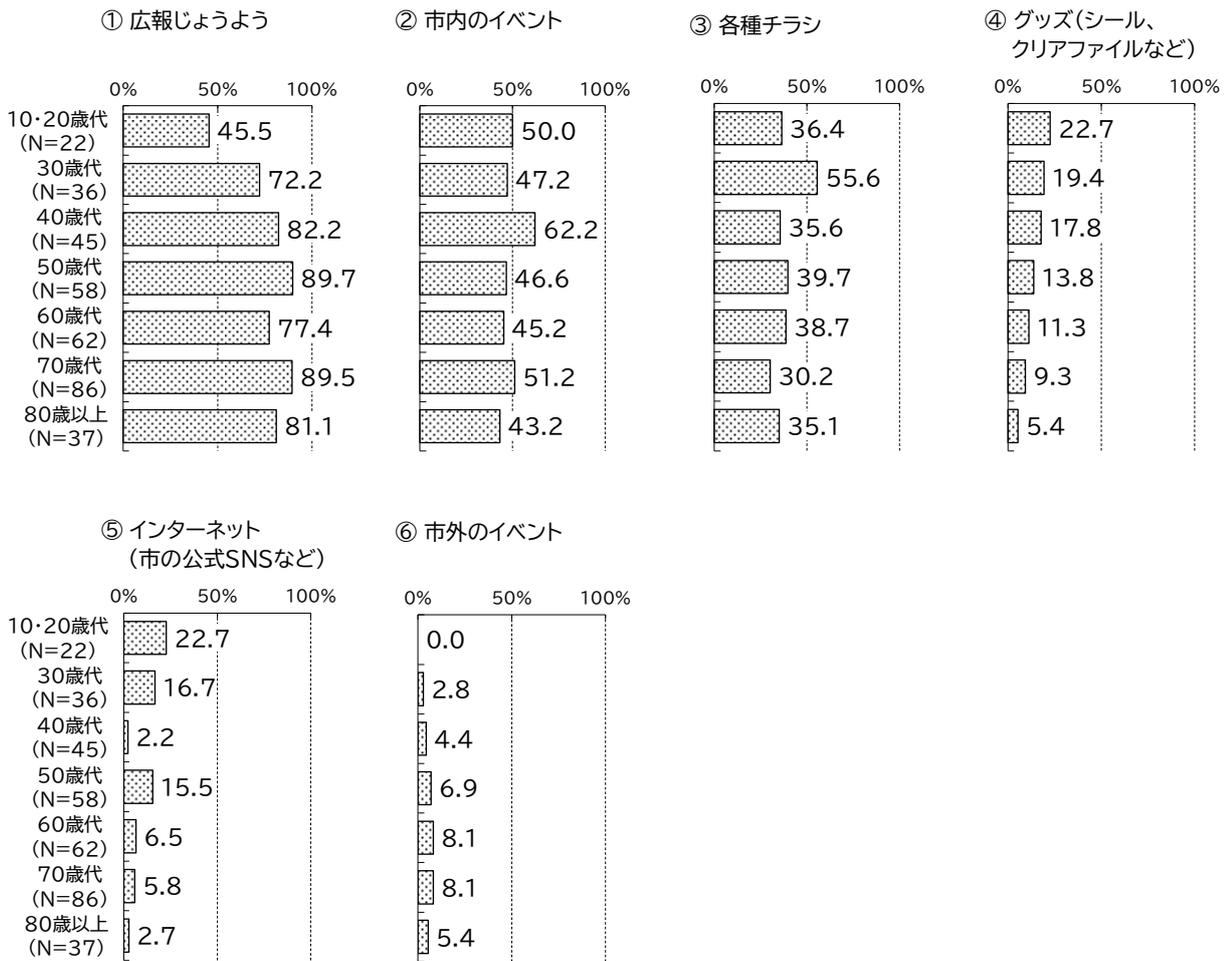
Ⅲ. 問 12-1 問 12 で「1. 知っている」と回答した方にお聞きします。じょうりんちゃんをどこで見たことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

図3-15 「じょうりんちゃん」の認知経路



「じょうりんちゃん」を知った経路については、「①広報じょうよう」が81.0% (281件) と最も高く、次いで、「②市内のイベント」が49.6% (172件)、「③各種チラシ」が37.8% (131件) となっています。(図3-15)

図3-15-1 年齢別「じょうりんちゃん」の認知経路

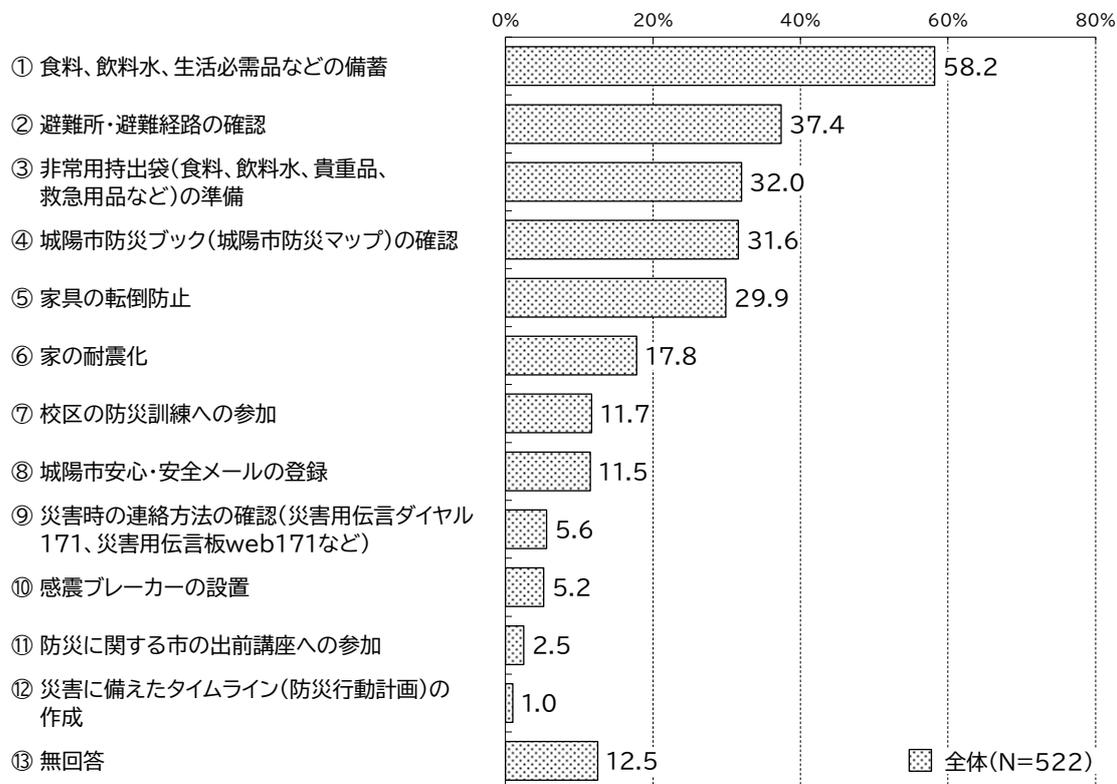


年齢別にみると、「①広報じょうよう」で知った割合は50歳代、70歳代では9割近くになっています。「④グッズ(シール、クリアファイルなど)」で知った割合は年齢が低くなるほど高くなっています。また、30歳代では「③各種チラシ」が、「40歳代では「②市内のイベント」が他の年代よりも高くなっています。(図3-15-1)

(16)実施している災害への備え

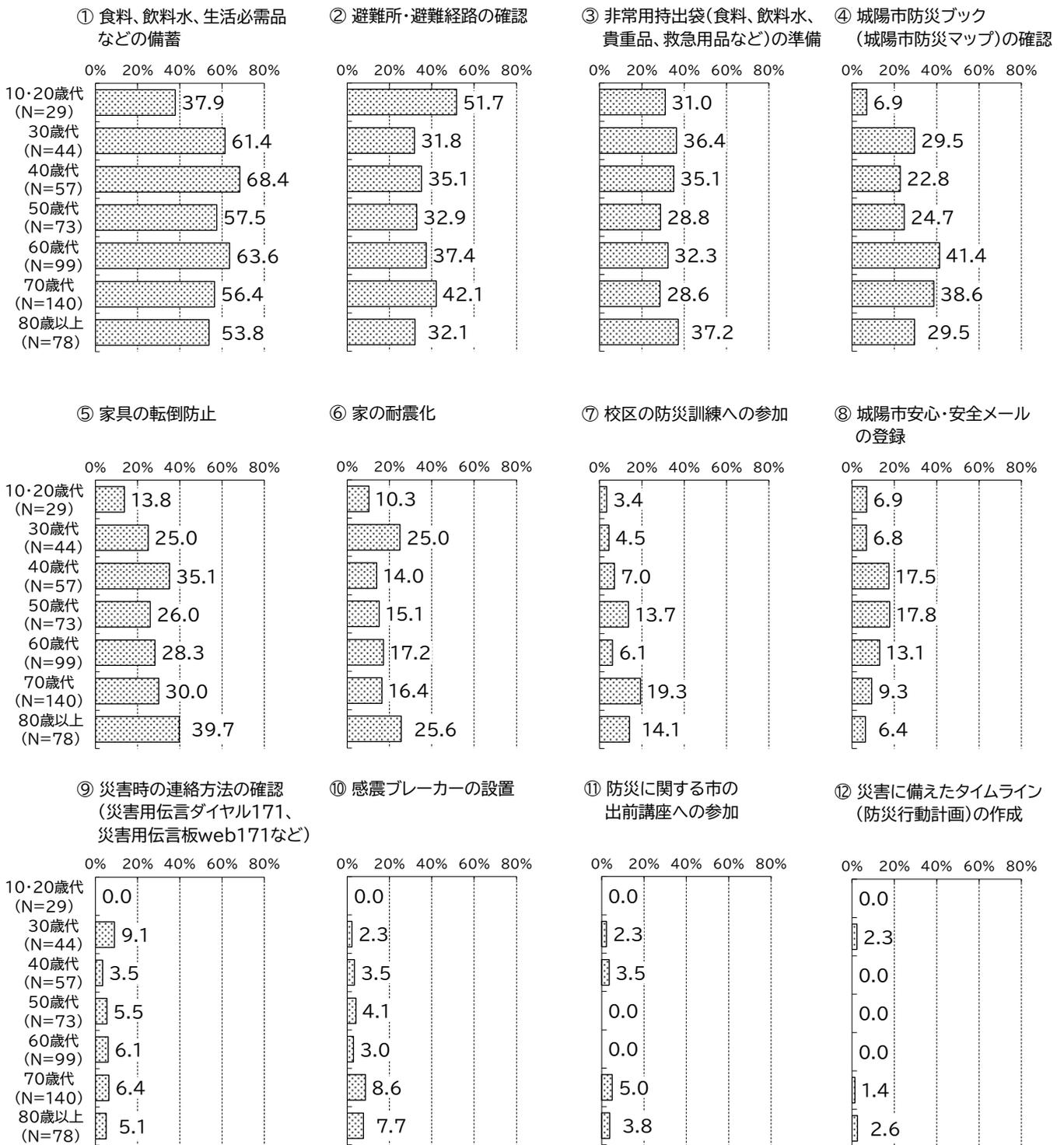
Ⅲ. 問 13 あなたが実施している災害の備えは次のどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

図3-16 実施している災害への備え



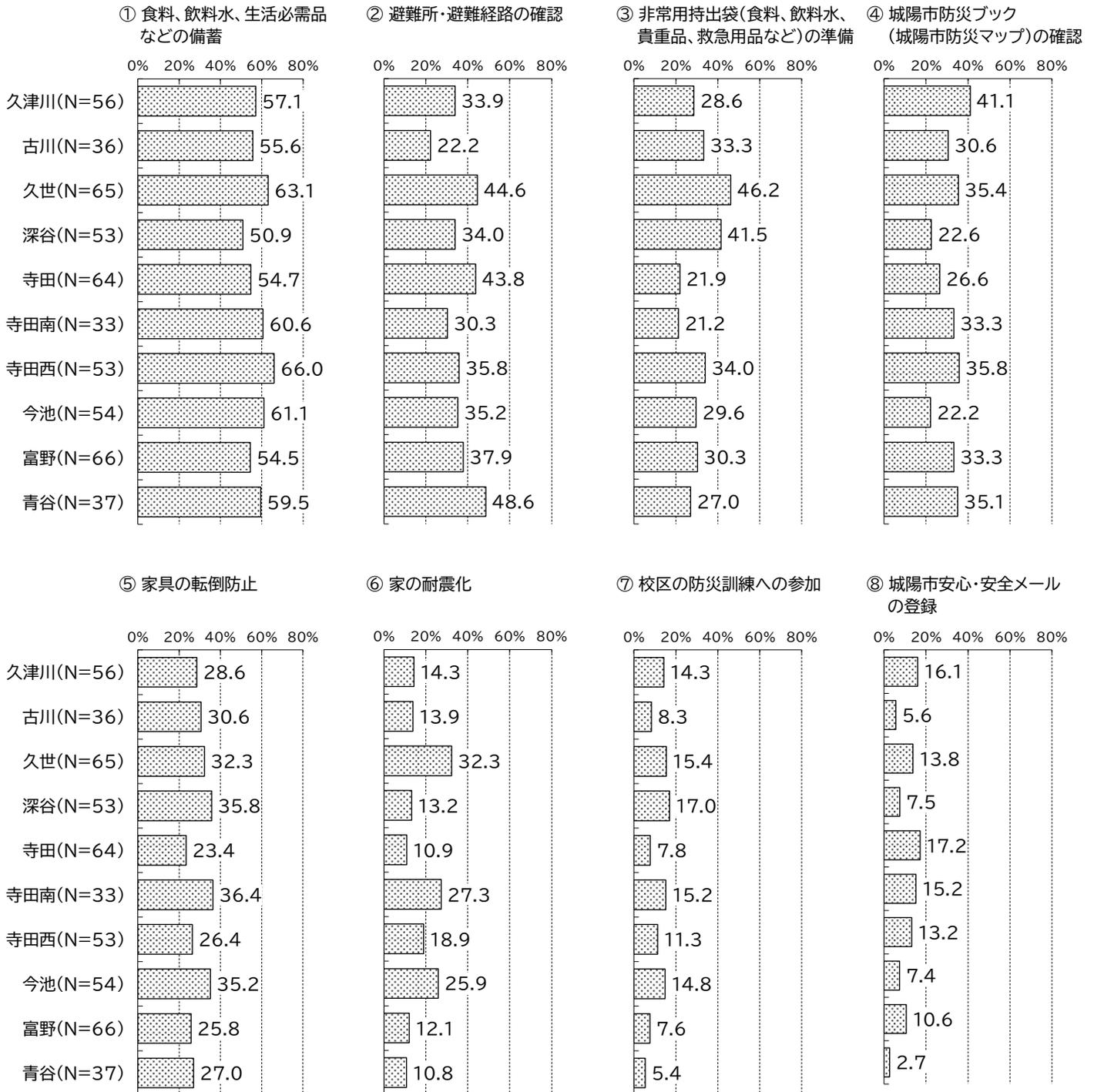
実施している災害の備えについては、「①食料、飲料水、生活必需品などの備蓄」が58.2% (304件)で最も高く、次いで、「②避難所・避難経路の確認」が37.4% (195件)、「③非常用持出袋(食料、飲料水、貴重品、救急用品など)の準備」が32.0% (167件)、「④城陽市防災ブック(城陽市防災マップ)の確認」が31.6% (165件)、「⑤家具の転倒防止」が29.9% (156件)となっています。(図3-16)

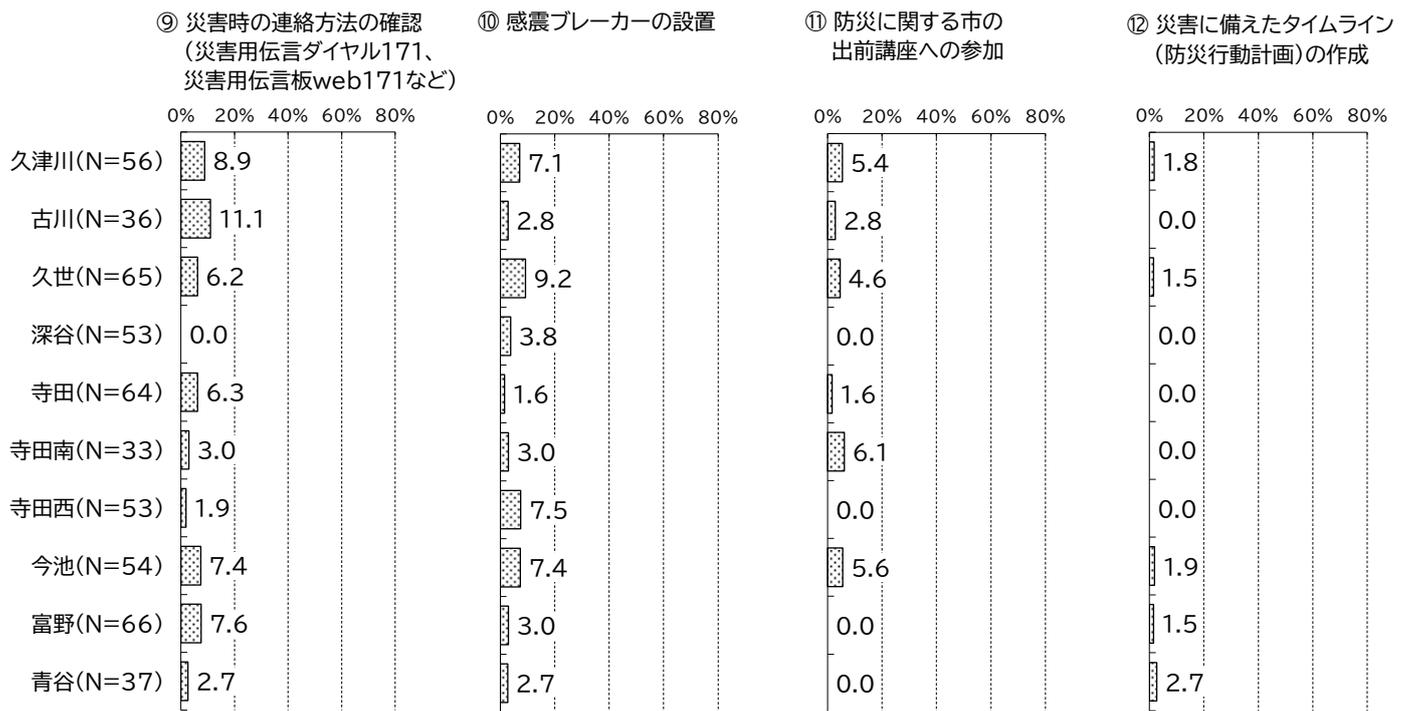
図3-16-1 年齢別 実施している災害への備え



年齢別にみると、10・20歳代を除くすべての年代で「①食料、飲料水、生活必需品などの備蓄」が5割を超えており、最も高くなっています。10・20歳代は「②避難所・避難経路の確認」が51.7% (15件) で最も高くなっています。また、60歳代以上では「④城陽市防災ブック (城陽市防災マップ) の確認」、80歳以上では「⑤家具の転倒防止」も高くなっています。(図3-16-1)

図3-16-2 居住小学校区別 実施している災害への備え





居住小学校区別にみると、いずれの小学校区でも「①食料、飲料水、生活必需品などの備蓄」が最も高く、久世、寺田南、寺田西、今池では6割を超えています。

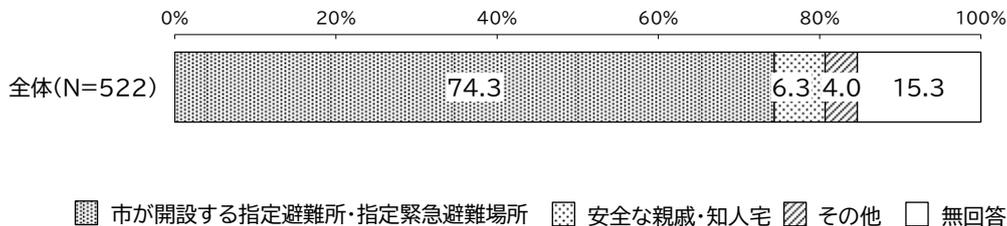
久世、寺田、青谷では「②避難所・避難経路の確認」が4割台と高くなっています。また、久世では「③非常用持出袋（食料、飲料水、貴重品、救急用品など）の準備」、久津川では「④城陽市防災ブック（城陽市防災マップ）の確認」も4割以上と高くなっています。（図3-16-2）

(17)大規模災害が発生した際の避難先

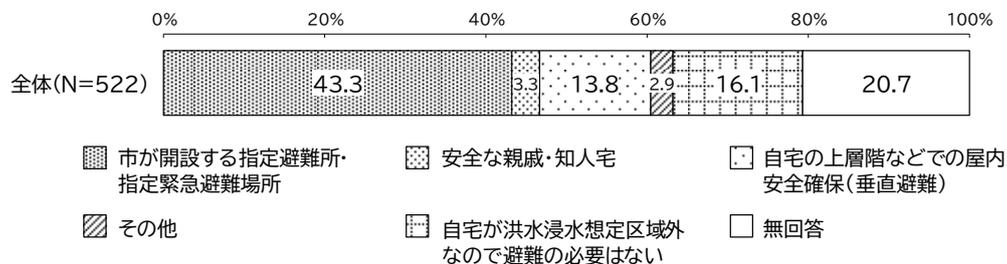
Ⅲ. 問 14 城陽市内で大規模災害が発生した場合、どこに避難しますか。

図3-17 大規模災害が発生した際の避難先

①地震



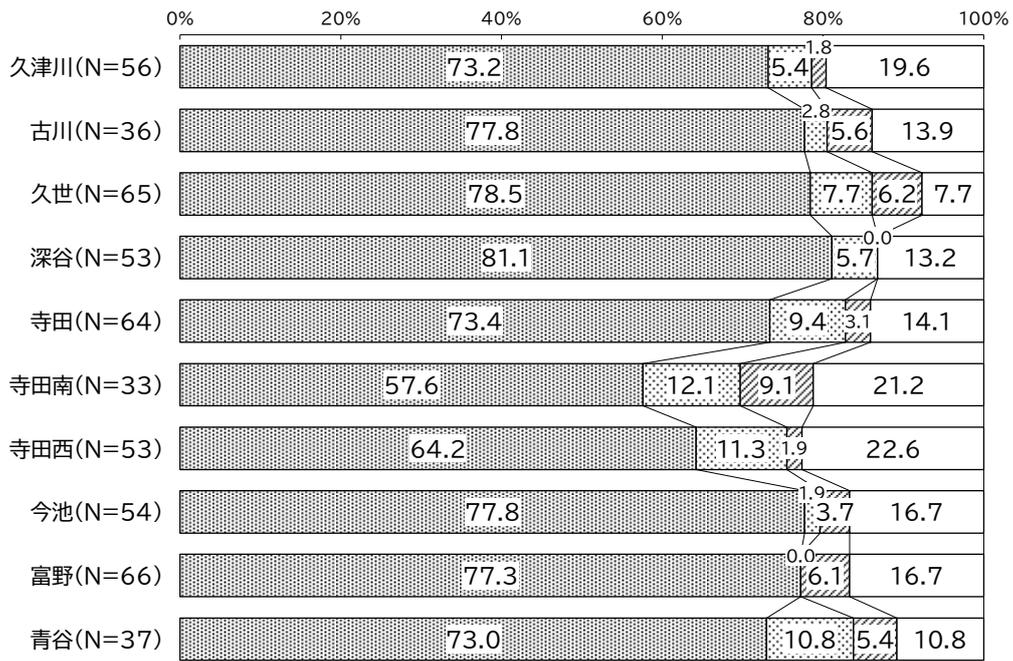
②水害



城陽市内で大規模災害が発生した際の避難先については、地震では「市が開設する指定避難所・指定緊急避難場所」が74.3%（388件）で最も高く、次いで、「安全な親戚・知人宅」が6.3%（33件）となっています。

水害では「市が開設する指定避難所・指定緊急避難場所」が43.3%（226件）で最も高く、次いで、「自宅が洪水浸水想定区域外なので避難の必要はない」が16.1%（84件）、「自宅の上層階などでの屋内安全確保（垂直避難）」が13.8%（72件）となっています。（図3-17）

図3-17-1 居住小学校区別 地震が発生した際の避難先



市が開設する指定避難所・指定緊急避難場所

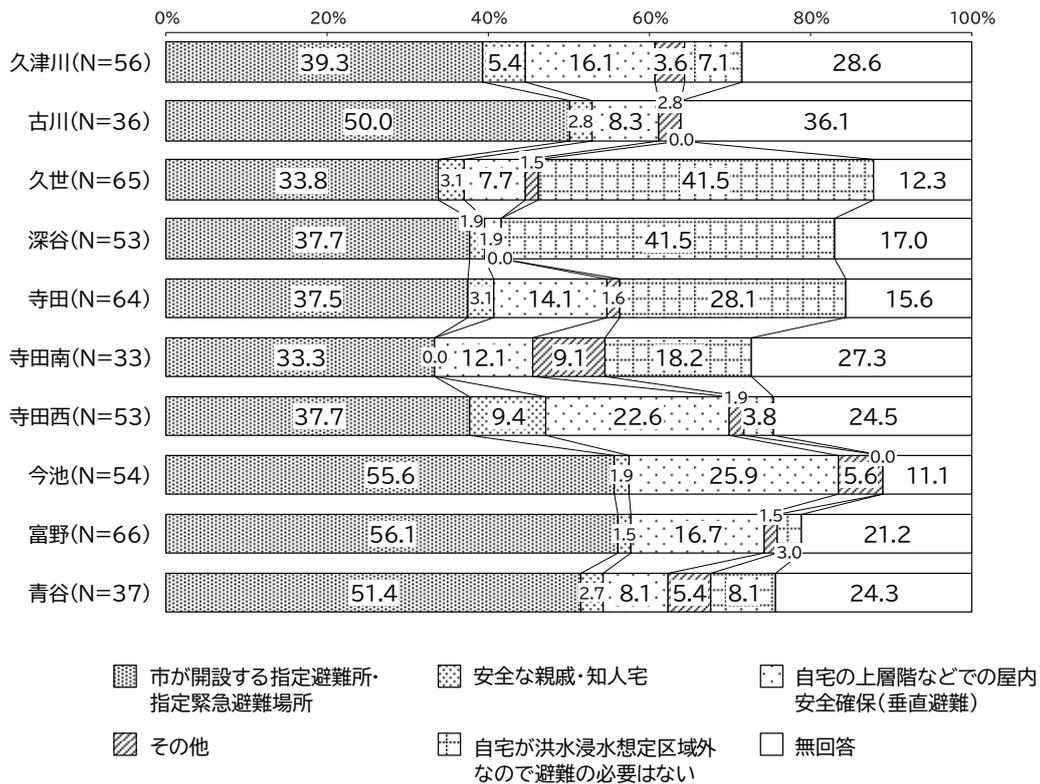
 安全な親戚・知人宅

 その他

 無回答

地震が発生した際の避難先を居住小学校区別にみると、いずれの小学校区でも「市が開設する指定避難所・指定緊急避難場所」が最も高く深谷では8割を超えています。寺田南、寺田西、青谷では「安全な親戚・知人宅」が1割を超えています。(図3-17-1)

図3-17-2 居住小学校区別 水害が発生した際の避難先

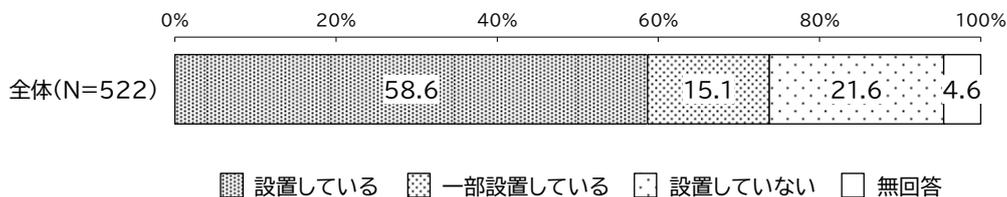


水害が発生した際の避難先を居住小学校区別にみると、久世と深谷を除く小学校区で「市が開設する指定避難所・指定緊急避難場所」が最も高く、久世と深谷は「自宅が洪水浸水想定区域外なので避難の必要はない」が最も高くなっています。古川、今池、富野、青谷では「市が開設する指定避難所・指定緊急避難場所」が5割以上となっています。(図3-17-2)

(18)住宅用火災警報器設置の有無

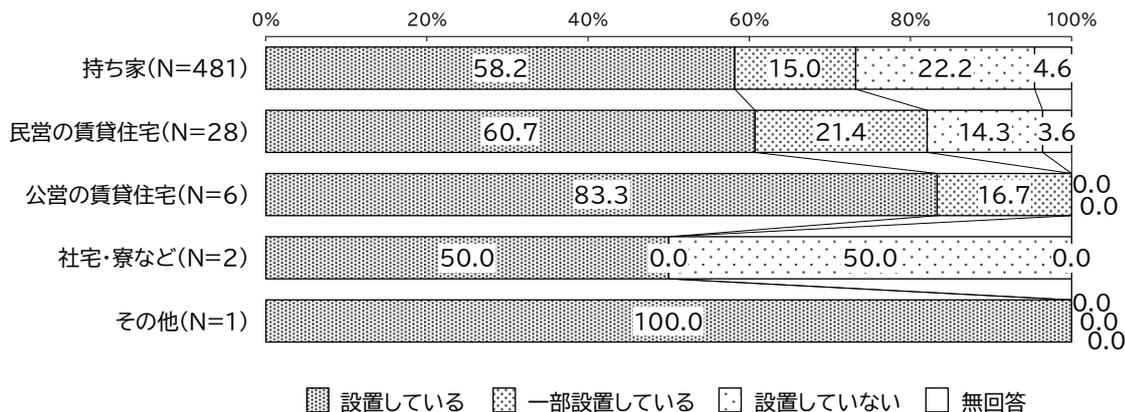
Ⅲ. 問 15 あなたがお住まいの住宅に住宅用火災警報器を設置していますか。

図3-18 住宅用火災警報器設置の有無



住宅用火災警報器設置の有無については、「設置している」が58.6% (306件) を占め、「一部設置している」が15.1% (79件)、「設置していない」が21.6% (113件) となっています。(図3-18)

図3-18-1 居住形態別 住宅用火災警報器設置の有無

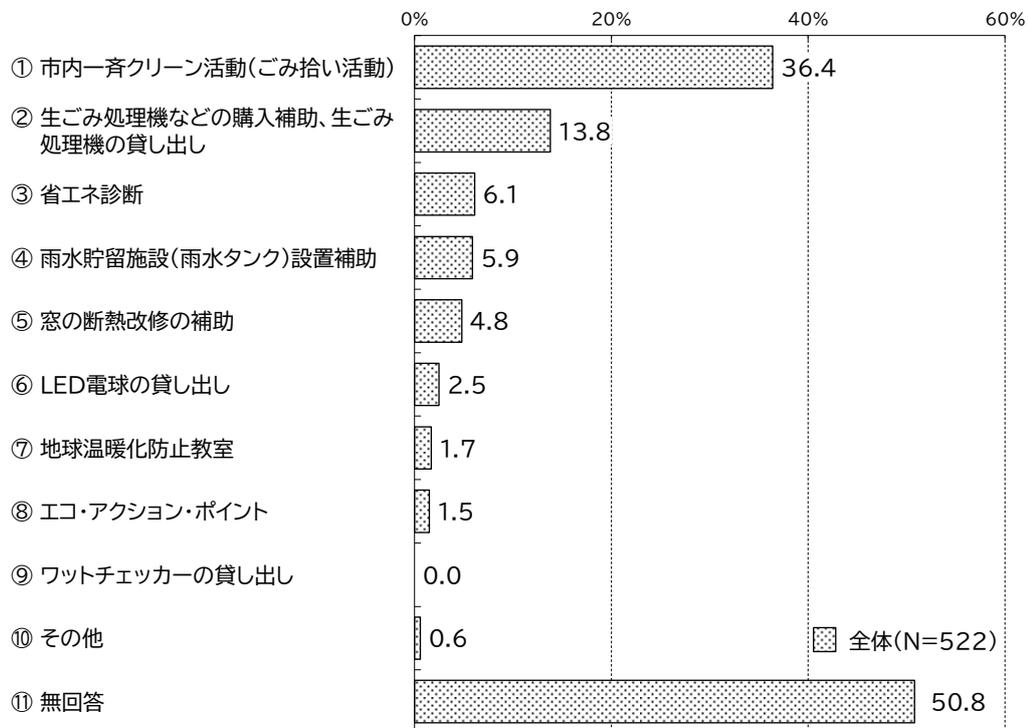


居住形態別にみると、『設置している』(「設置している」と「一部設置している」を合わせた割合)は「公営の賃貸住宅」と「その他」では設置率が100%となっていますが、「民営の賃貸住宅」では82.1% (23件)、「持ち家」では73.2% (352件)、「社宅・寮など」では50.0% (1件) にとどまっています。(図3-18-1)

(19)城陽市で実施している環境施策の認知度

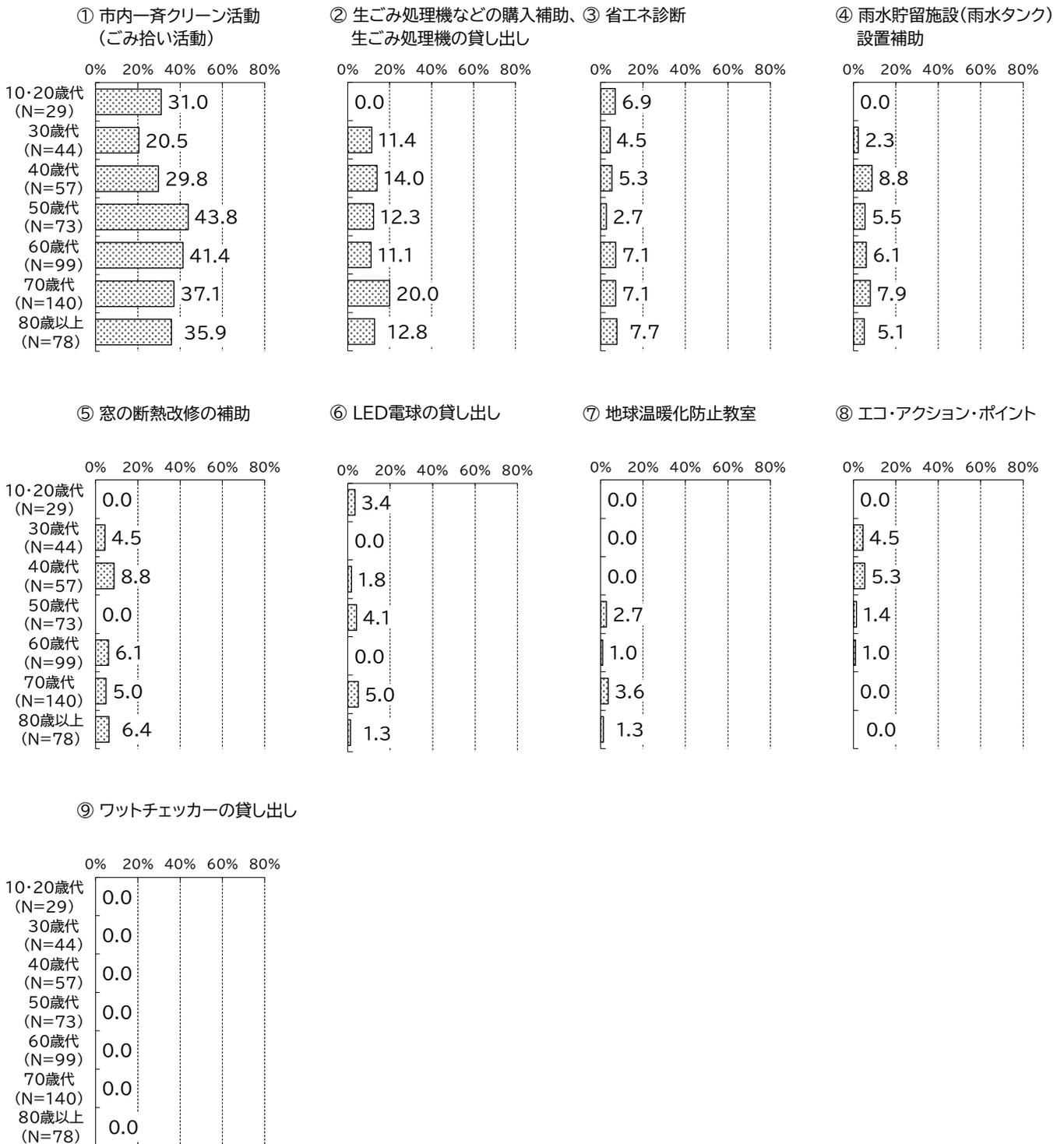
Ⅲ. 問 16 市で実施している環境施策の中で、あなたが知っているものはどれですか。知っているものすべてに○をつけてください。

図3-19 城陽市で実施している環境施策の認知度



城陽市で実施している環境施策の認知度については、「①市内一斉クリーン活動（ごみ拾い活動）」が36.4%（190件）で最も高く、次いで、「②生ごみ処理機などの購入補助、生ごみ処理機の貸し出し」が13.8%（72件）、「③省エネ診断」が6.1%（32件）、「④雨水貯留施設（雨水タンク）設置補助」が5.9%（31件）と続いています。（図3-19）

図3-19-1 年齢別 城陽市で実施している環境施策の認知度

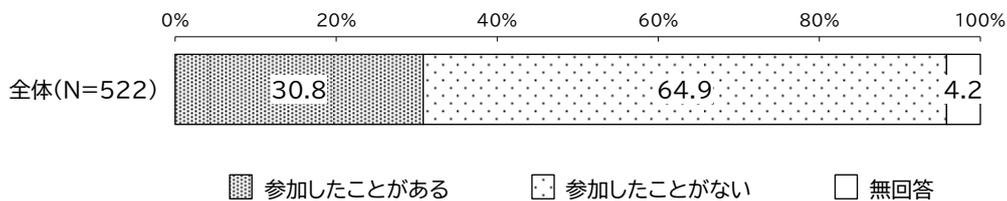


年齢別にみると、いずれの年代でも「①市内一斉クリーン活動(ごみ拾い活動)」が最も高くなっており、50歳代で43.8% (32件) となっています。また、70歳代では「②生ごみ処理機などの購入補助、生ごみ処理機の貸し出し」が20.0% (28件) と他の年代より高くなっています。(図3-19-1)

(20)環境イベント・学習会などへの参加の有無

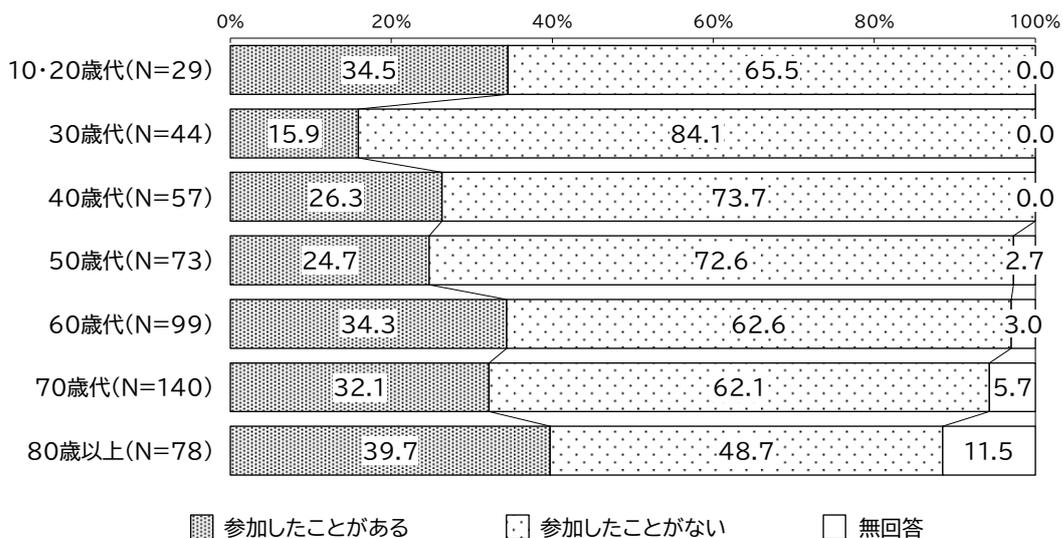
Ⅲ. 問 17 環境イベントや学習会、清掃活動などへ参加したことがありますか。

図3-20 環境イベント・学習会などへの参加の有無



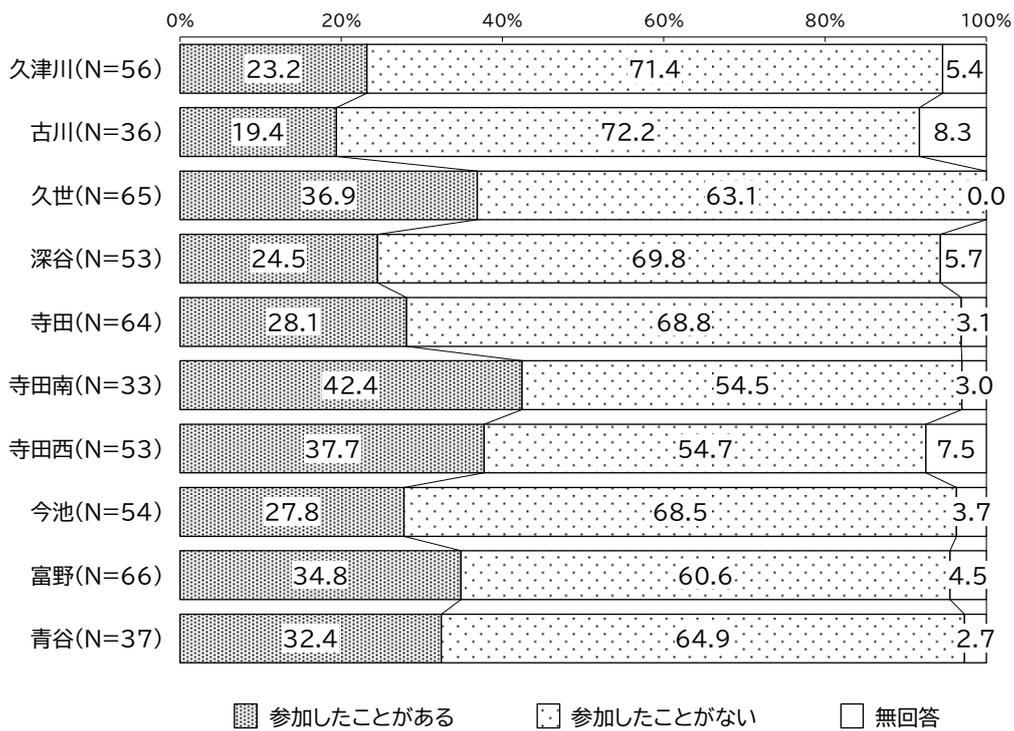
環境イベント・学習会などへの参加については、「参加したことがある」が30.8%（161件）と、「参加したことがない」64.9%（339件）を下回っています。（図3-20）

図3-20-1 年齢別 環境イベント・学習会などへの参加の有無



年齢別にみると、30歳代では「参加したことがない」が8割以上を占めています。一方、10・20歳代と60歳代以上では「参加したことがある」が比較的高く、10・20歳代で34.5%（10件）、80歳以上で39.7%（31件）となっています。（図3-20-1）

図3-20-2 居住小学校区別 環境イベント・学習会などへの参加の有無



居住小学校区別にみると、寺田南では「参加したことがある」が42.4%（14件）と他の小学校区よりも高くなっています。一方、久津川、古川では「参加したことがない」が7割以上と他の小学校区よりも高くなっています。（図3-20-2）

(21)カーボンニュートラル(地球温暖化対策)について

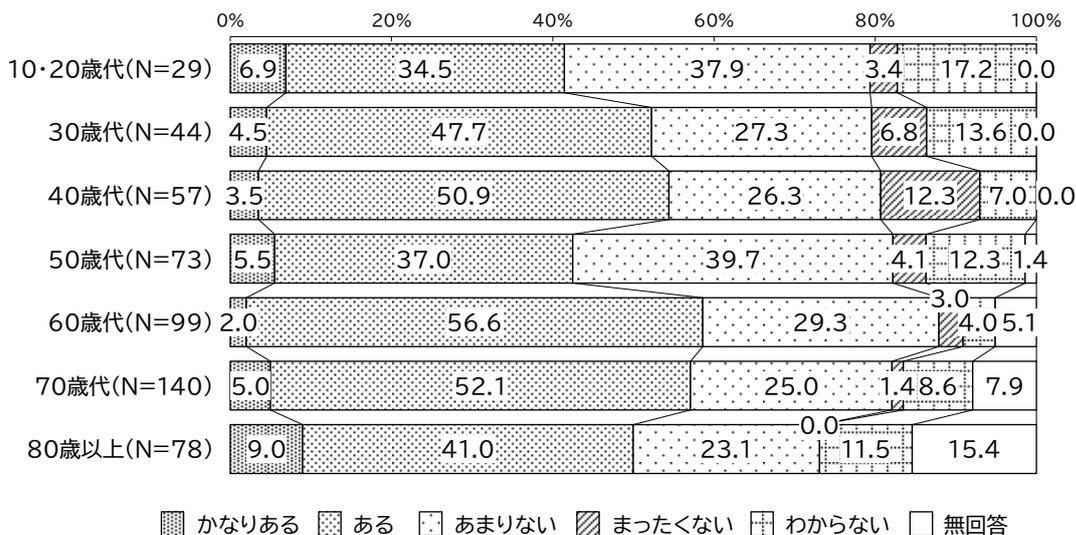
Ⅲ. 問 18 カーボンニュートラル(地球温暖化対策)について関心がありますか。

図3-21 カーボンニュートラル(地球温暖化対策)について



カーボンニュートラル（地球温暖化対策）についての関心は、「ある」が47.7%（249件）と最も高くなっており、「かなりある」が5.0%（26件）と合計した『関心がある』は52.7%（275件）となっています。（図3-21）

図3-21-1 年齢別 カーボンニュートラル(地球温暖化対策)について

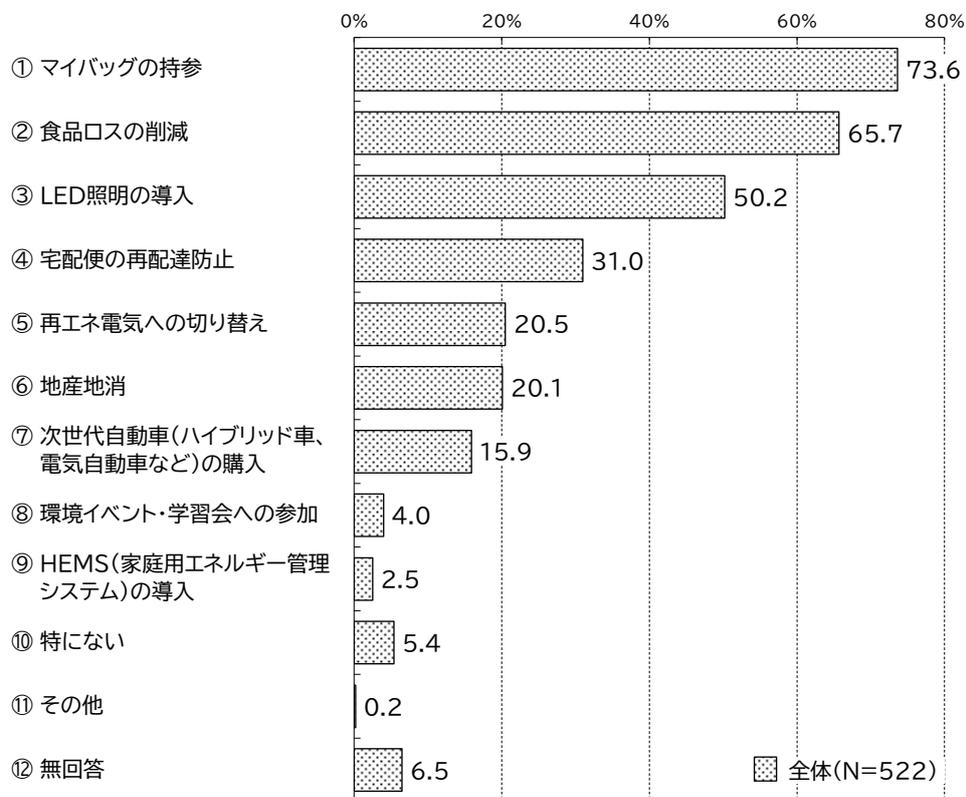


年齢別にみると、10・20歳代と50歳代では、『関心がある』（「かなりある」と「ある」を合わせた割合）が4割程度と他の年代より低くなっており、「あまりない」が3割台後半と高くなっています。それ以外の年代では、いずれも『関心がある』が5割を超えており、60歳代では58.6%（58件）と最も高くなっています。（図3-21-1）

(22)カーボンニュートラル(地球温暖化対策)に対する取り組み

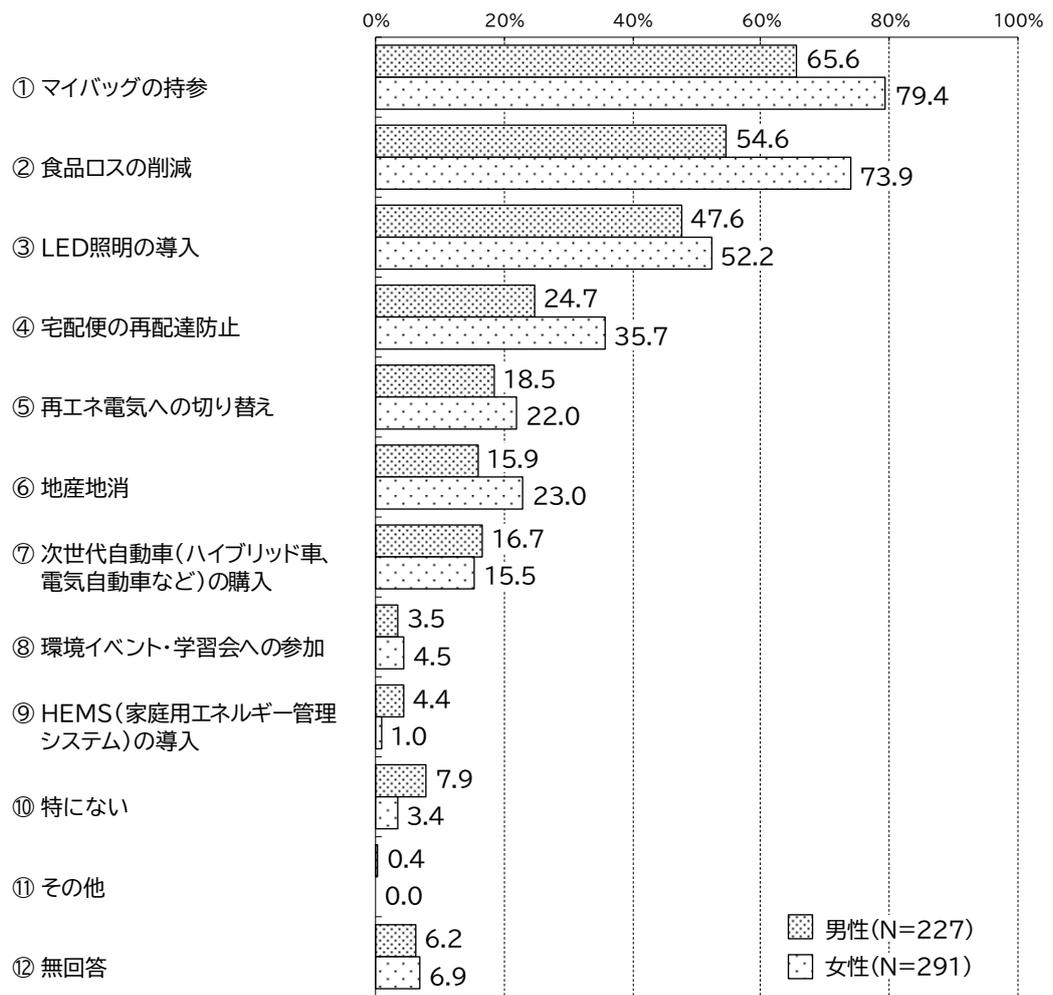
Ⅲ. 問 19 カーボンニュートラル(地球温暖化対策)について取り組んでいること、今後取り組みたいと思うものはどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

図3-22 カーボンニュートラル(地球温暖化対策)に対する取り組み



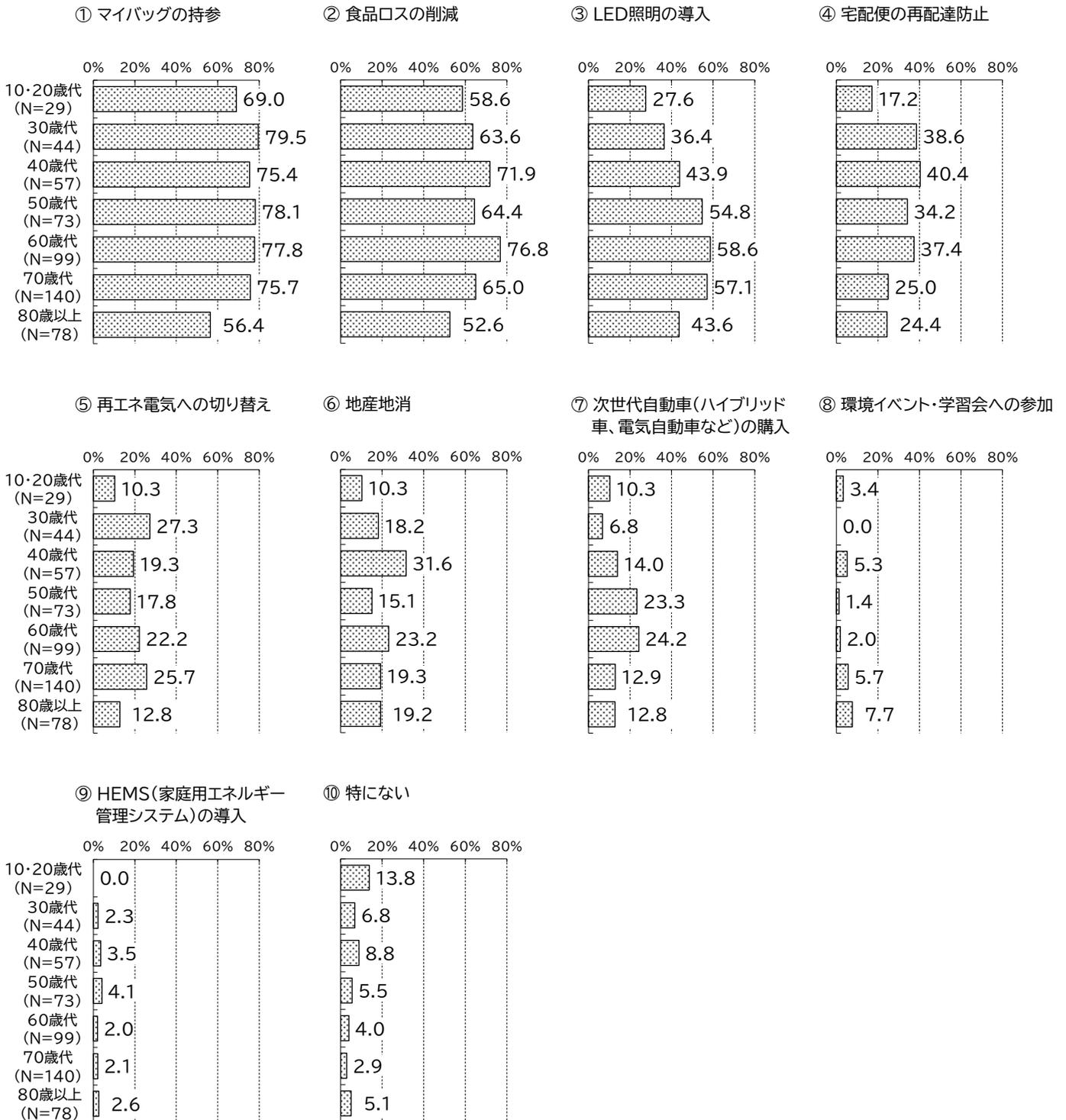
カーボンニュートラル(地球温暖化対策)に対する取り組みについては、「①マイバッグの持参」が73.6%(384件)と最も高く、次いで「②食品ロスの削減」が65.7%(343件)、「③LED照明の導入」が50.2%(262件)、「④宅配便の再配達防止」が31.0%(162件)、「⑤再エネ電気への切り替え」が20.5%(107件)、「⑥地産地消」が20.1%(105件)となっています。(図3-22)

図3-22-1 男女別 カーボンニュートラル(地球温暖化対策)に対する取り組み



男女別にみると、男女とも「①マイバッグの持参」「②食品ロスの削減」「③LED照明の導入」「④宅配便の再配達防止」の順で高くなっていますが、いずれも女性の方が割合が高く、特に「②食品ロスの削減」は19.3ポイント、「①マイバッグの持参」は13.8ポイント高くなっています。男性の割合が女性より高い項目としては「⑦次世代自動車(ハイブリッド車、電気自動車など)の購入」「⑨HEMS(家庭用エネルギー管理システム)の導入」が挙げられます。(図3-22-1)

図3-22-2 年齢別 カーボンニュートラル(地球温暖化対策)に対する取り組み



年齢別にみると、いずれの年代も「①マイバッグの持参」「②食品ロスの削減」の順で高くなっており、「②食品ロスの削減」では40歳代と60歳代で7割以上を占めています。一方、10・20歳代では、「③LED照明の導入」や「④宅配便の再配達防止」は3割以下となっており、他の年代よりも低くなっています。(図3-22-2)

(23)墓地の有無

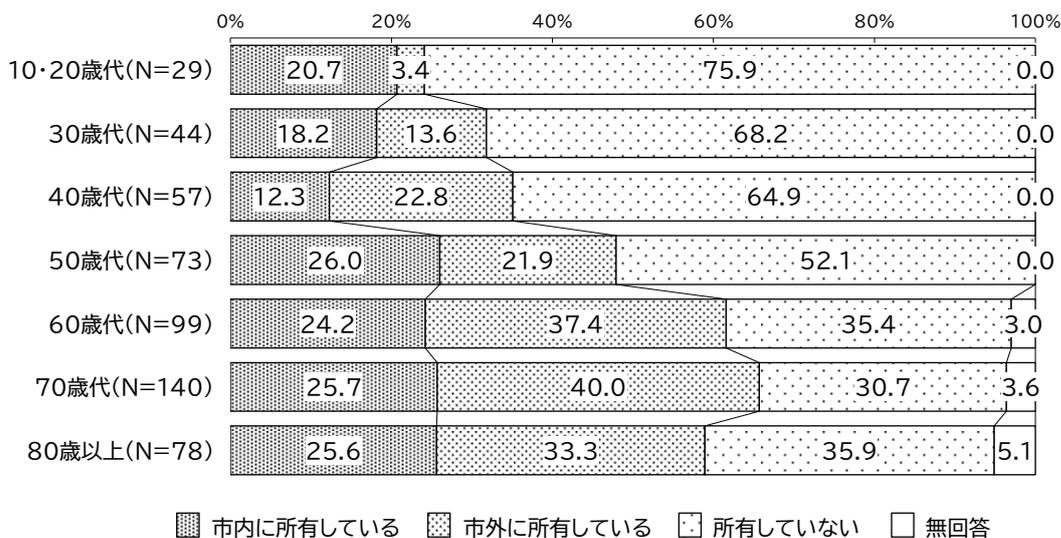
Ⅲ. 問 20 墓地について、あなたのご意見をお聞かせください。あなたは、墓地を所有していますか。

図3-23 墓地の有無



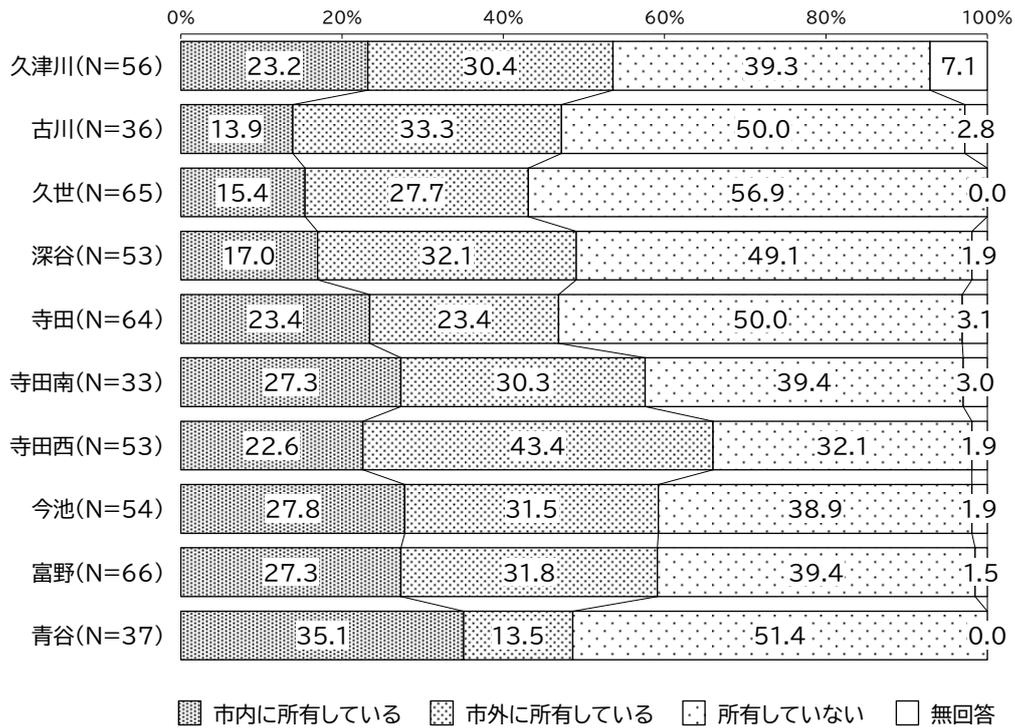
墓地の有無については、「市外に所有している」が29.7% (155件)、「市内に所有している」が23.0% (120件) となっており、それらを合わせた墓地の『所有率』は合計52.7% (275件) となっています。また、「所有していない」は45.0% (235件) となっています。(図3-23)

図3-23-1 年齢別 墓地の有無



年齢別にみると、60歳代以上では、『所有率』（「市内に所有している」と「市外に所有している」を合わせた割合）が5割を超えており、60歳代が61.6% (61件)、70歳代が65.7% (92件)、80歳以上が58.9% (46件) となっています。一方、10・20歳代では『所有率』は24.1% (7件) と最も低くなっています。(図3-23-1)

図3-23-2 居住小学校区別 墓地の有無

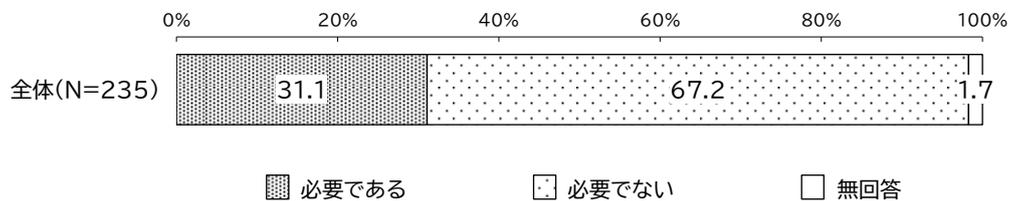


居住小学校区別にみると、久津川、寺田南、寺田西、今池、富野では『所有率』（「市内に所有している」と「市外に所有している」を合わせた割合）が5割以上となっています。久世では『所有率』が43.1%（28件）と低くなっています。青谷では「市内に所有している」が35.1%（13件）と高くなっています。（図3-23-2）

(24)墓地の必要性

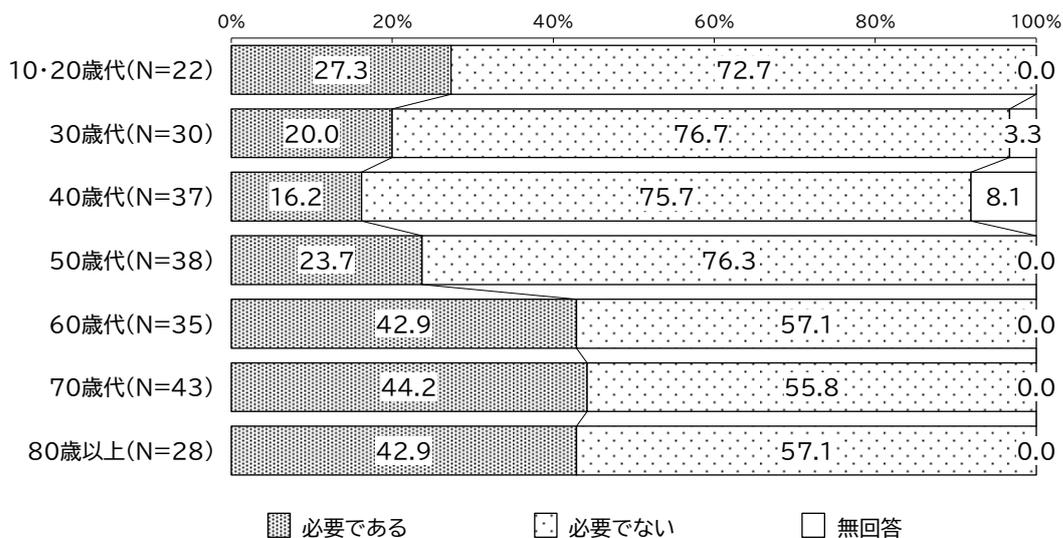
Ⅲ. 問 20-1 問 20 で「3. 所有していない」と回答した方にお聞きします。墓地を必要としていますか。

図3-24 墓地の必要性



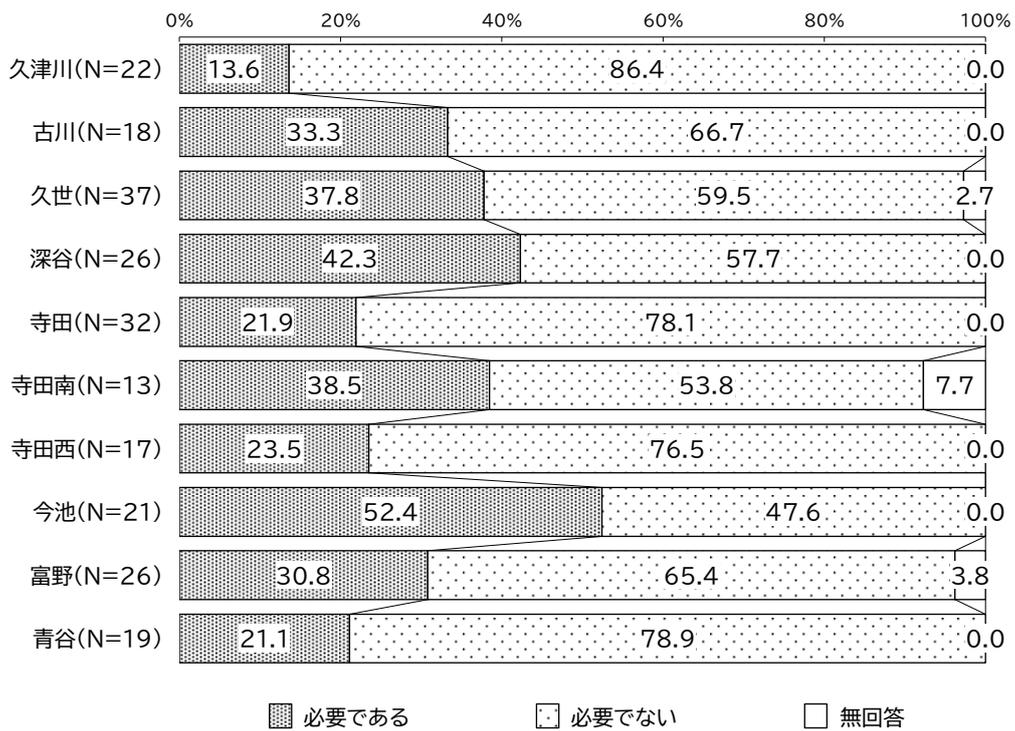
墓地の必要性については、「必要である」は31.1%（73件）、「必要でない」は67.2%（158件）となっています。（図3-24）

図3-24-1 年齢別 墓地の必要性



年齢別にみると、60歳代以上では4割以上が「必要である」と回答しています。一方、50歳代以下では「必要でない」が7割を超えています。（図3-24-1）

図3-24-2 居住小学校区別 墓地の必要性

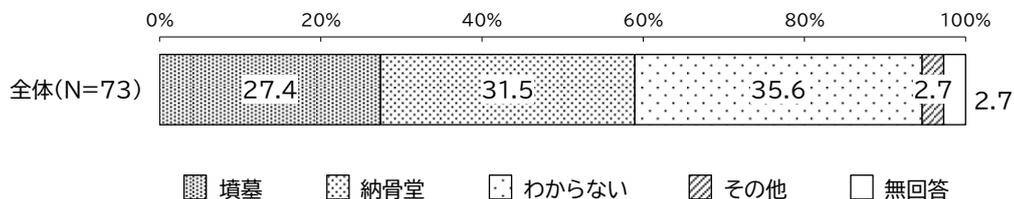


居住小学校区別にみると、今池では「必要である」の割合が52.4%（11件）で最も高く、「必要でない」の割合を上回っています。また、久津川では「必要でない」の割合が86.4%（19件）と最も高くなっています。（図3-24-2）

(25)必要とする墓地の形態

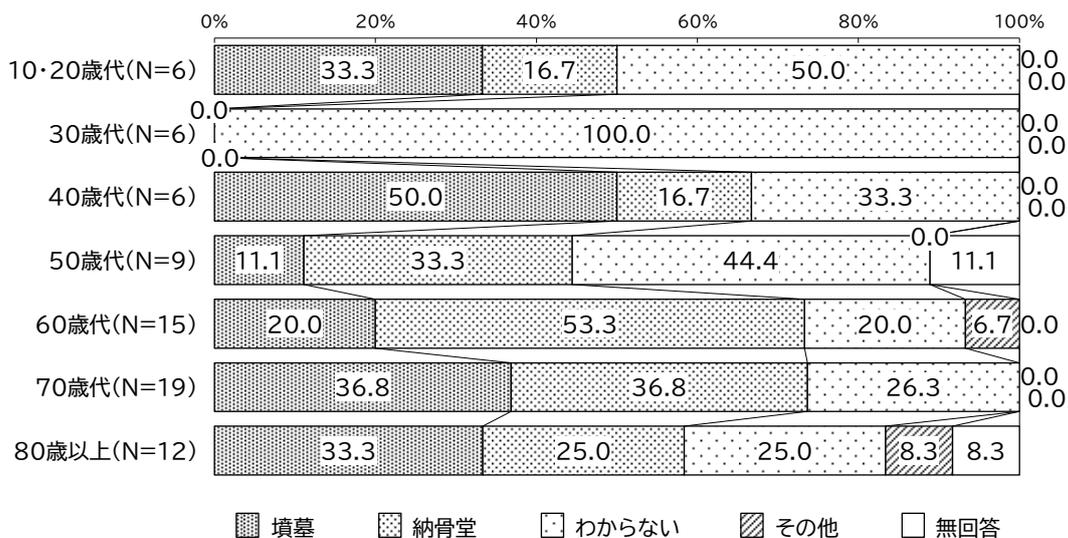
Ⅲ. 問 20-2 問 20-1で「1. 必要である」と回答した方にお聞きます。どのような墓地の形態を必要としていますか。

図3-25 必要とする墓地の形態



必要とする墓地の形態については、「納骨堂」が31.5% (23件)、「墳墓」が27.4% (20件) となっています。また、「わからない」が35.6% (26件) となっています。(図3-25)

図3-25-1 年齢別 必要とする墓地の形態

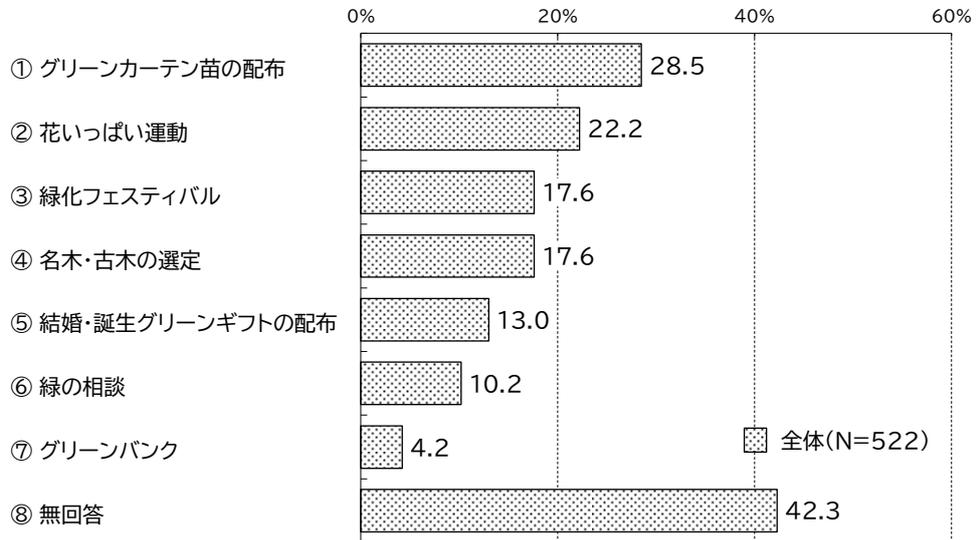


年齢別にみると、40歳代と70歳代以上では「墳墓」が最も高くなっています。60歳代では「納骨堂」が53.3% (8件) で高くなっています。また、30歳代以下と50歳代では「わからない」が最も高くなっています。(図3-25-1)

(26)市の緑化推進の施策で知っているもの

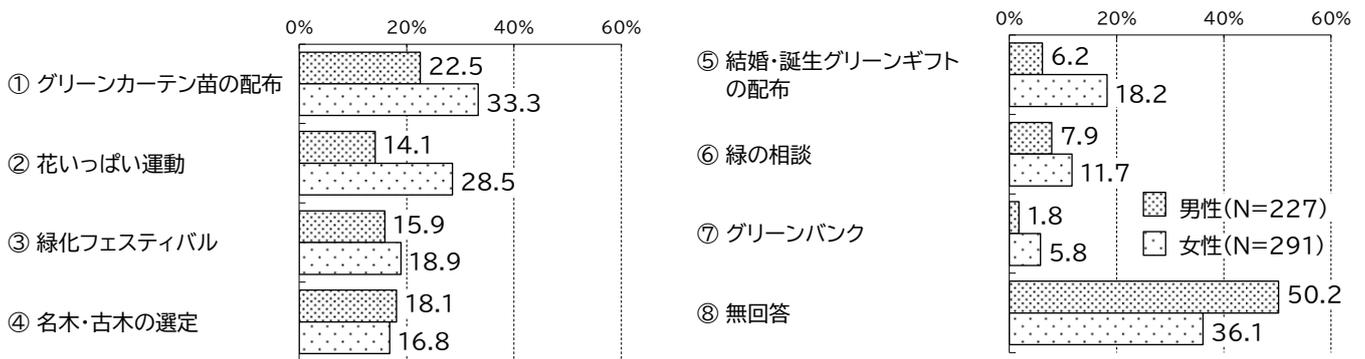
Ⅲ. 問 21 市の緑化施策の中で、あなたが知っているものはどれですか。知っているものすべてに○をつけてください。

図3-26 市の緑化推進の施策で知っているもの



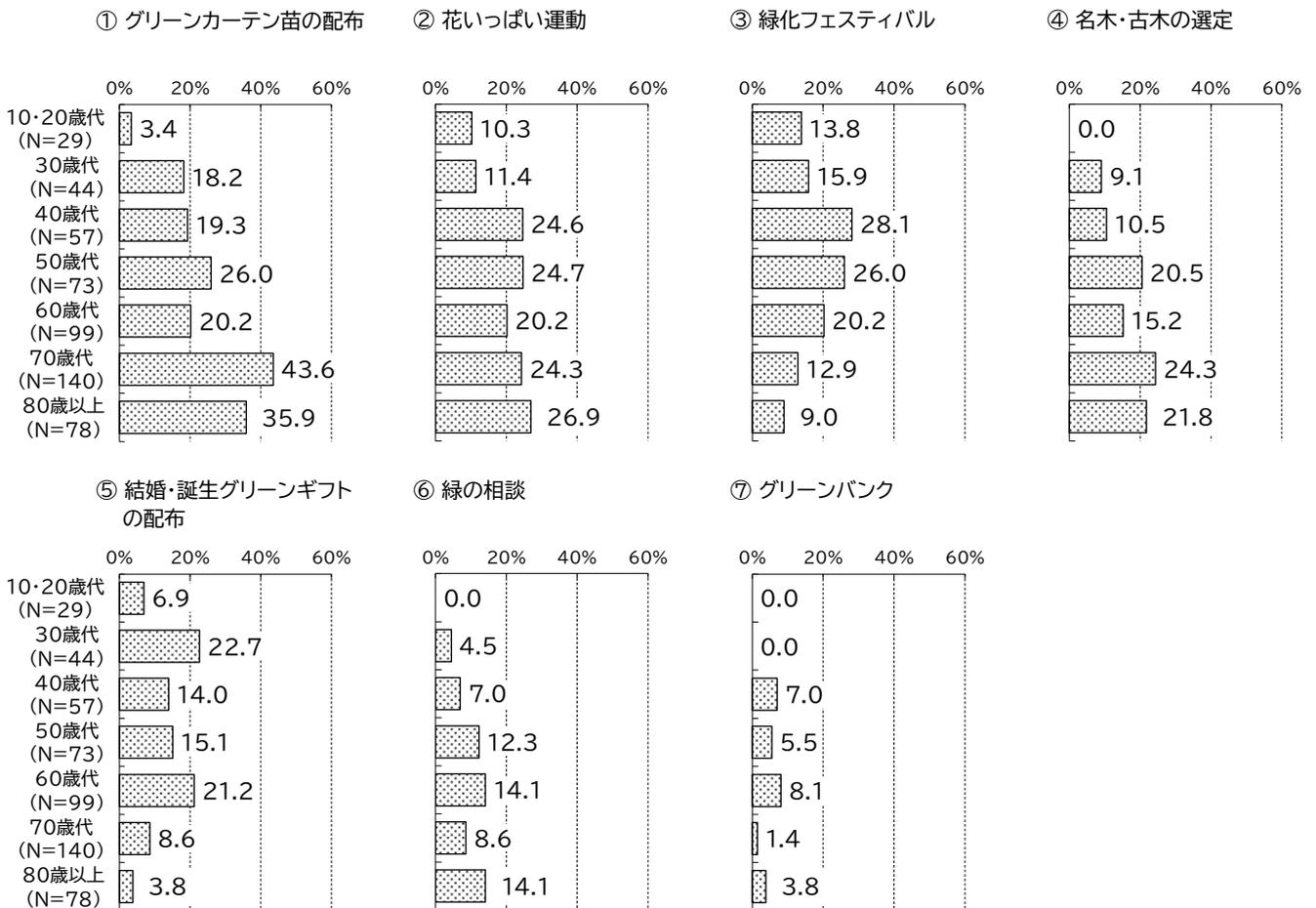
市の緑化推進の施策で知っているものについては、「①グリーンカーテン苗の配布」が28.5% (149件) と最も高く、次いで、「②花いっぱい運動」が22.2% (116件)、「③緑化フェスティバル」と「④名木・古木の選定」がともに17.6% (92件)、「⑤結婚・誕生グリーンギフトの配布」が13.0% (68件) となっています。(図3-26)

図3-26-1 男女別 市の緑化推進の施策で知っているもの



男女別にみると、「④名木・古木の選定」を除く緑化施策で女性の方が高く、「②花いっぱい運動」で14.4ポイント、「①グリーンカーテン苗の配布」で10.8ポイント高くなっています。(図3-26-1)

図3-26-2 年齢別 市の緑化推進の施策で知っているもの

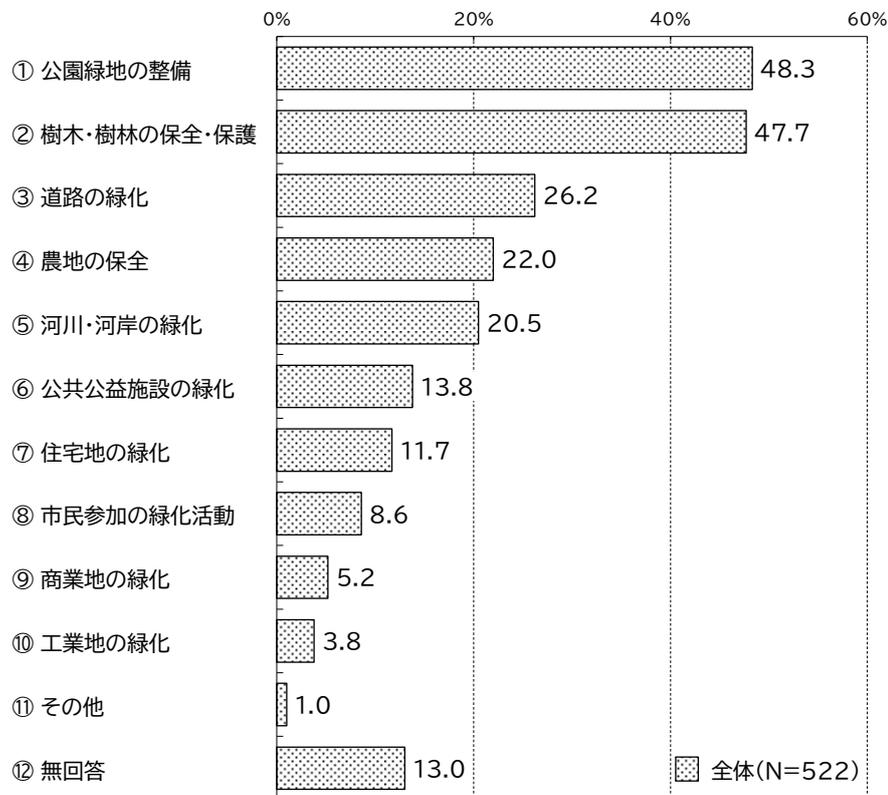


年齢別にみると、70歳代では「①グリーンカーテン苗の配布」43.6%（61件）が最も高く、「④名木・古木の選定」24.3%（34件）も他の年代より高くなっています。40歳代では「③緑化フェスティバル」が28.1%（16件）と他の年代よりも高い割合となっています。（図3-26-2）

(27)市の緑化推進のために必要だと思うもの

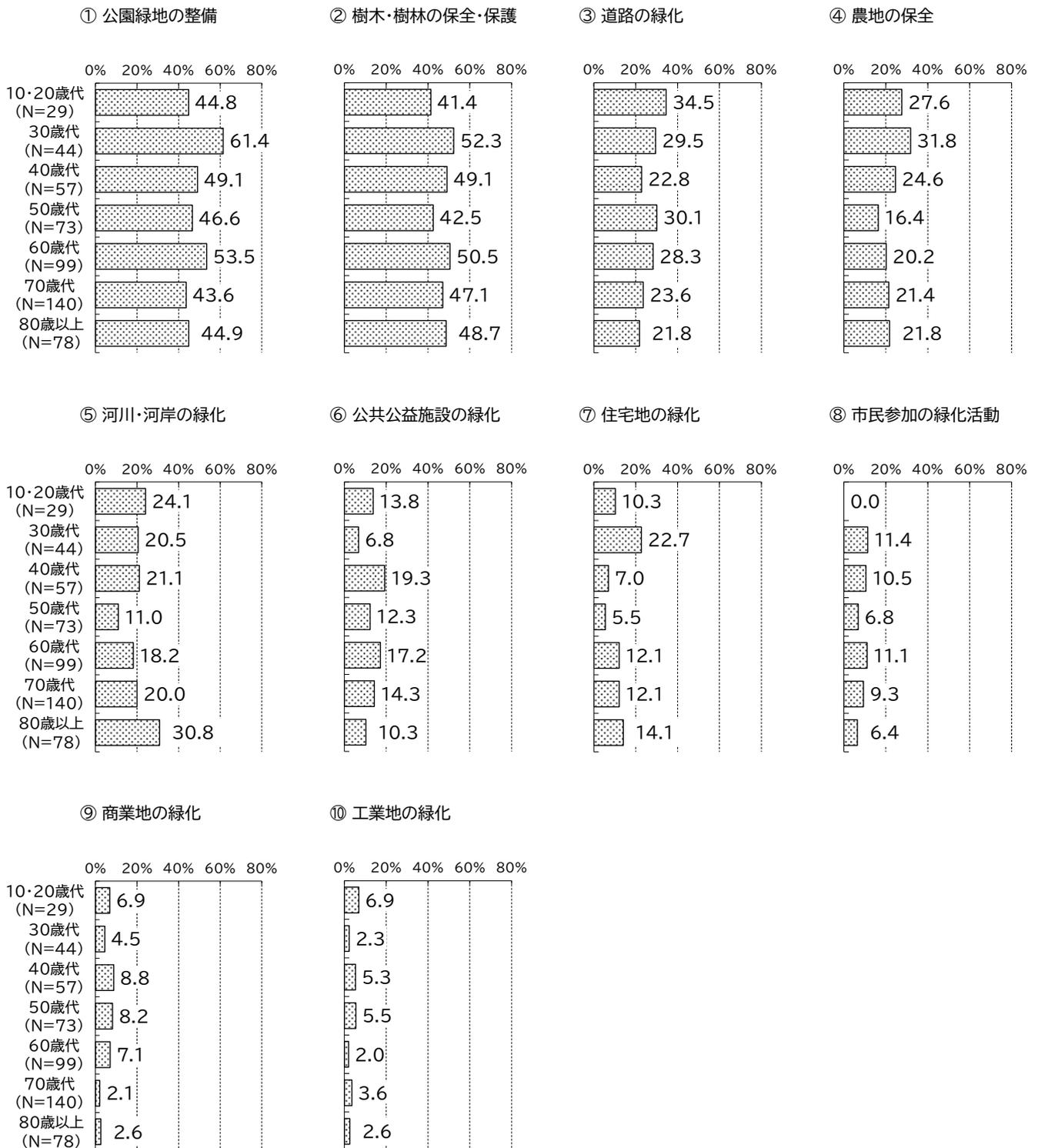
Ⅲ. 問 22 今後、城陽市が一層の緑化を推進していくために、特に必要なものは何だと思われますか。次の中から3つ以内で○をつけてください。

図3-27 市の緑化推進のために必要だと思うもの



市の緑化推進のために必要だと思うものについては、「①公園緑地の整備」が48.3%（252件）で最も高くなっています。次いで、「②樹木・樹林の保全・保護」が47.7%（249件）、「③道路の緑化」が26.2%（137件）、「④農地の保全」が22.0%（115件）、「⑤河川・河岸の緑化」が20.5%（107件）となっています。（図3-27）

図3-27-1 年齢別 市の緑化推進のために必要だと思うもの



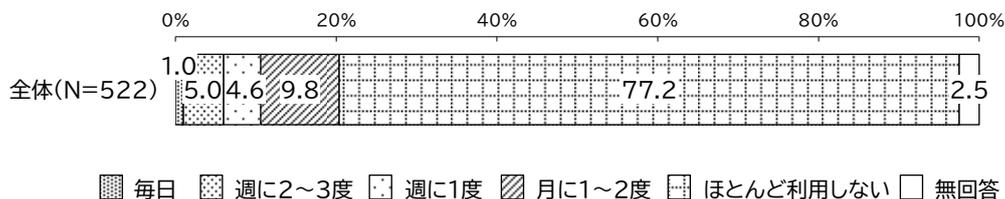
年齢別にみると、30歳代では「①公園緑地の整備」の割合が6割を超えて高くなっています。また、10・20歳代では「③道路の緑化」が34.5%（10件）、30歳代では「⑦住宅地の緑化」が22.7%（10件）と高くなっています。80歳以上では「⑤河川・河岸の緑化」が30.8%（24件）と他の年代よりも高くなっています。

（図3-27-1）

(28)公園の利用頻度

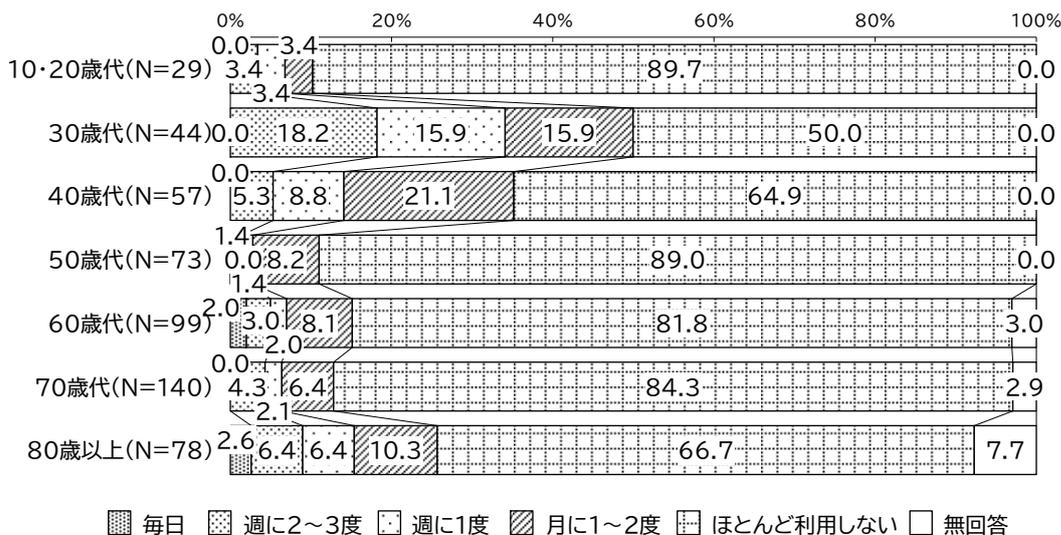
Ⅲ. 問 23 あなたはどのくらいの頻度で公園を利用しますか。

図3-28 公園の利用頻度



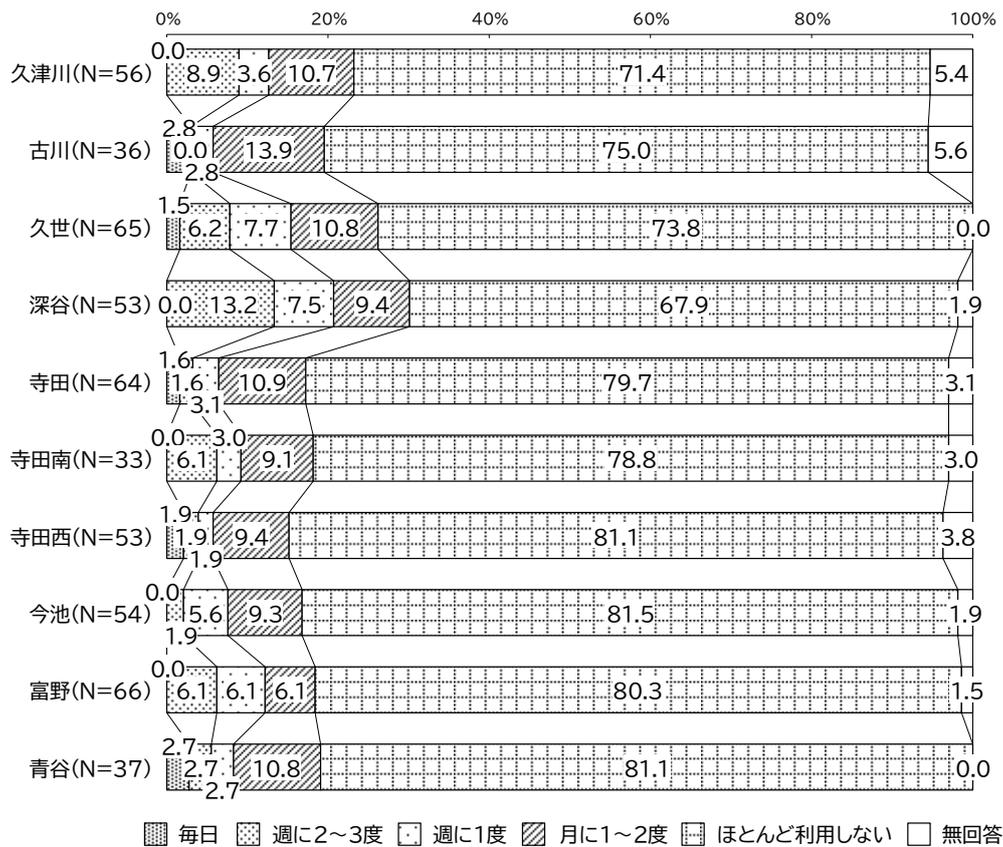
公園の利用頻度については、「ほとんど利用しない」が77.2% (403件) と多数を占めており、「月に1~2度」が9.8% (51件)、「週に1度」が4.6% (24件)、「週に2~3度」が5.0% (26件) となっています。(図3-28)

図3-28-1 年齢別 公園の利用頻度



年齢別にみると、30歳代は利用頻度が高く、「週に2~3度」が18.2% (8件)、「週に1度」と「月に1~2度」がそれぞれ15.9% (7件) で、「ほとんど利用しない」は50.0% (22件) と他の年代より低くなっています。次いで、利用頻度が高いのは40歳代で「月に1~2度」が21.1% (12件) と2割を超えています。一方、10・20歳代では「ほとんど利用しない」が89.7% (26件) と最も高く、9割近くを占めています。(図3-28-1)

図3-28-2 居住小学校区別 公園の利用頻度

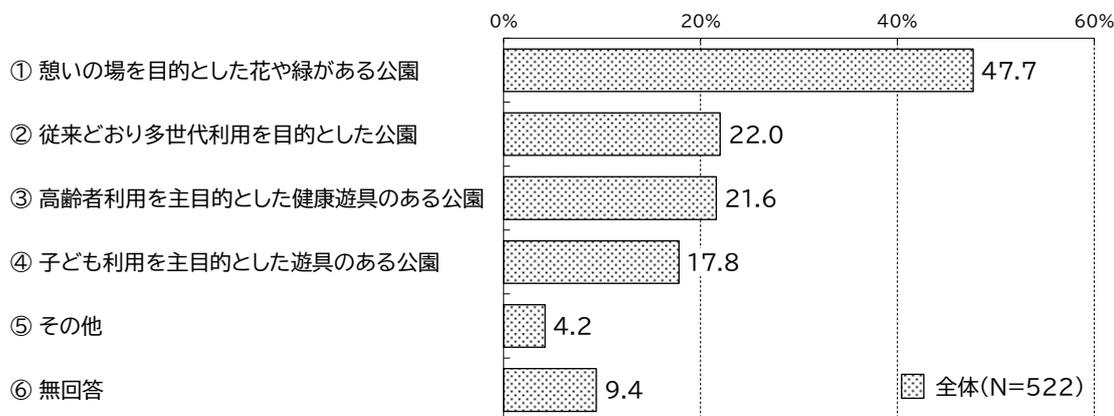


居住小学校区別にみると、利用頻度が高い深谷では「週に2～3度」が13.2%（7件）と他の小学校区より高く、「ほとんど利用しない」は6割台で他の小学校区より低くなっています。一方、寺田西、今池、富野、青谷では「ほとんど利用しない」が8割以上と他の小学校区よりも高くなっています。（図3-28-2）

(29)利用したい公園

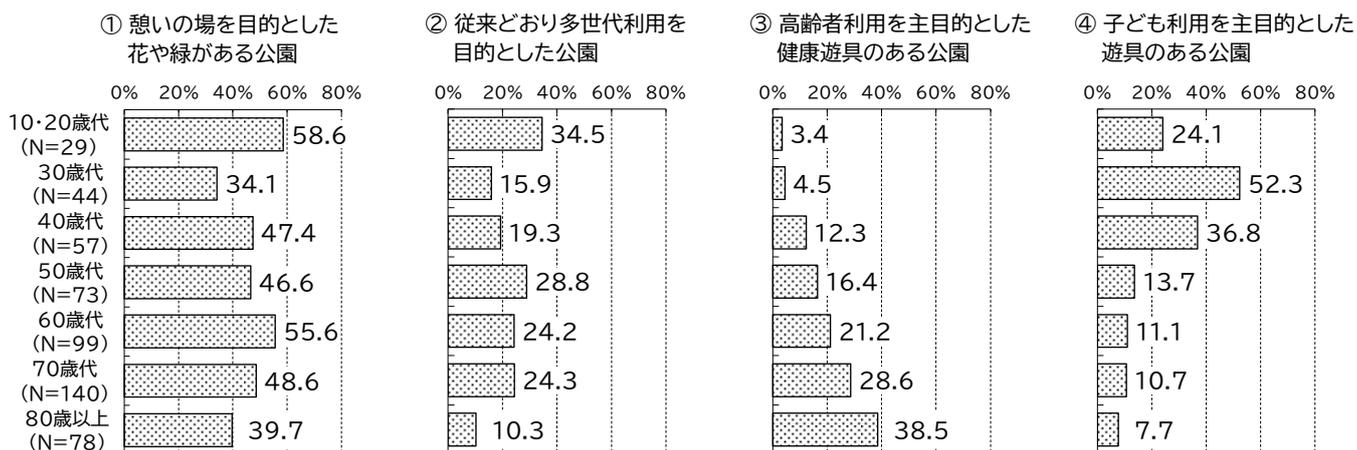
Ⅲ. 問 24 あなたのご自宅周辺の公園がどのような公園であればもっと利用できると思いますか。

図3-29 利用したい公園



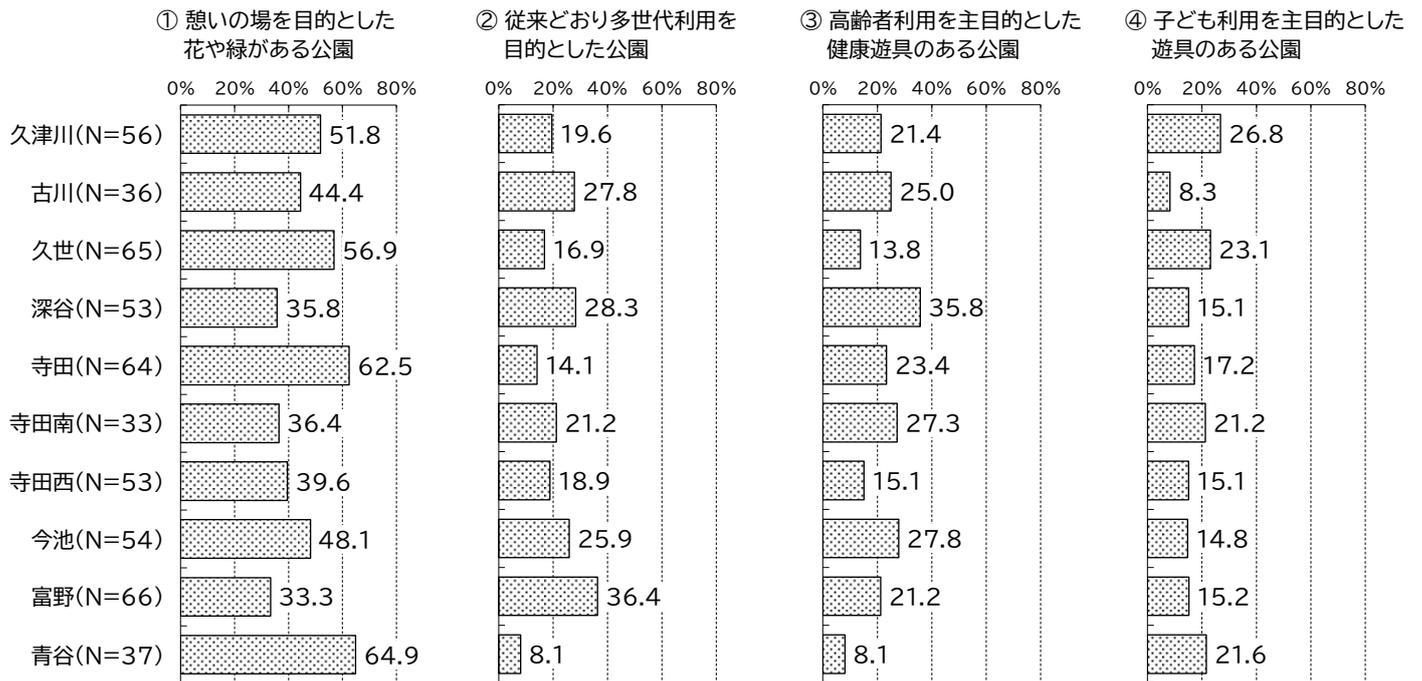
利用したい公園については、「①憩いの場を目的とした花や緑がある公園」が47.7% (249件) を占め、「②従来どおり多世代利用を目的とした公園」が22.0% (115件)、「③高齢者利用を主目的とした健康遊具のある公園」が21.6% (113件)、「④子ども利用を主目的とした遊具のある公園」が17.8% (93件) の順となっています。(図3-29)

図3-29-1 年齢別 利用したい公園



年齢別にみると、年代が高くなるにつれて「③高齢者利用を主目的とした健康遊具のある公園」の割合が高くなる傾向がみられ、80歳以上では38.5% (30件) を占めています。また、40歳代以下では「④子ども利用を主目的とした遊具のある公園」の割合が50歳代以上に比べて高く、30歳代では52.3% (23件) と半数を上回っています。(図3-29-1)

図3-29-2 居住小学校区別 利用したい公園

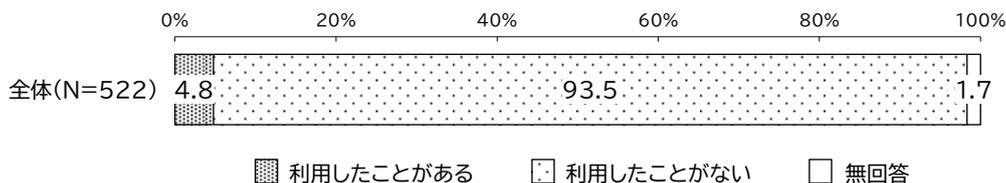


居住小学校区別にみると、寺田と青谷では「①憩いの場を目的とした花や緑がある公園」が他の小学校区より高くなっています。深谷では「③高齢者利用を主目的とした健康遊具のある公園」が35.8%（19件）、富野では「②従来どおり多世代利用を目的とした公園」が36.4%（24件）と、それぞれ他の小学校区よりやや高くなっています。（図3-29-2）

(30)城陽市消費生活センターの利用状況

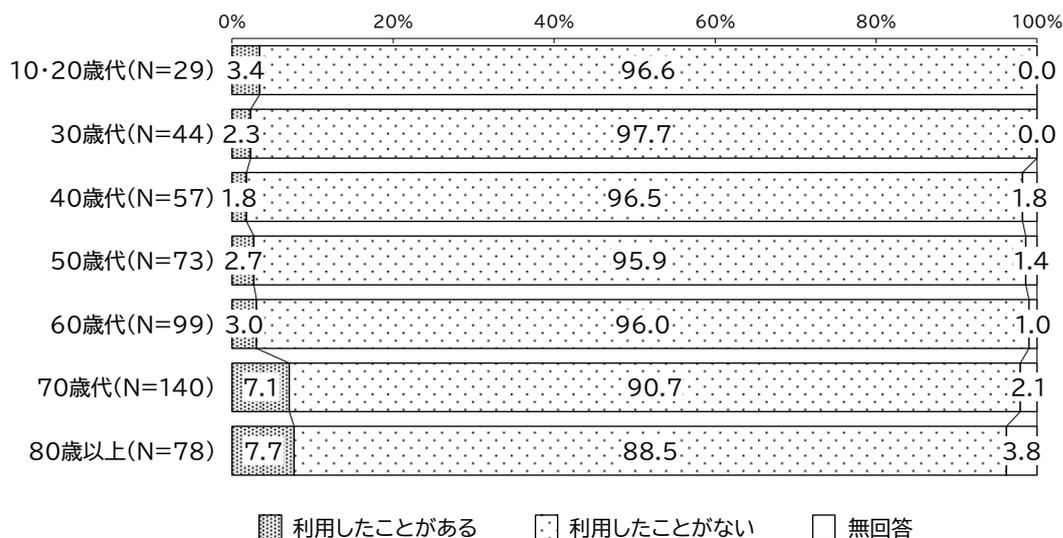
Ⅲ. 問 25 城陽市消費生活センターを利用したことがありますか。

図3-30 城陽市消費生活センターの利用状況



城陽市消費生活センターの利用状況については、「利用したことがない」が93.5%（488件）を占め、「利用したことがある」が4.8%（25件）となっています。（図3-30）

図3-30-1 年齢別 城陽市消費生活センターの利用状況

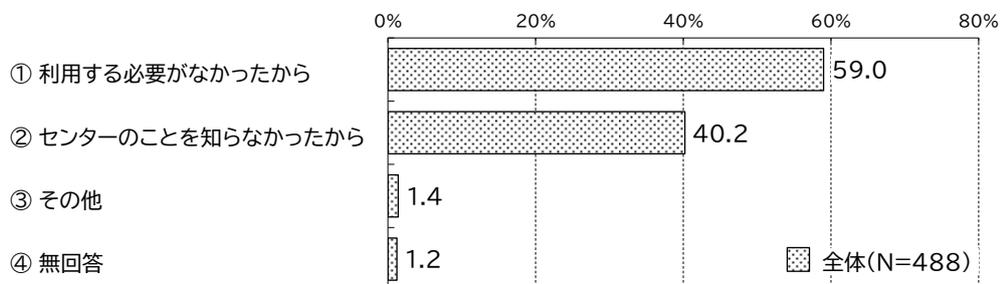


年齢別にみると、70歳代以上では「利用したことがある」の割合がやや高く、いずれも7%を超えています。（図3-30-1）

(31)城陽市消費生活センターを利用したことがない理由

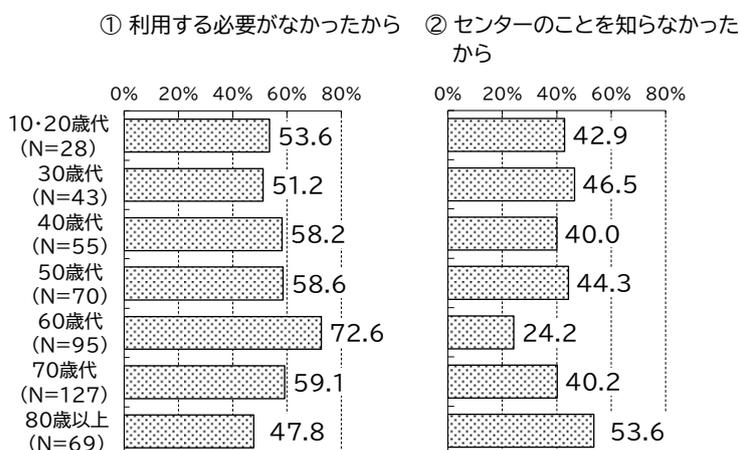
Ⅲ. 問 25-1 問 25 で「2. 利用したことがない」と回答した方にお聞きします。城陽市消費生活センターを利用したことがない理由を教えてください。

図3-31 城陽市消費生活センターを利用したことがない理由



城陽市消費生活センターを利用したことがない理由については、「①利用する必要がなかったから」が59.0% (288件) を占め、「②センターのことを知らなかったから」が40.2% (196件) となっています。(図3-31)

図3-31-1 年齢別 城陽市消費生活センターを利用したことがない理由

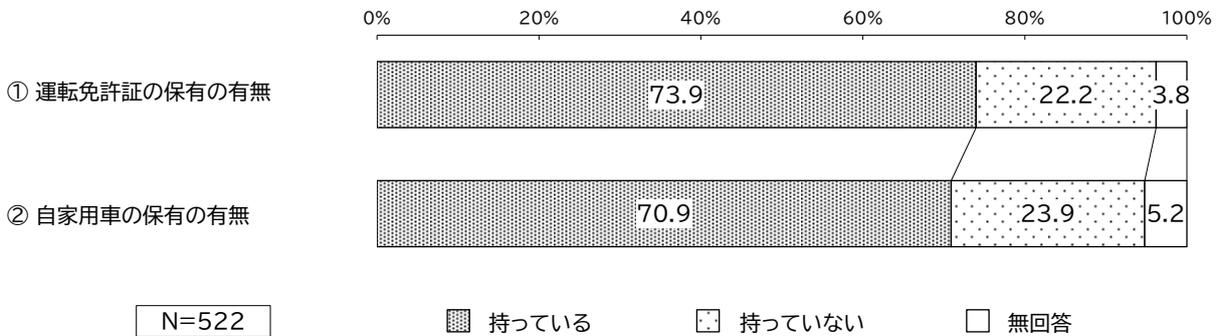


年齢別にみると、60歳代で「①利用する必要がなかったから」が高く、72.6% (69件) と7割を超えています。80歳以上では「②センターのことを知らなかったから」が53.6% (37件) と高く5割を超えています。(図3-31-1)

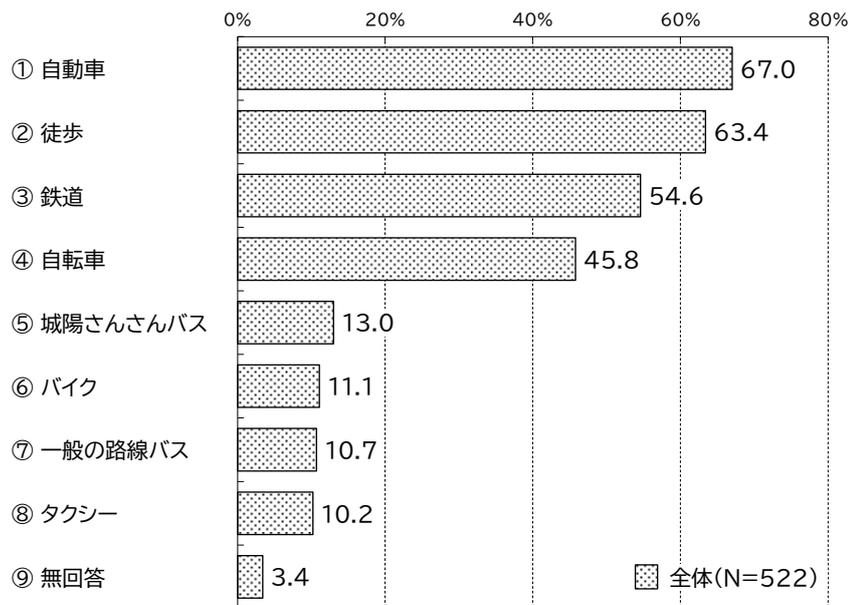
(32)運転免許証、自家用車の保有の有無と外出時の交通手段について

Ⅲ. 問 26 あなたは自動車やバイクなどの運転免許証、自家用車(バイク含む)をお持ちですか。いずれかに○をつけてください。また、外出する際の主な交通手段は次のどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

図3-32 運転免許証、自家用車の保有の有無と外出時の交通手段について



③外出時の主な交通手段

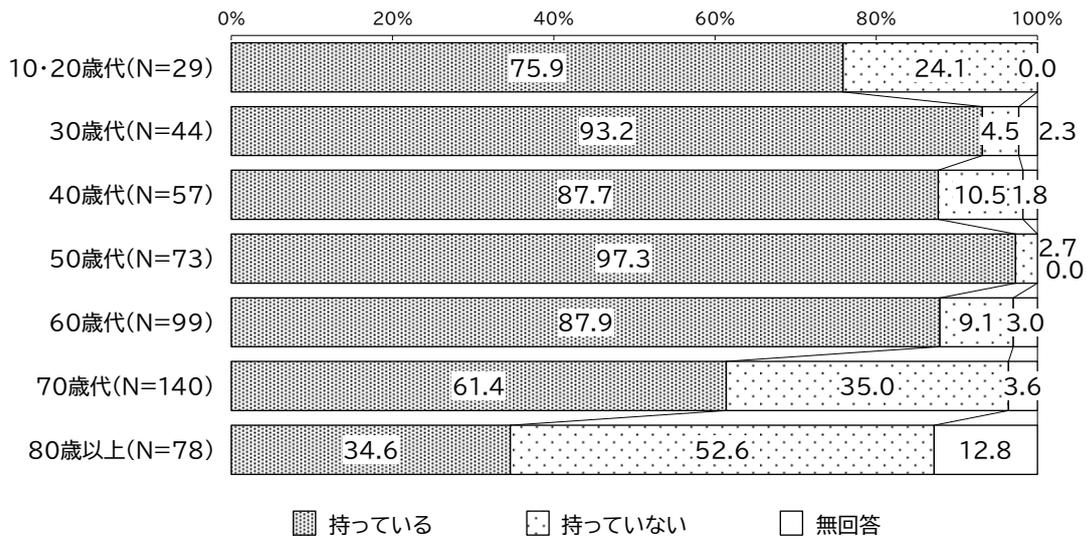


「①運転免許証の保有の有無」については、「持っている」が73.9% (386件) となっています。

「②自家用車の保有の有無」については、「持っている」が70.9% (370件) となっています。

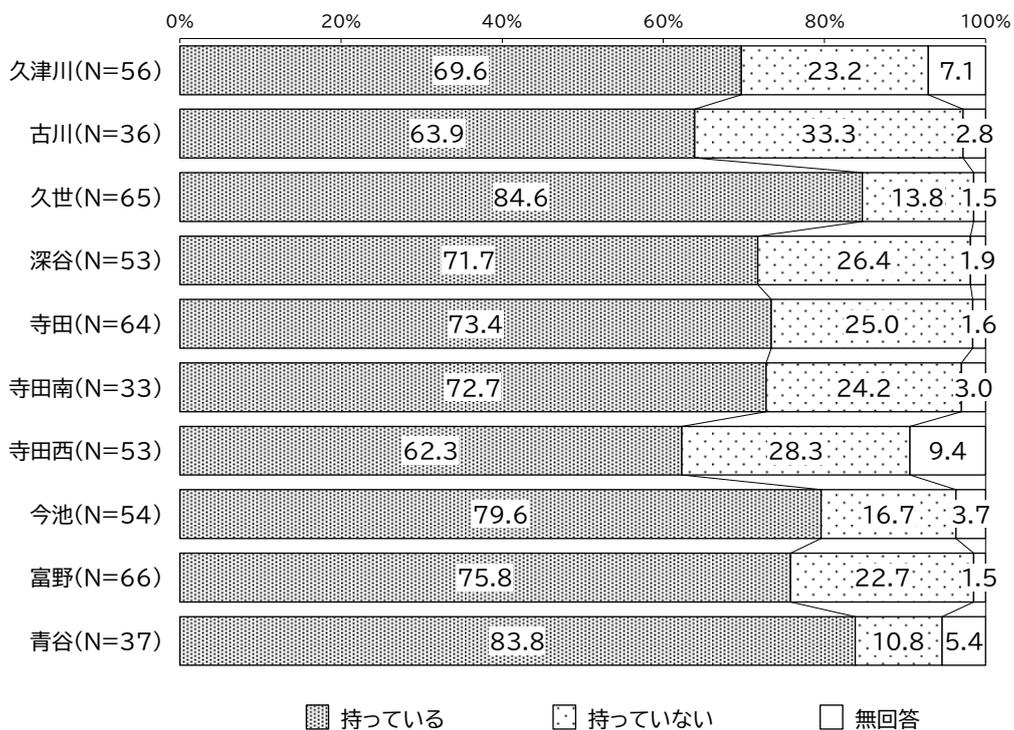
「③外出時の主な交通手段」については、「①自動車」が67.0% (350件) で最も高く、次いで「②徒歩」が63.4% (331件)、「③鉄道」が54.6% (285件)、「④自転車」が45.8% (239件) と続いています。(図3-32)

図3-32-1 年齢別 運転免許証の有無



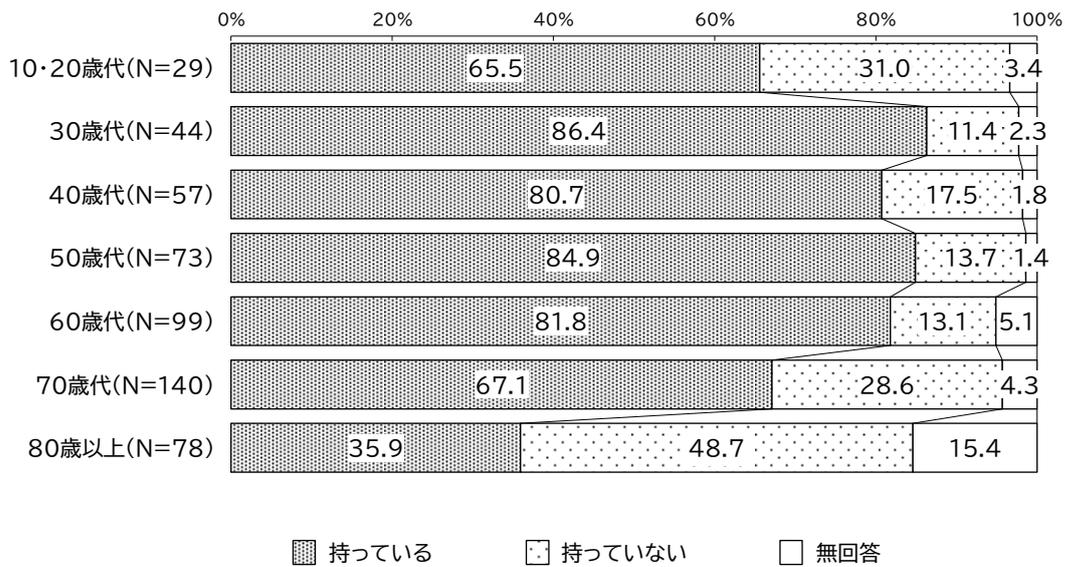
年齢別にみると、運転免許証を「持っている」割合は50歳代で97.3% (71件)、30歳代で93.2% (41件) と特に高くなっています。80歳以上では「持っていない」が52.6% (41件) と、「持っている」の34.6% (27件) より割合が高くなっています。(図3-32-1)

図3-32-2 居住小学校区別 運転免許証の有無



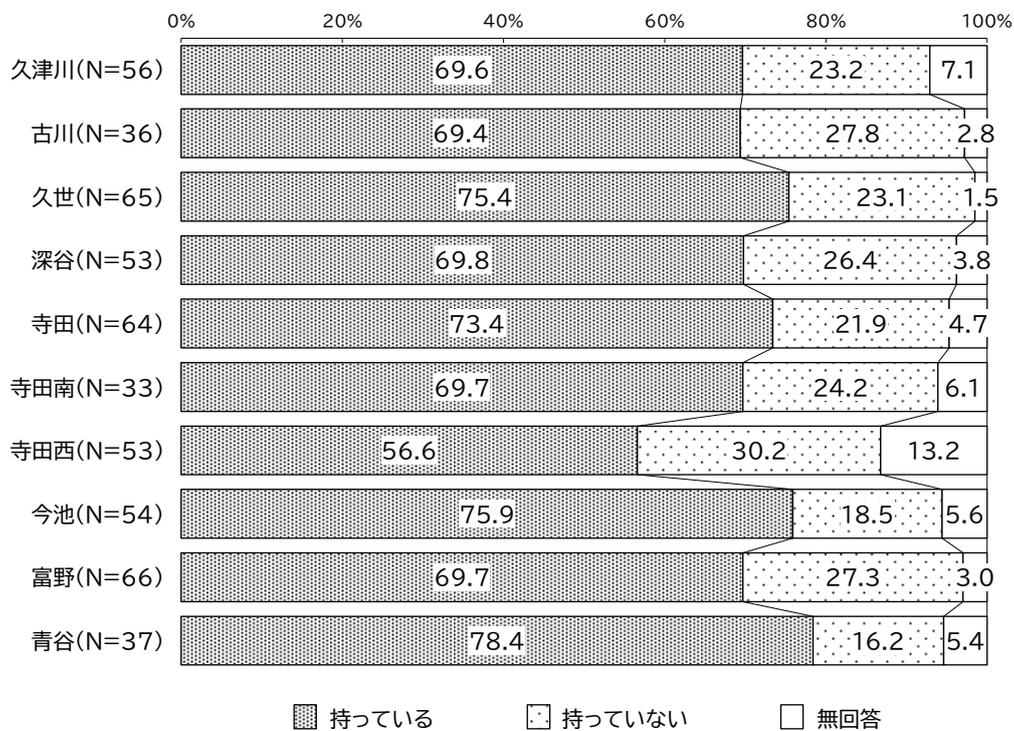
居住小学校区別にみると、運転免許証を「持っている」割合がいずれの小学校区でも6割以上と高くなっています。「持っていない」割合は古川でやや高く3割以上となっています。(図3-32-2)

図3-32-3 年齢別 自家用車の保有の有無



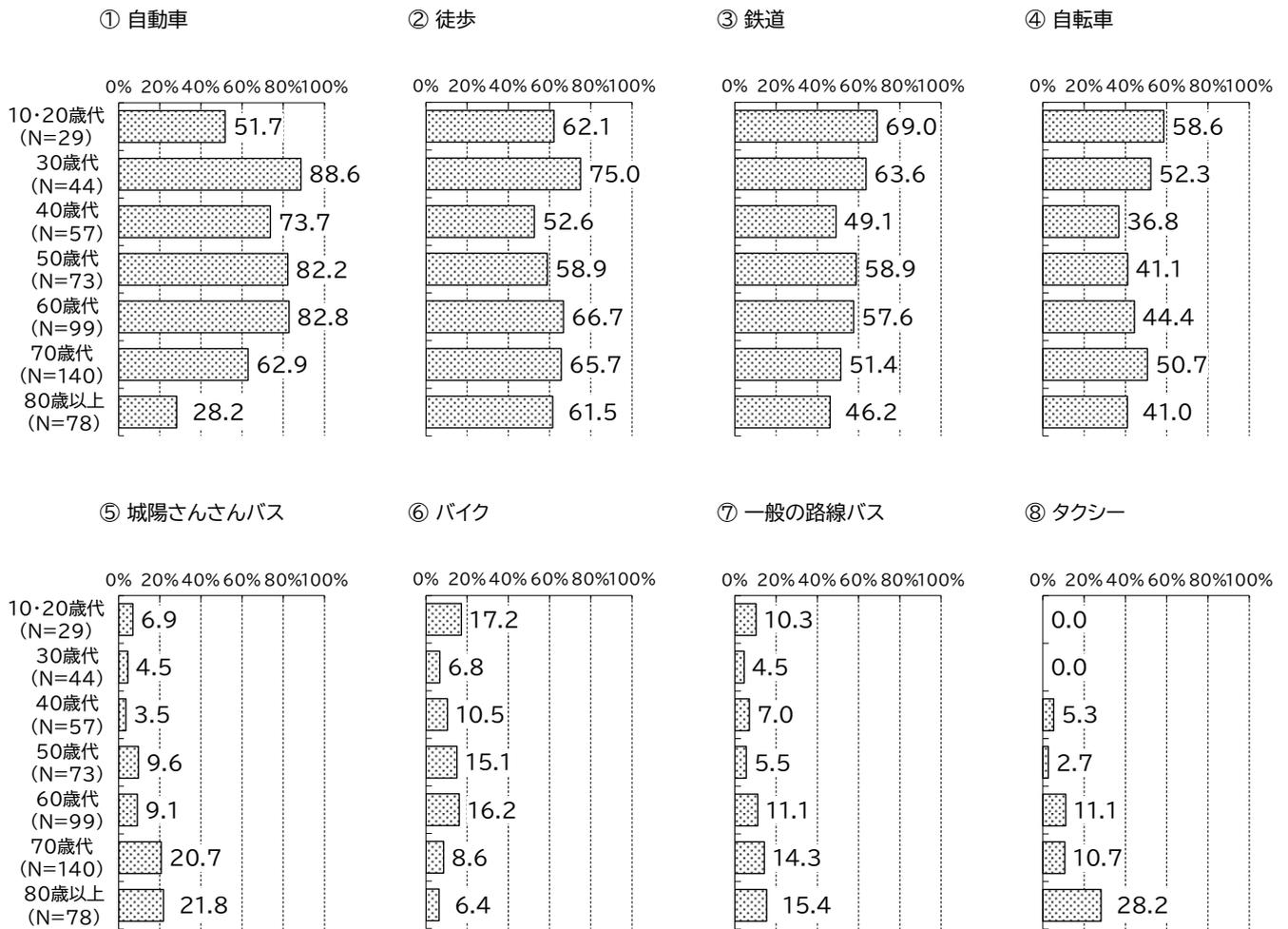
年齢別にみると、自家用車を「持っている」割合は30歳代では86.4%（38件）、40歳代から60歳代でも8割台と高くなっています。10・20歳代と70歳代でも「持っている」が6割以上となっており、80歳以上では35.9%（28件）と他の年代よりも低くなっています。（図3-32-3）

図3-32-4 居住小学校区別 自家用車の保有の有無



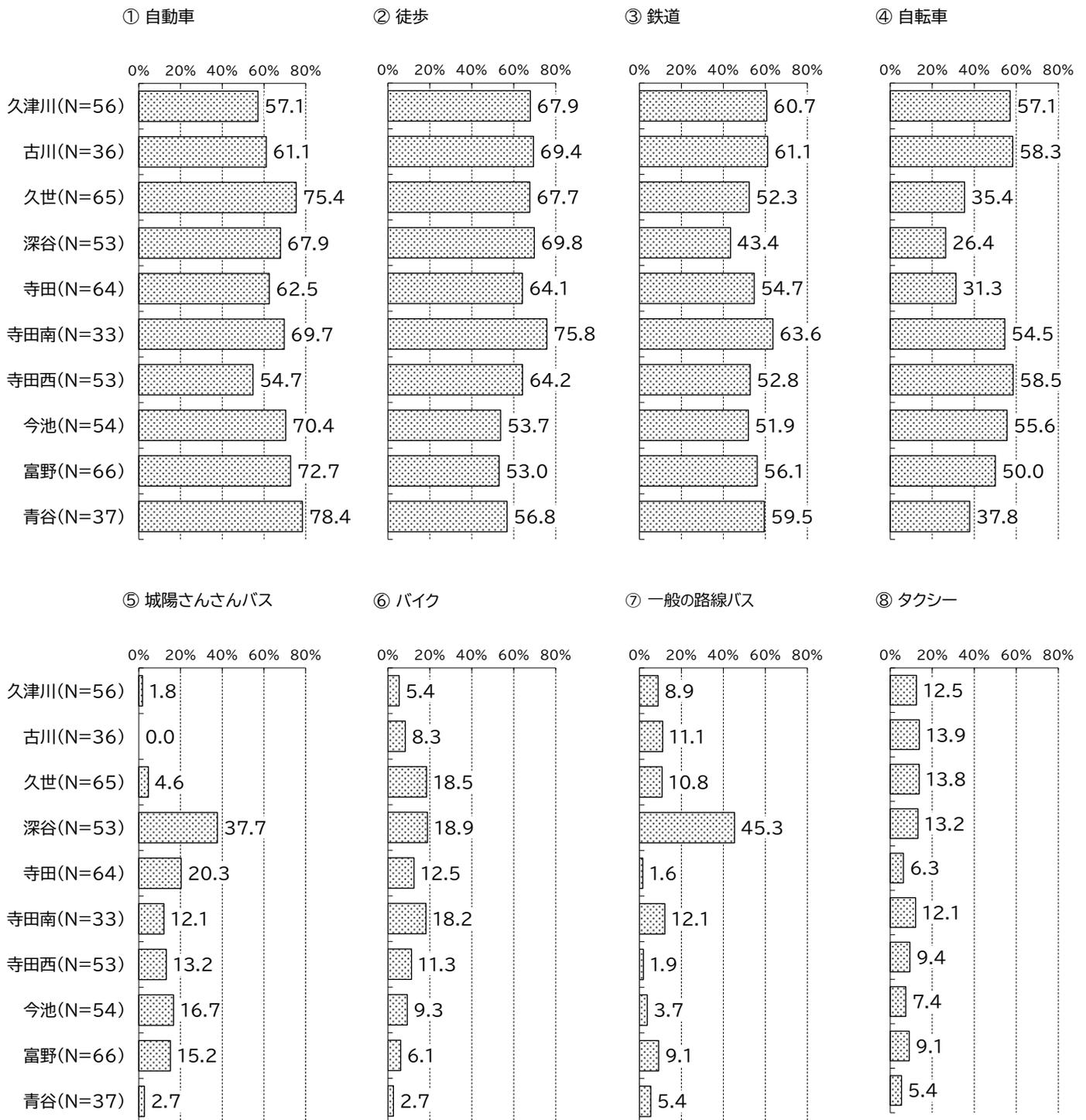
居住小学校区別にみると、久世、寺田、今池、青谷では「持っている」の割合が7割台と他の小学校区よりも高くなっています。寺田西では「持っていない」が3割を超えており、他の小学校区よりも高くなっています。（図3-32-4）

図3-32-5 年齢別 外出時の交通手段について



年齢別にみると、10・20歳代は「③鉄道」が69.0%（20件）で最も高くなっており、「①自動車」は51.7%（15件）にとどまっています。30歳代から60歳代の年代では「①自動車」が最も高くなっています。「城陽さんさんバス」については、70歳代で20.7%（29件）、80歳以上で21.8%（17件）となっています。（図3-32-5）

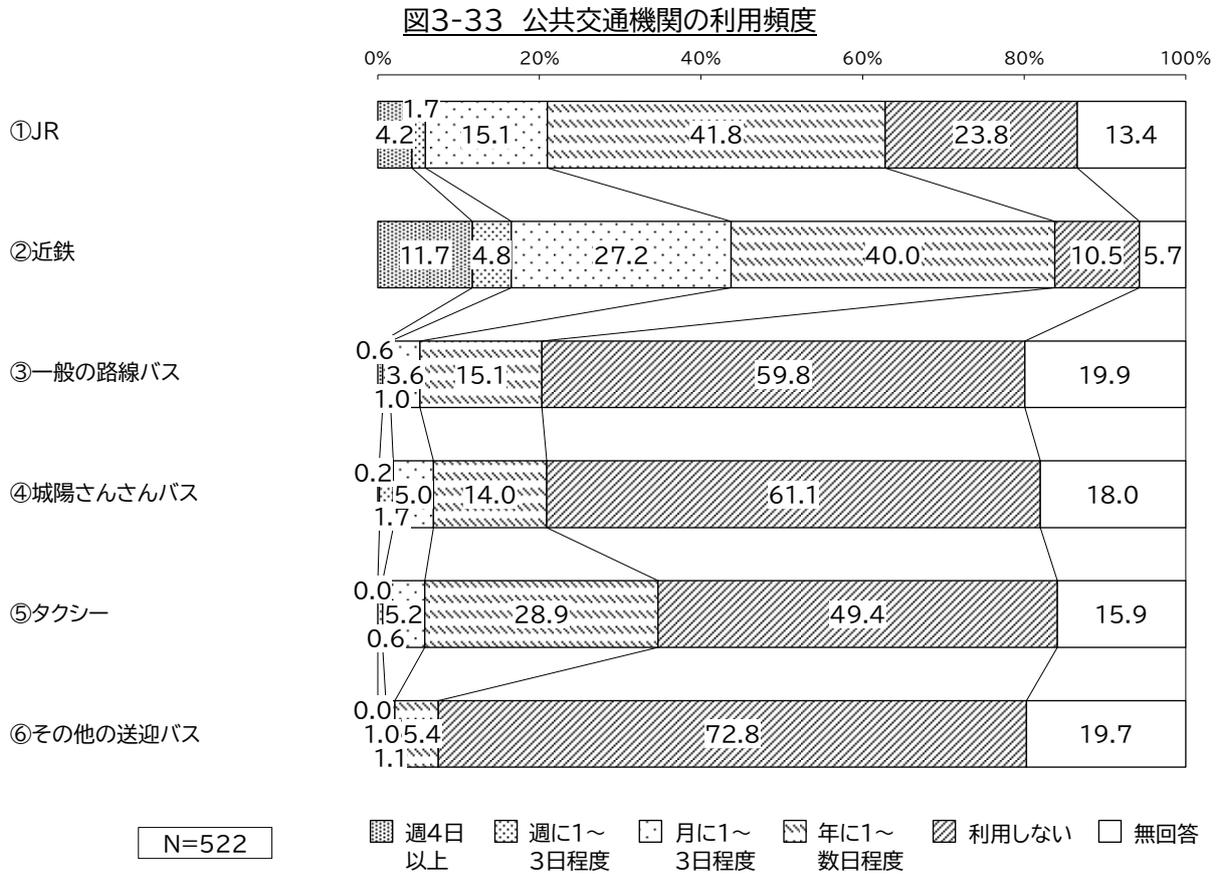
図3-32-6 居住小学校区別 外出時の交通手段について



居住小学校区別にみると、久世、今池、富野、青谷では「①自動車」が最も高く、それ以外の小学校区は「②徒歩」が高くなっています。深谷は「④自転車」が他の小学校区よりも低く、「⑦一般の路線バス」が45.3% (24件)、「⑤城陽さんさんバス」が37.7% (20件) と高くなっています。寺田でも「城陽さんさんバス」は20.3% (13件) と比較的高くなっています。(図3-32-6)

(33)公共交通機関の利用頻度

Ⅲ. 問 27 公共交通機関の利用頻度について次の項目ごとにあてはまるものに○をつけてください。



「①JR」の利用頻度は、「年に1~数日程度」が41.8%（218件）と最も高く、少なくとも月1回以上利用する人は合計21.0%（110件）となっています。

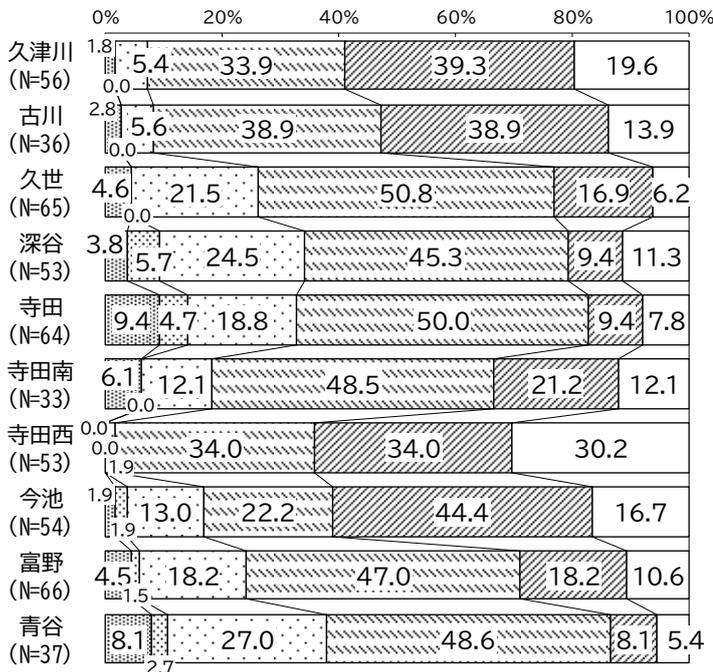
「②近鉄」の利用頻度は、「週4日以上」が11.7%（61件）、「週に1~3日程度」が4.8%（25件）、「月に1~3日程度」が27.2%（142件）となっており、少なくとも月1回以上利用する人が合計43.7%（228件）を占め、「利用しない」は1割程度となっています。

「③一般の路線バス」、「④城陽さんさんバス」、「⑥その他の送迎バス」の利用頻度は、いずれも「利用しない」が約6割以上となっています。

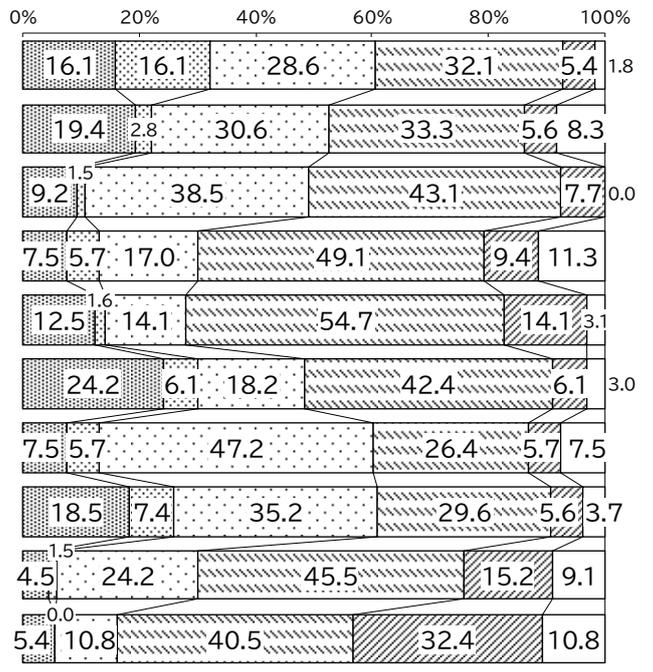
「⑤タクシー」の利用頻度は、「利用しない」が49.4%（258件）で最も高く、次いで、「年に1~数日程度」が28.9%（151件）となっています。（図3-33）

図3-33-1 居住小学校区別 公共交通機関の利用頻度

①JR

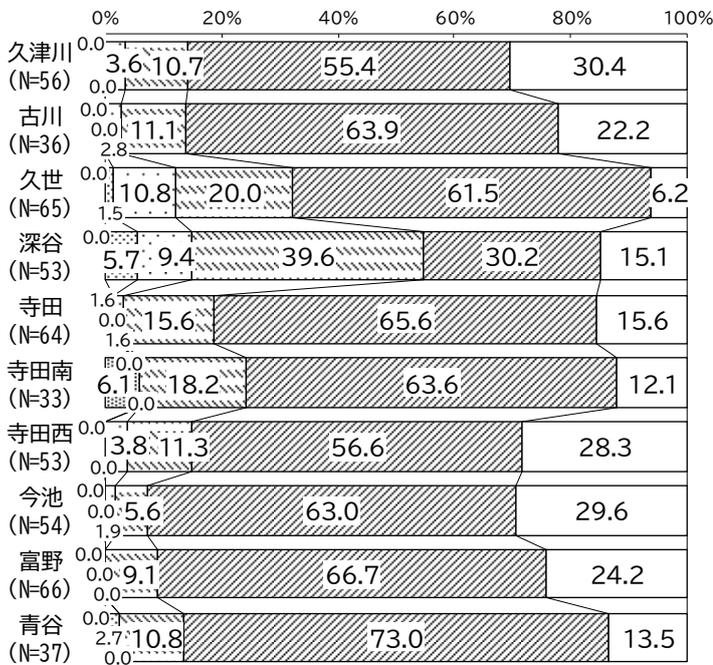


②近鉄

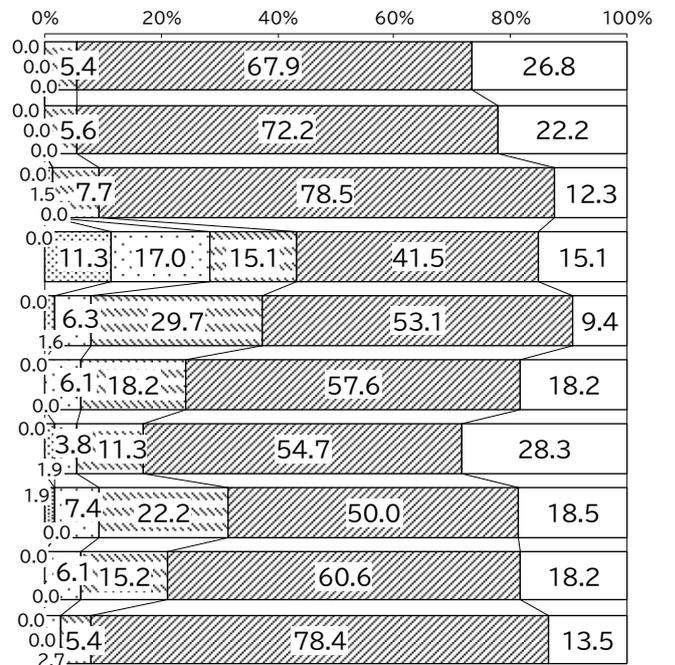


■ 週4日以上 ■ 週に1~3日程度 ■ 月に1~3日程度 ■ 年に1~数日程度 ■ 利用しない □ 無回答

③一般の路線バス

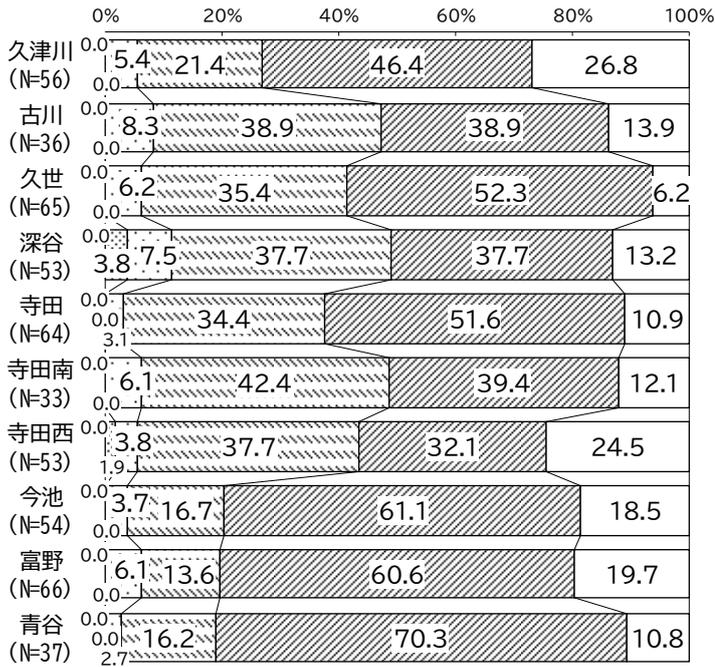


④城陽さんさんバス

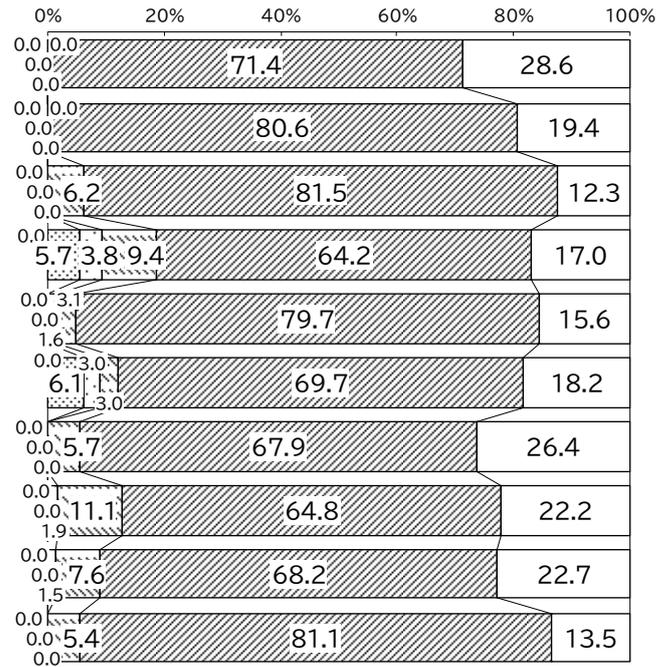


■ 週4日以上 ■ 週に1~3日程度 ■ 月に1~3日程度 ■ 年に1~数日程度 ■ 利用しない □ 無回答

⑤タクシー



⑥その他の送迎バス



■ 週4日以上 ■ 週に1~3日程度 ■ 月に1~3日程度 ■ 年に1~数日程度 ■ 利用しない □ 無回答

居住小学校区別にみると、「①JR」については、深谷、寺田、青谷の各校区で利用頻度が高くなっています。

「②近鉄」については、青谷で「利用しない」の割合がやや高くなっています。

「③一般の路線バス」、「④城陽さんさんバス」については、深谷の利用頻度が他の小学校区よりも高くなっています。

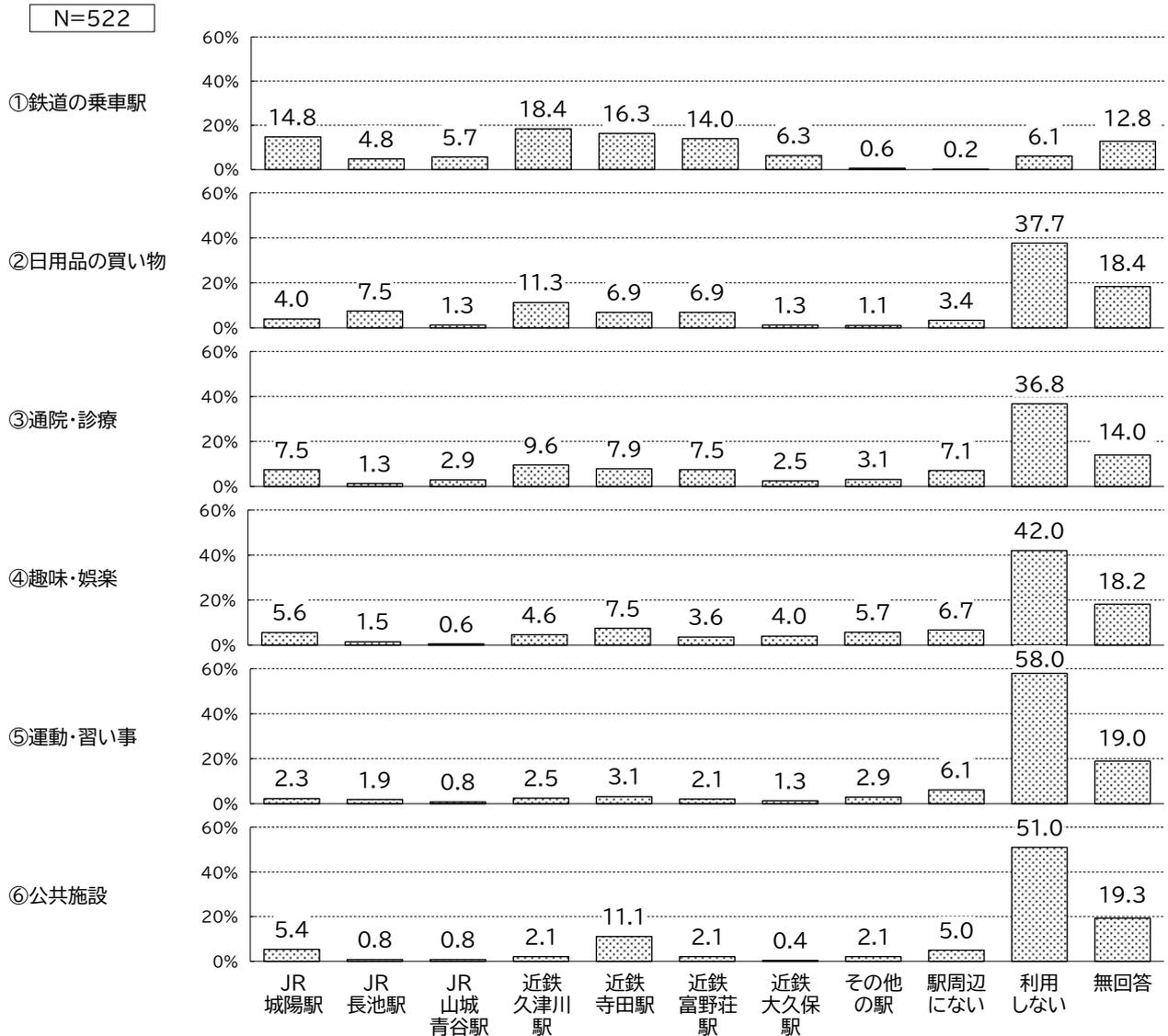
「⑤タクシー」については、利用頻度が高いのは古川、深谷、寺田南が挙げられ、一方、今池、富野、青谷では「利用しない」が6割以上となっています。

「⑥その他の送迎バス」については、すべての小学校区で「利用しない」が6割を超えており、久世で81.5%（53件）と最も高くなっています。（図3-33-1）

(34)生活の中でよく利用する駅について

Ⅲ. 問 28 普段のあなたの生活の中で、よく利用する駅はどこですか。
また、よく利用する施設や外出先はどの駅周辺にありますか。それぞれの目的ごと
にお答えください。

図3-34 生活の中でよく利用する駅について



「①鉄道の乗車駅」については、「近鉄久津川駅」が18.4%（96件）で最も高く、次いで「近鉄寺田駅」が16.3%（85件）、「JR城陽駅」が14.8%（77件）、「近鉄富野荘駅」が14.0%（73件）の順となっています。

また、目的ごとによく利用する駅は、「②日用品の買い物」については「近鉄久津川駅」が11.3%（59件）、「③通院・診療」については「近鉄久津川駅」が9.6%（50件）、「⑥公共施設」については「近鉄寺田駅」が11.1%（58件）と最も高くなっています。（図3-34）

図3-34-1 居住小学校区別 生活の中でよく利用する駅について

①鉄道の乗車駅

(%)

	回答者数 (N)	JR 城陽駅	JR 長池駅	JR 山城青谷駅	近鉄 久津川駅	近鉄 寺田駅	近鉄 富野荘駅	近鉄 大久保駅	その他 の駅	駅周辺 にない	利用 しない	無回答
久津川	56	-	-	-	80.4	-	-	3.6	-	-	7.1	8.9
古川	36	2.8	-	-	75.0	5.6	-	2.8	-	-	11.1	2.8
久世	65	20.0	-	-	30.8	1.5	-	26.2	-	1.5	6.2	13.8
深谷	53	41.5	-	1.9	3.8	1.9	-	20.8	-	-	9.4	20.8
寺田	64	51.6	-	-	1.6	21.9	1.6	3.1	-	-	3.1	17.2
寺田南	33	18.2	-	-	-	57.6	-	-	-	-	3.0	21.2
寺田西	53	-	-	-	-	90.6	-	-	-	-	1.9	7.5
今池	54	1.9	-	-	-	-	-	83.3	-	-	7.4	7.4
富野	66	-	36.4	-	-	-	-	40.9	-	1.5	4.5	16.7
青谷	37	-	-	78.4	-	-	-	-	5.4	-	8.1	8.1

②日用品の買い物

(%)

	回答者数 (N)	JR 城陽駅	JR 長池駅	JR 山城青谷駅	近鉄 久津川駅	近鉄 寺田駅	近鉄 富野荘駅	近鉄 大久保駅	その他 の駅	駅周辺 にない	利用 しない	無回答
久津川	56	-	-	-	37.5	3.6	-	3.6	1.8	3.6	26.8	23.2
古川	36	-	2.8	-	25.0	11.1	-	-	2.8	2.8	38.9	16.7
久世	65	1.5	4.6	-	30.8	3.1	1.5	3.1	1.5	3.1	40.0	10.8
深谷	53	13.2	1.9	1.9	15.1	-	-	3.8	-	5.7	41.5	17.0
寺田	64	17.2	6.3	-	-	6.3	-	1.6	-	4.7	53.1	10.9
寺田南	33	-	6.1	-	-	27.3	-	-	-	3.0	45.5	18.2
寺田西	53	-	5.7	-	1.9	28.3	-	-	1.9	3.8	30.2	28.3
今池	54	-	7.4	-	-	-	-	38.9	-	5.6	37.0	11.1
富野	66	1.5	21.2	1.5	-	-	-	19.7	-	-	30.3	25.8
青谷	37	2.7	16.2	13.5	-	-	-	-	5.4	2.7	35.1	24.3

③通院・診療

(%)

	回答者数 (N)	JR 城陽駅	JR 長池駅	JR 山城青谷駅	近鉄 久津川駅	近鉄 寺田駅	近鉄 富野荘駅	近鉄 大久保駅	その他 の駅	駅周辺 にない	利用 しない	無回答
久津川	56	-	-	-	30.4	3.6	-	5.4	3.6	3.6	35.7	17.9
古川	36	-	-	-	25.0	5.6	-	5.6	2.8	11.1	36.1	13.9
久世	65	4.6	-	1.5	24.6	-	-	3.1	3.1	12.3	41.5	9.2
深谷	53	20.8	-	1.9	11.3	1.9	-	5.7	1.9	9.4	41.5	5.7
寺田	64	26.6	-	-	3.1	7.8	1.6	1.6	-	7.8	45.3	6.3
寺田南	33	9.1	-	-	-	36.4	-	-	6.1	3.0	36.4	9.1
寺田西	53	-	-	-	-	30.2	1.9	1.9	3.8	9.4	28.3	24.5
今池	54	-	-	-	-	-	-	40.7	1.9	5.6	38.9	11.1
富野	66	3.0	10.6	3.0	-	3.0	-	22.7	-	6.1	27.3	21.2
青谷	37	8.1	-	29.7	-	2.7	-	-	2.7	5.4	29.7	21.6

④趣味・娯楽

(%)

	回答者数 (N)	JR 城陽駅	JR 長池駅	JR 山城青谷駅	近鉄 久津川駅	近鉄 寺田駅	近鉄 富野荘駅	近鉄 大久保駅	その他 の駅	駅周辺 にない	利用 しない	無回答
久津川	56	-	-	-	19.6	5.4	-	5.4	5.4	10.7	35.7	17.9
古川	36	-	-	-	22.2	5.6	-	5.6	16.7	5.6	27.8	16.7
久世	65	3.1	1.5	-	4.6	3.1	-	9.2	3.1	13.8	52.3	9.2
深谷	53	15.1	-	-	3.8	1.9	-	11.3	-	3.8	45.3	18.9
寺田	64	21.9	3.1	-	-	10.9	1.6	-	4.7	7.8	43.8	6.3
寺田南	33	3.0	3.0	-	-	27.3	-	-	3.0	3.0	39.4	21.2
寺田西	53	1.9	1.9	1.9	-	22.6	-	-	1.9	3.8	37.7	28.3
今池	54	-	-	-	-	1.9	24.1	1.9	9.3	5.6	44.4	13.0
富野	66	3.0	3.0	-	-	3.0	6.1	4.5	6.1	3.0	40.9	30.3
青谷	37	2.7	2.7	5.4	-	-	2.7	-	13.5	2.7	45.9	24.3

※濃い網掛けは最も割合の高い項目、薄い網掛けは2番目に割合の高い項目です。

⑤運動・習い事

(%)

	回答者数 (N)	JR 城陽駅	JR 長池駅	JR 山城青谷駅	近鉄 久津川駅	近鉄 寺田駅	近鉄 富野荘駅	近鉄 大久保駅	その他 の駅	駅周辺 にない	利用 しない	無回答
久津川	56	-	1.8	-	10.7	3.6	-	3.6	1.8	1.8	55.4	21.4
古川	36	-	-	-	5.6	2.8	-	-	2.8	8.3	63.9	16.7
久世	65	1.5	-	1.5	4.6	1.5	-	6.2	4.6	12.3	58.5	9.2
深谷	53	3.8	-	-	3.8	-	-	1.9	-	9.4	60.4	20.8
寺田	64	9.4	1.6	-	-	3.1	-	-	4.7	4.7	65.6	10.9
寺田南	33	3.0	-	-	-	9.1	-	-	3.0	6.1	69.7	9.1
寺田西	53	-	1.9	-	-	13.2	-	-	1.9	5.7	43.4	34.0
今池	54	1.9	5.6	-	-	-	16.7	-	1.9	5.6	57.4	11.1
富野	66	1.5	4.5	3.0	-	-	3.0	-	4.5	3.0	51.5	28.8
青谷	37	-	2.7	2.7	-	-	-	-	2.7	5.4	59.5	27.0

⑥公共施設

(%)

	回答者数 (N)	JR 城陽駅	JR 長池駅	JR 山城青谷駅	近鉄 久津川駅	近鉄 寺田駅	近鉄 富野荘駅	近鉄 大久保駅	その他 の駅	駅周辺 にない	利用 しない	無回答
久津川	56	-	-	-	7.1	16.1	-	1.8	1.8	3.6	46.4	23.2
古川	36	-	-	-	8.3	11.1	2.8	-	2.8	2.8	55.6	16.7
久世	65	9.2	-	-	4.6	10.8	-	-	3.1	10.8	52.3	9.2
深谷	53	9.4	-	-	1.9	9.4	-	1.9	-	3.8	54.7	18.9
寺田	64	17.2	-	-	-	10.9	-	-	-	6.3	57.8	7.8
寺田南	33	-	-	-	-	24.2	-	-	3.0	3.0	54.5	15.2
寺田西	53	-	-	-	-	17.0	-	-	-	3.8	47.2	32.1
今池	54	1.9	-	-	-	3.7	14.8	-	5.6	5.6	55.6	13.0
富野	66	1.5	4.5	1.5	-	6.1	3.0	-	3.0	3.0	45.5	31.8
青谷	37	10.8	2.7	8.1	-	8.1	-	-	2.7	2.7	37.8	27.0

※濃い網掛けは最も割合の高い項目、薄い網掛けは2番目に割合の高い項目です。

居住小学校区別にみると、「①鉄道の乗車駅」については、久津川、古川では「近鉄久津川駅」がそれぞれ80.4% (45件)、75.0% (27件) と高くなっています。久世では「近鉄久津川駅」が30.8% (20件)、「近鉄大久保駅」が26.2% (17件) となっています。深谷、寺田では「JR城陽駅」が最も高く、それぞれ41.5% (22件)、51.6% (33件) となっています。寺田南、寺田西では「近鉄寺田駅」がそれぞれ57.6% (19件)、90.6% (48件) となっています。今池、富野では「近鉄富野荘駅」がそれぞれ83.3% (45件)、40.9% (27件) となっています。青谷では「JR山城青谷駅」が78.4% (29件) を占めています。

「②日用品の買い物」でよく利用する駅については、久津川では「近鉄久津川駅」、今池では「近鉄富野荘駅」が最も高くなっています。

「③通院・診療」でよく利用する駅については、寺田南と寺田西では「近鉄寺田駅」、今池では「近鉄富野荘駅」が最も高く、青谷では「JR山城青谷駅」が「利用しない」と同率で最も高くなっています。

「④趣味・娯楽」「⑤運動・習い事」「⑥公共施設」でよく利用する駅については、いずれの小学校区でも「利用しない」が最も高くなっています。(図3-34-1)

(35)市内の各種公共施設の利用状況

Ⅲ. 問 29 城陽市内には各種の公共施設がありますが、あなたは、次の施設を利用していますか。それぞれの施設ごとにお答えください。

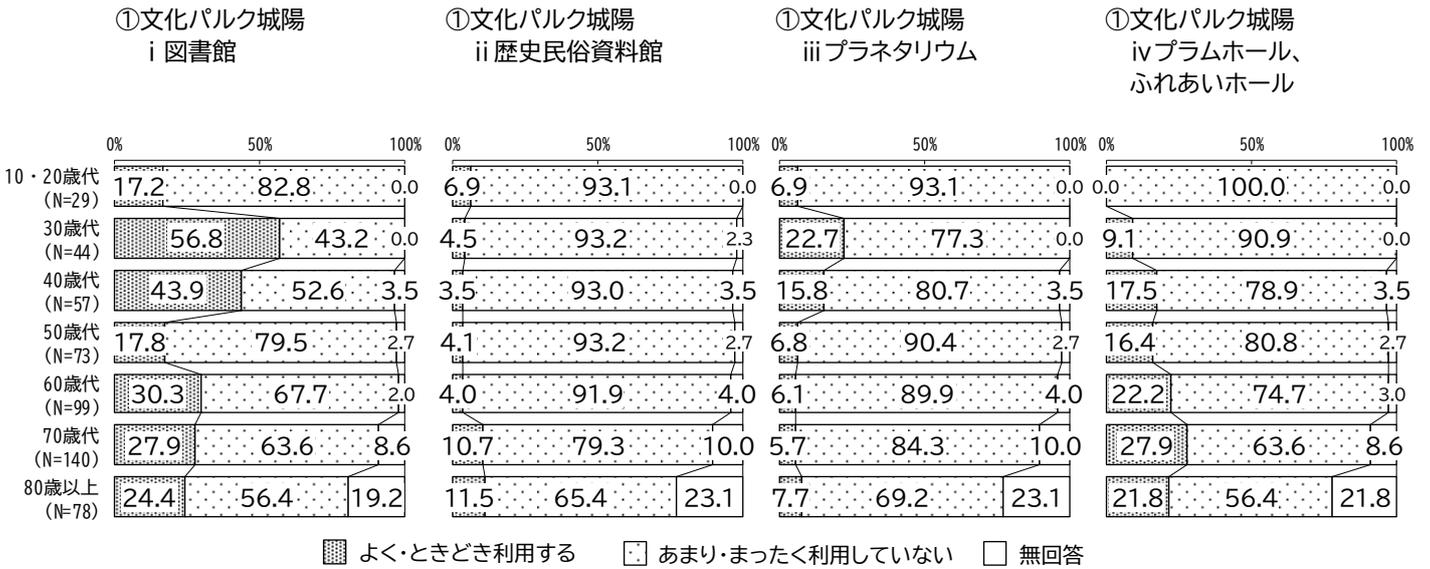
図3-35 市内の各種公共施設の利用状況



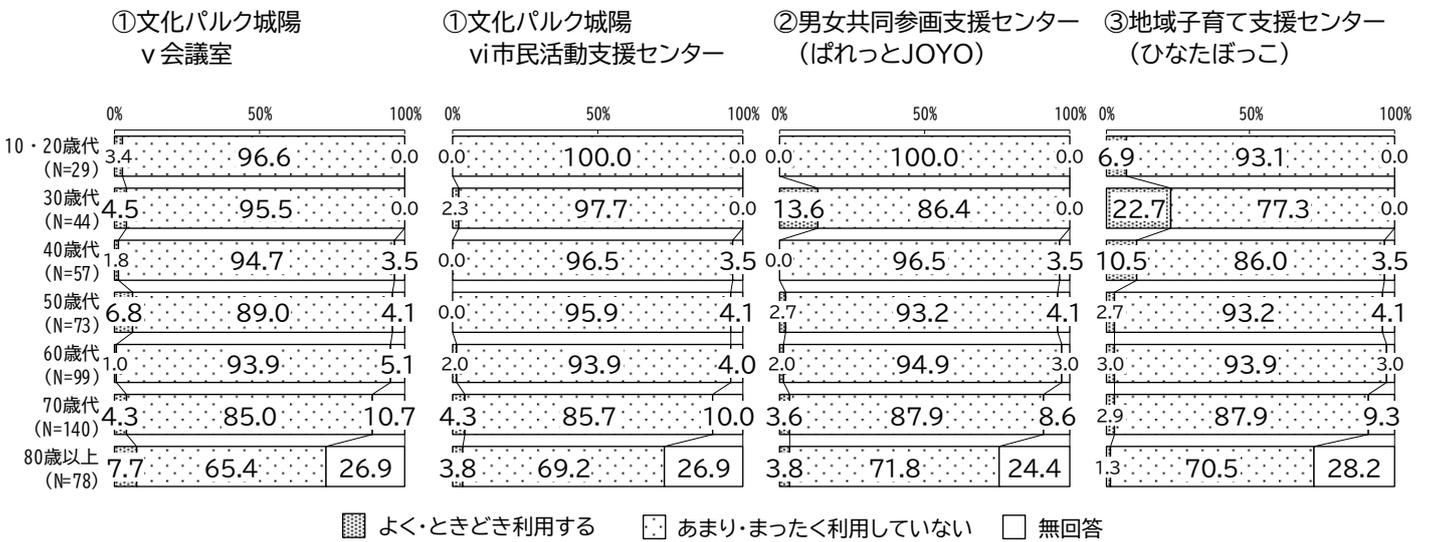
N=522 よく・ときどき利用する あまり・まったく利用していない 無回答

市内の各種公共施設の利用状況について、「よく・ときどき利用する」の割合が高い施設は、「①文化パーク城陽 i 図書館」の29.9% (156件)、「①文化パーク城陽 iv プラムホール、ふれあいホール」の19.9% (104件)、「⑰総合運動公園レクリエーションゾーン (ロゴスランド)」の18.4% (96件) となっています。(図3-35)

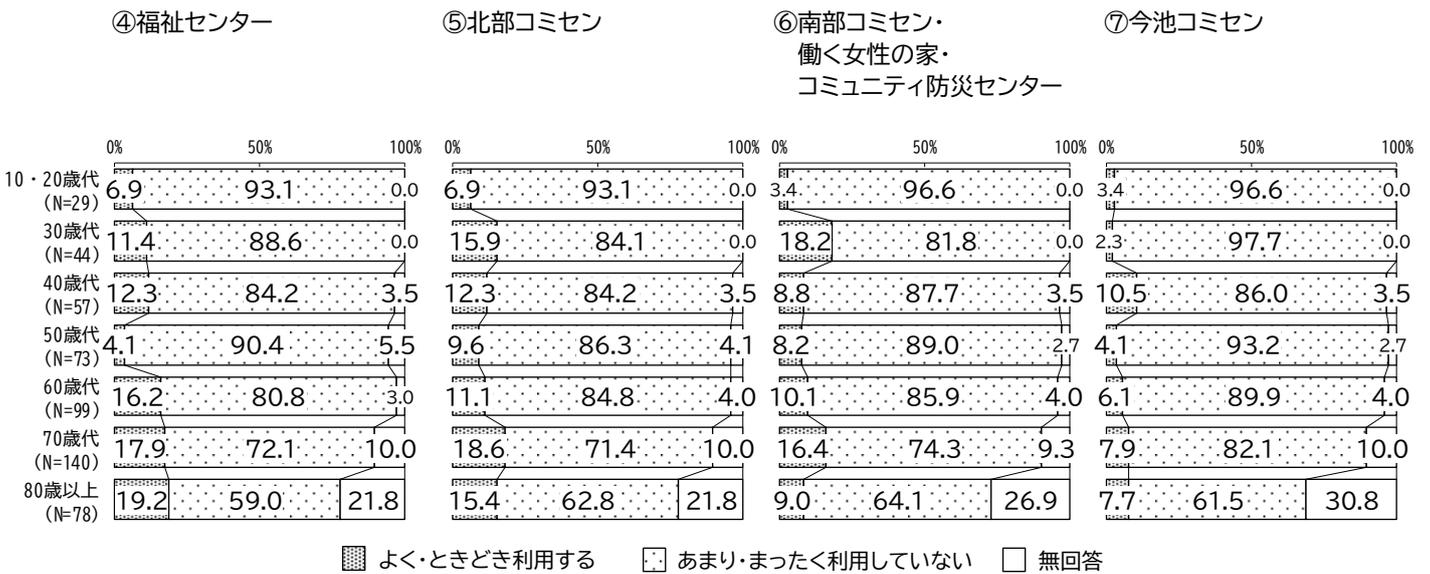
図3-35-1 年齢別 市内の各種公共施設の利用状況



よく・ときどき利用する あまり・まったく利用していない 無回答

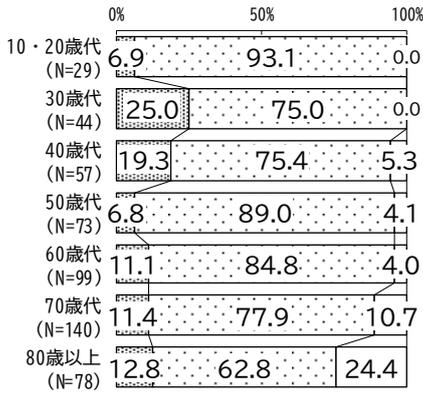


よく・ときどき利用する あまり・まったく利用していない 無回答

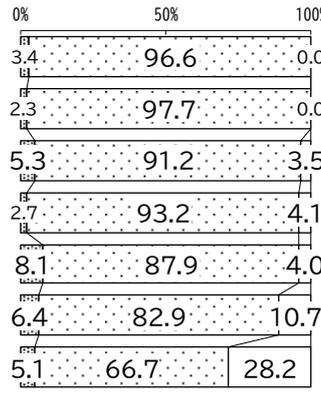


よく・ときどき利用する あまり・まったく利用していない 無回答

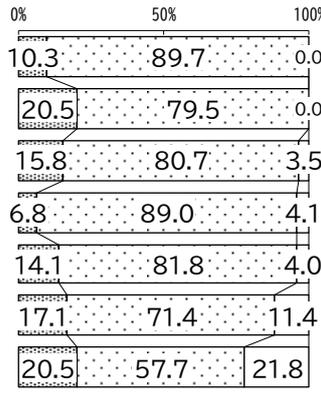
⑧ 東部コミセン



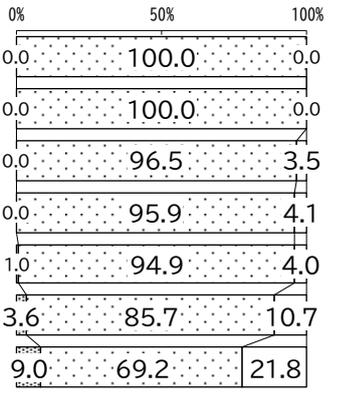
⑨ 青谷コミセン



⑩ 寺田コミセン
(文化パーク城陽内)

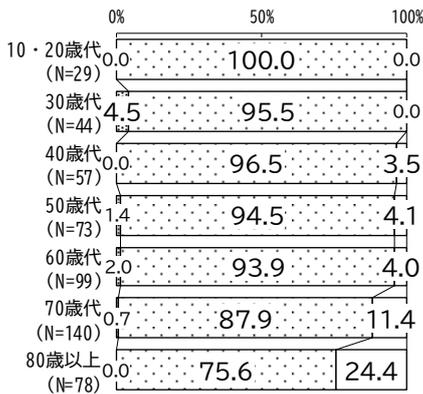


⑪ 老人福祉センター
陽寿苑

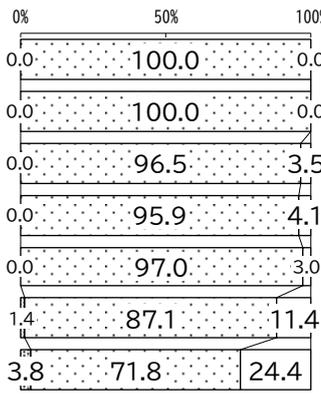


よく・ときどき利用する あまり・まったく利用していない 無回答

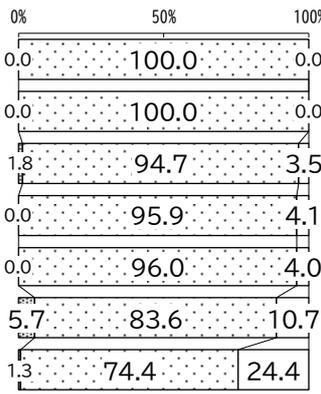
⑫ 老人福祉センター
陽東苑



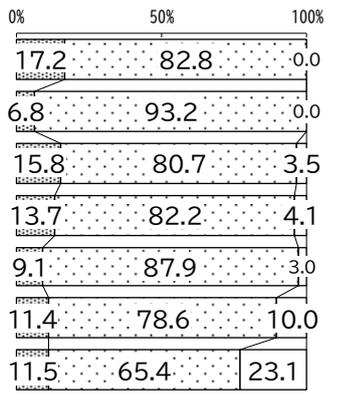
⑬ 老人福祉センター
陽幸苑



⑭ 老人福祉センター
陽和苑

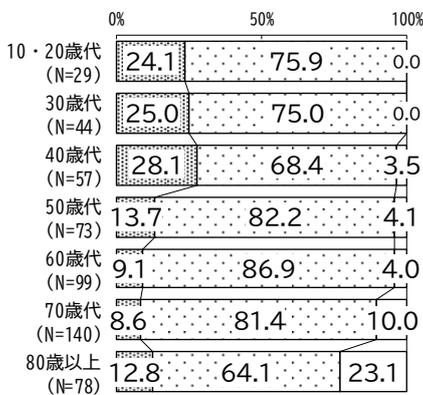


⑮ 市民体育館

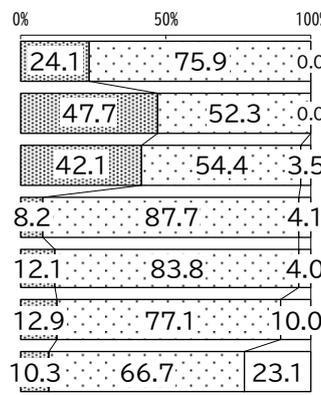


よく・ときどき利用する あまり・まったく利用していない 無回答

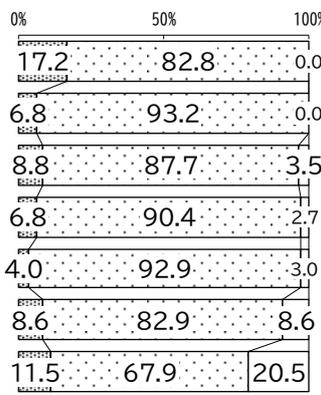
⑯ 総合運動公園
スポーツゾーン
(多目的広場・野球場など)



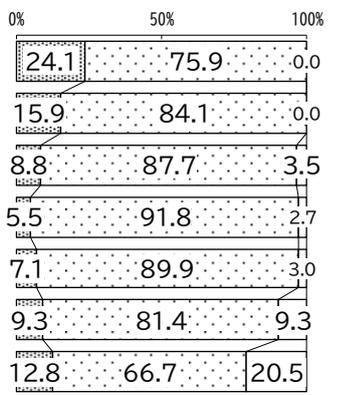
⑰ 総合運動公園
レクリエーション
ゾーン(ロゴスランド)



⑱ アイリスイン城陽



⑲ プラムイン城陽

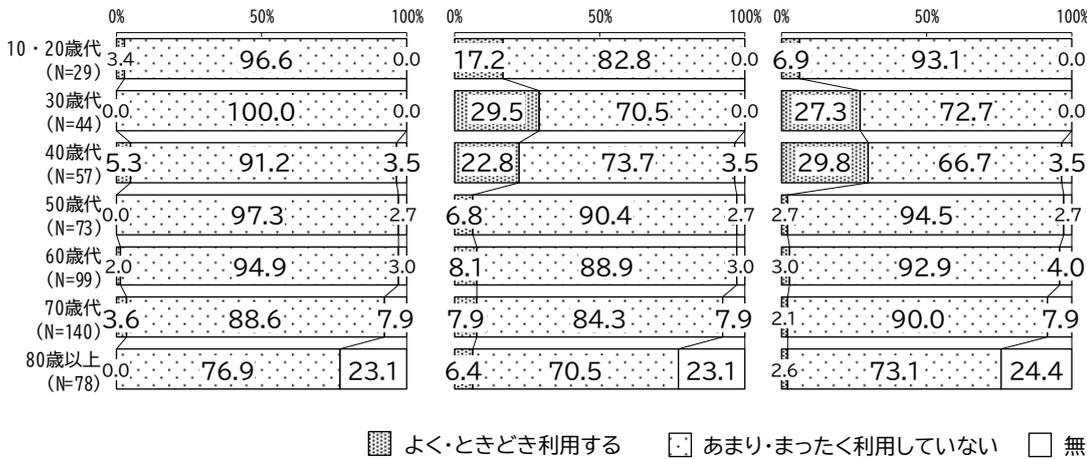


よく・ときどき利用する あまり・まったく利用していない 無回答

⑩市民テニスコート
(北部コミセン横)

⑫木津川河川敷運動広場

⑬市民プール



年齢別にみると、「①文化パーク城陽 iv プラムホール、ふれあいホール」「④福祉センター」では年代が高いほど「よく・ときどき利用する」の割合が概ね高くなる傾向がみられます。一方、「①文化パーク城陽 iii プラネタリウム」「⑬総合運動公園 スポーツゾーン (多目的広場・野球場など)」「⑭プラムイン城陽」では年代が低いほど「よく・ときどき利用する」の割合が高くなる傾向がみられます。

30歳代では、「①文化パーク城陽 i 図書館」「①文化パーク城陽 iii プラネタリウム」「②男女共同参画支援センター (ぱれっと JOYO)」「③地域子育て支援センター (ひなたぼっこ)」「⑥南部コミセン・働く女性の家・コミュニティ防災センター」「⑧東部コミセン」「⑭総合運動公園レクリエーションゾーン (ロゴスランド)」「⑫木津川河川敷運動広場」、40歳代では「⑦今池コミセン」「⑬総合運動公園 スポーツゾーン (多目的広場・野球場など)」「⑬市民プール」が他の年代より「よく・ときどき利用する」が高くなっています。

また、市内各コミセンのなかで、「⑤北部コミセン」「⑧東部コミセン」「⑩寺田コミセン (文化パーク城陽内)」では、各年代で「よく・ときどき利用する」が比較的高くなっています。(図3-35-1)

(36)市内の各種公共施設を利用していない理由

Ⅲ. 問 29-1 また、利用していない方はその主な理由を1つお答えください。

図3-36 市内の各種公共施設を利用していない理由

(%)

		回答者数(N)	施設を知らない	施設が充実していない	曜日・時間帯が合わない	手続き面で利用しづらい	施設まで遠い	利用する必要がない	その他	無回答
①文化パーク城陽	i 図書館	333	2.7	2.7	3.0	0.0	14.7	61.6	8.1	7.2
	ii 歴史民俗資料館	444	12.4	0.9	1.4	0.0	6.8	64.9	6.8	7.0
	iii プラネタリウム	436	3.2	0.7	6.0	0.2	7.8	64.7	9.9	7.6
	iv プラムホール、ふれあいホール	382	4.7	0.0	1.8	0.0	7.1	72.5	6.3	7.6
	v 会議室	454	4.6	0.2	0.2	0.2	5.1	79.1	4.4	6.2
	vi 市民活動支援センター	466	11.4	0.0	0.2	0.4	4.5	72.7	4.9	5.8
②男女共同参画支援センター(ばれっとJOYO)		465	12.9	0.0	0.2	0.0	2.2	73.5	4.5	6.7
③地域子育て支援センター(ひなたぼっこ)		451	10.2	0.0	0.2	0.0	2.4	76.9	5.3	4.9
④福祉センター		409	9.3	0.2	0.0	0.0	2.9	74.6	6.4	6.6
⑤北部コミセン		410	6.1	0.0	0.5	0.0	9.8	71.5	5.9	6.3
⑥南部コミセン・働く女性の家・コミュニティ防災センター		419	6.4	0.5	0.5	0.0	8.1	70.9	5.5	8.1
⑦今池コミセン		442	7.2	0.0	0.5	0.0	10.6	70.6	4.5	6.6
⑧東部コミセン		412	5.3	0.0	0.0	0.0	10.2	71.8	4.9	7.8
⑨青谷コミセン		448	6.9	0.2	0.2	0.0	11.4	69.9	4.2	7.1
⑩寺田コミセン(文化パーク城陽内)		400	5.3	0.0	0.3	0.0	7.3	75.5	4.5	7.3
⑪老人福祉センター陽寿苑		468	7.1	0.0	0.0	0.2	6.4	75.9	4.3	6.2
⑫老人福祉センター陽東苑		472	7.8	0.4	0.2	0.2	5.5	75.4	4.2	6.1
⑬老人福祉センター陽幸苑		474	7.8	0.4	0.0	0.2	5.3	75.1	4.4	6.8
⑭老人福祉センター陽和苑		469	7.9	0.2	0.0	0.2	3.8	76.8	4.3	6.8
⑮市民体育館		421	4.3	1.0	0.2	0.7	6.7	74.3	5.9	6.9
⑯総合運動公園スポーツゾーン(多目的広場・野球場など)		406	3.0	1.2	0.0	0.2	7.4	75.4	6.4	6.4
⑰総合運動公園レクリエーションゾーン(ロゴランド)		385	3.4	1.0	0.0	0.5	8.1	72.7	6.2	8.1
⑱アイリスイン城陽		444	5.9	0.5	0.7	0.5	7.7	70.5	5.6	8.8
⑲プラムイン城陽		433	4.8	0.5	0.5	0.7	7.4	72.5	4.6	9.0
⑳市民テニスコート(北部コミセン横)		475	5.3	0.0	0.2	0.6	4.2	76.2	3.6	9.9
㉑木津川河川敷運動広場		426	5.4	0.2	0.7	0.0	7.3	73.2	3.8	9.4
㉒市民プール		443	4.7	1.4	0.9	0.0	3.6	76.5	3.8	9.0

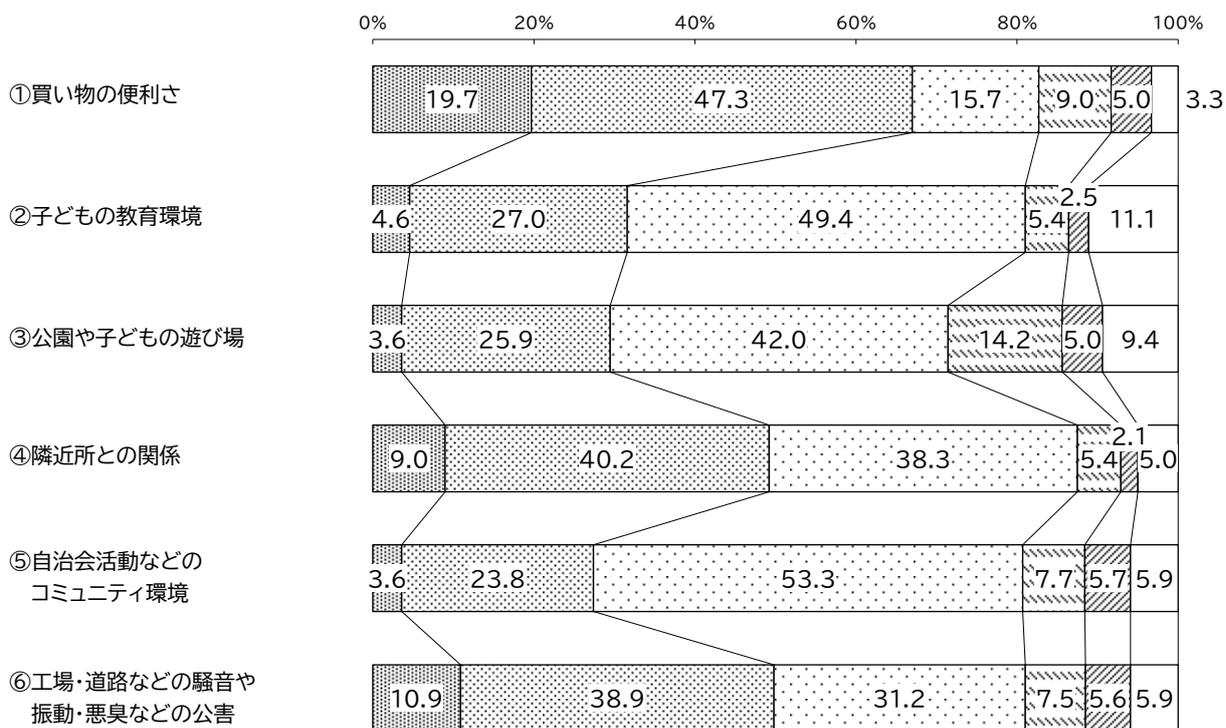
市内の各種公共施設を利用していない理由については、すべての項目で「利用する必要がない」が最も高く6割を超えています。「①文化パーク城陽 i 図書館」では、「施設まで遠い」14.7% (49件)の割合が比較的高くなっています。また、「①文化パーク城陽 ii 歴史民俗資料館」「①文化パーク城陽 vi 市民活動支援センター」「②男女共同参画支援センター(ばれっとJOYO)」「③地域子育て支援センター(ひなたぼっこ)」では「施設を知らない」の割合が1割以上とやや高くなっています。(図3-36)

4 城陽市での暮らしの満足度について

(1)日常生活全般の満足度

IV. 問1 あなたが城陽市で生活する中で、次のことをどのように感じていますか。それぞれの項目ごとに1～5のあてはまるものに○をつけてください。

図4-1 日常生活全般の満足度



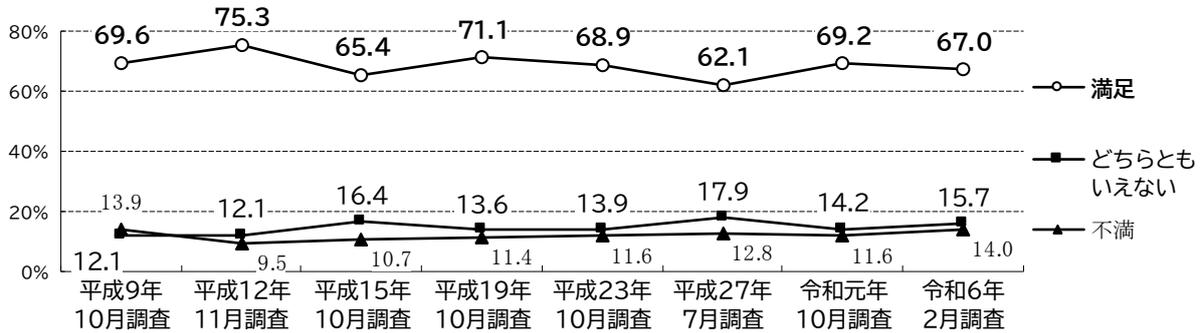
N=522

かなり満足
 どちらかといえは満足
 どちらともいえない
 どちらかといえは不満
 かなり不満
 無回答

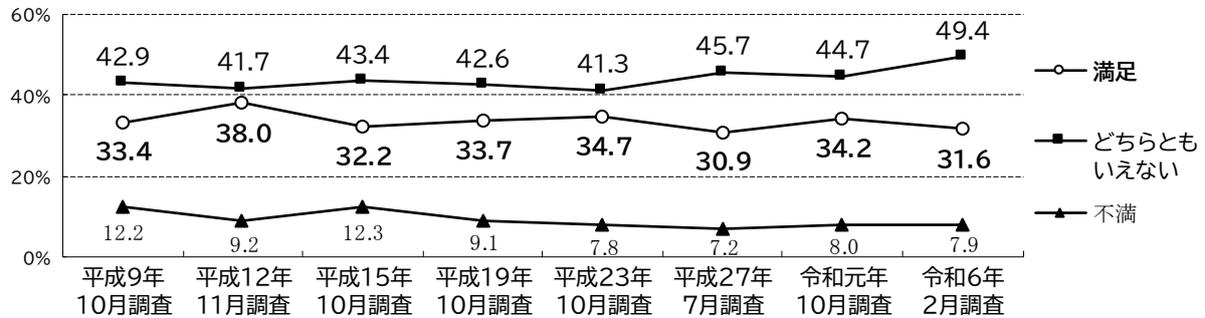
日常生活全般の満足度について、すべての項目で『満足』（「かなり満足」と「どちらかといえは満足」を合わせた割合）が『不満』（「どちらかといえは不満」と「かなり不満」を合わせた割合）を上回っています。「①買い物の便利さ」では、「どちらかといえは満足」が47.3%（247件）と高く、「かなり満足」19.7%（103件）と合わせた『満足』では67.0%（350件）となっています。「④隣近所との関係」では、『満足』が49.2%（257件）となっています。『不満』は「③公園や子どもの遊び場」で19.2%（100件）と高くなっています。「⑥工場・道路などの騒音や振動・悪臭などの公害」では、『満足』が49.8%（260件）を占める一方で、『不満』は13.1%（68件）となっています。また、「⑤自治会活動などのコミュニティ環境」では、「どちらともいえない」が53.3%（278件）と5割以上を占めています。（図4-1）

図4-1-1 経年比較 日常生活全般の満足度

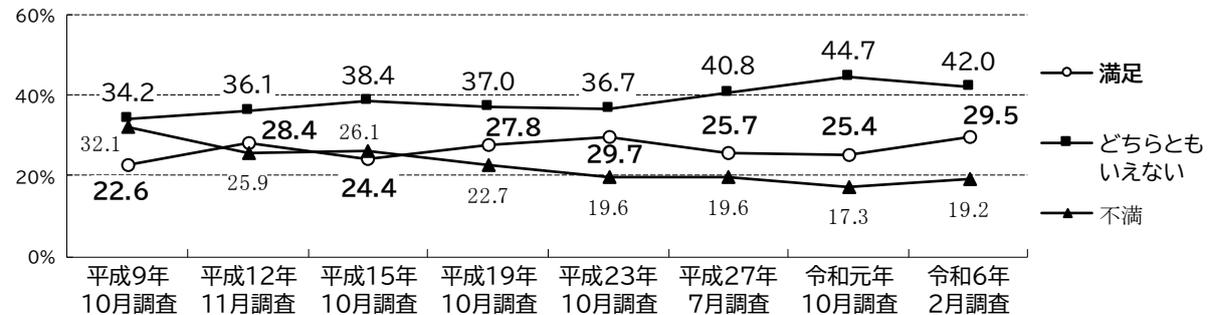
①買い物の便利さ



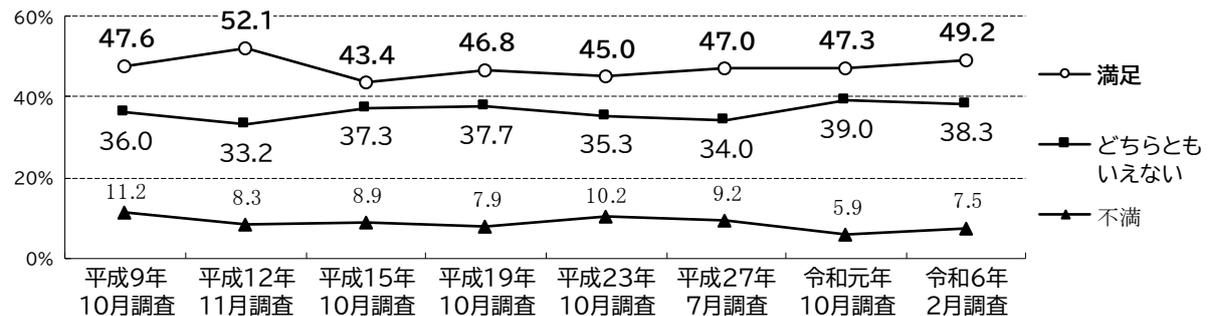
②子どもの教育環境



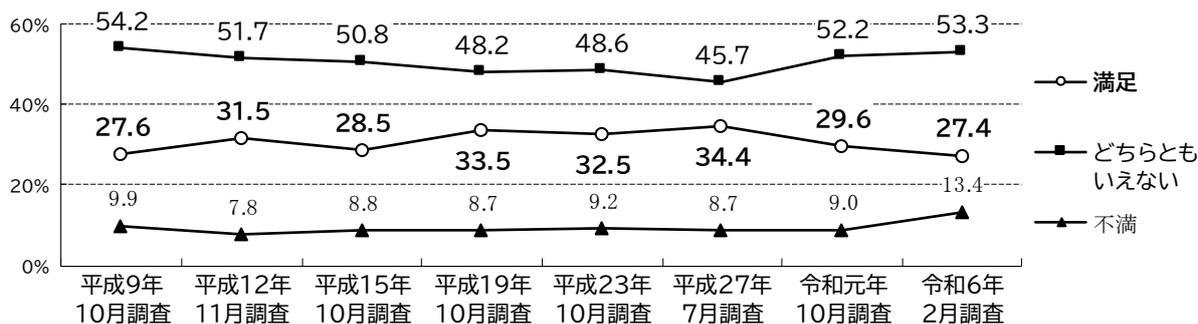
③公園や子どもの遊び場



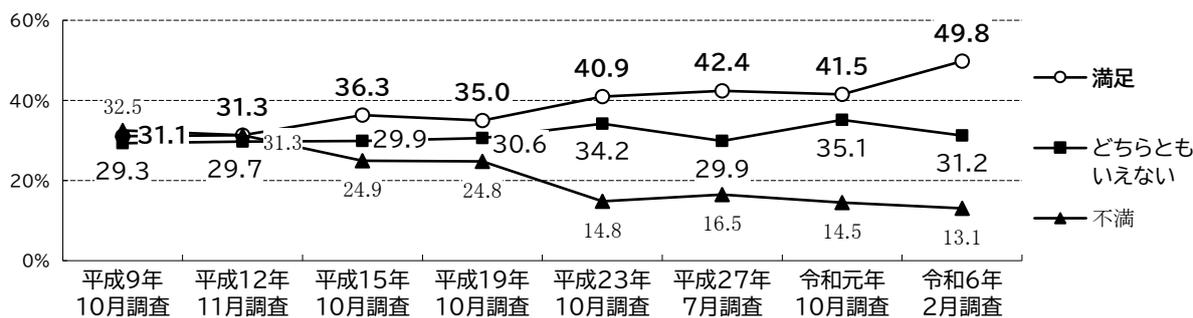
④隣近所との関係



⑤自治会活動などのコミュニティ環境



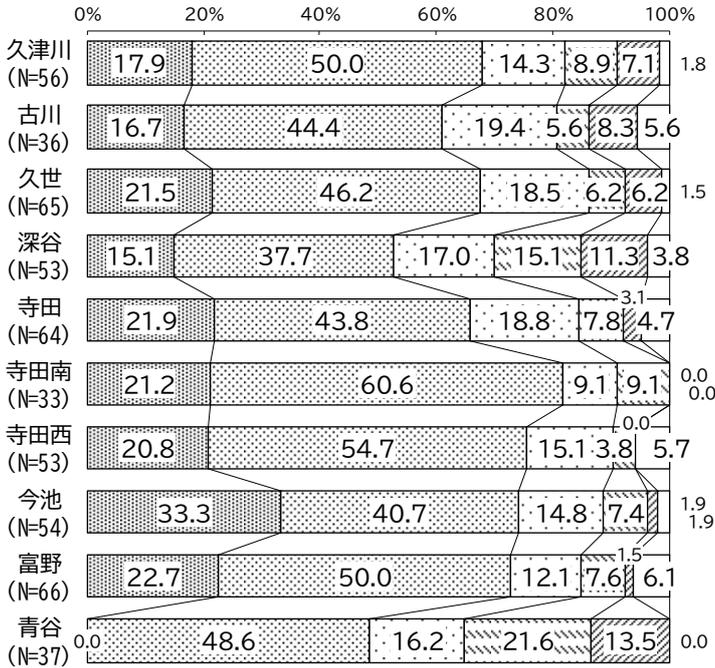
⑥工場・道路などの騒音や振動・悪臭などの公害



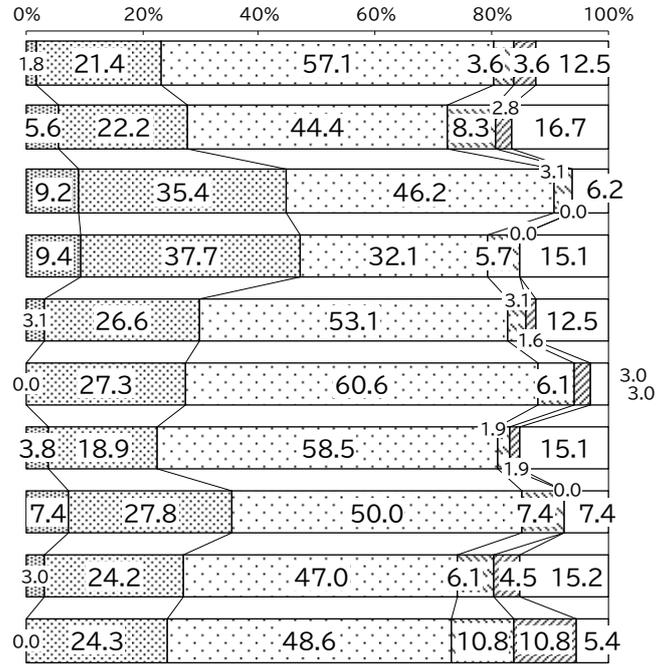
前回調査と比較すると、「③公園や子どもの遊び場」「⑥工場・道路などの騒音や振動・悪臭などの公害」では『満足』（「かなり満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた割合）が大きく増加しており、それぞれ4.1ポイント、8.3ポイントの増加となっています。「①買い物の便利さ」「②子どもの教育環境」「⑤自治会活動などのコミュニティ環境」では、いずれも『満足』がやや減少し、「どちらともいえない」が増加しています。（図4-1-1）

図4-1-2 居住小学校区別 日常生活全般の満足度

①買い物の便利さ

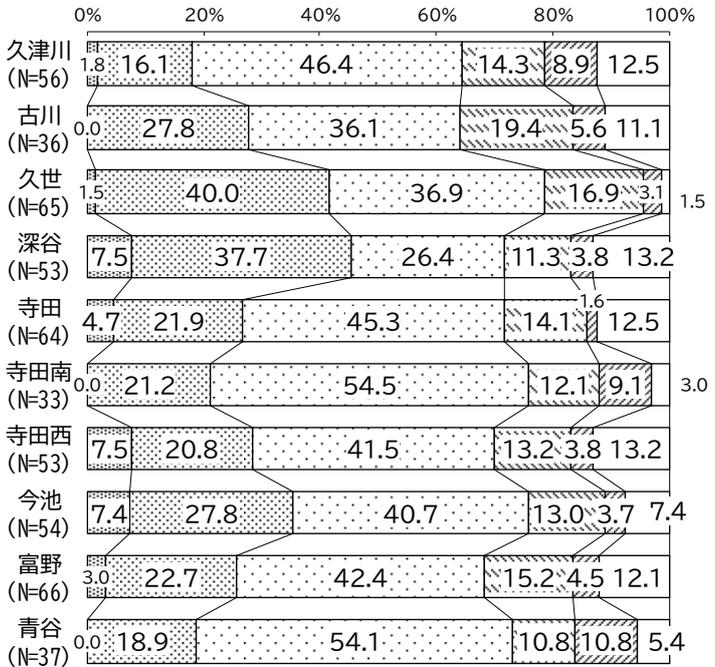


②子どもの教育環境

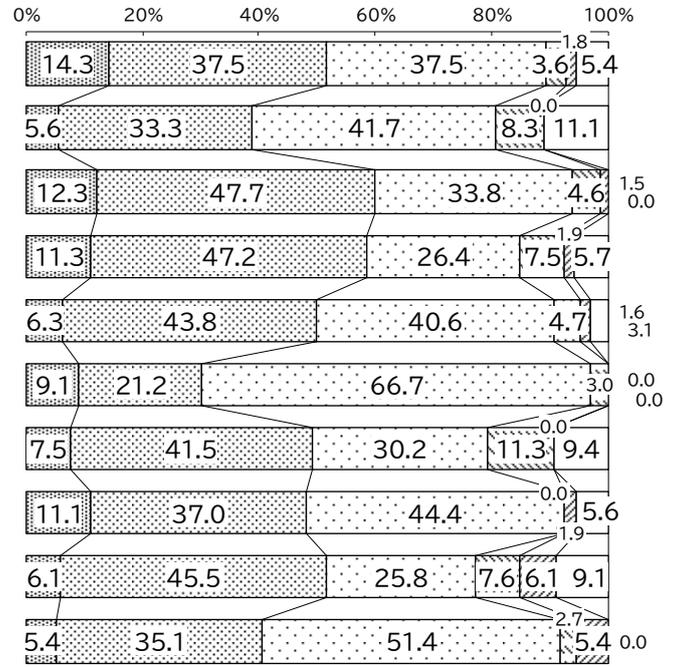


■ かなり満足 □ どちらかといえば満足 □ どちらともいえない □ どちらかといえば不満 ▨ かなり不満 □ 無回答

③公園や子どもの遊び場

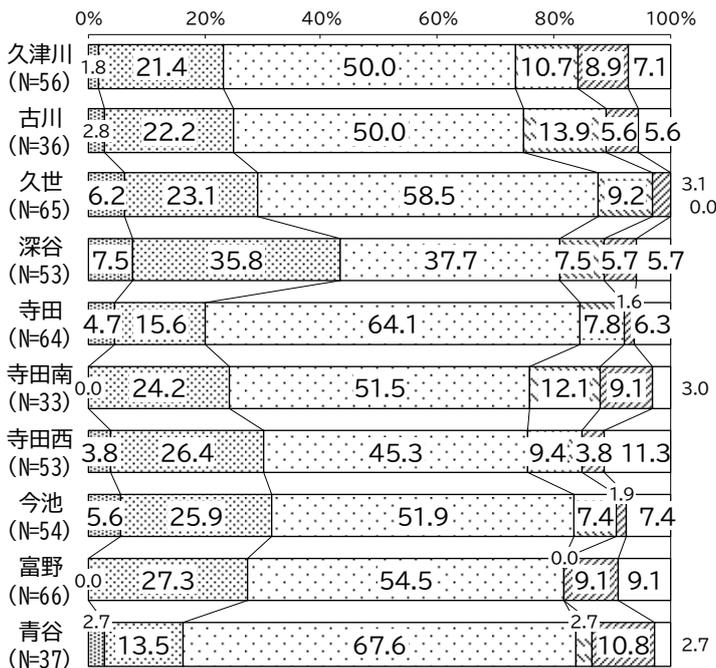


④隣近所との関係

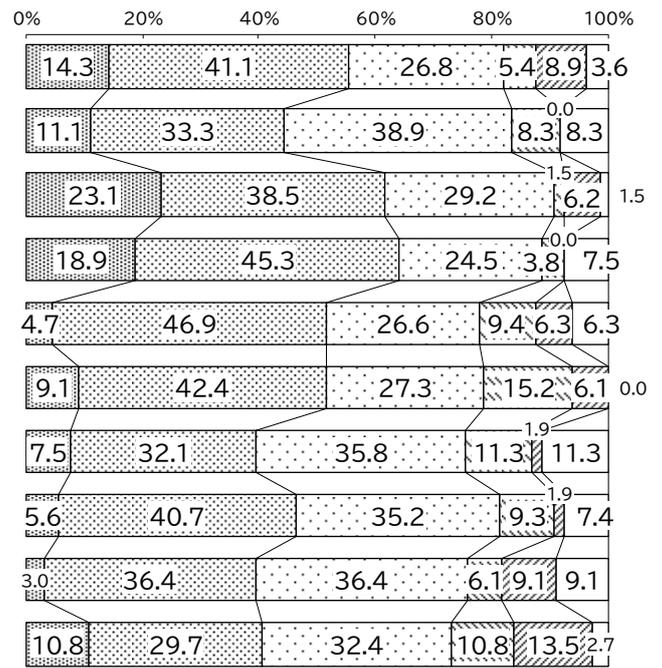


■ かなり満足 □ どちらかといえば満足 □ どちらともいえない □ どちらかといえば不満 ▨ かなり不満 □ 無回答

⑤自治会活動などのコミュニティ環境



⑥工場・道路などの騒音や振動・悪臭などの公害



■ かなり満足 □ どちらかといえば満足 □ どちらともいえない □ どちらかといえば不満 ▨ かなり不満 □ 無回答

居住小学校区別にみると、「①買物の便利さ」は、『満足』（「かなり満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた割合）は寺田南で81.8%（27件）、寺田西で75.5%（40件）、今池で74.0%（40件）、富野で72.7%（48件）と高くなっています。一方、青谷と深谷では『不満』（「どちらかといえば不満」と「かなり不満」を合わせた割合）がそれぞれ35.1%（13件）、26.4%（14件）と高くなっています。

「②子どもの教育環境」は、深谷と久世で『満足』がそれぞれ47.1%（25件）、44.6%（29件）と高くなっていますが、寺田南では「どちらともいえない」が6割以上を占めています。

「③公園や子どもの遊び場」は、青谷と久津川で『不満』がそれぞれ21.6%（8件）、23.2%（13件）で、『満足』18.9%（7件）、17.9%（10件）を上回っています。

「④隣近所との関係」は、古川と寺田南を除く小学校区で『満足』が4割以上となっており、古川は38.9%（14件）、寺田南は30.3%（10件）となっています。

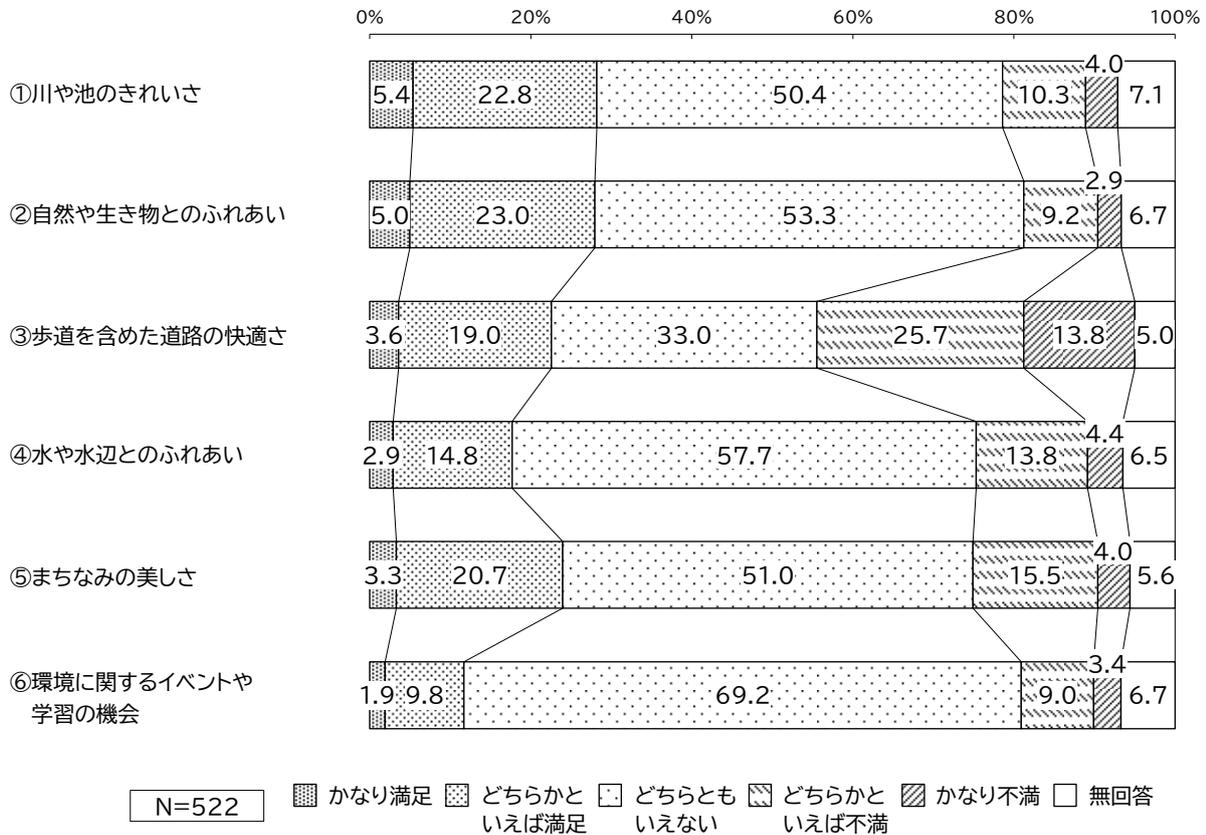
「⑤自治会活動などのコミュニティ環境」は、深谷では『満足』が43.3%（23件）と高くなっています。一方、青谷では『満足』が16.2%（6件）と低く、「どちらともいえない」が7割近くを占めています。

「⑥工場・道路などの騒音や振動・悪臭などの公害」は、深谷と久世は『満足』がそれぞれ64.2%（34件）、61.6%（40件）と高く6割を超えています。一方、青谷と寺田南では『不満』がそれぞれ24.3%（9件）、21.3%（7件）と高くなっています。（図4-1-2）

(2)自然環境・周辺環境の満足度

IV. 問1 あなたが城陽市で生活する中で、次のことをどのように感じていますか。それぞれの項目ごとに1～5のあてはまるものに○をつけてください。

図4-2 自然環境・周辺環境の満足度



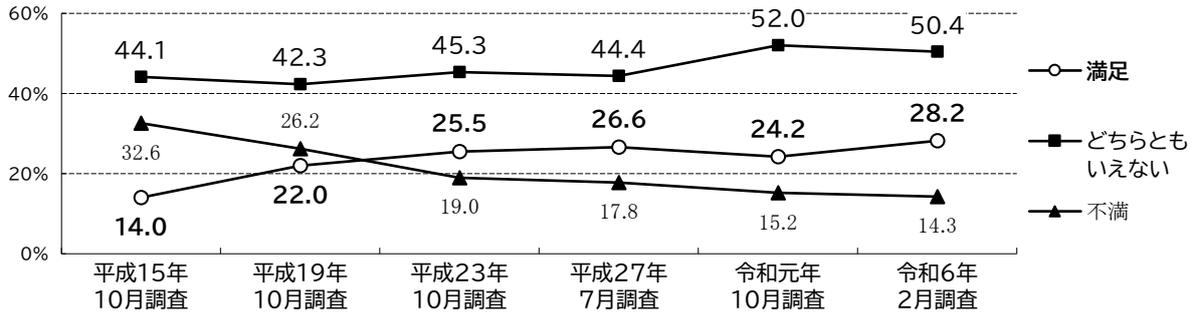
自然環境・周辺環境の満足度については、「①川や池のきれいさ」「②自然や生き物とのふれあい」「⑤まちなみの美しさ」では、『満足』（「かなり満足」と「どちらかと いえば満足」を合わせた割合）がそれぞれ28.2%（147件）、28.0%（146件）、24.0%（125件）となっており、いずれも『不満』（「どちらかと いえば不満」と「かなり不満」を合わせた割合）を上回っています。

一方、「③歩道を含めた道路の快適さ」では、『不満』が39.5%（206件）と最も高くなっています。

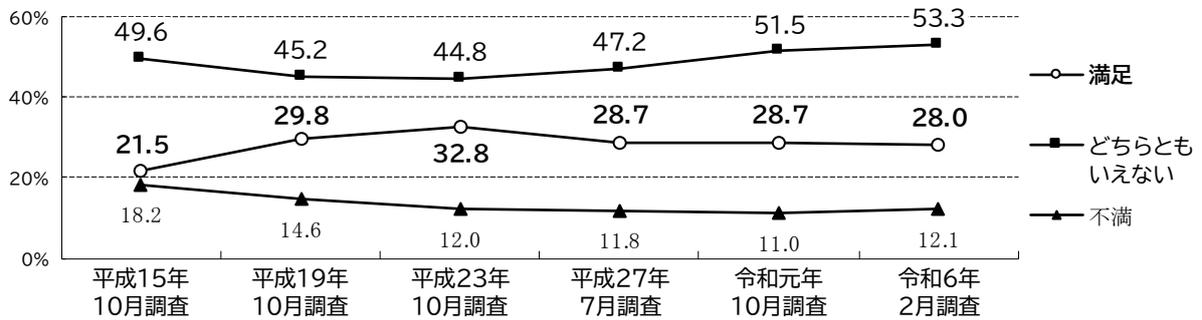
また、「⑥環境に関するイベントや学習の機会」では、『満足』と『不満』の割合がいずれも1割程度となっており、「どちらとも いえない」が69.2%（361件）と高くなっています。（図4-2）

図4-2-1 経年比較 自然環境・周辺環境の満足度

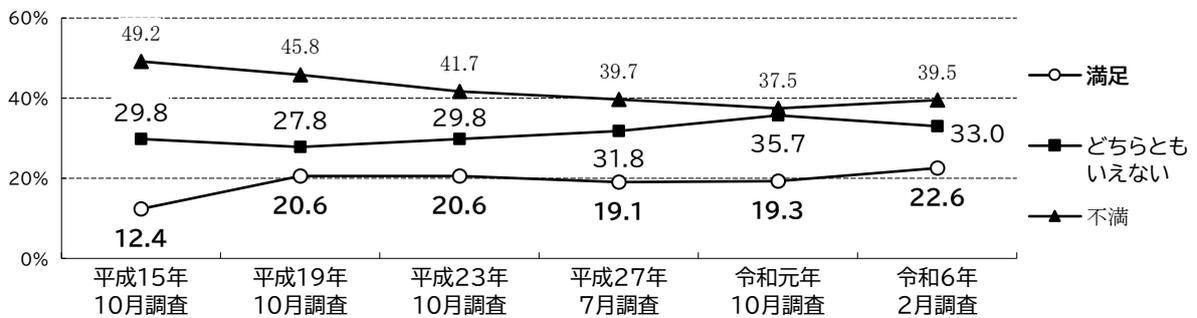
①川や池のきれいさ



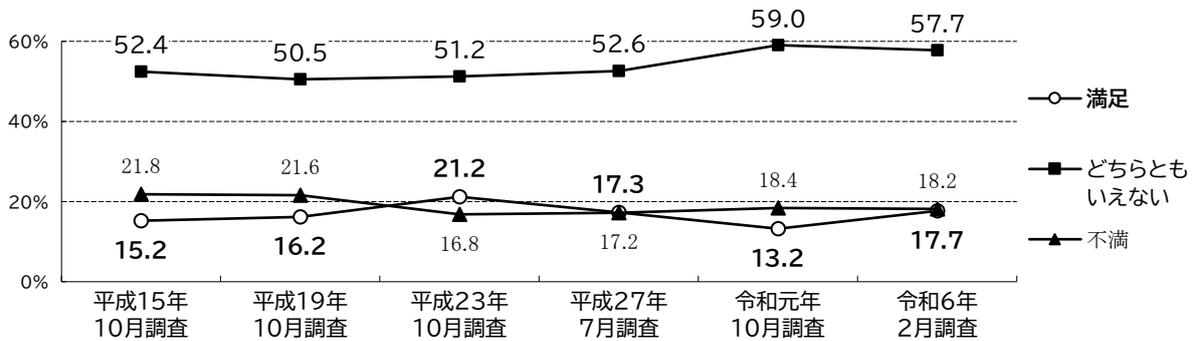
②自然や生き物とのふれあい



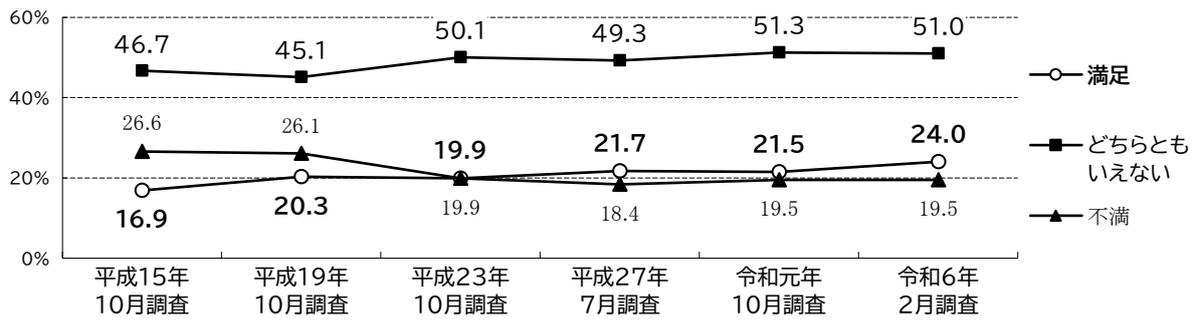
③歩道を含めた道路の快適さ



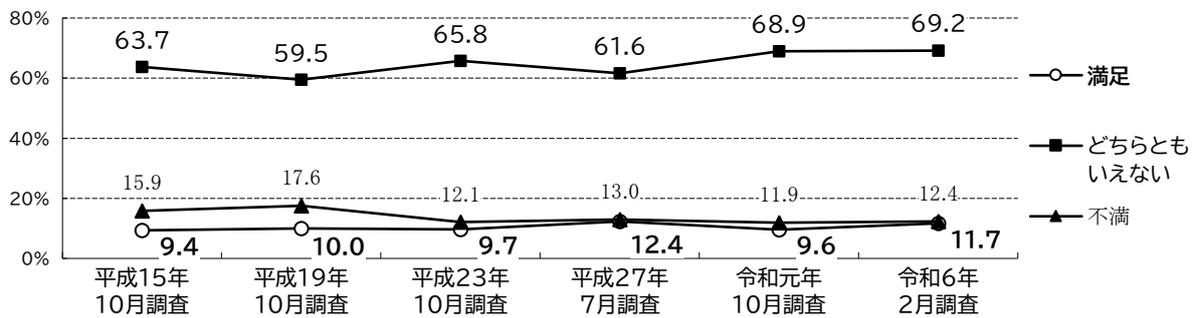
④水や水辺とのふれあい



⑤まちなみの美しさ



⑥環境に関するイベントや学習会の機会



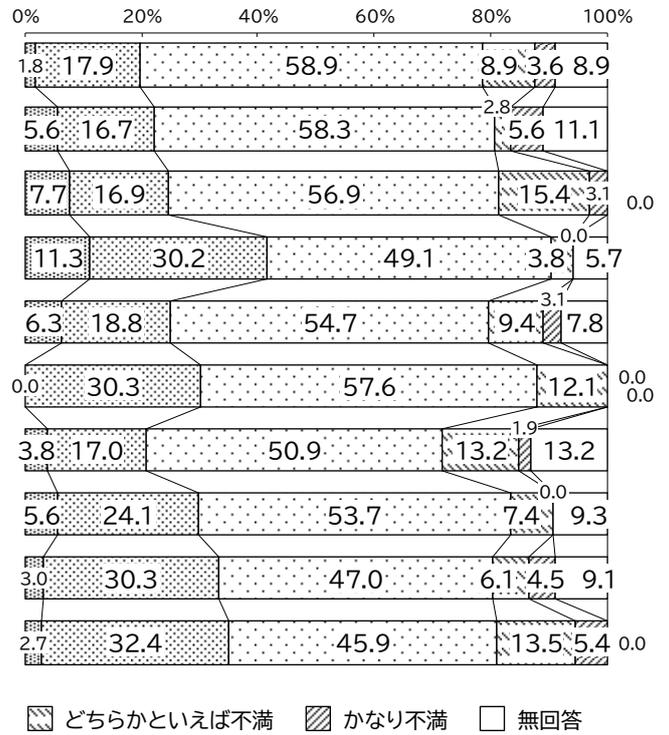
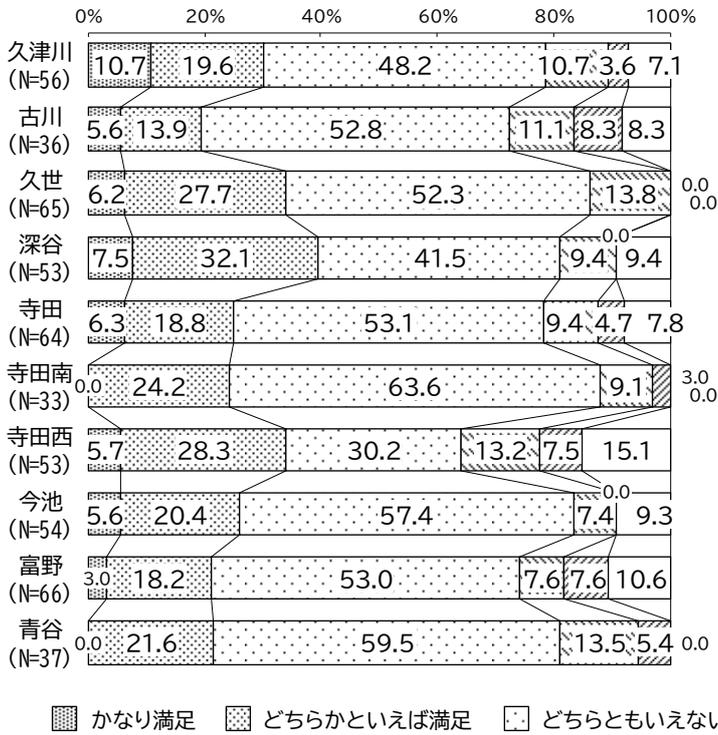
前回調査と比較すると、「①川や池のきれいさ」と「④水や水辺とのふれあい」は、『満足』（「かなり満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた割合）がそれぞれ4.0ポイント、4.5ポイント増加し、『不満』（「どちらかといえば不満」と「かなり不満」を合わせた割合）が微減しています。

また、「③歩道を含めた道路の快適さ」は、『満足』が3.3ポイント、『不満』が2.0ポイント増加しています。（図4-2-1）

図4-2-2 居住小学校区別 自然環境・周辺環境の満足度

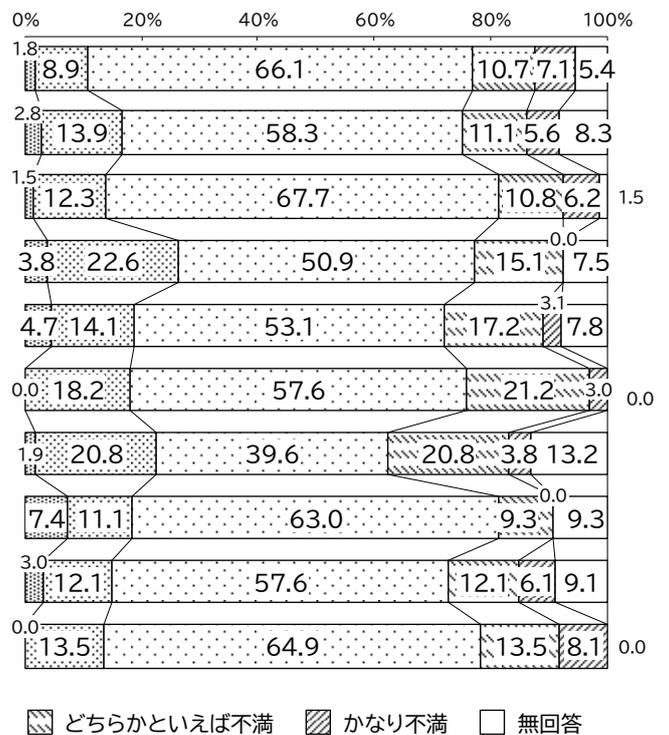
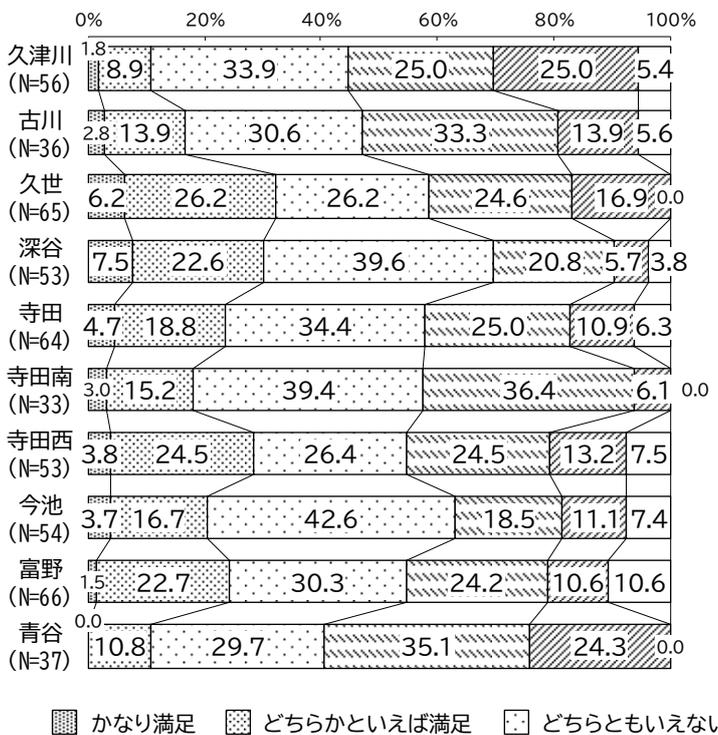
①川や池のきれいさ

②自然や生き物とのふれあい

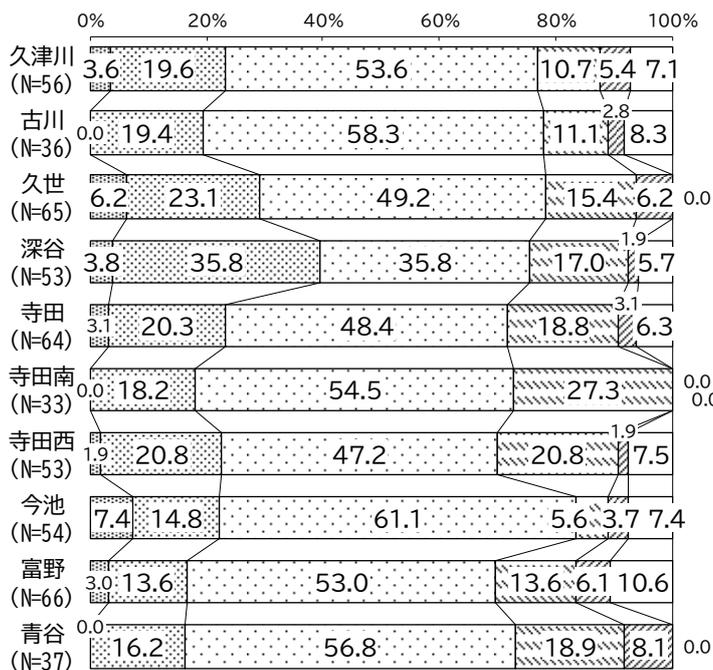


③歩道を含めた道路の快適さ

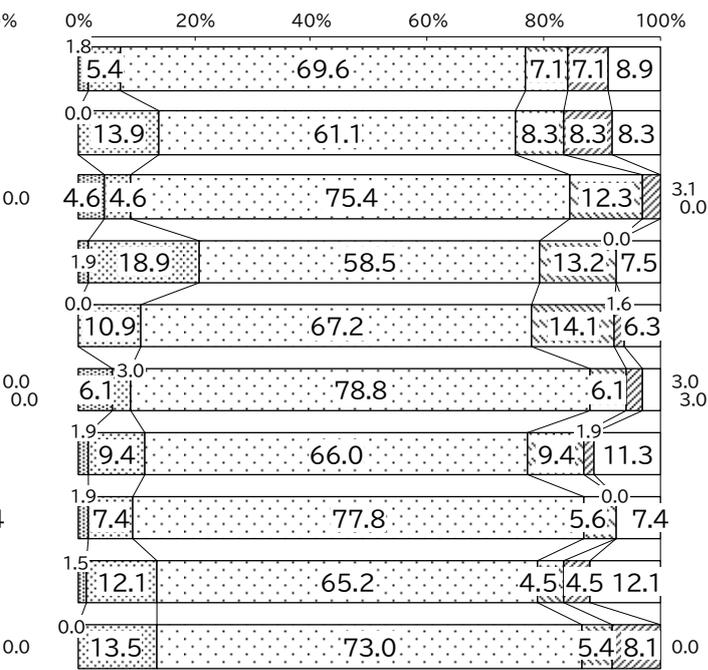
④水や水辺とのふれあい



⑤まちなみの美しさ



⑥環境に関するイベントや学習会の機会



かなり満足
 どちらかといえば満足
 どちらともいえない
 どちらかといえば不満
 かなり不満
 無回答

居住小学校区別にみると、「①川や池のきれいさ」は、深谷、寺田西、久世では、『満足』（「かなり満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた割合）が高く、それぞれ39.6%（21件）、34.0%（18件）、33.9%（22件）となっています。

「②自然や生き物とのふれあい」は、深谷で『満足』が4割を超えており、久世と青谷では『不満』（「どちらかといえば不満」と「かなり不満」を合わせた割合）が2割近くとなっています。

「③歩道を含めた道路の快適さ」は、深谷を除く小学校区で『不満』が『満足』を上回っており、『不満』は青谷で59.4%（22件）、久津川で50.0%（28件）と高くなっています。

「④水や水辺とのふれあい」は、深谷で『満足』が26.4%（14件）と最も高く、寺田西では『満足』が22.7%（12件）、『不満』が24.6%（13件）と拮抗しています。

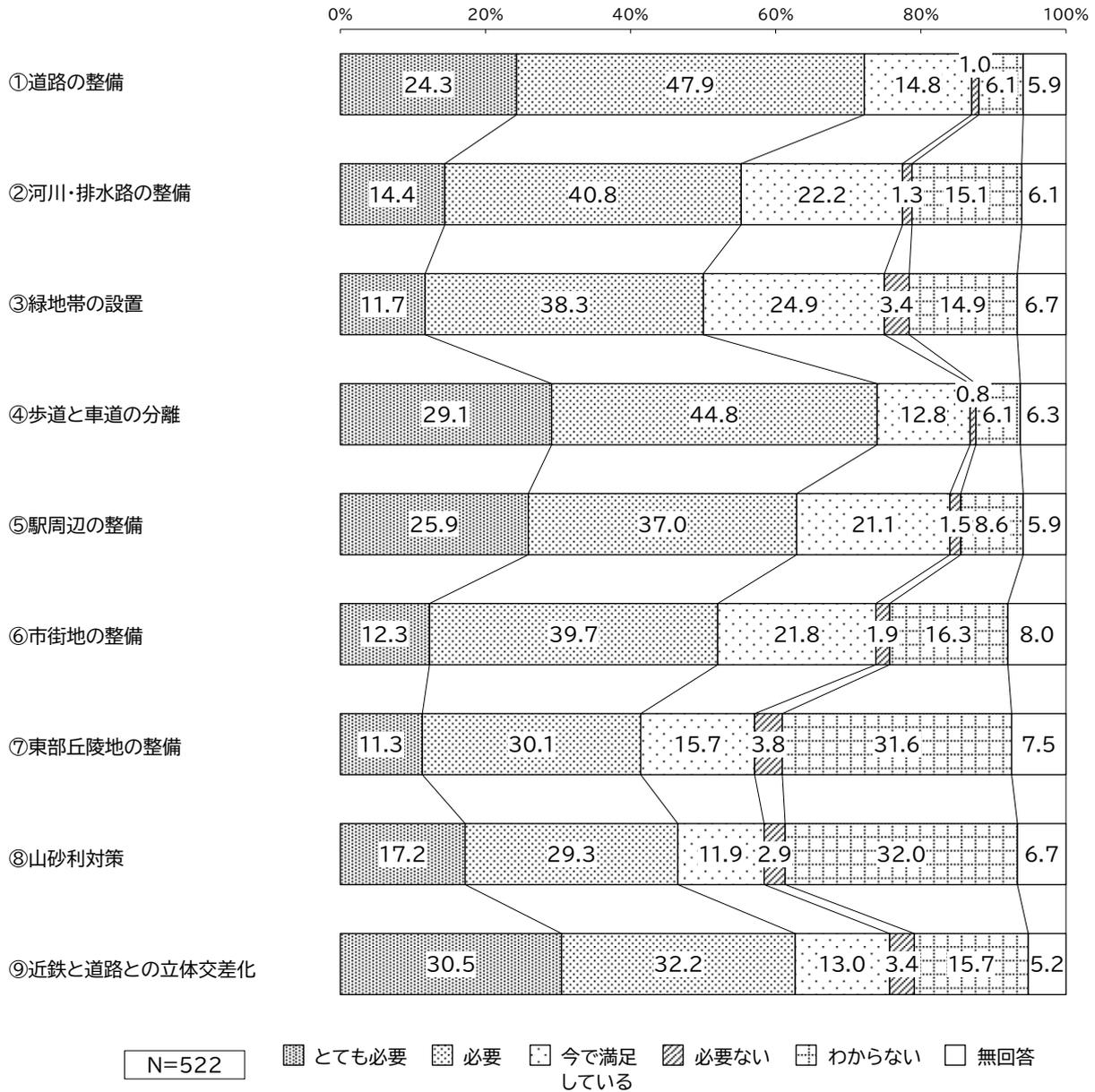
「⑤まちなみの美しさ」は、深谷で『満足』が39.6%（21件）と他の小学校区よりも割合が高くなっています。

「⑥環境に関するイベントや学習会の機会」は、深谷を除く小学校区で「どちらともいえない」が6割以上を占めています。（図4-2-2）

(3)都市基盤整備の必要性

IV. 問1 あなたが城陽市で生活する中で、次のことをどのように感じていますか。それぞれの項目ごとに1～5のあてはまるものに○をつけてください。

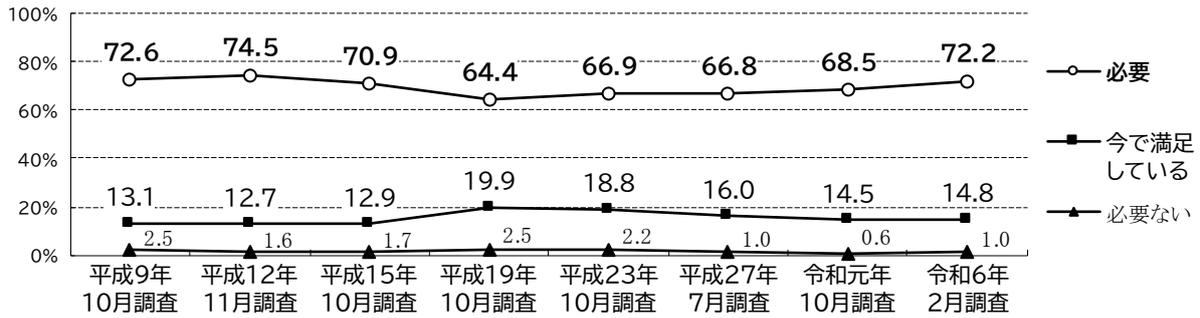
図4-3 都市基盤整備の必要性



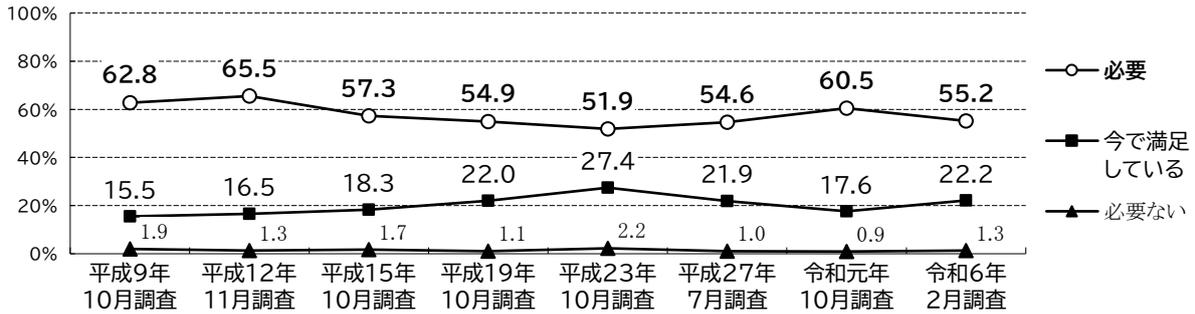
都市基盤整備の必要性については、『必要』（「とても必要」と「必要」を合わせた割合）が、「④歩道と車道の分離」で73.9%（386件）、「①道路の整備」で72.2%（377件）、「⑤駅周辺の整備」で62.9%（328件）、「⑨近鉄と道路との立体交差化」で62.7%（327件）と高く、6割を超えています。（図4-3）

図4-3-1 経年比較 都市基盤整備の必要性

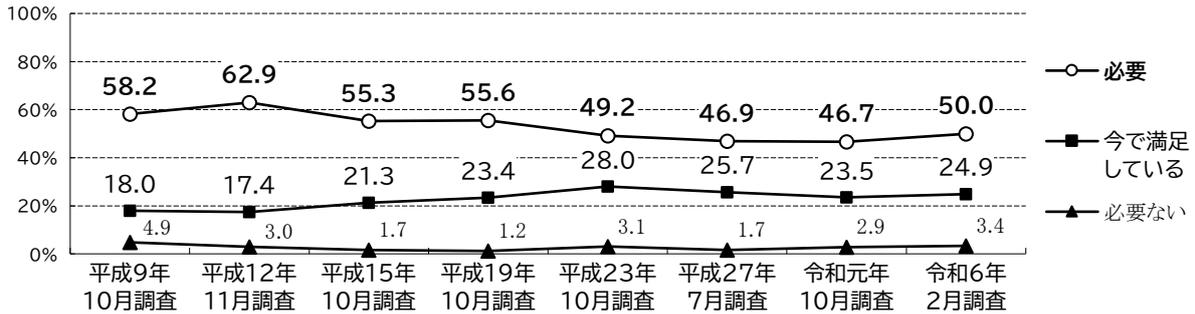
①道路の整備



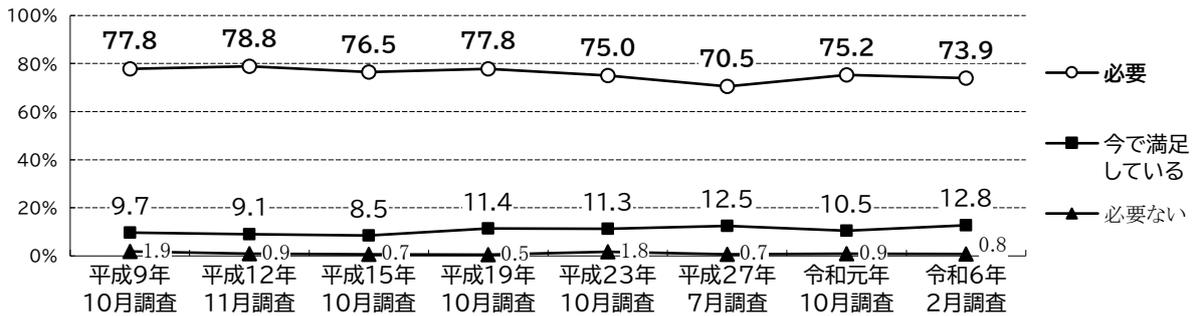
②河川・排水路の整備



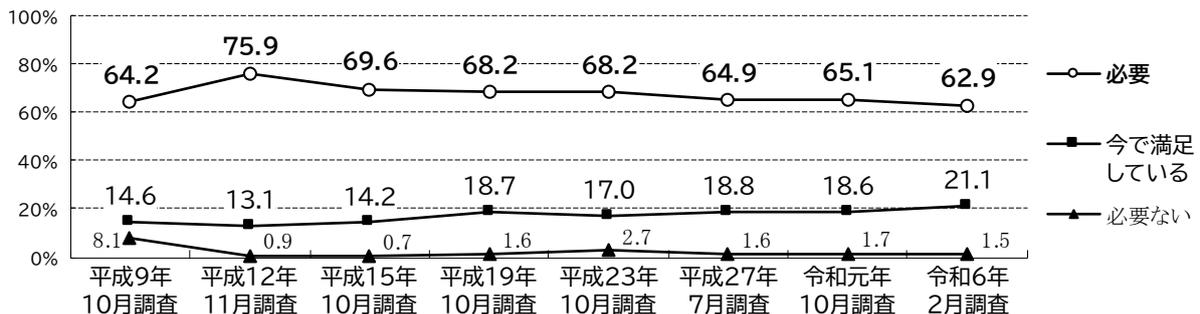
③緑地帯の設置



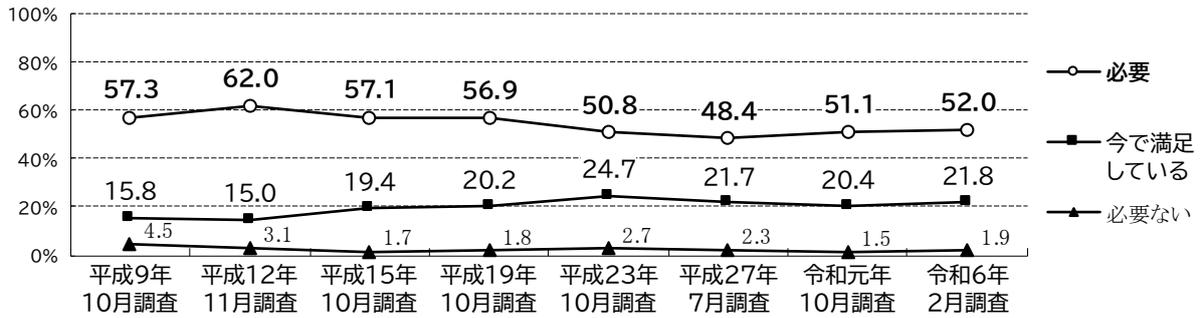
④歩道と車道の分離



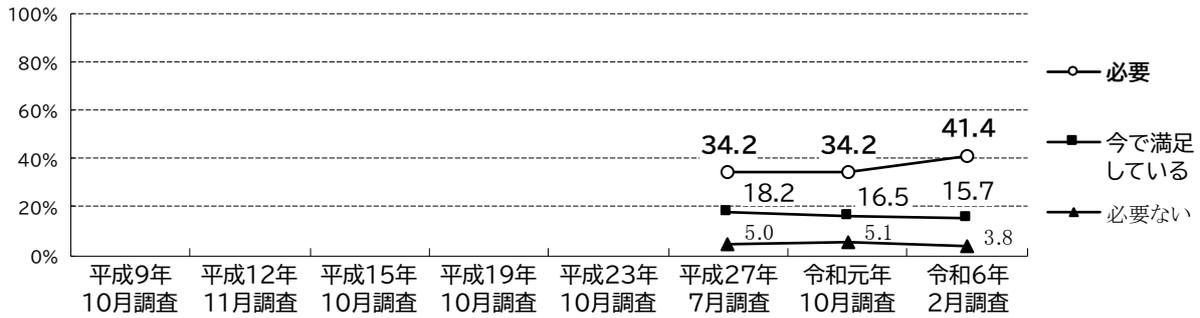
⑤駅周辺の整備



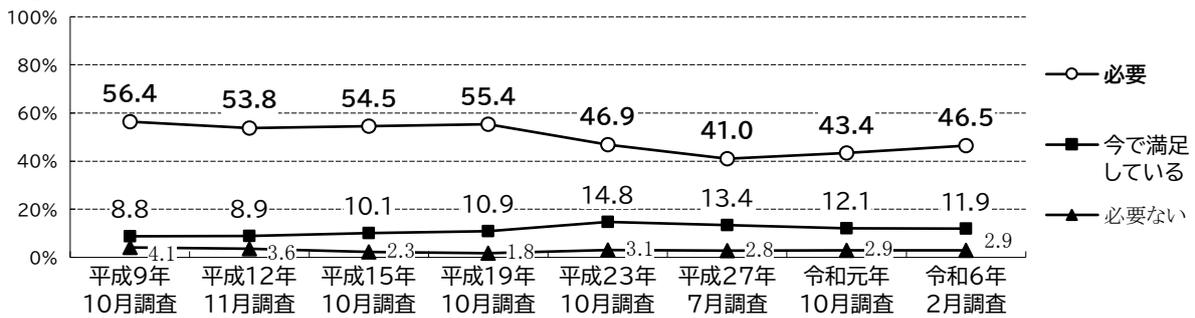
⑥市街地の整備



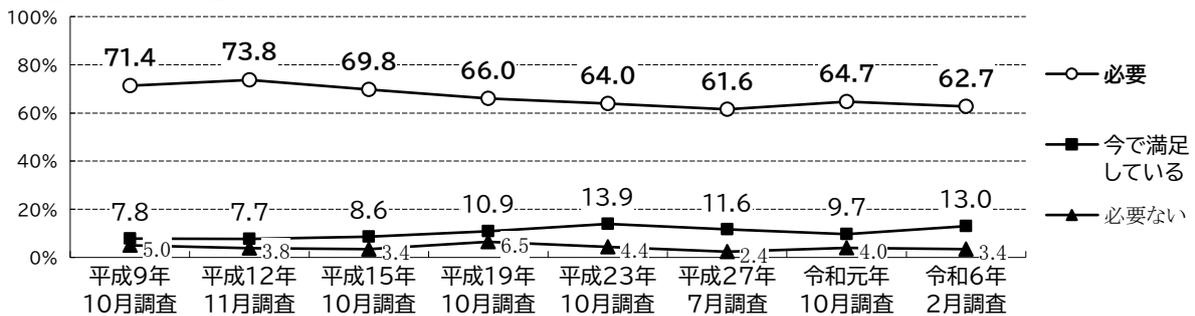
⑦東部丘陵地の整備



⑧山砂利対策



⑨近鉄と道路との立体交差化

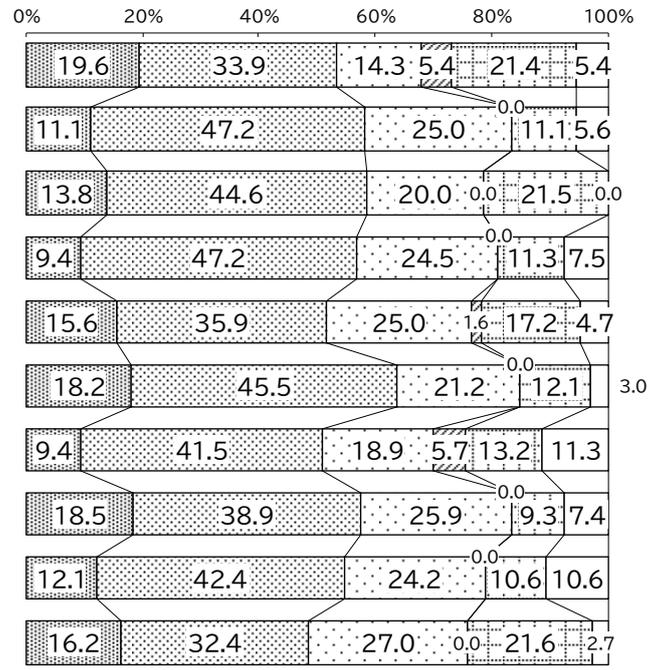
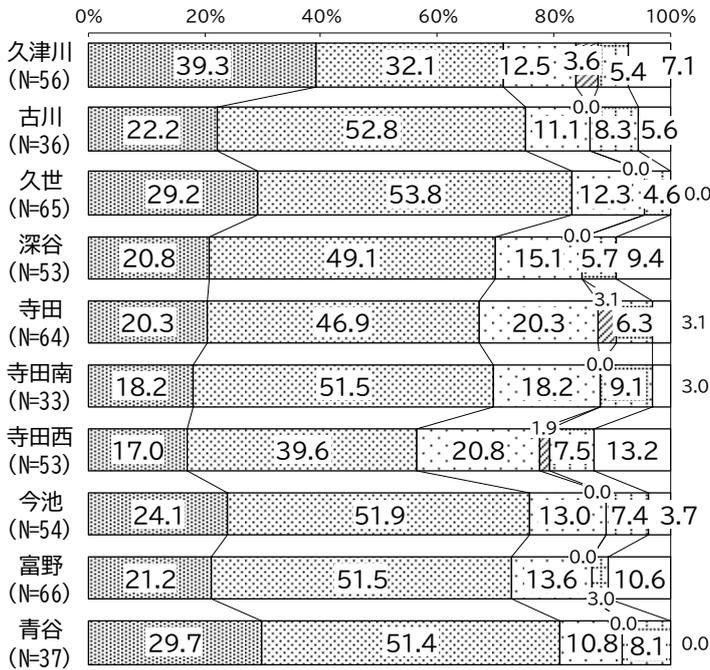


前回調査と比較すると、「⑦東部丘陵地の整備」と「⑧山砂利対策」を除く項目で「今で満足している」が増加しています。「⑦東部丘陵地の整備」は『必要』（「とても必要」と「必要」を合わせた割合）が7.2ポイント増加しており、前回調査との差が最も大きくなっています。（図4-3-1）

図4-3-2 居住小学校区別 都市基盤整備の必要性

①道路の整備

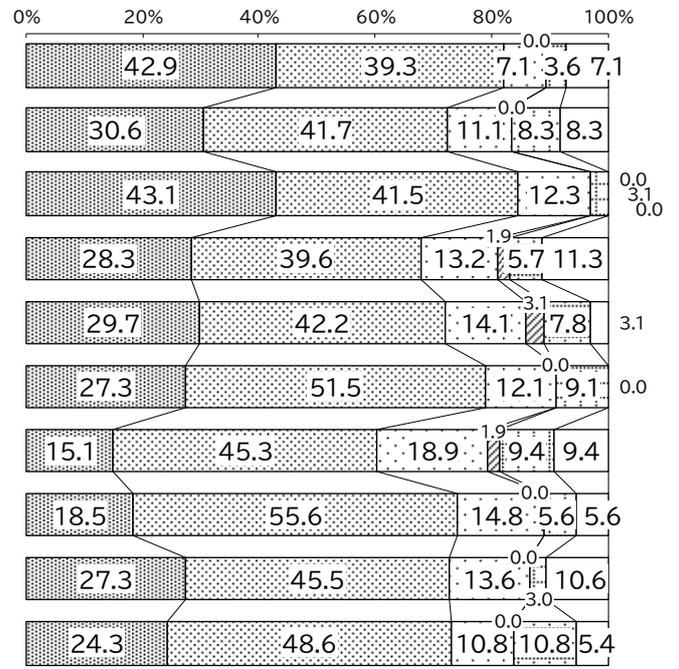
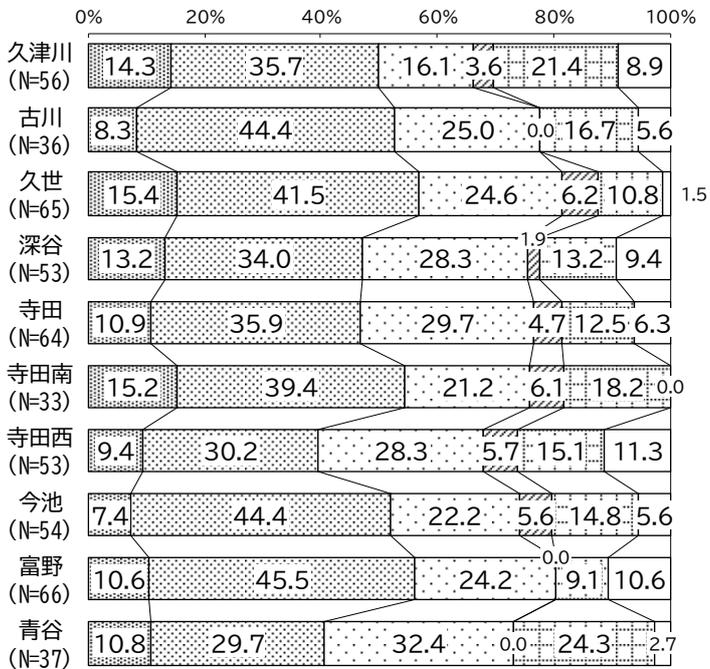
②河川・排水路の整備



■ とても必要 ■ 必要 ■ 今で満足している ■ 必要ない ■ わからない □ 無回答

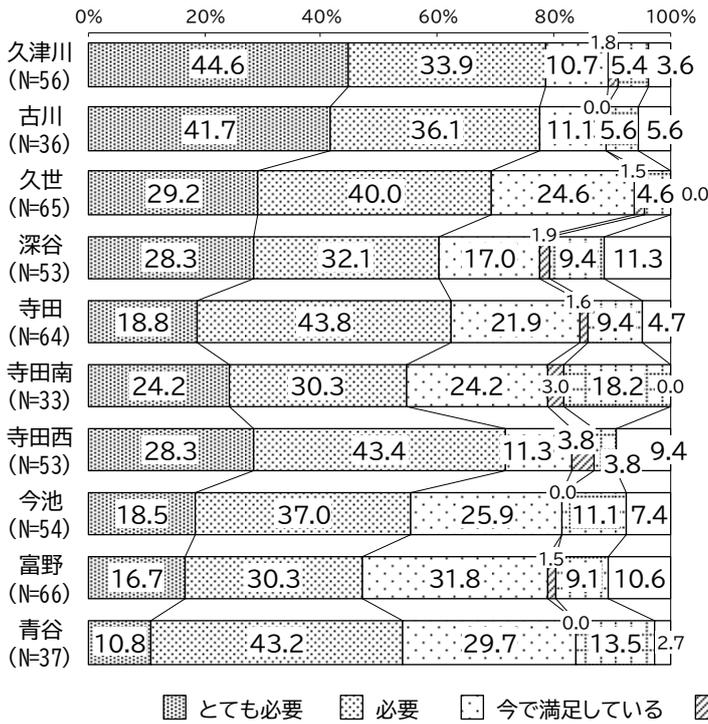
③緑地帯の設置

④歩道と車道の分離

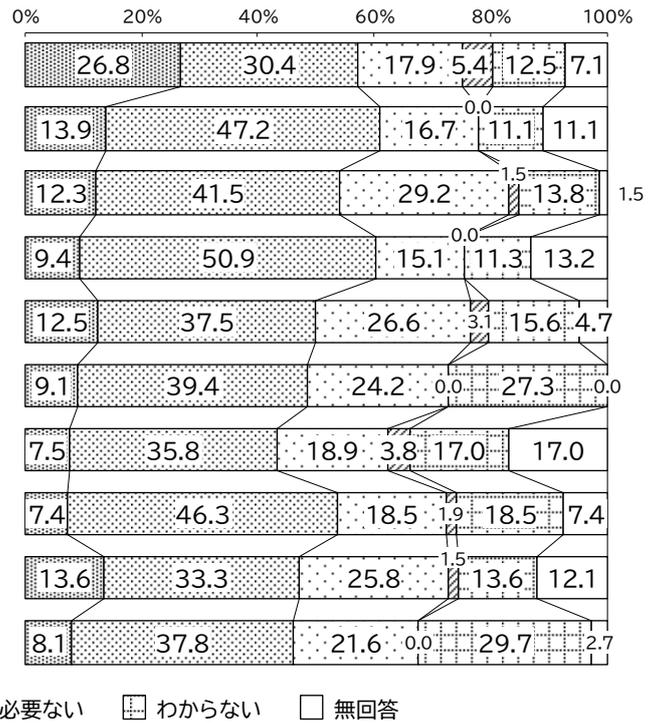


■ とても必要 ■ 必要 ■ 今で満足している ■ 必要ない ■ わからない □ 無回答

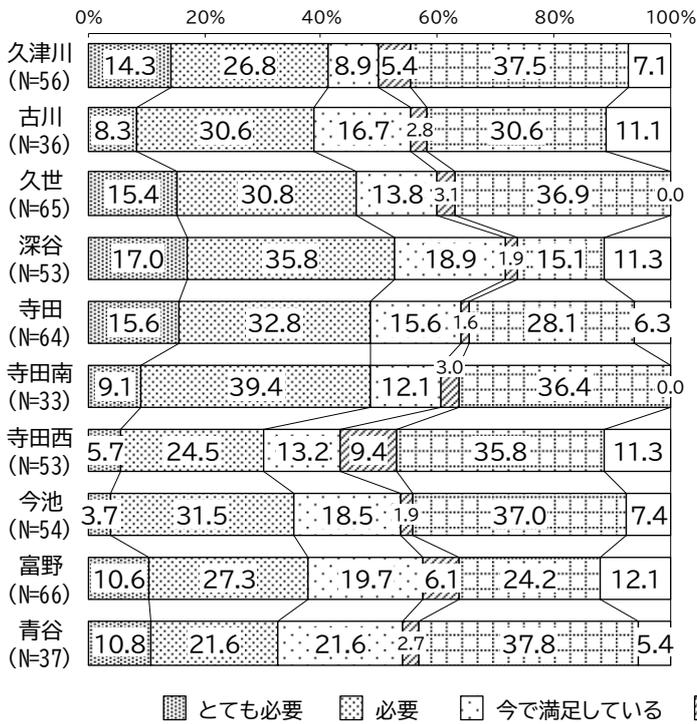
⑤ 駅周辺の整備



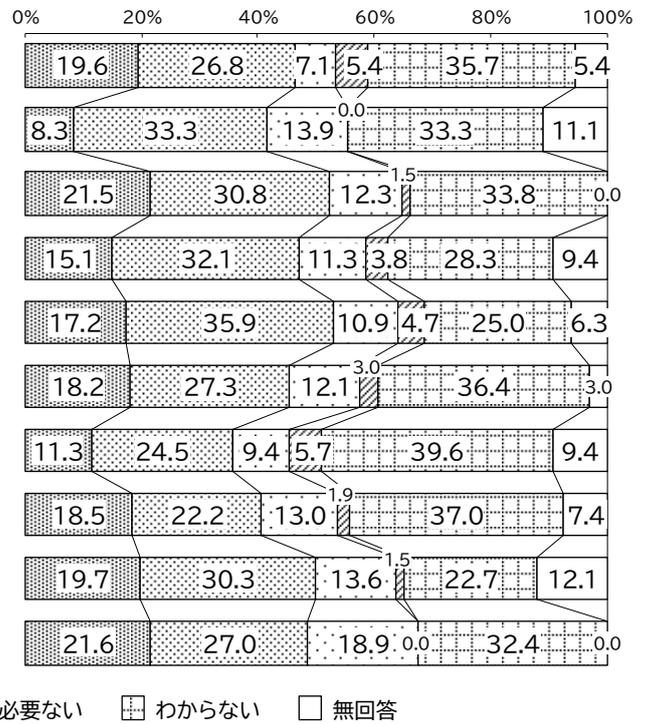
⑥ 市街地の整備



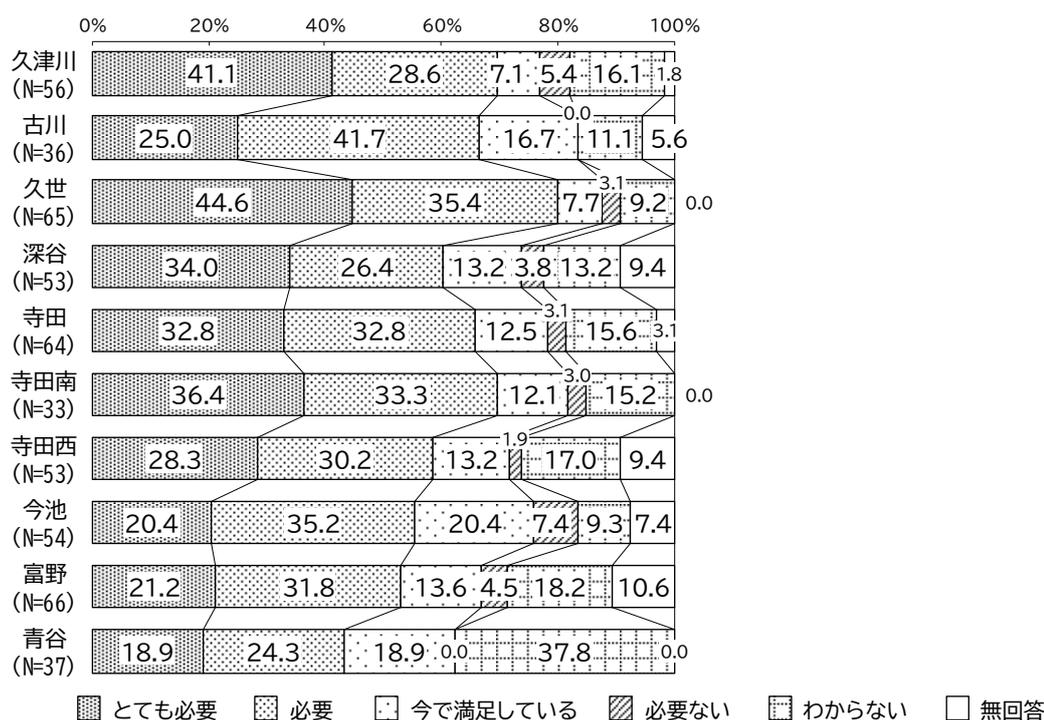
⑦ 東部丘陵地の整備



⑧ 山砂利対策



⑨近鉄と道路との立体交差化



居住小学校区別にみると、「①道路の整備」は、『必要』（「とても必要」と「必要」を合わせた割合）がすべての小学校区で55%以上となっており、久世で83.0%（54件）、青谷で81.1%（30件）、今池で76.0%（41件）と高くなっています。

「②河川・排水路の整備」は、『必要』が寺田南で63.7%（21件）、久世で58.4%（38件）、古川で58.3%（21件）と高くなっています。

「③緑地帯の設置」は、『必要』が久世で56.9%（37件）、富野で56.1%（37件）、寺田南で54.6%（18件）と高くなっています。

「④歩道と車道の分離」は、いずれの小学校区でも『必要』が6割以上を占めており、久津川と久世では「とても必要」が4割を超えています。

「⑤駅周辺の整備」は、『必要』が久津川で78.5%（44件）、古川で77.8%（28件）、寺田西で71.7%（38件）と高くなっています。一方、富野では、『必要』が47.0%（31件）と他の小学校区よりも低く、「今で満足している」が31.8%（21件）と高くなっています。

「⑥市街地の整備」は、『必要』が古川で61.1%（22件）、深谷で60.3%（32件）と高くなっています。

「⑦東部丘陵地の整備」は、『必要』が深谷で52.8%（28件）と5割以上を占めています。

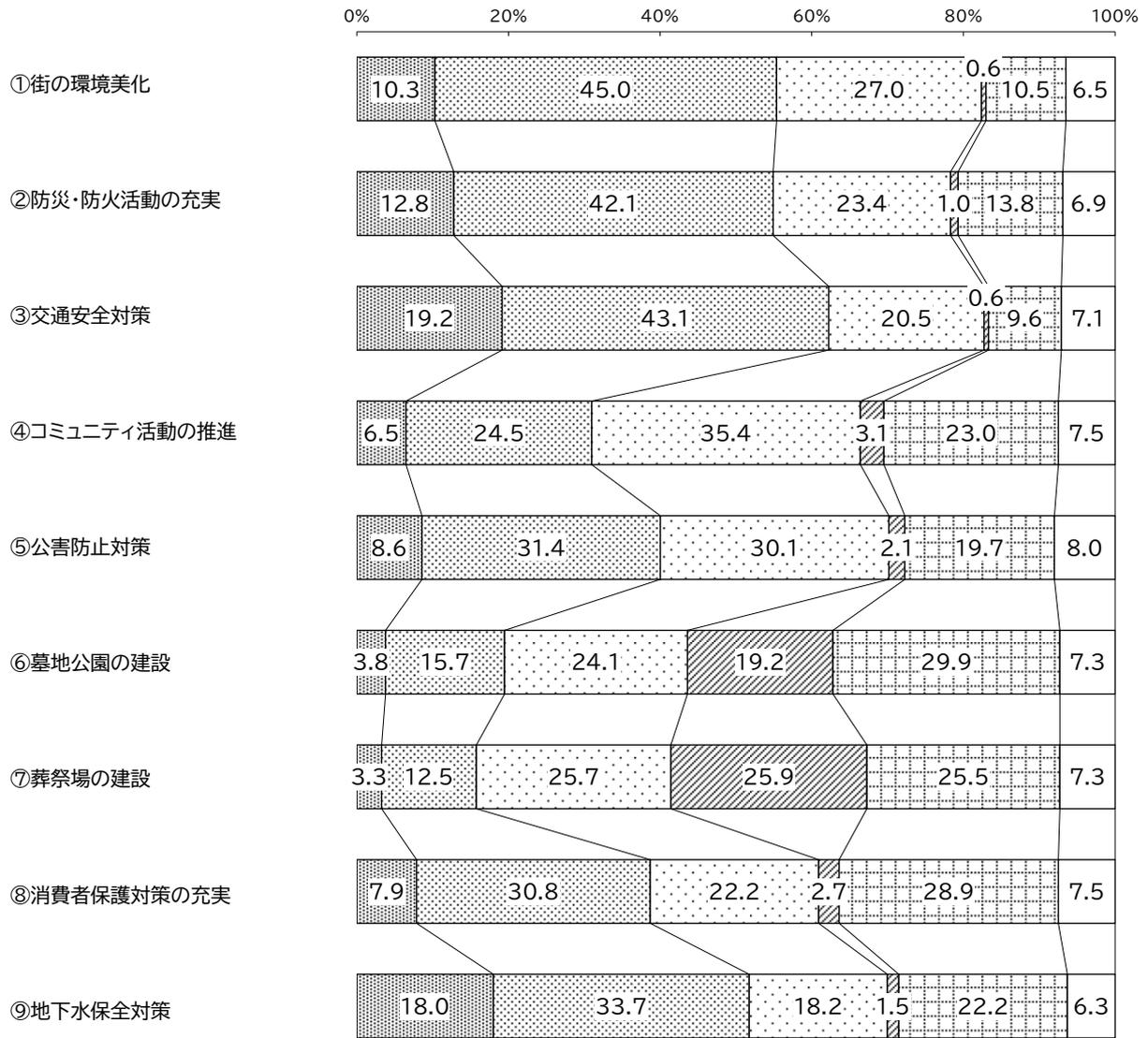
「⑧山砂利対策」は、『必要』が寺田で53.1%（34件）、久世で52.3%（34件）、富野で50.0%（33件）と5割以上を占めています。

「⑨近鉄と道路との立体交差化」は、久世で『必要』が80.0%（52件）と最も高く、「とても必要」が44.6%（29件）を占めています。また、久津川69.7%（39件）と寺田南69.7%（23件）でも『必要』が高くなっています。（図4-3-2）

(4)生活環境整備の必要性

IV. 問1 あなたが城陽市で生活する中で、次のことをどのように感じていますか。それぞれの項目ごとに1～5のあてはまるものに○をつけてください。

図4-4 生活環境整備の必要性



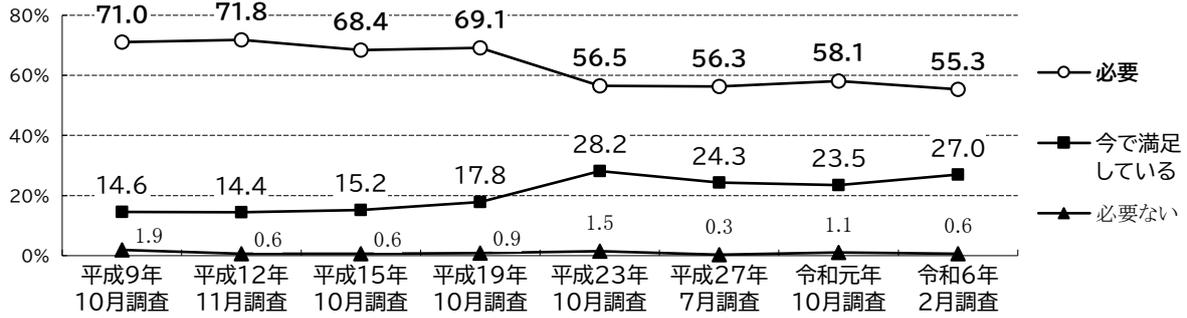
N=522

とても必要
 必要
 今で満足
 必要ない
 わからない
 無回答

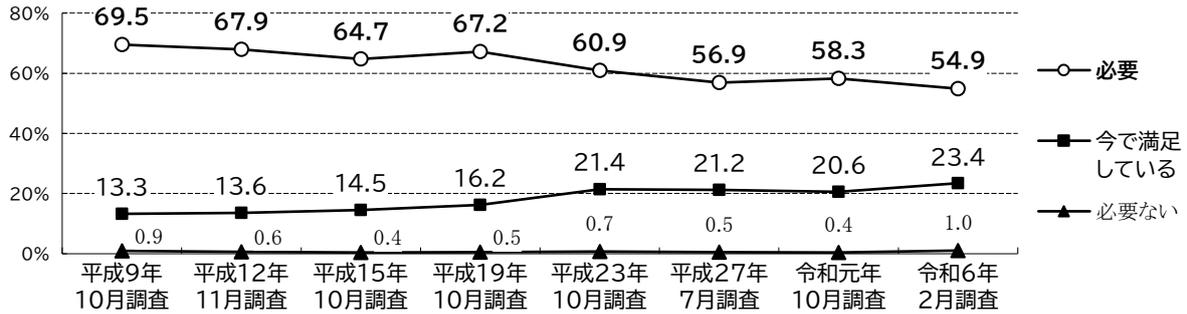
生活環境整備の必要性については、『必要』（「とても必要」と「必要」を合わせた割合）が「③交通安全対策」62.3%（325件）、「①街の環境美化」55.3%（289件）、「②防災・防火活動の充実」54.9%（287件）、「⑨地下水保全対策」51.7%（270件）で、5割を超えて高くなっています。「⑥墓地公園の建設」「⑦葬祭場の建設」は他の項目よりも、「必要ない」の割合が高くなっています。また、「④コミュニティ活動の推進」は「今で満足している」が35.4%（185件）で最も高くなっています。（図4-4）

図4-4-1 経年比較 生活環境整備の必要性

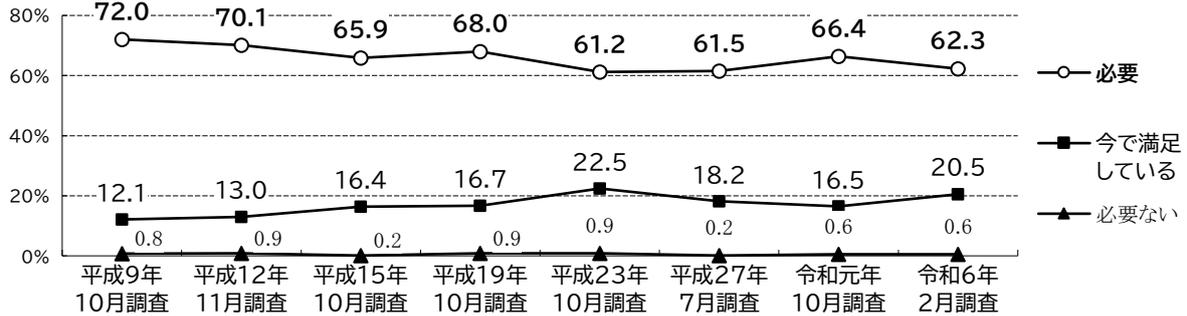
①街の環境美化



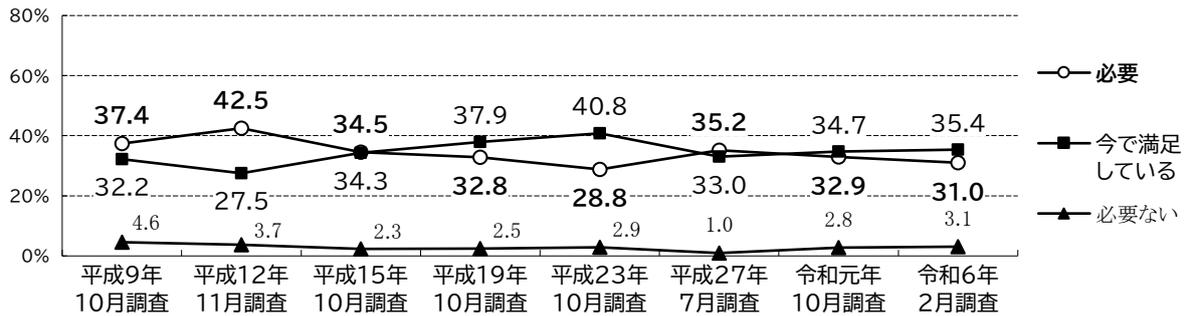
②防災・防火活動の充実



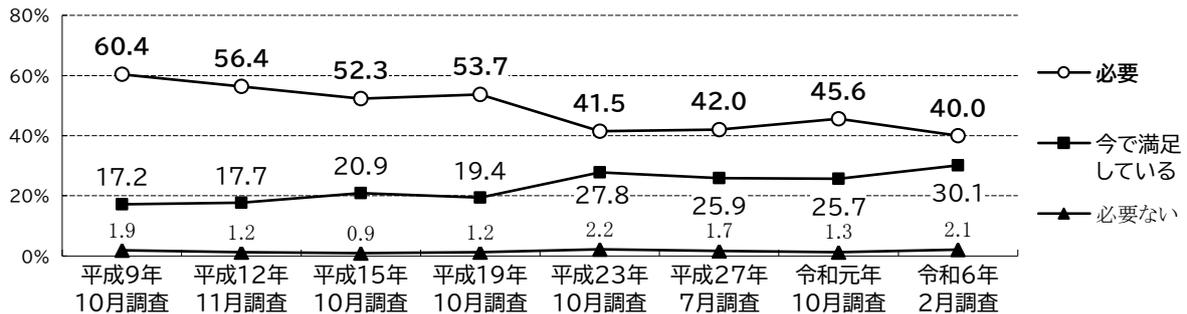
③交通安全対策



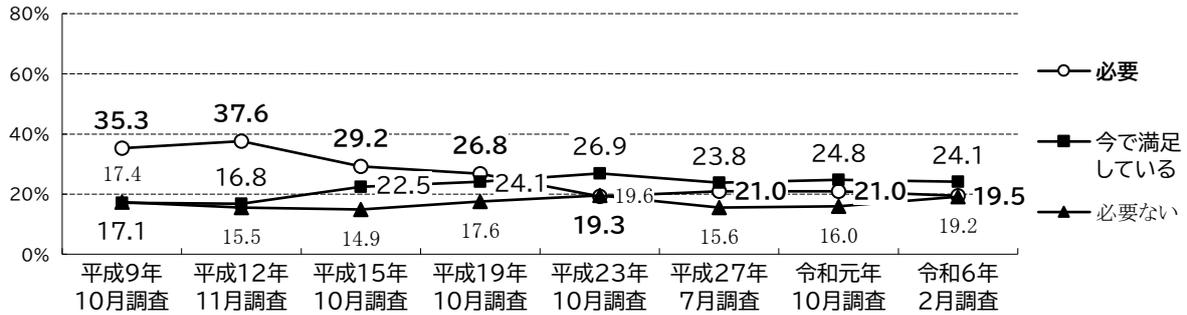
④コミュニティ活動の推進



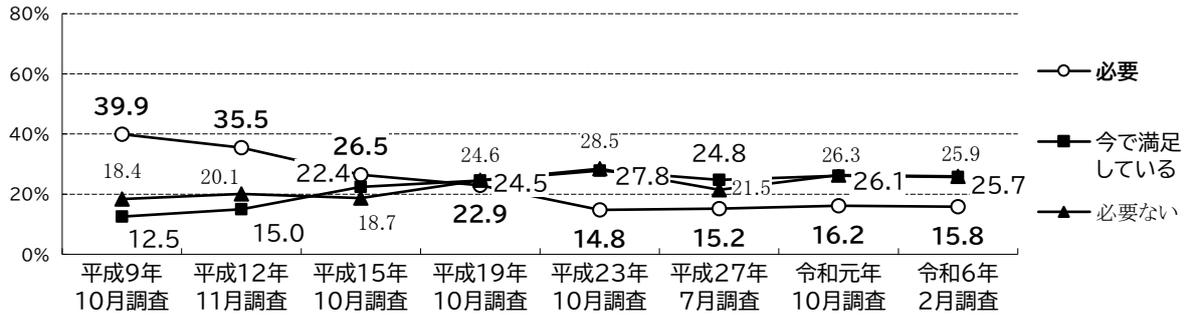
⑤公害防止対策



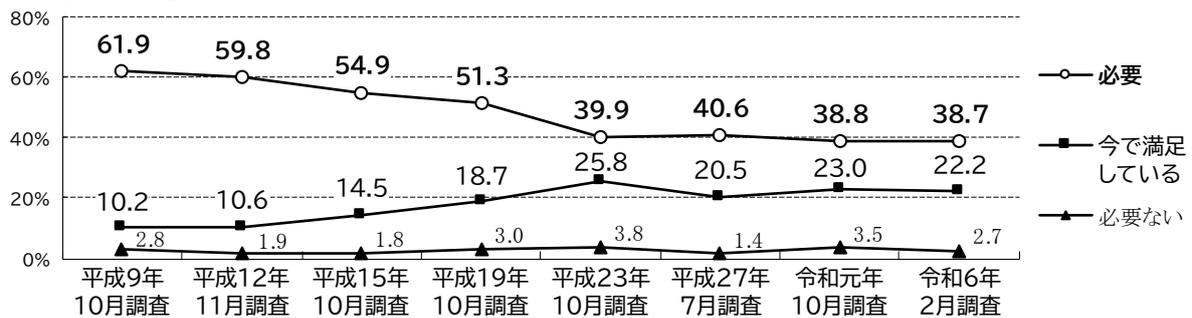
⑥墓地公園の建設



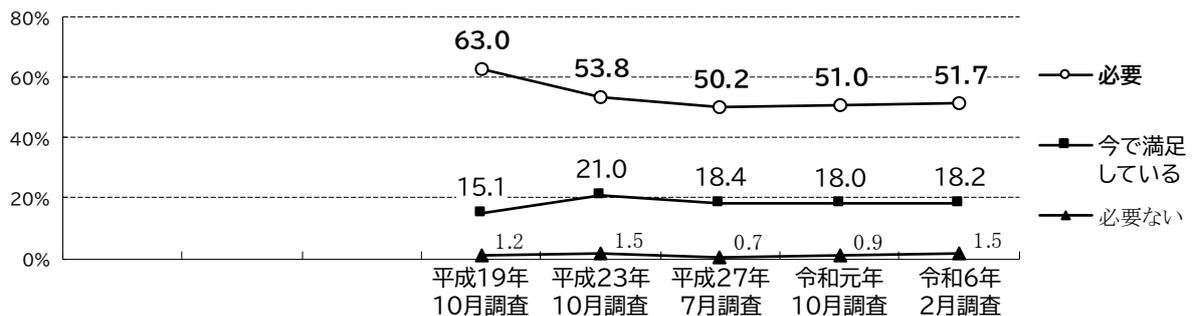
⑦葬祭場の建設



⑧消費者保護対策の充実



⑨地下水保全対策

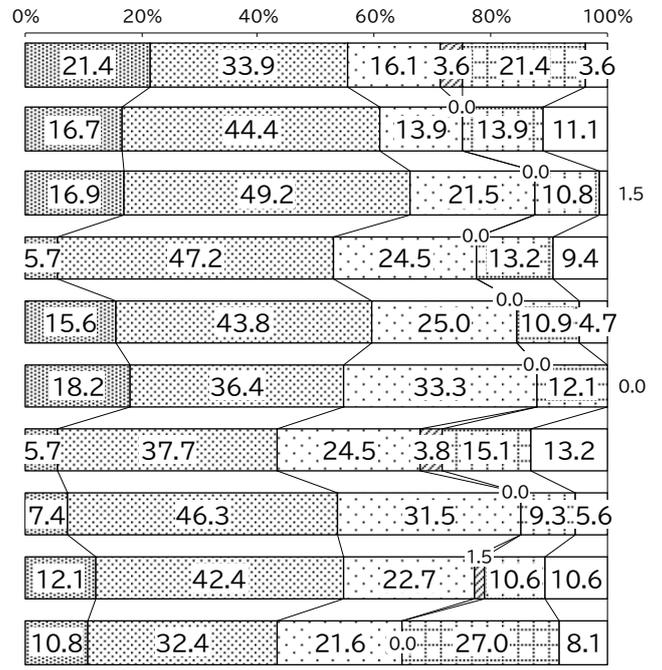
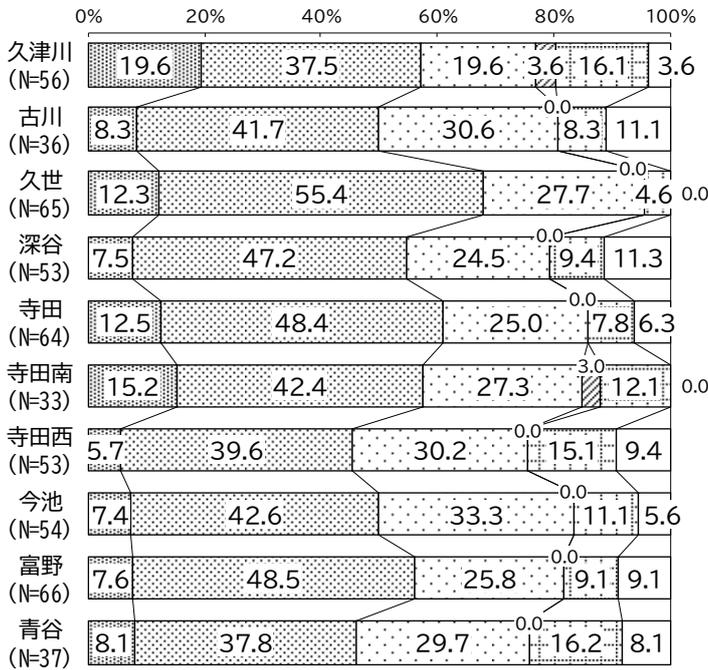


前回調査と比較すると、「⑨地下水保全対策」を除く項目で『必要』（「とても必要」と「必要」を合わせた割合）が減少しており、特に「⑤公害防止対策」では5.6ポイントの減少となっています。一方、「今で満足している」は「③交通安全対策」と「⑤公害防止対策」でそれぞれ4.0ポイント、4.4ポイント増加しています。（図4-4-1）

図4-4-2 居住小学校区別 生活環境整備の必要性

①街の環境美化

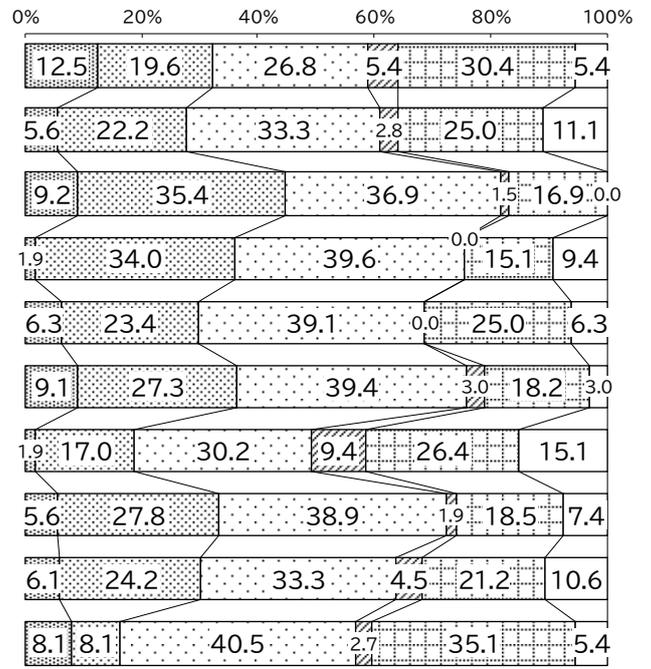
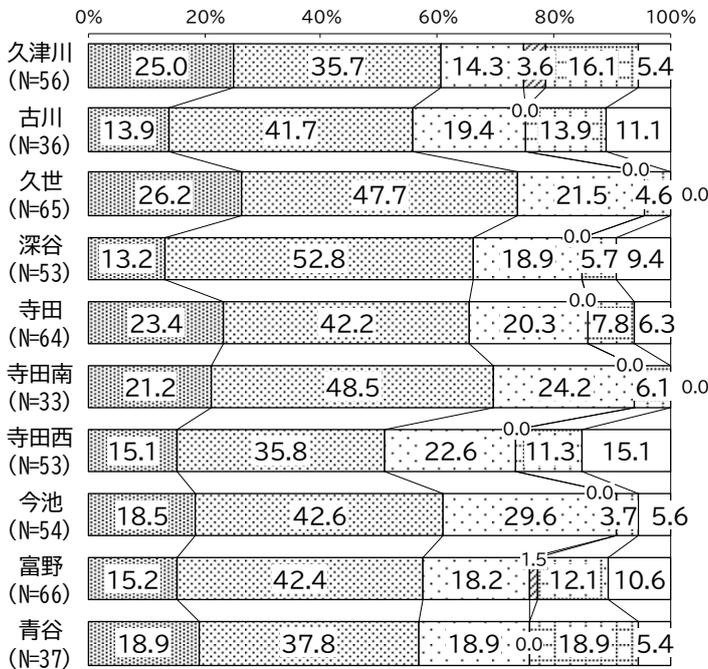
②防災・防火活動の充実



とても必要
 必要
 今で満足している
 必要ない
 わからない
 無回答

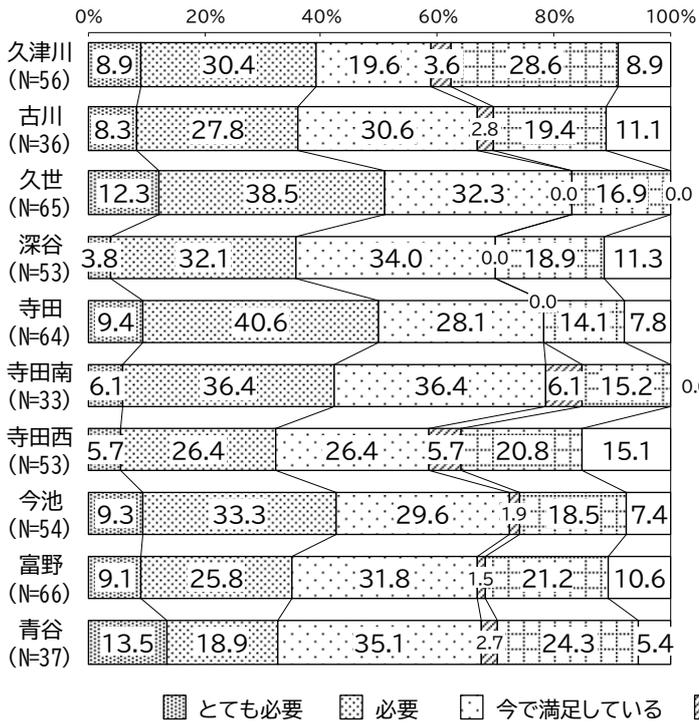
③交通安全対策

④コミュニティ活動の推進

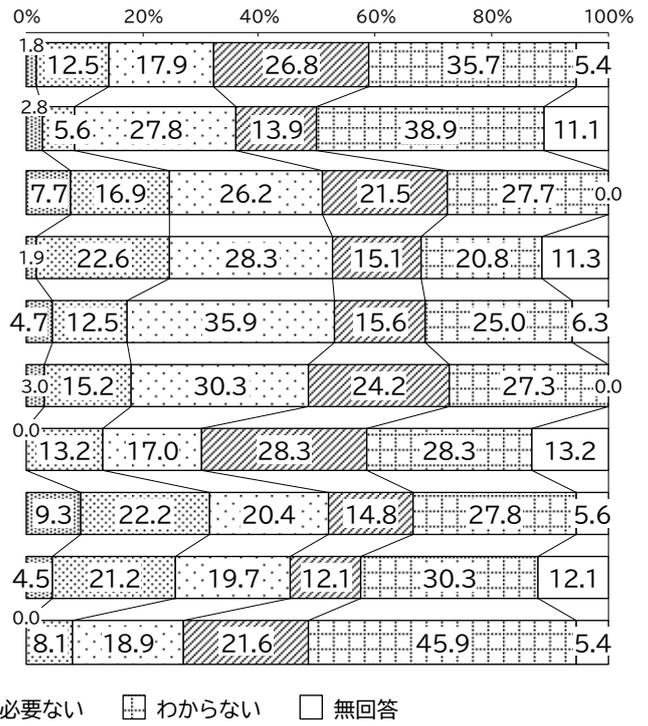


とても必要
 必要
 今で満足している
 必要ない
 わからない
 無回答

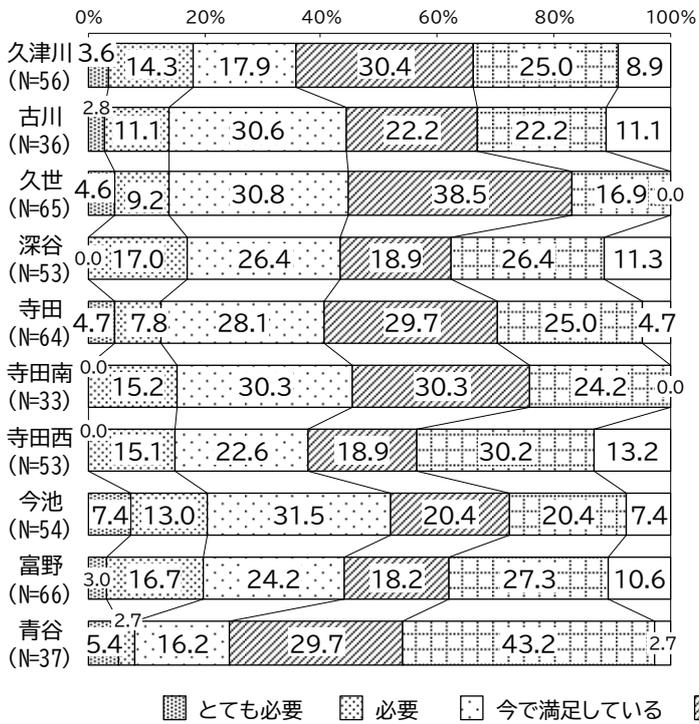
⑤公害防止対策



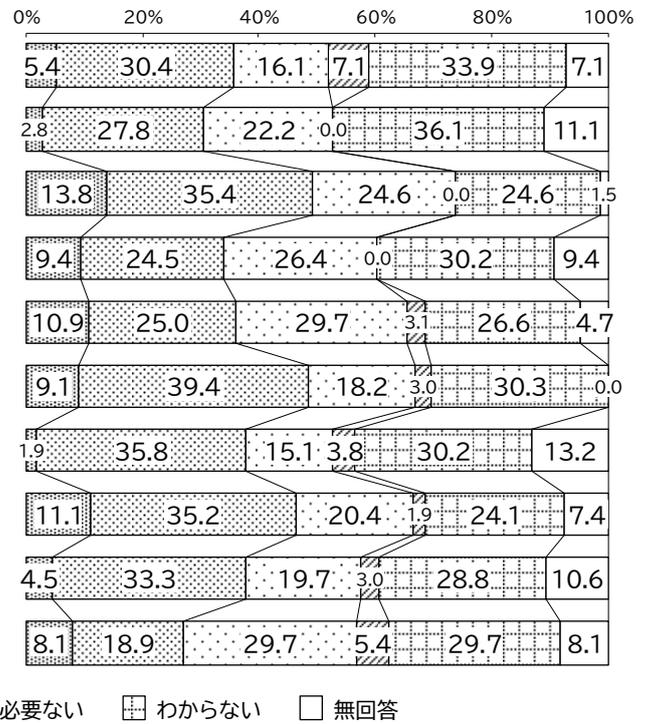
⑥墓地公園の建設



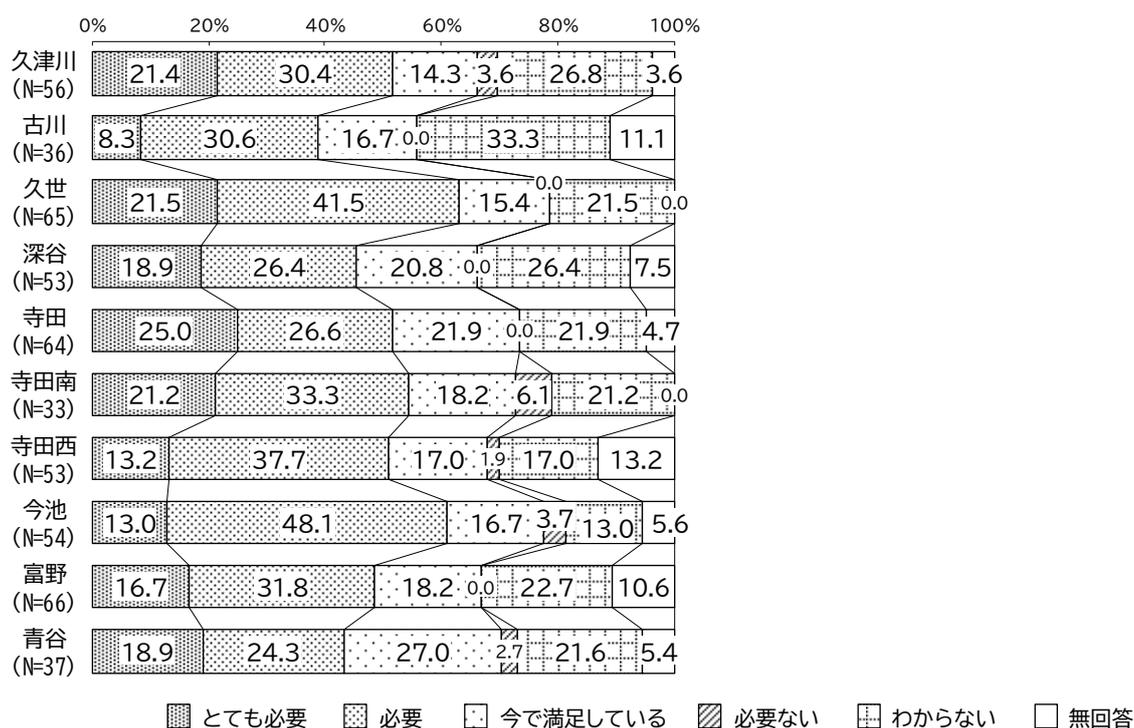
⑦葬祭場の建設



⑧消費者保護対策の充実



⑨地下水保全対策



居住小学校区別にみると、「①街の環境美化」は、『必要』（「とても必要」と「必要」を合わせた割合）が、久世で67.7%（44件）、寺田で60.9%（39件）と高くなっています。

「②防災・防火活動の充実」は、『必要』が久世で66.1%（43件）と最も高く、次いで古川で61.1%（22件）となっており、「今で満足している」は寺田南で33.3%（11件）と高くなっています。

「③交通安全対策」は、『必要』がすべての小学校区で5割を超え、特に久世で73.9%（48件）と高くなっています。

「④コミュニティ活動の推進」は、久世で『必要』が44.6%（29件）と4割を超えています。一方、古川、深谷、寺田、寺田南、寺田西、今池、富野、青谷では「今で満足している」が『必要』を上回っており、青谷で40.5%（15件）と最も高くなっています。

「⑤公害防止対策」は、『必要』が久世で50.8%（33件）、寺田で50.0%（32件）と高く、5割以上となっています。

「⑥墓地公園の建設」は、寺田では「今で満足している」が35.9%（23件）とやや高くなっています。

「⑦葬祭場の建設」は、多くの小学校区で「必要ない」が『必要』を上回っており、久世で38.5%（25件）と高くなっています。

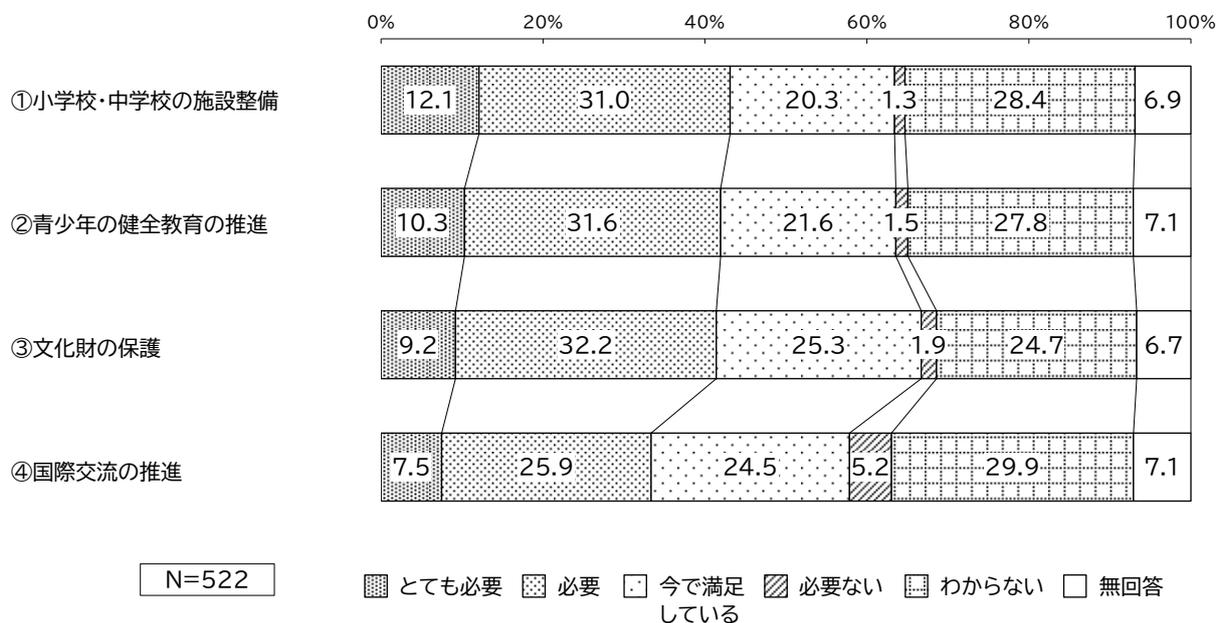
「⑧消費者保護対策の充実」は、『必要』が久世で49.2%（32件）、寺田南で48.5%（16件）、今池で46.3%（25件）と高くなっています。

「⑨地下水保全対策」は、久世と今池で『必要』がそれぞれ63.0%（41件）、61.1%（33件）と高くなっています。（図4-4-2）

(5)教育・文化に対する整備の必要性

IV. 問1 あなたが城陽市で生活する中で、次のことをどのように感じていますか。それぞれの項目ごとに1～5のあてはまるものに○をつけてください。

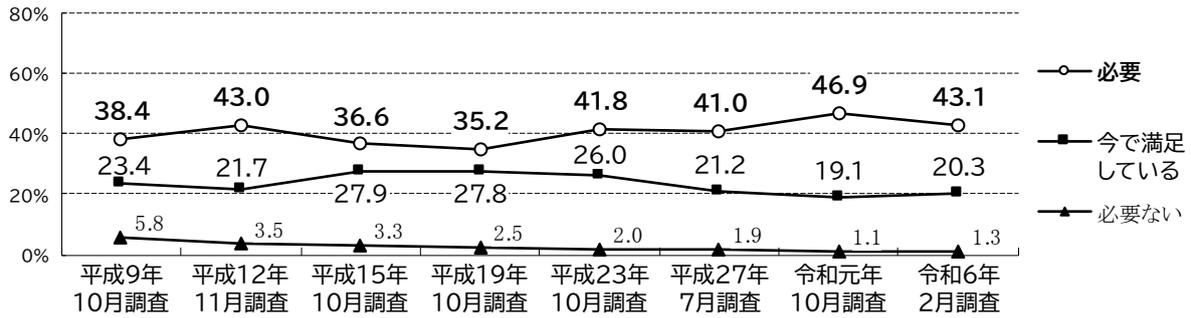
図4-5 教育・文化に対する整備の必要性



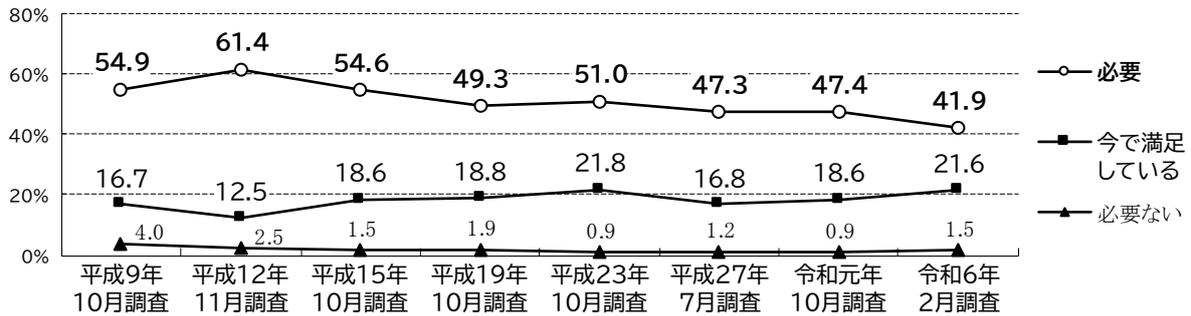
教育・文化に対する整備の必要性については、『必要』（「とても必要」と「必要」を合わせた割合）が「①小学校・中学校の施設整備」で43.1%（225件）、「②青少年の健全教育の推進」で41.9%（219件）、「③文化財の保護」で41.4%（216件）と4割を超えています。一方、「③文化財の保護」「④国際交流の推進」では「今で満足している」が約25%を占めています。（図4-5）

図4-5-1 経年比較 教育・文化に対する整備の必要性

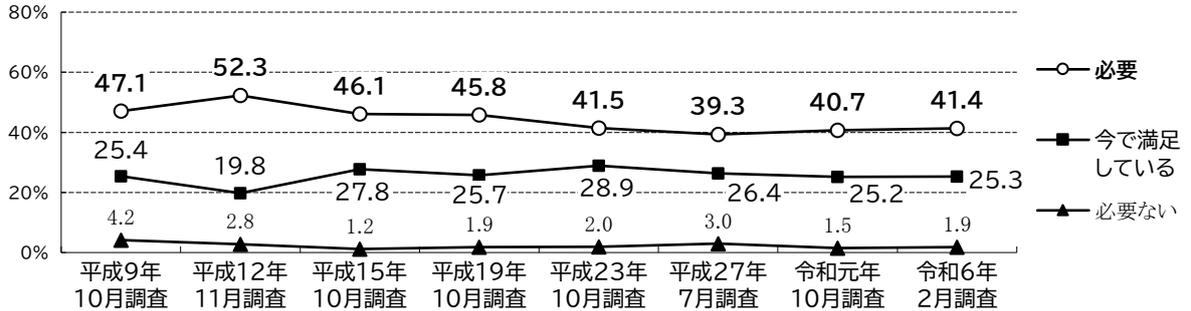
①小学校・中学校の施設整備



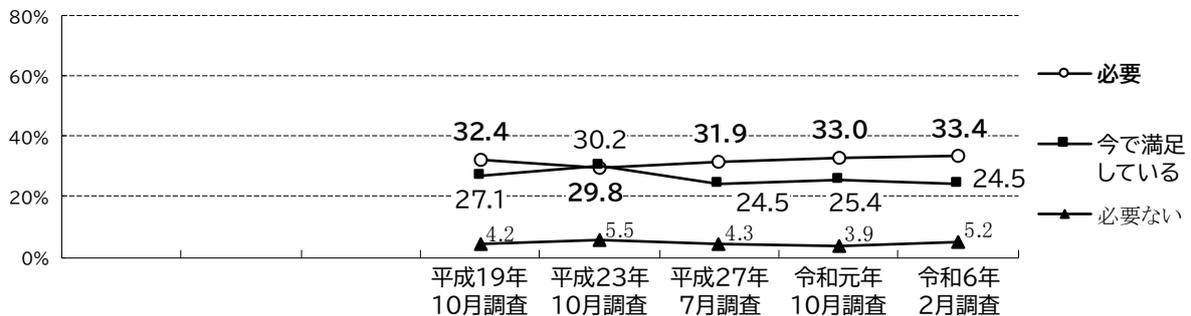
②青少年の健全教育の推進



③文化財の保護



④国際交流の推進

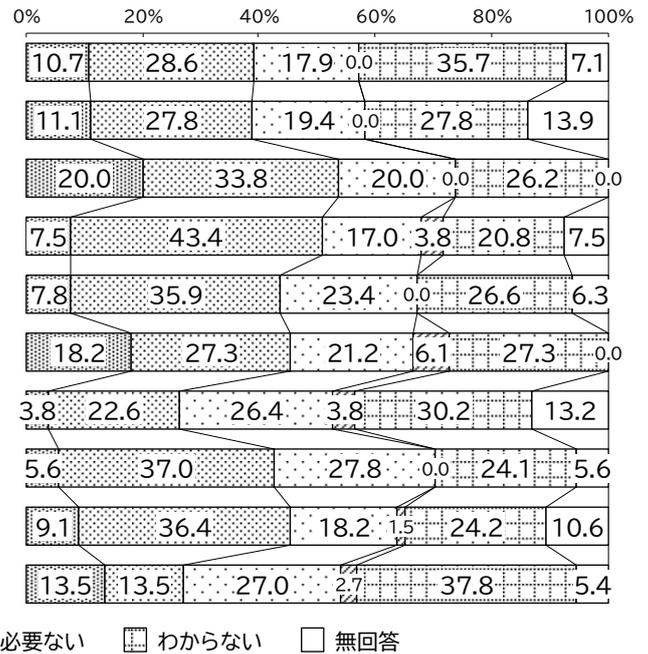
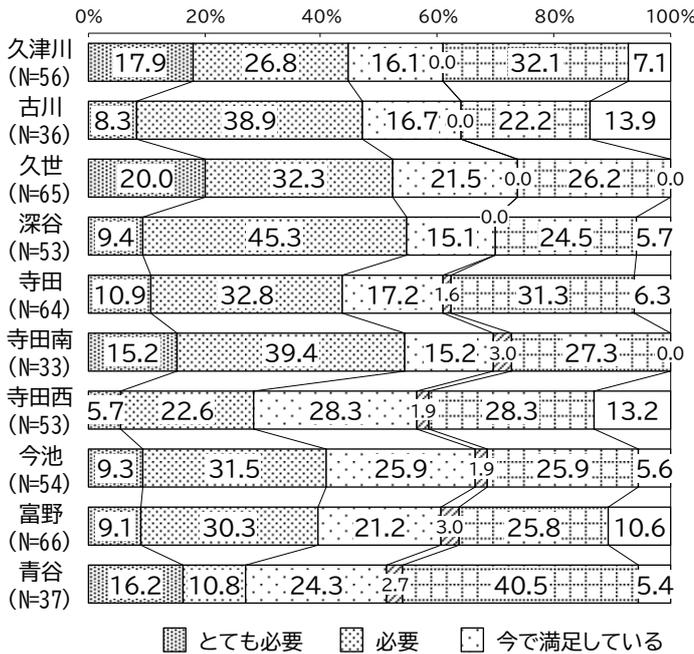


前回調査と比較すると、『必要』（「とても必要」と「必要」を合わせた割合）は「②青少年の健全教育の推進」で5.5ポイント減少しており、「今で満足している」が3.0ポイントの増加となっています。「①小学校・中学校の施設整備」も、『必要』は3.8ポイントの減少となっています。（図4-5-1）

図4-5-2 居住小学校区別 教育・文化に対する整備の必要性

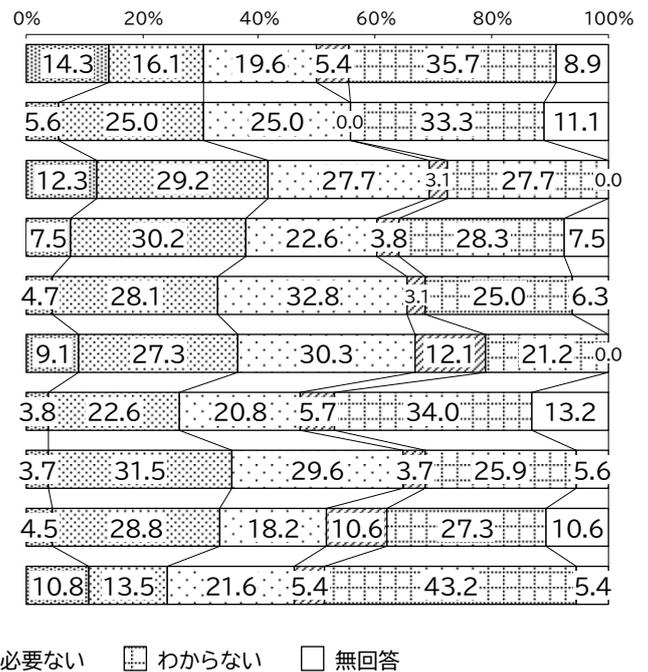
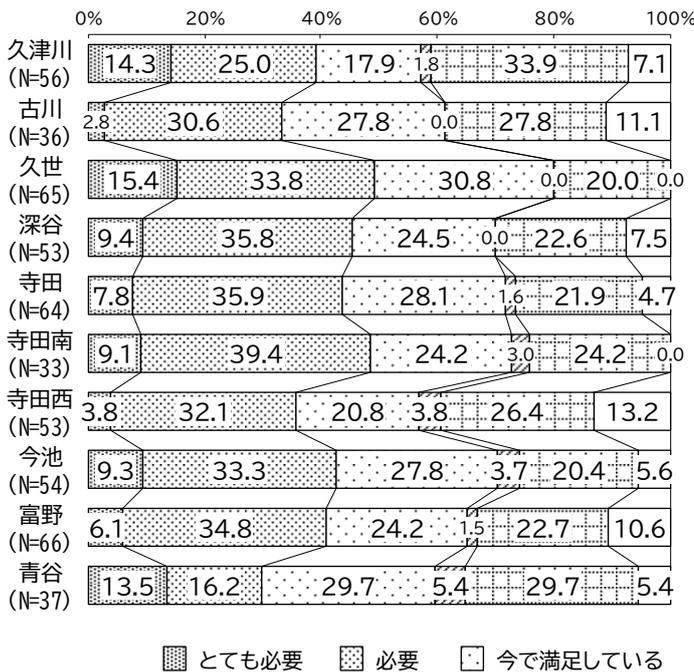
①小学校・中学校の施設整備

②青少年の健全教育の推進



③文化財の保護

④国際交流の推進



居住小学校区別にみると、「①小学校・中学校の施設整備」は、『必要』（「とても必要」と「必要」を合わせた割合）が、久世、深谷、寺田南で5割台となっています。

「②青少年の健全教育の推進」は、『必要』が久世で53.8%（35件）、深谷で50.9%（27件）と高くなっており、久世では「とても必要」が20.0%（13件）と高くなっています。

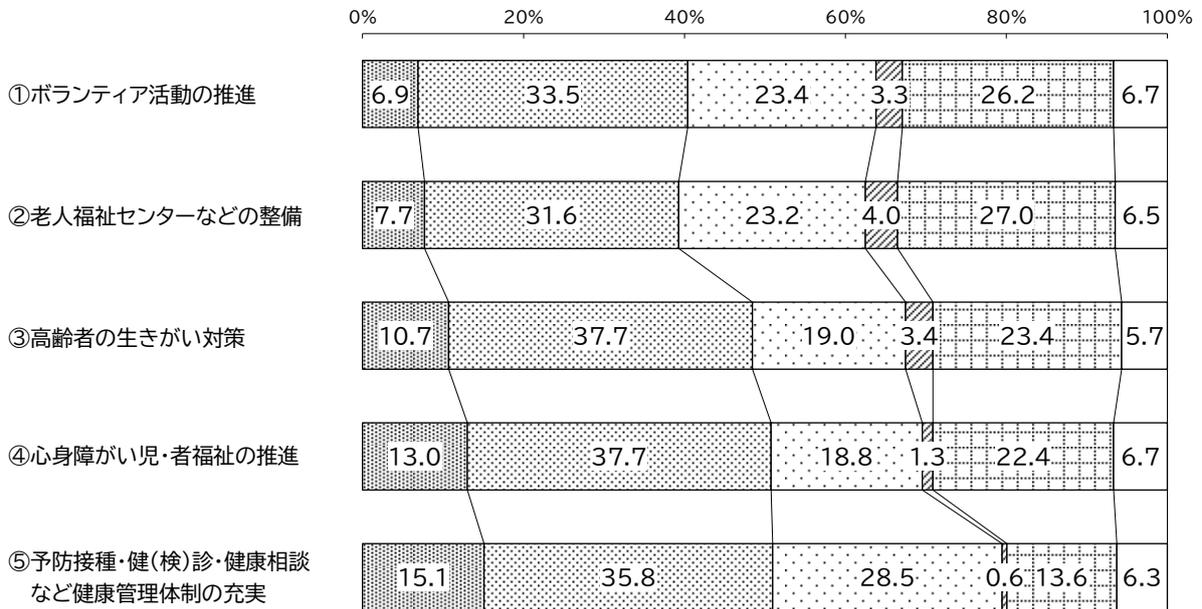
「③文化財の保護」は、『必要』が久世で49.2%（32件）、寺田南で48.5%（16件）と高くなっています。

「④国際交流の推進」は、寺田では「今で満足している」が32.8%（21件）と全小学校区の中で最も高くなっています。（図4-5-2）

(6)福祉・健康に対する整備の必要性

IV. 問1 あなたが城陽市で生活する中で、次のことをどのように感じていますか。それぞれの項目ごとに1～5のあてはまるものに○をつけてください。

図4-6 福祉・健康に対する整備の必要性

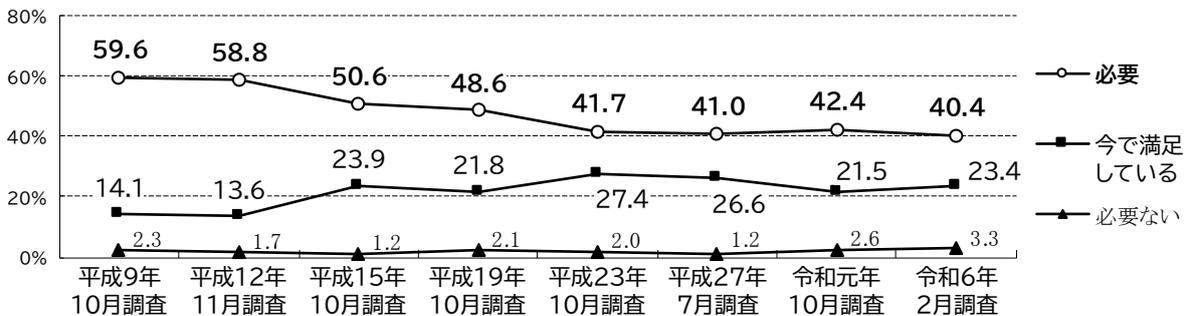


N=522
 ■ とても必要 ■ 必要 □ 今で満足 ▨ 必要ない ▩ わからない □ 無回答している

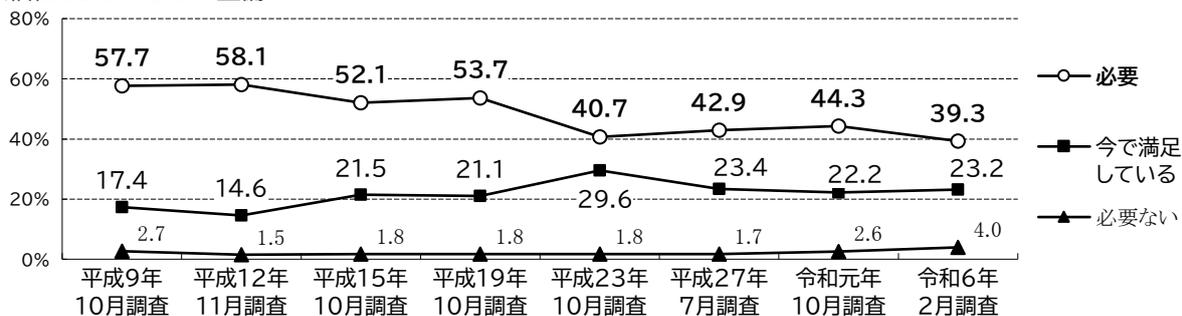
福祉・健康に対する整備の必要性については、『必要』（「とても必要」と「必要」を合わせた割合）が「⑤予防接種・健（検）診・健康相談など健康管理体制の充実」で50.9%（266件）、「④心身障がい児・者福祉の推進」で50.7%（265件）、「③高齢者の生きがい対策」で48.4%（253件）となっています。（図4-6）

図4-6-1 経年比較 福祉・健康に対する整備の必要性

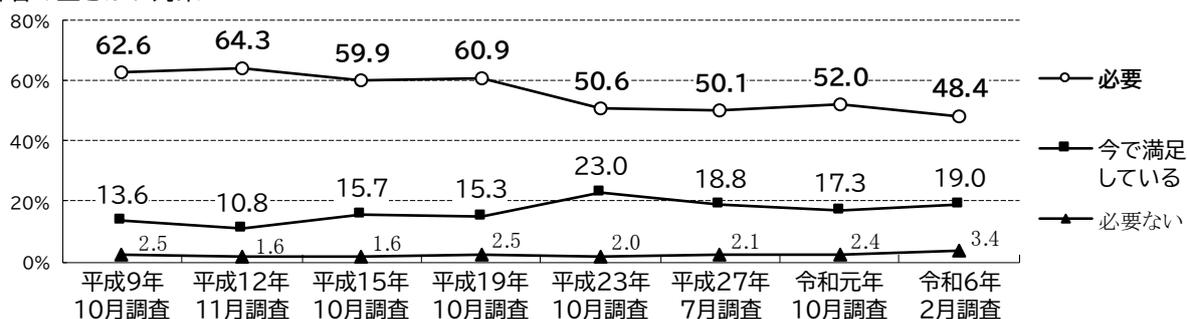
①ボランティア活動の推進



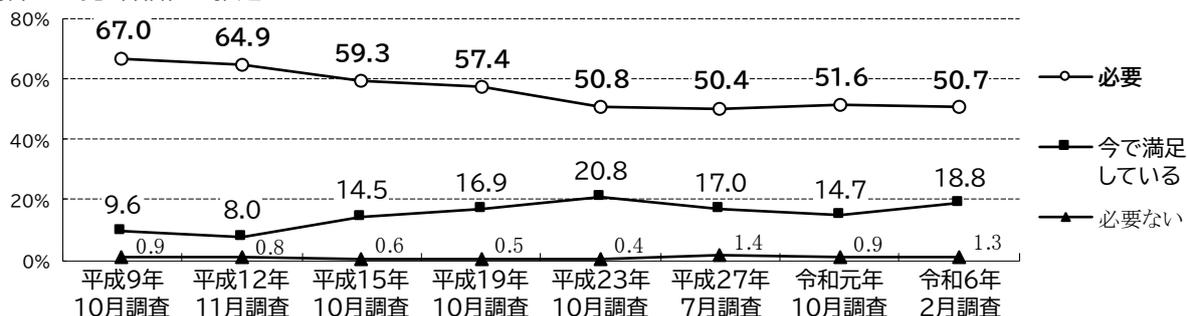
②老人福祉センターなどの整備



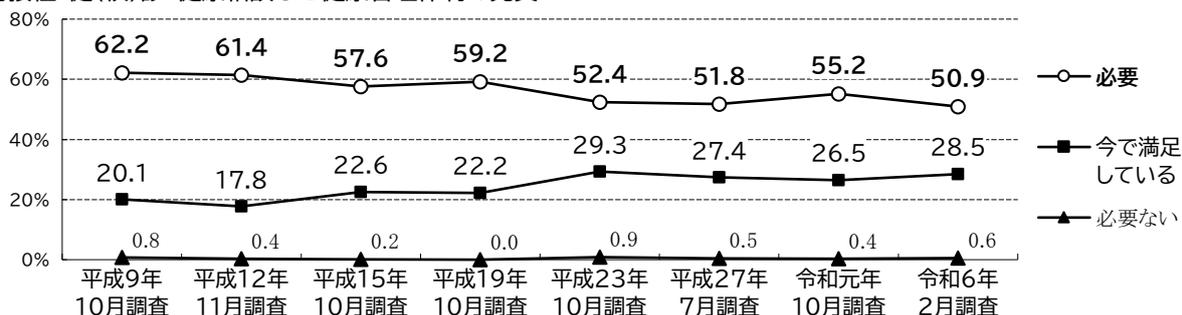
③高齢者の生きがい対策



④心身障がい児・者福祉の推進



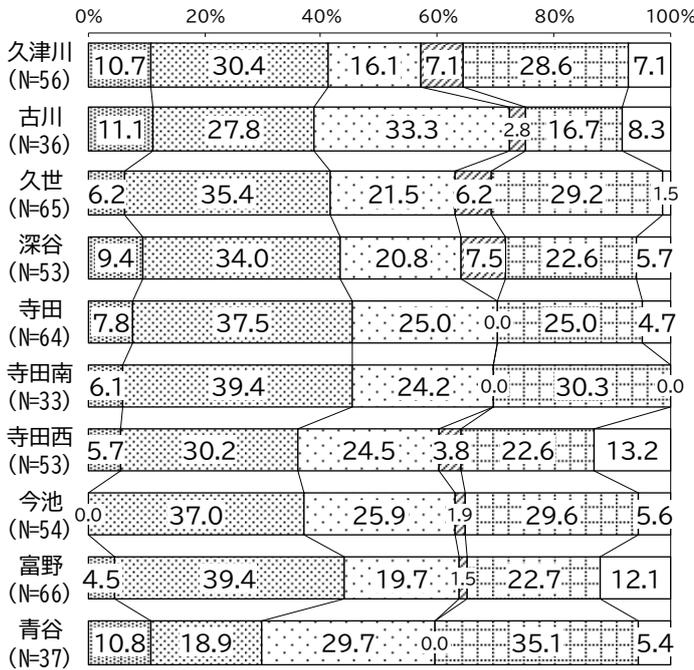
⑤予防接種・健(検)診・健康相談など健康管理体制の充実



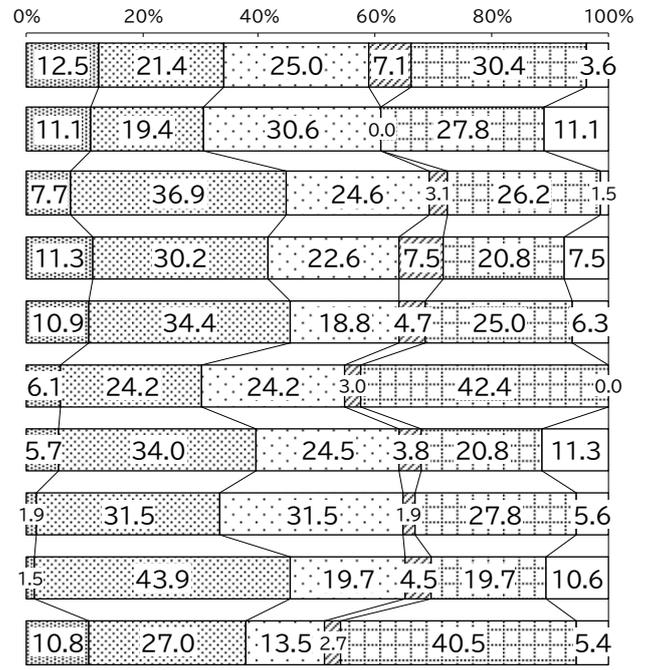
前回調査と比較すると、すべての項目で、『必要』（「とても必要」と「必要」を合わせた割合）が減少し、「今で満足している」が増加しています。「②老人福祉センターなどの整備」では『必要』が5.0ポイント減、「④心身障がい児・者福祉の推進」では「今で満足している」が4.1ポイント増となっています。（図4-6-1）

図4-6-2 居住小学校区別 福祉・健康に対する整備の必要性

① ボランティア活動の推進

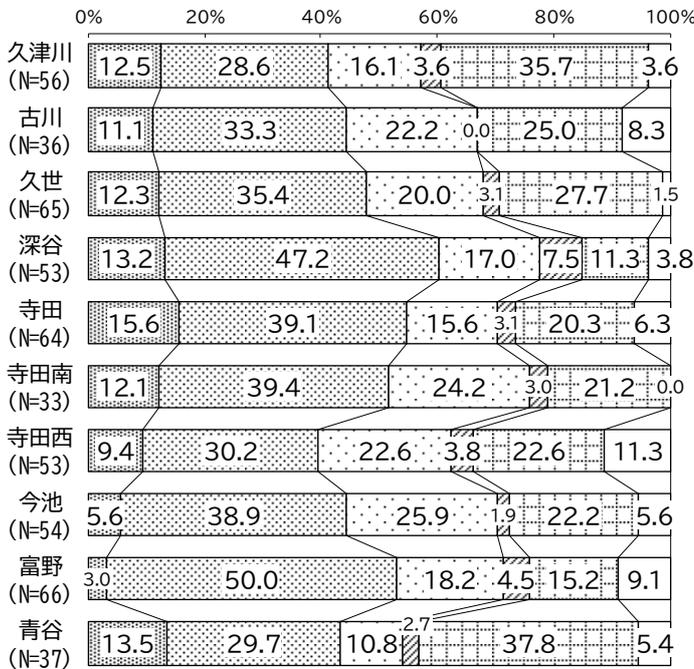


② 老人福祉センターなどの整備

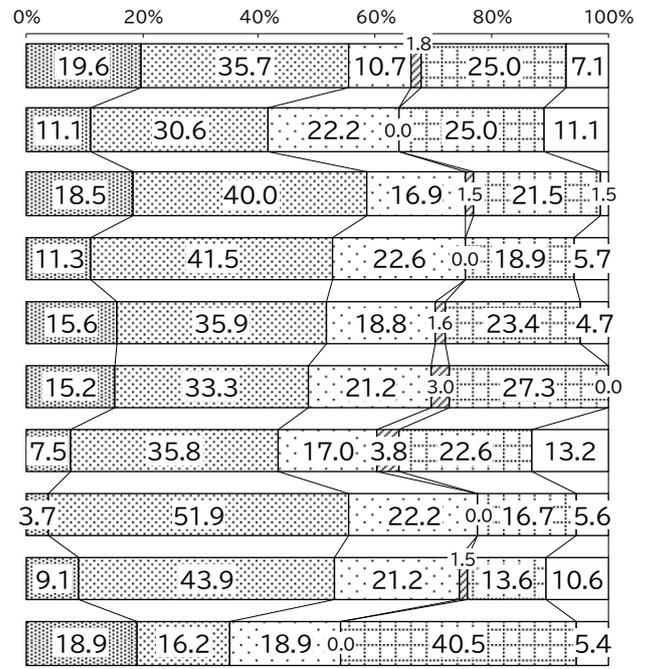


とても必要
 必要
 今で満足している
 必要ない
 わからない
 無回答

③ 高齢者の生きがい対策

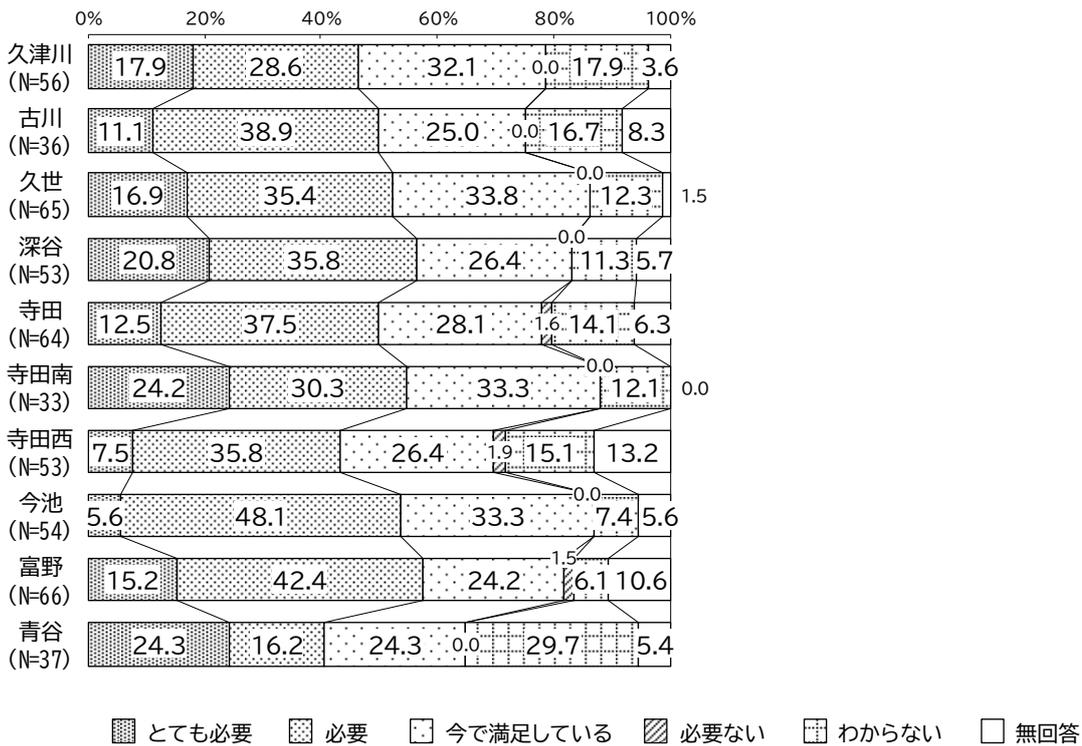


④ 心身障がい児・者福祉の推進



とても必要
 必要
 今で満足している
 必要ない
 わからない
 無回答

⑤予防接種・健(検)診・健康相談など健康管理体制の充実



居住小学校区別にみると、「①ボランティア活動の推進」は、『必要』（「とても必要」と「必要」を合わせた割合）は久津川、久世、深谷、寺田、寺田南、富野で4割を超えています。

「②老人福祉センターなどの整備」は、『必要』が富野で45.4%（30件）、寺田で45.3%（29件）、久世で44.6%（29件）、深谷で41.5%（22件）と4割を超えています。

「③高齢者の生きがい対策」は、深谷で『必要』が60.4%（32件）と最も高くなっています。

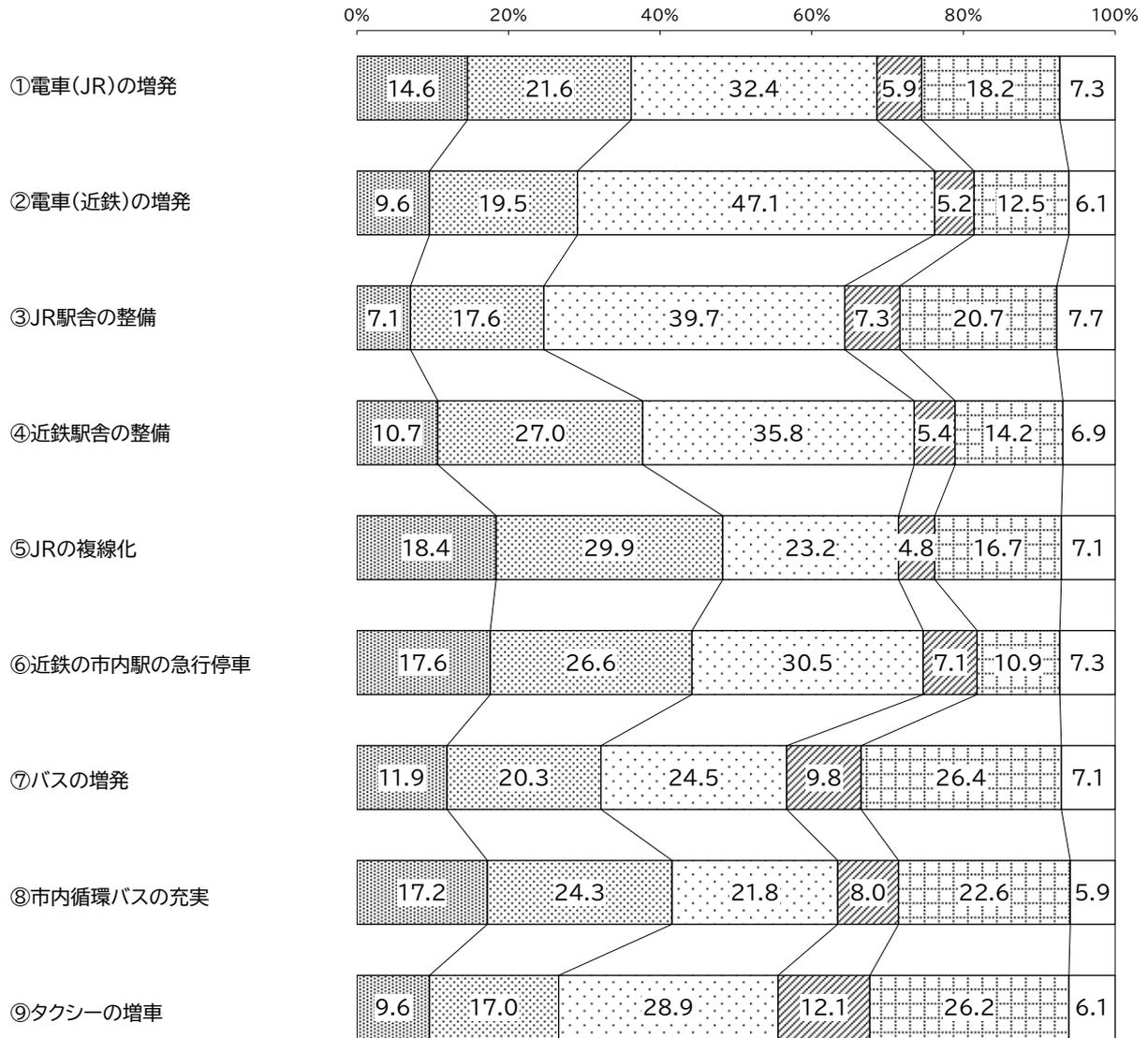
「④心身障がい児・者福祉の推進」は、久世で『必要』が58.5%（38件）と最も高く、次いで今池が55.6%（30件）、久津川が55.3%（31件）となっています。

「⑤予防接種・健(検)診・健康相談など健康管理体制の充実」は、『必要』が富野で57.6%（38件）、深谷で56.6%（30件）と高くなっています。一方、久津川、久世、寺田南、今池では、「今で満足している」が3割台と高くなっています。（図4-6-2）

(7)交通機関の整備の必要性

IV. 問1 あなたが城陽市で生活する中で、次のことをどのように感じていますか。それぞれの項目ごとに1～5のあてはまるものに○をつけてください。

図4-7 交通機関の整備の必要性

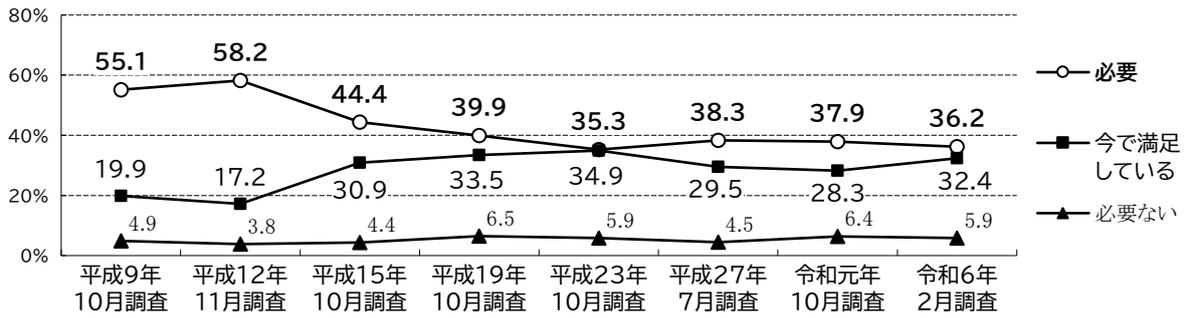


N=522
 ■ とても必要 ■ 必要 ■ 今で満足 ■ 必要ない ■ わからない ■ 無回答している

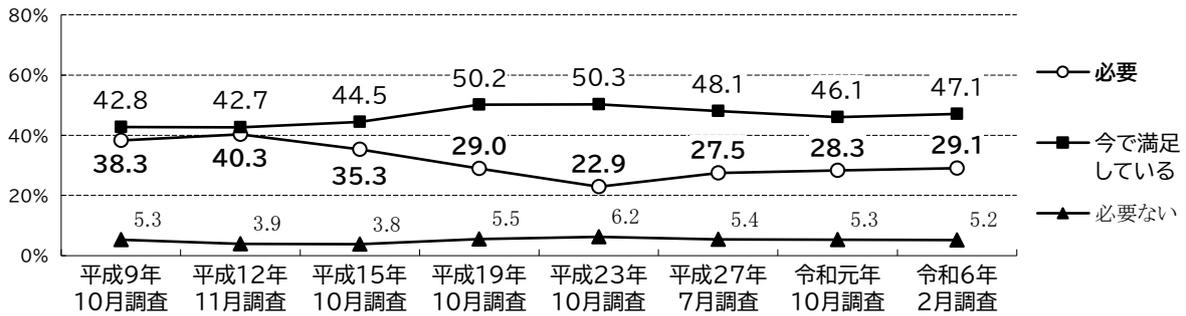
交通機関の整備の必要性については、『必要』（「とても必要」と「必要」を合わせた割合）が「⑤ JRの複線化」で48.3%（252件）と5割近くとなっています。また、『必要』は「⑥近鉄の市内駅の急行停車」で44.2%（231件）、「⑧市内循環バスの充実」で41.5%（217件）、「④近鉄駅舎の整備」で37.7%（197件）、「①電車（JR）の増発」で36.2%（189件）、「⑦バスの増発」で32.2%（168件）となっています。「②電車（近鉄）の増発」「③JR駅舎の整備」「⑨タクシーの増車」については『必要』よりも「今で満足している」の割合が高くなっています。（図4-7）

図4-7-1 経年比較 交通機関の整備の必要性

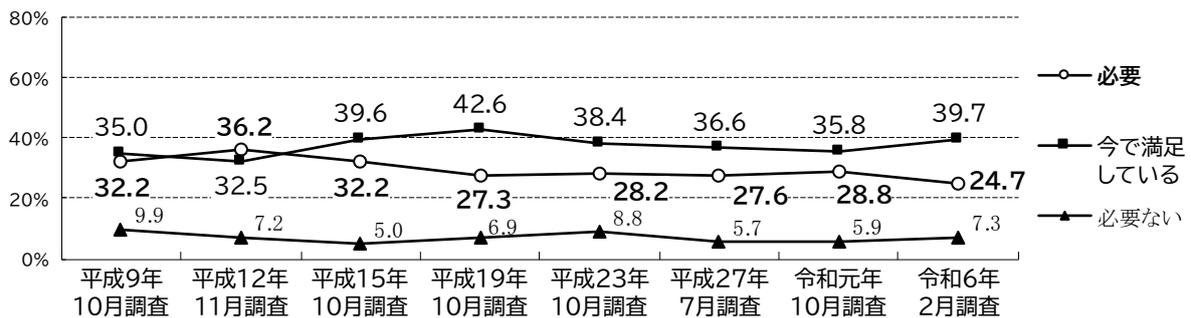
①電車(JR)の増発



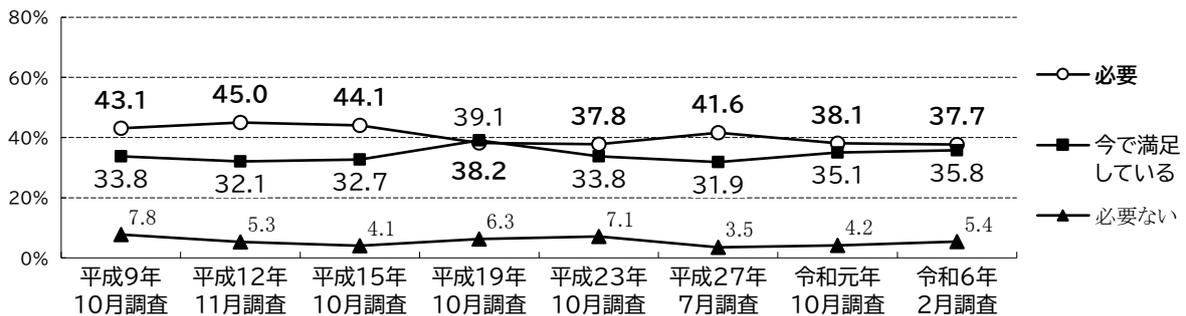
②電車(近鉄)の増発



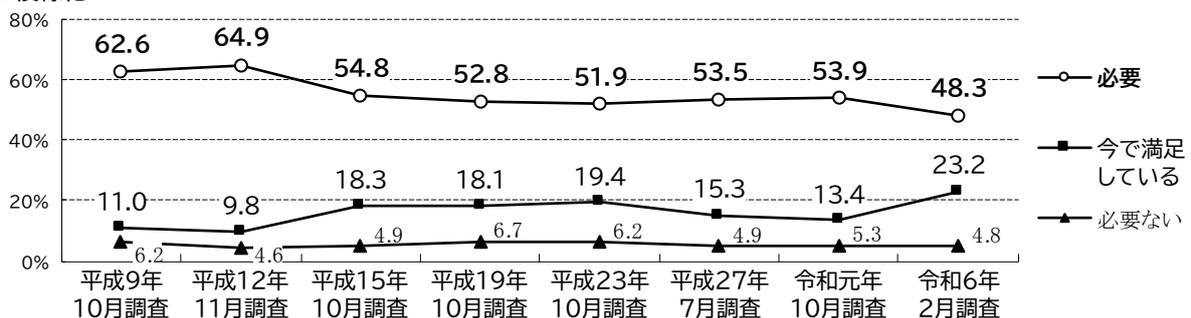
③JR駅舎の整備



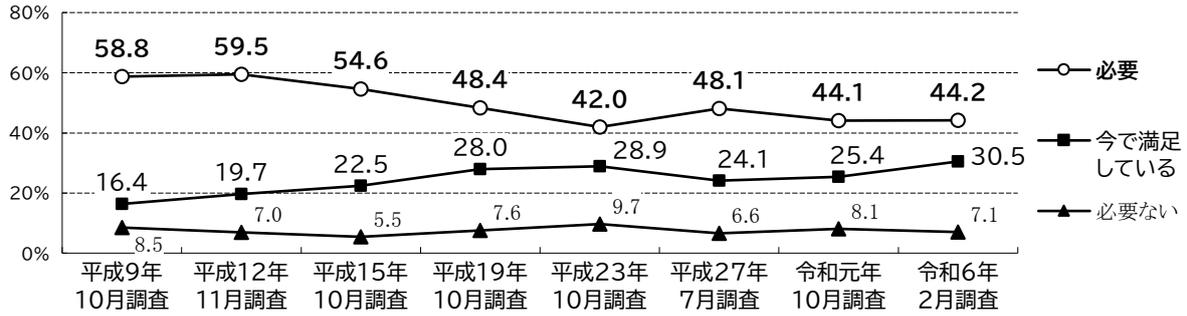
④近鉄駅舎の整備



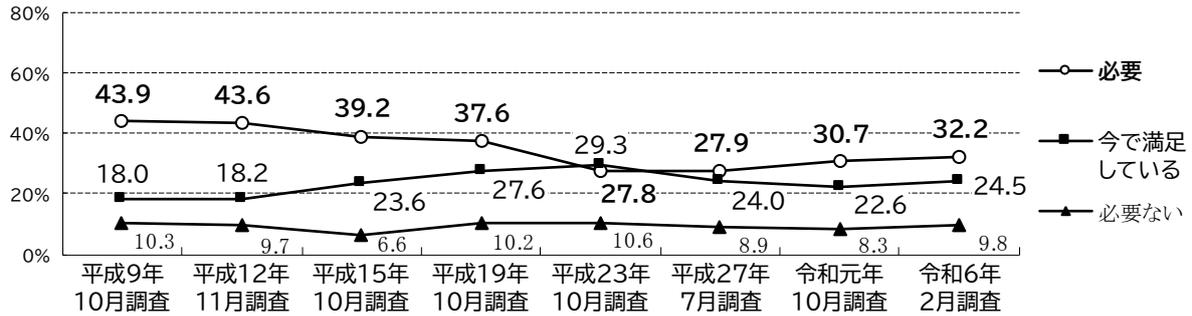
⑤JRの複線化



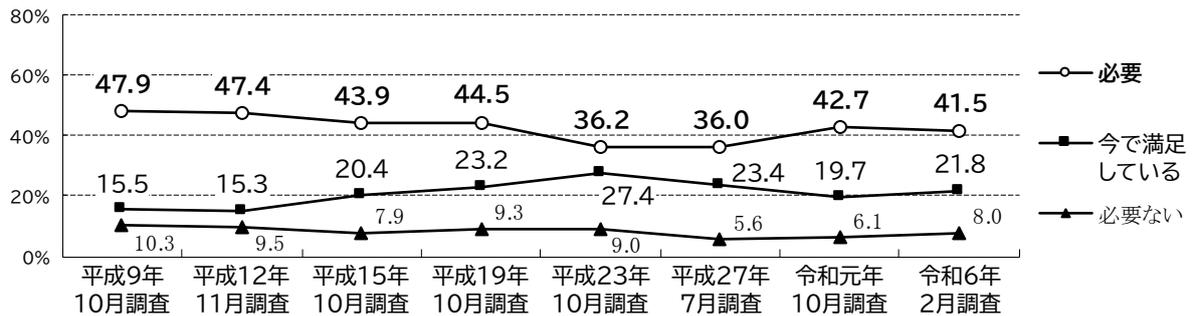
⑥近鉄の市内駅の急行停車



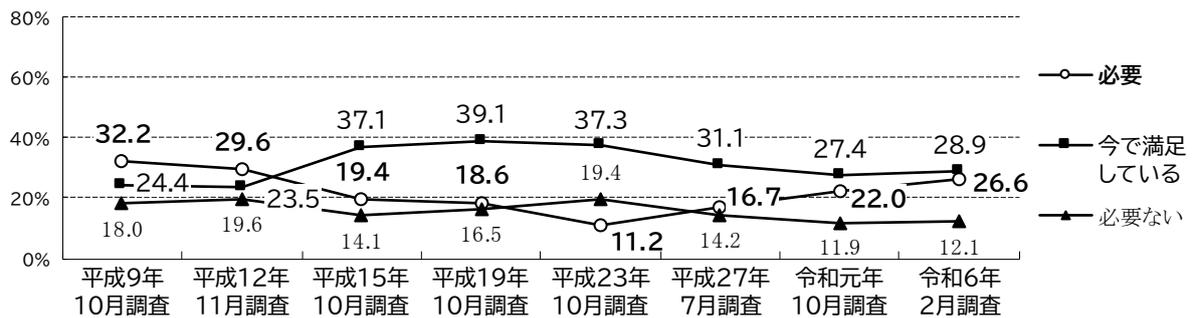
⑦バスの増発



⑧市内循環バスの充実



⑨タクシーの増車

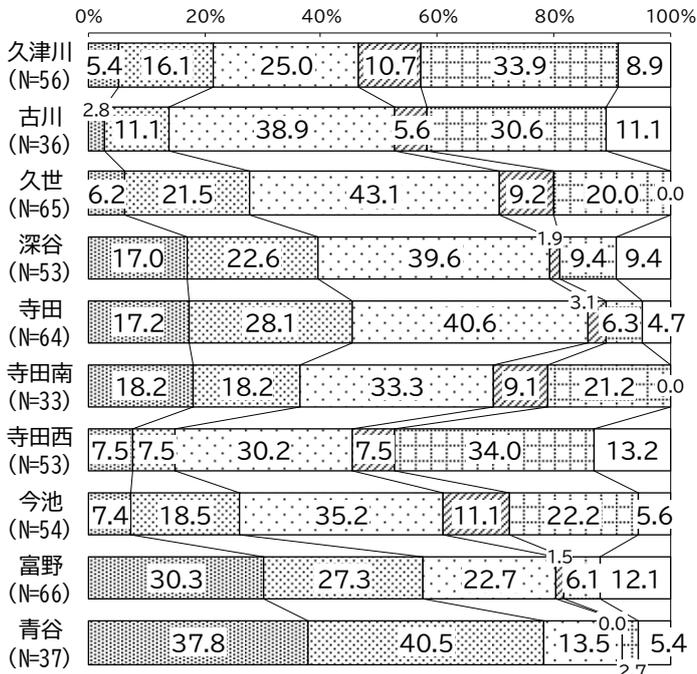


前回調査と比較すると、「②電車（近鉄）の増発」「⑥近鉄の市内駅の急行停車」「⑦バスの増発」「⑨タクシーの増車」では『必要』（「とても必要」と「必要」を合わせた割合）が増加しており、「⑨タクシーの増車」で4.6ポイント増となっています。また、すべての項目で「今で満足している」が増加しています。

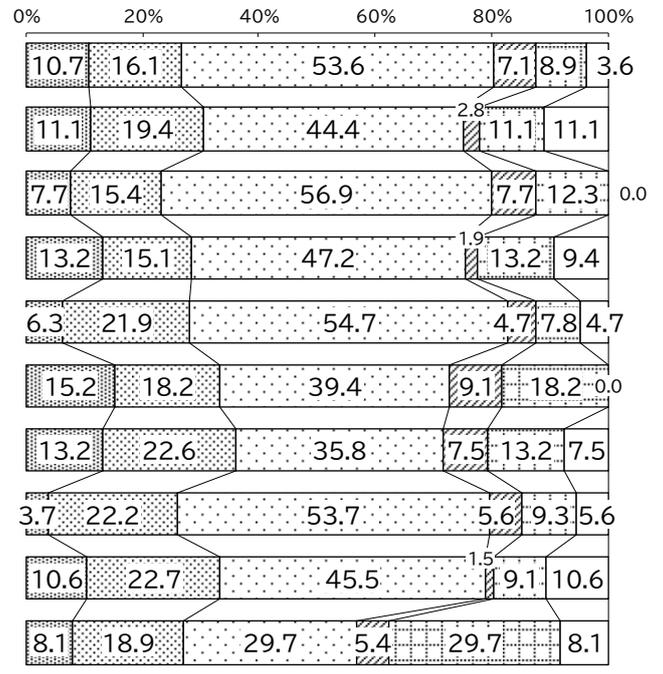
（図4-7-1）

図4-7-2 居住小学校区別 交通機関の整備の必要性

①電車(JR)の増発

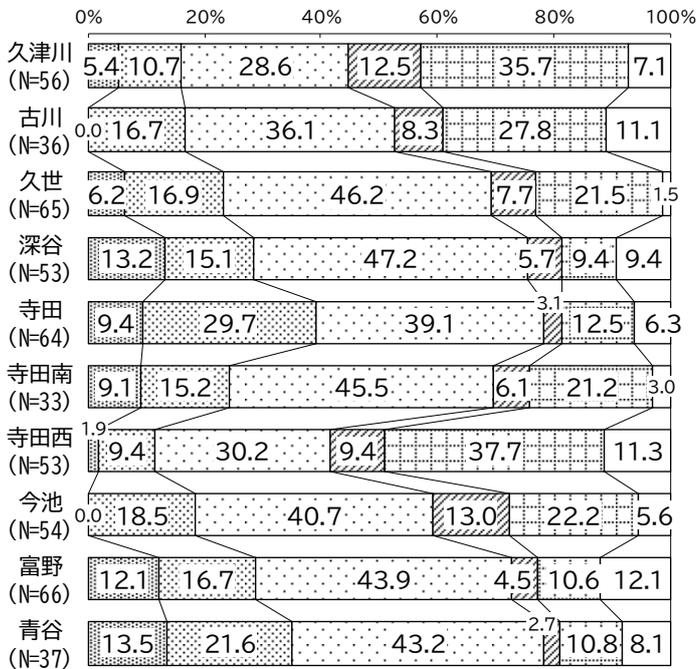


②電車(近鉄)の増発

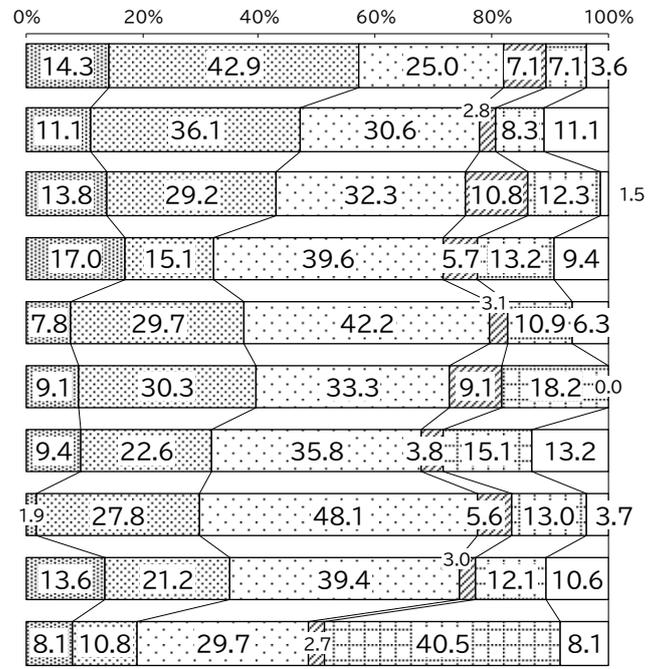


とても必要
 必要
 今で満足している
 必要ない
 わからない
 無回答

③JR駅舎の整備

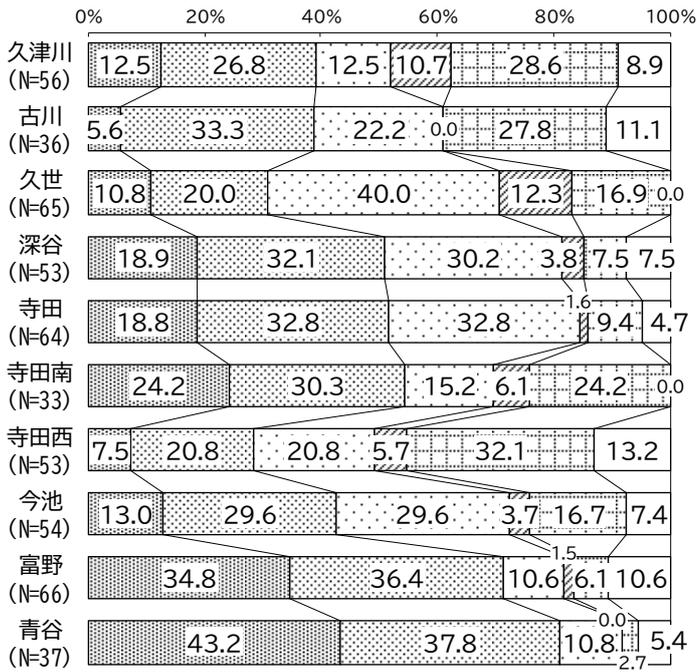


④近鉄駅舎の整備



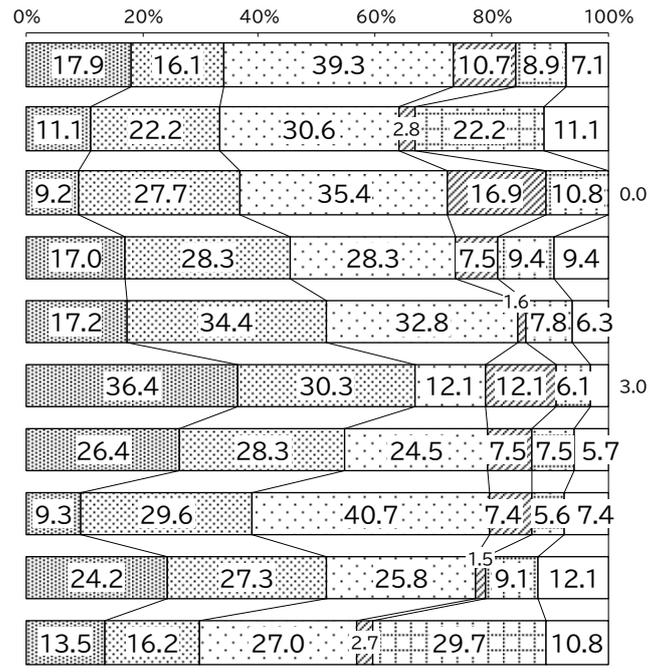
とても必要
 必要
 今で満足している
 必要ない
 わからない
 無回答

⑤JRの複線化

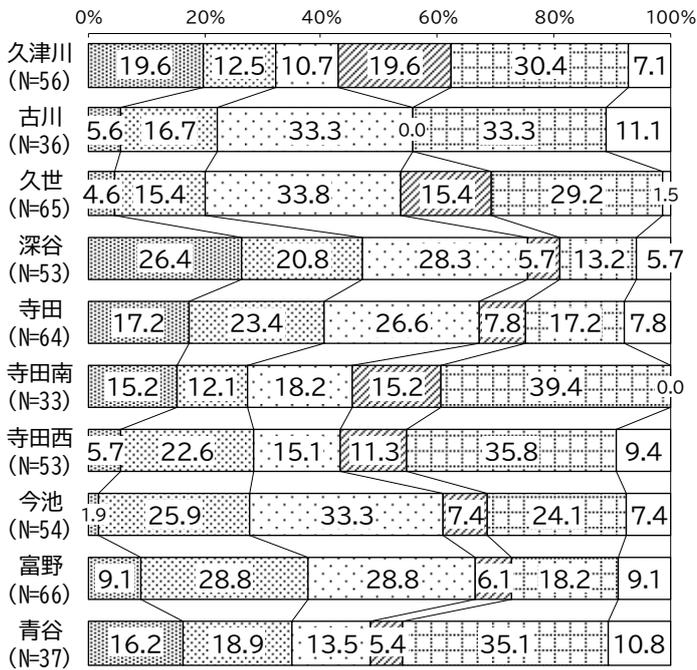


とても必要
 必要
 今で満足している
 必要ない
 わからない
 無回答

⑥近鉄の市内駅の急行停車

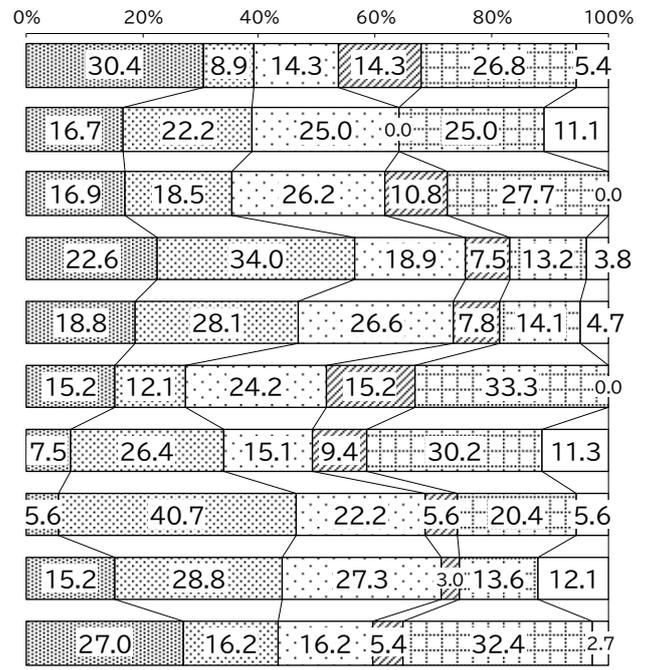


⑦バスの増発

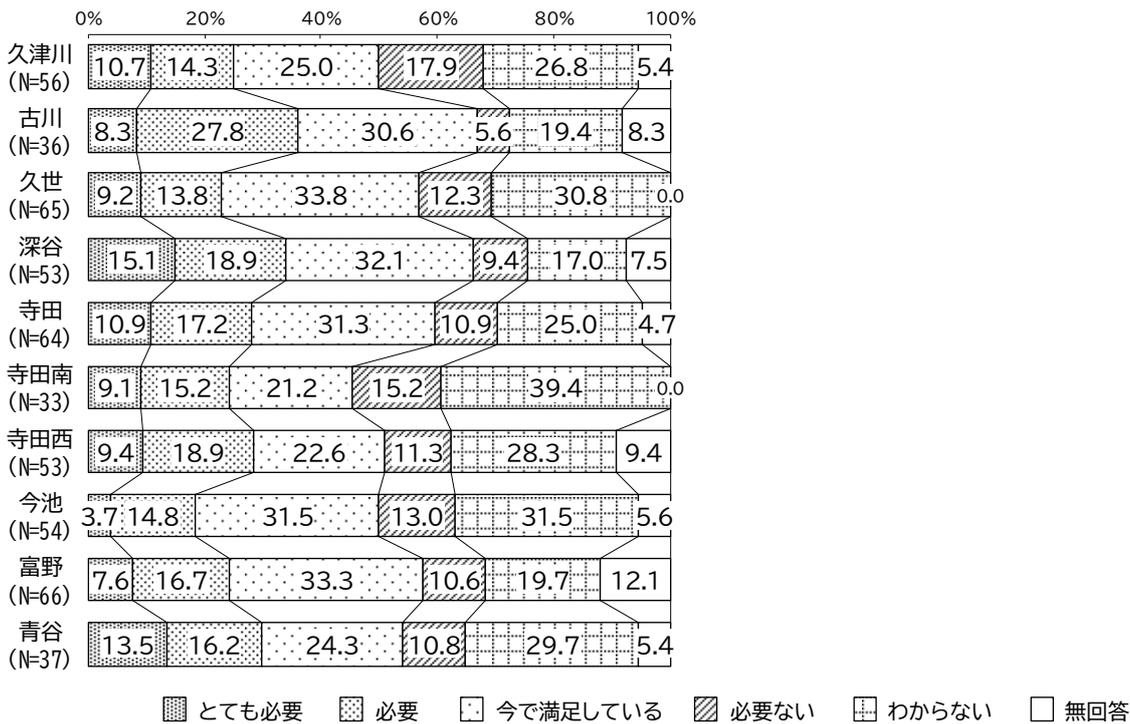


とても必要
 必要
 今で満足している
 必要ない
 わからない
 無回答

⑧市内循環バスの充実



⑨タクシーの増車



居住小学校区別にみると、「①電車（JR）の増発」は、『必要』（「とても必要」と「必要」を合わせた割合）が青谷で78.3%（29件）と8割近くを占めています。

「②電車（近鉄）の増発」は、寺田西を除く小学校区では、『必要』よりも「今で満足している」が高くなっています。寺田西では『必要』が35.8%（19件）、「今で満足している」が35.8%（19件）と同率になっています。

「③JR駅舎の整備」は、寺田で『必要』が39.1%（25件）と高くなっており、青谷でも『必要』が35.1%（13件）と高くなっています。深谷では、「今で満足している」が47.2%（25件）と高くなっています。

「④近鉄駅舎の整備」は、久津川で『必要』が57.2%（32件）と5割を超えて高くなっています。今池では「今で満足している」が48.1%（26件）と高くなっています。

「⑤JRの複線化」は、『必要』が青谷81.0%（30件）と富野71.2%（47件）で高く、青谷では「とても必要」が43.2%（16件）を占めています。また、深谷、寺田、寺田南でも『必要』は5割を超えています。

「⑥近鉄の市内駅の急行停車」は、寺田南では『必要』が66.7%（22件）と高くなっています。今池では「今で満足している」が40.7%（22件）と高く、『必要』38.9%（21件）を上回っています。

「⑦バスの増発」は、深谷と寺田で『必要』が高く、それぞれ47.2%（25件）、40.6%（26件）となっています。

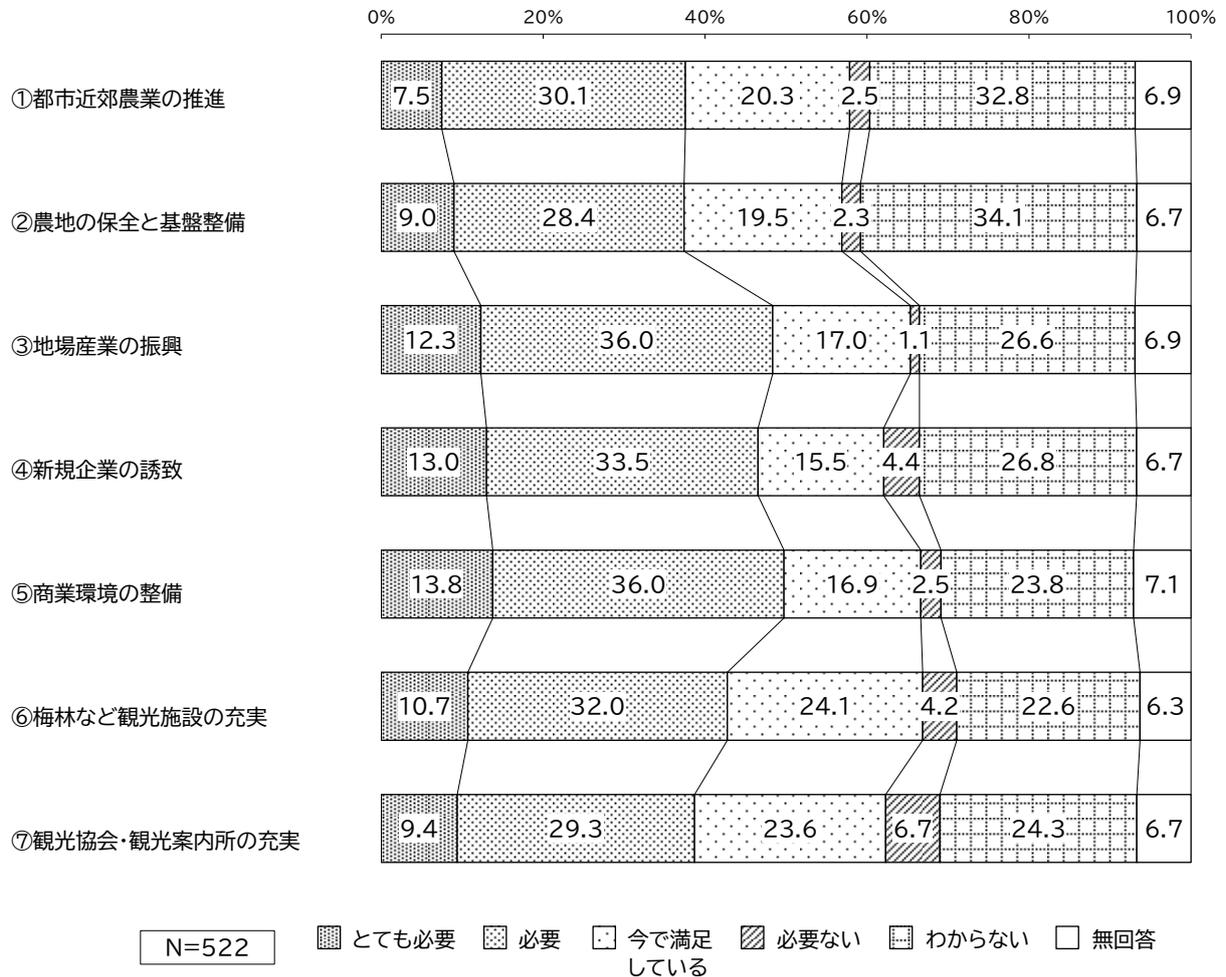
「⑧市内循環バスの充実」は、深谷では『必要』が56.6%（30件）と高く、寺田、今池、富野、青谷でも『必要』は4割を超えています。

「⑨タクシーの増車」は、古川と深谷で『必要』が高く、それぞれ36.1%（13件）、34.0%（18件）となっています。（図4-7-2）

(8)産業に対する整備の必要性

IV. 問1 あなたが城陽市で生活する中で、次のことをどのように感じていますか。それぞれの項目ごとに1～5のあてはまるものに○をつけてください。

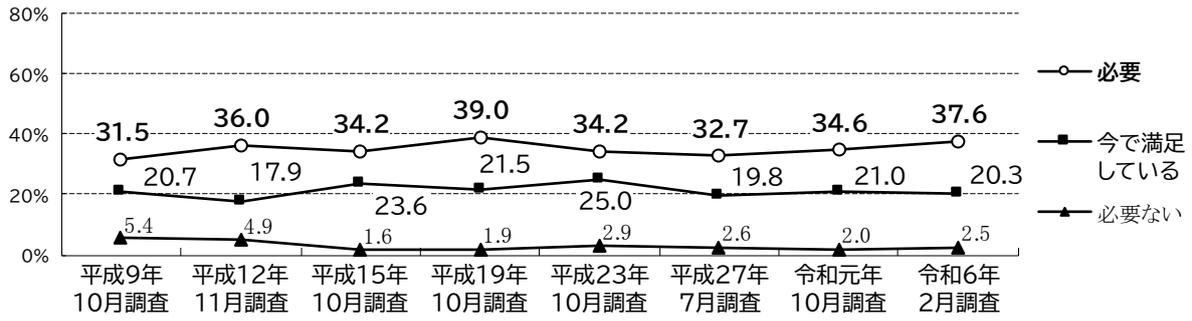
図4-8 産業に対する整備の必要性



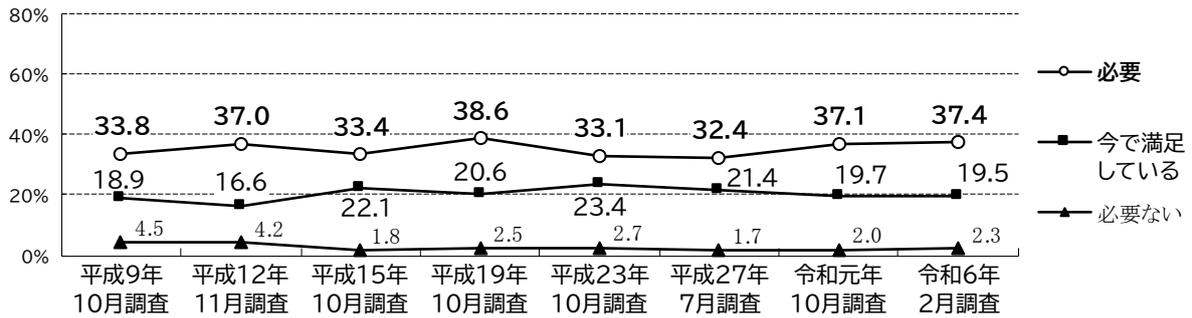
産業に対する整備の必要性については、『必要』（「とても必要」と「必要」を合わせた割合）が「⑤商業環境の整備」で49.8%（260件）、「③地場産業の振興」で48.3%（252件）、「④新規企業の誘致」で46.5%（243件）、「⑥梅林など観光施設の充実」で42.7%（223件）と4割を超えています。（図4-8）

図4-8-1 経年比較 産業に対する整備の必要性

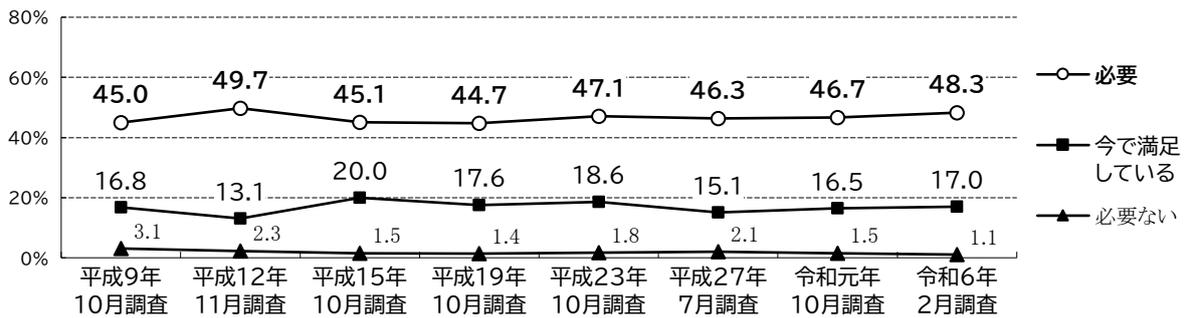
①都市近郊農業の推進



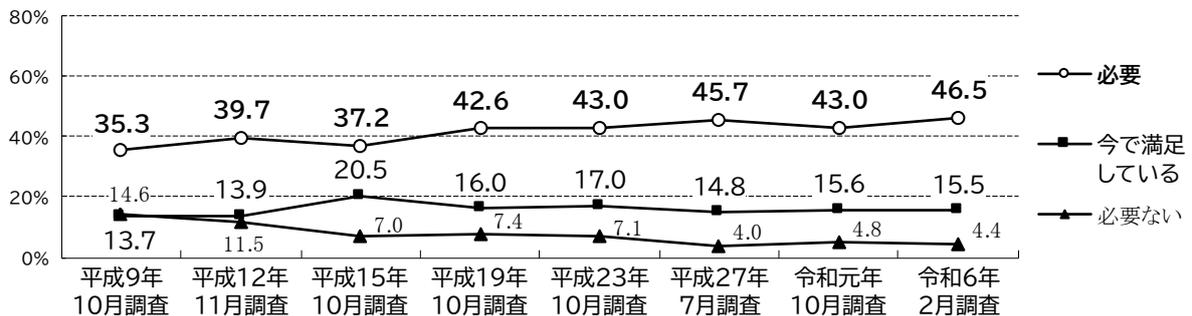
②農地の保全と基盤整備



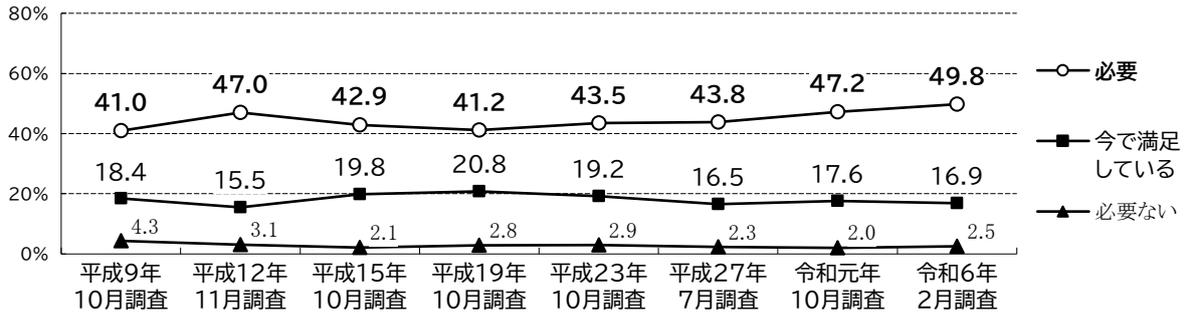
③地場産業の振興



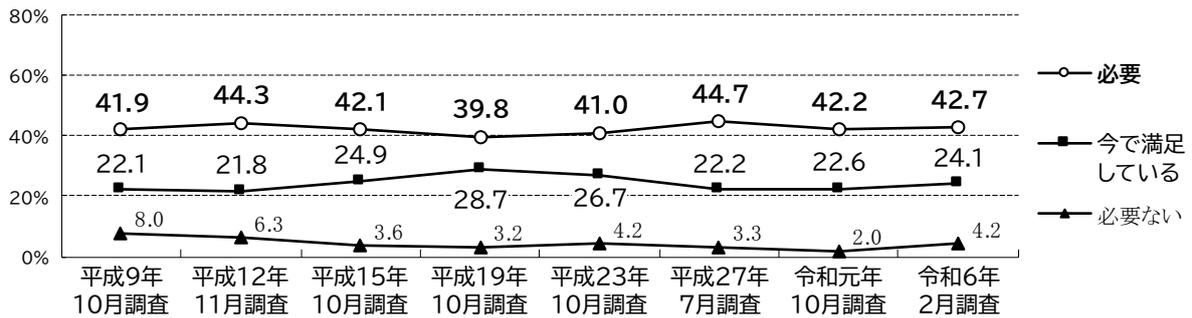
④新規企業の誘致



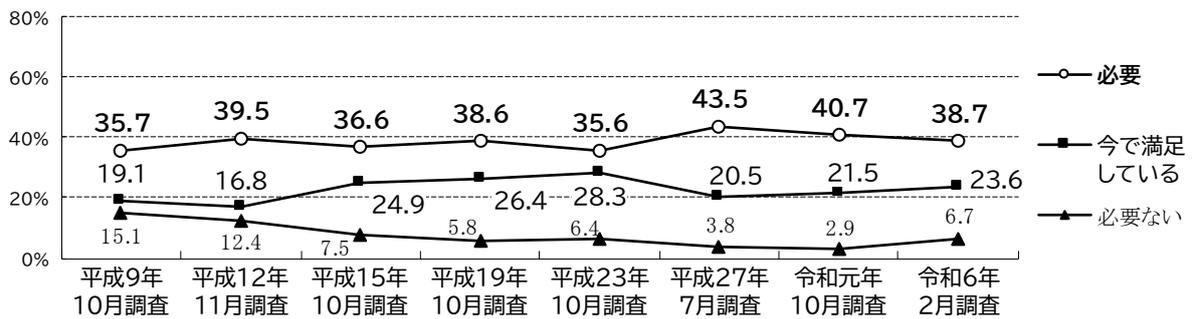
⑤商業環境の整備



⑥梅林など観光施設の充実



⑦観光協会・観光案内所の充実

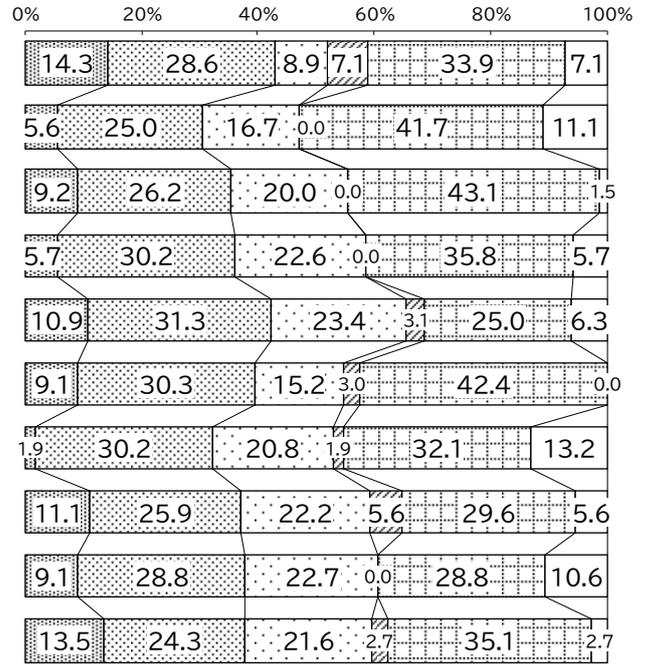
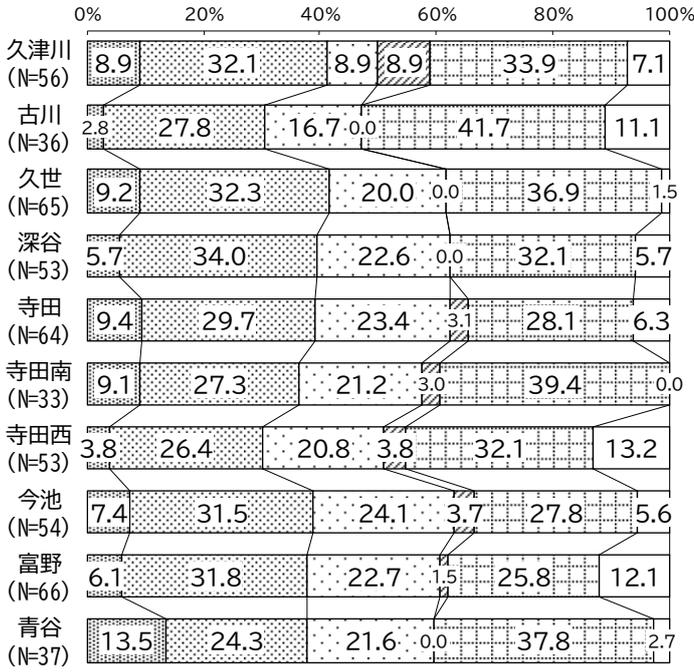


前回調査と比較すると、『必要』（「とても必要」と「必要」を合わせた割合）がそれぞれ「④新規企業の誘致」で3.5ポイント、「①都市近郊農業の推進」で3.0ポイント増加しています。一方、「⑦観光協会・観光案内所の充実」では『必要』は2.0ポイント減少しています。（図4-8-1）

図4-8-2 居住小学校区別 産業に対する整備の必要性

①都市近郊農業の推進

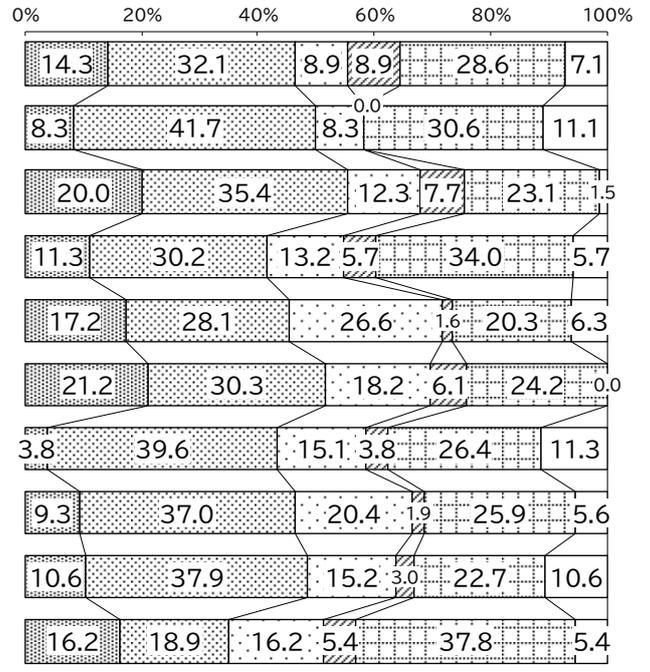
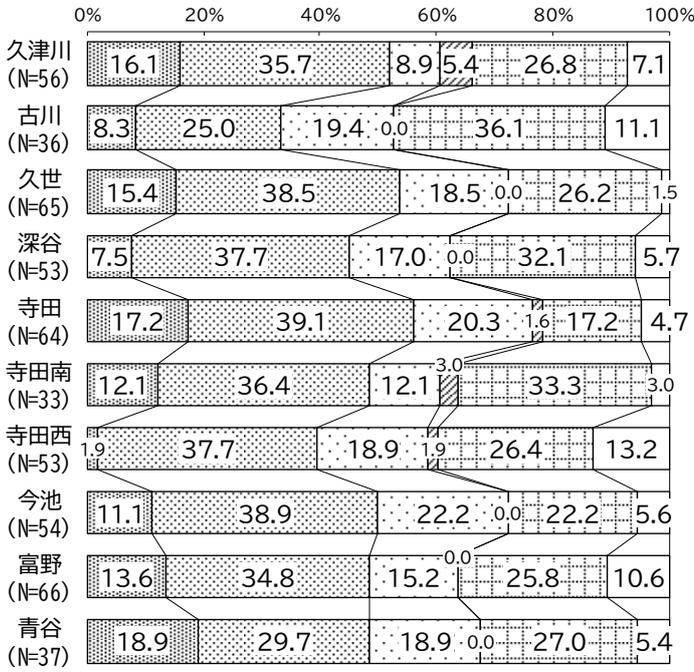
②農地の保全と基盤整備



■ とても必要 ■ 必要 □ 今で満足している ▨ 必要ない □ わからない □ 無回答

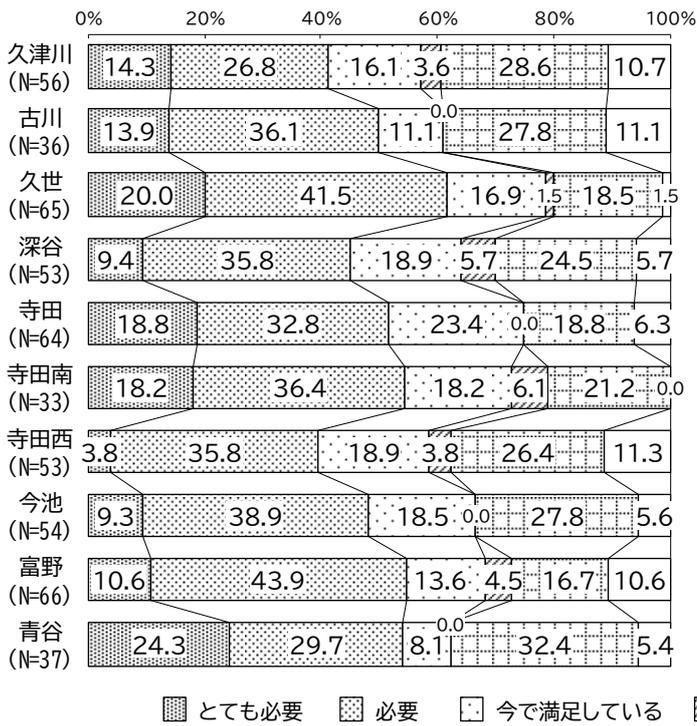
③地場産業の振興

④新規企業の誘致

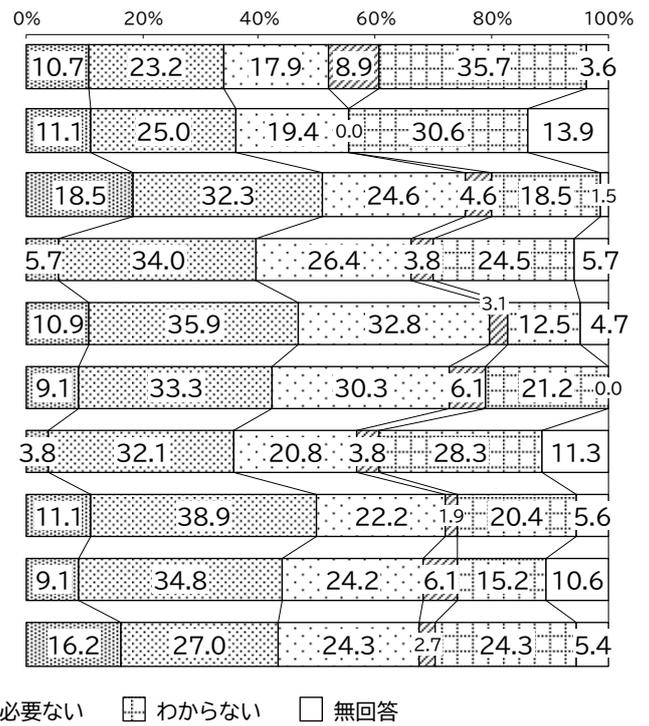


■ とても必要 ■ 必要 □ 今で満足している ▨ 必要ない □ わからない □ 無回答

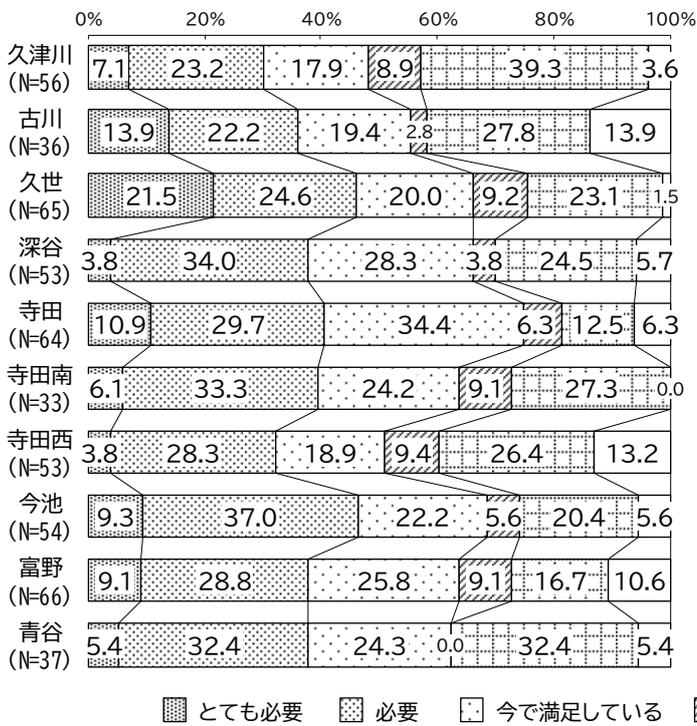
⑤商業環境の整備



⑥梅林など観光施設の充実



⑦観光協会・観光案内所の充実



居住小学校区別にみると、「①都市近郊農業の推進」は、久世と久津川で『必要』（「とても必要」と「必要」を合わせた割合）がそれぞれ41.5%（27件）、41.0%（23件）と4割を超えています。

「②農地の保全と基盤整備」は、『必要』が久津川で42.9%（24件）、寺田で42.2%（27件）と4割を超えています。

「③地場産業の振興」は、『必要』が寺田で56.3%（36件）と最も高く、久津川、久世、今池も5割以上となっています。

「④新規企業の誘致」は、『必要』が久世で55.4%（36件）と最も高く、青谷で35.1%（13件）と最も低くなっています。

「⑤商業環境の整備」は、久世で『必要』が61.5%（40件）と高く、6割を超えています。

「⑥梅林など観光施設の充実」は、久世と今池で『必要』がそれぞれ50.8%（33件）、50.0%（27件）と5割以上となっています。

「⑦観光協会・観光案内所の充実」は、『必要』が今池で46.3%（25件）と最も高く、久世と寺田も4割台となっています。（図4-8-2）

資 料 編

「あなたの声を市政に」(市民意識調査)ご協力をお願い

平素は、城陽市の市政にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

城陽市では「歴史と未来をつなぎ、人をはぐくむ緑のまち・城陽」の実現に向けて、皆様の市政に関するお考えやご意見を把握し、今後の施策に反映させる目的で、「市民意識調査」を実施しております。

この市民意識調査は、昭和57年(1982年)から実施しており、今回で13回目となります。設問数が多く、お忙しいところ恐縮ですが、ご協力いただけますようお願いいたします。

この調査では、市内にお住まいの18歳以上の中から、あなたを含めて1,000人を無作為に抽出し、選ばせていただきました。

調査結果は統計的に処理し、個人の秘密は厳守いたしますので、本調査の趣旨をご理解いただいた上、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

令和6年(2024年)2月

城陽市

ご記入にあたってのお願い

- このアンケートの回答は、原則として封筒の宛名ご本人にお願いいたします。
- ご記入は、鉛筆または黒のボールペンでお願いいたします。
- ご回答は、1ページから最後まで順番にお答えください。
- ご回答は、特に指定のない場合は設問ごとにあてはまるものの番号に1つ〇印をつけていただくようになっていきます。また、「その他」にあてはまる場合は、その内容を()内に具体的に記入してください。
- ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れて、郵送にて**2月29日(木)**までに返送ください。(無記名でお願いいたします。切手は不要です。)

■ご記入にあたって、わからないことがありますしたら、下記へお問い合わせください。

城陽市役所 秘書広報課

TEL : 0774 (56) 4051

FAX : 0774 (55) 7774

e-mail : koho@city.joyo.lg.jp

1. あなたご自身のことについておたずねします。

問1 あなたの性別を教えてください。※ご自身が認識している性別または状態をお書きください。

1. 男性 2. 女性 3. ()

※1, 2にあてはまらない場合、自由にお書きください。

問2 あなたの年齢を教えてください。

1. 18～19歳 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代
5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳代 8. 80歳以上

問3 あなたの職業を教えてください。

1. 会社員・会社役員・公務員 2. パート・アルバイト
3. 自営業 4. 農林漁業
5. 専業主婦・専業主夫 6. 学生
7. 無職 8. その他()

問3-1 問3で「5. 専業主婦・専業主夫」または「7. 無職」以外を選んだ方にお聞きします。

①あなたの通勤先・通学先は、次のうちどれですか。

1. 城陽市内 2. 京都市
3. 城陽市・京都市以外の京都市内 4. 大阪府
5. 奈良県 6. 兵庫県
7. 滋賀県 8. その他()

②自宅からの通勤時間・通学時間(徒歩・電車・バス・車などの合計)は片道どのくらいですか。

1. 30分未満 2. 30分～1時間未満
3. 1時間～1時間30分未満 4. 1時間30分～2時間未満
5. 2時間以上

問4 あなたは城陽市に住んで何年になりますか。

1. 5年未満 2. 5年以上10年未満 3. 10年以上20年未満
4. 20年以上30年未満 5. 30年以上40年未満 6. 40年以上
7. 生まれてからずっと

問5 あなた以外に同居している人を教えてください。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. なし	2. 配偶者	3. 子 (18歳未満)
4. 子 (18歳以上)	5. 孫 (18歳未満)	6. 孫 (18歳以上)
7. 父	8. 母	9. 祖父
10. 祖母		
11. その他 ()		

問6 あなたのお住まいについて教えてください。

1. 持ち家	2. 民営の賃貸住宅
3. 公営の賃貸住宅	4. 社宅・寮など
5. その他 ()	

問7 あなたのお住まいの小学校区を教えてください。

1. 久津川	2. 古川	3. 久世	4. 深谷
5. 寺田	6. 寺田南	7. 寺田西	8. 今池
9. 富野	10. 青谷		
11. わからない (ご住所の大字・小字を記入してください。例：城陽市寺田東ノ口)			
(城陽市)			

問8 あなたが現住所の直前に住んでいたのはどちらでしたか。

1. 生まれてからずっと現住所に住んでいる	2. 城陽市内の別の地域
3. 京都市	4. 城陽市・京都市以外の京都市内
5. 大阪府	6. 奈良県
7. 兵庫県	8. 滋賀県
9. その他 ()	

問8-1 問8で「2」～「9」と回答した方にお聞きします。

①転居のきっかけは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 進学・転校	2. 就職・転勤	3. 結婚	4. 出産
5. 子どもの成長・独立	6. 住宅・マンションの購入	7. 退職・廃業	
8. 親や子と同居・近居	9. 特に理由はない	10. わからない	
11. その他 ()			

②現住所を転居先を選んだ理由は何か。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 生まれ育った場所だから	2. 自分や家族の持ち家だから
3. 寮や社宅に住むから	4. 親や子、親族がいるから
5. 家賃や住宅の価格が手頃だから	6. 交通 (通勤・通学・買い物など) の便がよいから
7. 日頃の買い物などが便利だから	8. 子育て環境がよいから
9. 学校などの教育環境がよいから	10. 文化・スポーツ施設などが近くににあるから
11. 病院・医院が近くにあるから	12. 住まいの周辺が静かだから
13. 自然環境が身近にあるから	14. まちなみや景観がよいから
15. にぎわいや活気があるから	16. 治安がよいから
17. まちのイメージがよいから	18. 城陽が好きだから
19. 市民の気質や感性が自分と合うから	20. その他 ()

II. 城陽市のことについておたずねします。

問1 あなたは城陽市を住みよいと感じていますか。

1. 住みよい	2. どちらかといえば住みよい
3. どちらかといえば住みにくい	4. 住みにくい
5. わからない	

問2 あなたは城陽市に「ふるさと」感をお持ちですか。

1. 「ふるさと」感を持っている	2. 「ふるさと」感を持っていない
3. わからない	

問3 あなたは今後も現在のところに住みつづけたいと思えますか。

1. 現在のところ、ずっと住みつづけたい	2. 市内の別の場所へ移りたい
3. 市外へ移りたい	4. どちらともいえない

問3-1 問3で「1.現在のところ、ずっと住みつづけたい」と回答した方にお聞きします。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 交通 (通勤・通学、買い物など) の便がよいから	2. 買い物便利だから
3. 住居費が手ごろだから	4. 日当たりなど住環境がよいから
5. 自然環境がよいから	6. 道路などの都市基盤の整備が整っているから
7. 学校などの教育環境がよいから	8. 職場・学校が近いから
9. 子育てに適しているから	10. 隣近所との関係が良好だから
11. 親や子、親族が近くにいていいから	12. 治安がよいから
13. 特に理由はない	14. その他 ()

問3-2 問3で「2. 市内の別の場所へ移りたい」または「3. 市外へ移りたい」と回答した方にお聞きします。移りたい理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 交通（通学、通学、買い物など）の便がよくないから
2. 買い物不便だから
3. 住居費が高いから
4. 騒音や日当たりなど住環境がよくないから
5. 自然環境がよくないから
6. 道路などの都市基盤の整備が整っていないから
7. 学校などの教育環境がよくないから
8. 通学・通学に時間がかかるから
9. 子育てに適していないから
10. 近所つきあいがうまくいかないから
11. 親や子、親族が近くにいないから
12. 治安がよくないから
13. 特に理由はない
14. その他 ()

Ⅲ. 城陽市のさまざまな行政分野についておたずねします。

問1 あなたはどのような地域活動（ボランティアなど）に参加していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 保健、医療または福祉の増進
2. 社会教育の推進
3. まちづくりの推進
4. 観光の振興
5. 農山村または中山間地域の振興
6. 学術、文化、芸術またはスポーツの振興
7. 環境の保全
8. 災害救援
9. 地域の安全
10. 人権の擁護または平和の推進
11. 国際交流
12. 男女共同参画社会の形成の促進
13. 子どもの健全育成
14. 情報化社会の発展
15. 科学技術の振興
16. 経済活動の活性化
17. 職業能力の開発または雇用機会の拡充支援
18. 消費者の保護
19. 中間支援活動（上記の活動についての相談窓口、助言、支援を行う）
20. (自主) 防災活動
21. その他 ()

問2 あなたが地域活動に参加する際に支障となることは何でしょうか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 経済的な余裕がない
2. 仕事・学校が忙しく時間が足りない
3. 家事・育児・介護で忙しい
4. 子どもを預ける場所がない
5. 健康や体力に自信がない
6. 家族の理解や協力が足りない
7. 人間関係がわずらわしい
8. 身近なところに活動場所がない
9. 地域活動に関する情報がない
10. その他 ()

問3 生涯学習についてお聞きします。あなたは、この2～3年でどんな内容の学習をしましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育・育児に関するもの
2. 健康管理に関するもの
3. 趣味・娯楽（芸術・写真・囲碁将棋など）に関するもの
4. 一般的な教養に関するもの
5. スポーツ・レクリエーションに関するもの
6. 環境に関するもの（イベントや学習会）
7. 政治・経済・国際理解に関するもの
8. 人権に関するもの
9. 職業上の知識や技能（パソコン習得を含む）に関するもの
10. ボランティア活動や地域での社会参加に関するもの
11. 家庭生活に必要な知識・技能（料理・介護・消費問題など）に関するもの
12. その他 ()
13. ここ2～3年は行っていない

問3-1 問3でなんらかの学習活動を行った方にお聞きします。あなたはどんな方法で生涯学習活動を行いましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 行政が主催の講座や教室などで
2. 市民体育館などで行われる教室で
3. 大学や高校などの公開講座で
4. 専修学校や各種学校の授業で
5. 企業内の研修などで
6. 通信教育を利用して
7. 個人教室や塾で
8. 自分ひとりで（本やテレビ、インターネットなどで）
9. 民間のカルチャーセンターやスポーツ施設で
10. 地域のサークルや友人・知人のグループで
11. 文化バレー館やコミセンなどで行われる講座や教室で
12. その他 ()

問3-2 問3で「13. ここ2～3年は行っていない」と回答した方にお聞きします。生涯学習に取り組まなかった理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 時間的余裕がないから
2. 近くに学習できる場所や機会がないから
3. 適切な講師や指導者がいないから
4. 一編に学習する仲間がないから
5. 学習方法や情報がわからないから
6. 周りの人の理解が得にくいから
7. 自分の希望に合う講座がないから
8. その他 ()

問4 スポーツの実施状況についてお聞きします。どのくらいの頻度で運動をしていますか。

1. 週3～4日以上
2. 週1～2日程度
3. 月1～3日程度
4. しない

問5 京都サンガF. C. を応援していますか。

1. 応援している
2. 応援していない

問6 京都サンガF. C. の試合を観戦したことがありますか。

1. 観戦したことがある
2. 観戦したことがない

問7 京都サンガF. C. についてお聞きします。

	知っている	聞いたことはある	知らない
① 城陽市に公式練習場があること	1	2	3
② 城陽市がホームタウンであること	1	2	3
③ 城陽市が応援バスツアーや交流会などを実施していること	1	2	3

問8 以下の通信機器のうち、あなたが使用しているものは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. パソコン
2. スマートフォン
3. スマートフォン以外の携帯電話
4. タブレット
5. 固定電話
6. FAX
7. 特になし
8. その他 ()

問9 城陽市からの情報を収集する手段として活用しているもの何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 広報じょうよう
2. 城陽市公式ホームページ
3. 城陽市公式Facebook
4. 城陽市公式X (旧Twitter)
5. 城陽市公式Instagram
6. 城陽市LINE公式アカウント
7. 城陽市LINE公式アカウント(子育て支援・多世代交流情報)
8. 城陽市公式YouTubeチャンネル
9. 市のチラシ
10. 市のポスター
11. 自治会回覧板
12. ラジオ(コミュニティFM含む)
13. 市からのメール (安心・安全メール)
14. その他 ()

問10 城陽市からの情報を発信する手段として、以下のうち、今後力を入れるべきと考えられるものはどれですか。あてはまるもの3つ以内で○をつけてください。

1. 広報じょうよう
2. 城陽市公式ホームページ
3. 城陽市公式Facebook
4. 城陽市公式X (旧Twitter)
5. 城陽市公式Instagram
6. 城陽市LINE公式アカウント
7. 城陽市LINE公式アカウント(子育て支援・多世代交流情報)
8. 城陽市公式YouTubeチャンネル
9. 市のチラシ
10. 市のポスター
11. 自治会回覧板
12. ラジオ(コミュニティFM含む)
13. 市からのメール (安心・安全メール)
14. その他 ()

問11 あなたは「広報じょうよう」「市議会だより」などをご覧になっていますか。次の項目ごとにあてはまるものに○をつけてください。

	全部読む	だけ読むところ	あまり読まない	読まない	知らないことを
① 広報じょうよう	1	2	3	4	5
② 市議会だより	1	2	3	4	5
③ 生涯学習情報紙「まなびEye」	1	2	3	4	5

	よく見る(聞く)	見たことがある	見たことはない	見たことのない	あることを知らない
① 城陽市公式ホームページ	1	2	3	4	
② 城陽市公式Facebook	1	2	3	4	
③ 城陽市公式X (旧Twitter)	1	2	3	4	
④ 城陽市公式Instagram	1	2	3	4	
⑤ 城陽市LINE公式アカウント	1	2	3	4	
⑥ 城陽市LINE公式アカウント(子育て支援・多世代交流情報)	1	2	3	4	
⑦ 城陽市公式YouTubeチャンネル	1	2	3	4	

問24 あなたのご自宅周辺の公園がどのような公園であればもっと利用できると思いますが。

1. 子ども利用を主目的とした遊具のある公園 2. 高齢者利用を主目的とした健康遊具のある公園 3. 従来どおり多世代利用を目的とした公園 4. 憩いの場を目的とした花や緑がある公園 5. その他 ()
--

問25 城陽市消費生活センターを利用したことがありますか。

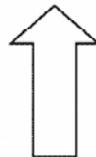
1. 利用したことがある	2. 利用したことがない
--------------	--------------

問25-1 問25で「2. 利用したことがない」と回答した方にお聞きします。城陽市消費生活センターを利用したことがない理由を教えてください。

1. センターのことを知らなかったから	2. 利用する必要がなかったから
3. その他 ()	

問26 あなたは自動車やバイクなどの運転免許証、自家用車（バイク含む）をお持ちですか。いずれかに○をつけてください。また、外出する際の主な交通手段は次のどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

【免許・自家用車の有無】		【外出時の交通手段】	
持っている	持っていない	1. 徒歩	2. 自転車
1	2	3. バイク	4. 自動車
①運転免許証		5. タクシー	6. 鉄道
1	2	7. 一般の路線バス	8. 城陽さんさんバス
②自家用車			
1	2		



問20 墓地について、あなたのご意見をお聞かせください。あなたは、墓地を所有していますか。

1. 市内に所有している	2. 市外に所有している
3. 所有していない	

問20-1 問20で「3. 所有していない」と回答した方にお聞きします。墓地を必要としていますか。

1. 必要である	2. 必要でない
----------	----------

問20-2 問20-1で「1. 必要である」と回答した方にお聞きします。どのような墓地の形態を必要としていますか。

1. 墳墓	2. 納骨堂
3. わからない	4. その他 ()

問21 市の緑化施策の中で、あなたが知っているものはどれですか。知っているものすべてに○をつけてください。

1. 緑の相談	2. グリーンカーテン苗の配布
3. 結婚・誕生グリーンギフトの配布	4. グリーンバンク
5. 緑化フェスティバル	6. 名木・古木の選定
7. 花いっぱい運動	

問22 今後、城陽市が1層の緑化を推進していくために、特に必要なものは何だと思われませんか。次の中から3つ以内で○をつけてください。

1. 樹木・樹木の保全・保護	2. 農地の保全	3. 公園緑地の整備
4. 道路の緑化	5. 河川・河岸の緑化	6. 公共施設施設の緑化
7. 住宅地の緑化	8. 商業地の緑化	9. 工業地の緑化
10. 市民参加の緑化活動	11. その他 ()	

問23 あなたはどのくらいの頻度で公園を利用しますか。

1. 毎日	2. 週に2～3度	3. 週に1度
4. 月に1～2度	5. ほとんど利用しない	

問27 公共交通機関の利用頻度について次の項目ごとにあてはまるものに○をつけてください。

	週4日以上		週に1～3日		月に1～3日		年に1～数日		利用しない
	程度	程度	程度	程度	程度	程度	程度		
①JR	1	2	2	3	3	4	4	5	5
②近鉄	1	2	2	3	3	4	4	5	5
③一般の路線バス	1	2	2	3	3	4	4	5	5
④城陽さんさんバス	1	2	2	3	3	4	4	5	5
⑤タクシー	1	2	2	3	3	4	4	5	5
⑥その他の送迎バス	1	2	2	3	3	4	4	5	5

問28 普段のあなたの生活の中で、よく利用する駅はどこですか。

また、よく利用する施設や外出先はどの駅周辺にありますか。それぞれの目的ごとにお答えください。

【それぞれ1～10のうち1つに○、9の場合は施設などの名前1か所を記入】

	JR 城陽駅	JR 長池駅	JR 山城青谷駅	近鉄 久津川駅	近鉄 寺田駅	近鉄 富野荘駅	近鉄 大久保駅	その他の駅	駅周辺にない	利用しない
①鉄道の乗車駅	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
②日用品の買い物	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
③通院・診療	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
④趣味・娯楽	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
⑤運動・習い事	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
⑥公共施設	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問29 城陽市内には各種の公共施設がありますが、あなたは、次の施設を利用していますか。それぞれの施設ごとにお答えください。また、利用していない方はその主な理由を1つお答えください。

「あまり・まったく利用していない」に○ならば理由へ → 利用していない理由：各施設で○は1つ

	利用するとき	利用していない	あまり利用してほしくない	施設を知らない	施設が美しくない	合曜日が合わない	利用しづらい	施設まで遠い	必要がない	その他
i 図書館	1	2	2	1	2	3	4	5	6	7
ii 歴史民俗資料館	1	2	2	1	2	3	4	5	6	7
iii プラネタリウム	1	2	2	1	2	3	4	5	6	7
iv プラムホール、ふれあいホール	1	2	2	1	2	3	4	5	6	7
v 会議室	1	2	2	1	2	3	4	5	6	7
vi 市民活動支援センター	1	2	2	1	2	3	4	5	6	7
②男女共同参画支援センター(ばれっとJOYO)	1	2	2	1	2	3	4	5	6	7
③地域子育て支援センター(のみたぼっこ)	1	2	2	1	2	3	4	5	6	7
④福祉センター	1	2	2	1	2	3	4	5	6	7
⑤北部コミセン	1	2	2	1	2	3	4	5	6	7
⑥南部コミセン・働く女性の家・コミュニティ防災センター	1	2	2	1	2	3	4	5	6	7
⑦今池コミセン	1	2	2	1	2	3	4	5	6	7
⑧東部コミセン	1	2	2	1	2	3	4	5	6	7
⑨青谷コミセン	1	2	2	1	2	3	4	5	6	7
⑩寺田コミセン(文化/レク/会議内)	1	2	2	1	2	3	4	5	6	7
⑪老人福祉センター-陽寿苑	1	2	2	1	2	3	4	5	6	7
⑫老人福祉センター-陽東苑	1	2	2	1	2	3	4	5	6	7
⑬老人福祉センター-陽幸苑	1	2	2	1	2	3	4	5	6	7
⑭老人福祉センター-陽和苑	1	2	2	1	2	3	4	5	6	7
⑮市民体育館	1	2	2	1	2	3	4	5	6	7
⑯総合運動公園スポーツゾーン(多目的広場、野球場など)	1	2	2	1	2	3	4	5	6	7
⑰総合運動公園/グリーンゾーン(ロゴランド)	1	2	2	1	2	3	4	5	6	7

利用するときは	あまり使っていない	施設を知らない	充実していない	合曜日の時間帯が合わない	利用しづらい	施設まで遠い	必要がない	その他
⑧アイリスイン城陽	1	2	1	2	3	4	5	7
⑨プラムイン城陽	1	2	1	2	3	4	5	7
⑩市民テニスコート (北詰ロビセン棟)	1	2	1	2	3	4	5	7
⑪木津川河川敷運動広場	1	2	1	2	3	4	5	7
⑫市民プール	1	2	1	2	3	4	5	7

IV. 城陽市での暮らしについての満足度をおたずねします。

問1 あなたが城陽市で生活する中で、次のことをどのように感じていますか。それぞれの項目ごとに1～5のあてはまるものに○をつけてください。

日常生活全般	かなり満足	いさば満足	いさば満足	いさば満足	いさば満足	いさば満足	かなり不満
①買い物の利便さ	1	2	3	4	5		
②子どもの教育環境	1	2	3	4	5		
③公園や子どもの遊び場	1	2	3	4	5		
④隣近所との関係	1	2	3	4	5		
⑤自治会活動などのコミュニティ環境	1	2	3	4	5		
⑥工場・道路などの騒音や振動・悪臭などの公害	1	2	3	4	5		

自然環境・周辺環境	1	2	3	4	5
①川や池のきれいさ	1	2	3	4	5
②自然や生き物とのふれあい	1	2	3	4	5
③歩道を含めた道路の快適さ	1	2	3	4	5
④水や水辺とのふれあい	1	2	3	4	5
⑤まちなみの美しさ	1	2	3	4	5
⑥環境に関するイベントや学習の機会	1	2	3	4	5

都市基盤	とても必要	必要	今で満足している	必要ない	わからない
①道路の整備	1	2	3	4	5
②河川・排水路の整備	1	2	3	4	5
③緑地帯の設置	1	2	3	4	5
④歩道と車道の分離	1	2	3	4	5
⑤駅周辺の整備	1	2	3	4	5
⑥市街地の整備	1	2	3	4	5
⑦東部丘陵地の整備	1	2	3	4	5
⑧山砂利対策	1	2	3	4	5
⑨近鉄と道路との立体交差化	1	2	3	4	5

生活環境	1	2	3	4	5
①街の環境美化	1	2	3	4	5
②防災・防火活動の充実	1	2	3	4	5
③交通安全対策	1	2	3	4	5
④コミュニティ活動の推進	1	2	3	4	5
⑤公害防止対策	1	2	3	4	5
⑥墓地公園の建設	1	2	3	4	5
⑦葬祭場の建設	1	2	3	4	5
⑧消費者保護対策の充実	1	2	3	4	5
⑨地下水保全対策	1	2	3	4	5

教育・文化	1	2	3	4	5
①小学校・中学校の施設整備	1	2	3	4	5
②青少年の健全教育の推進	1	2	3	4	5
③文化財の保護	1	2	3	4	5
④国際交流の推進	1	2	3	4	5

城陽市市民意識調査報告書

令和6年（2024年）3月

発行 京都府城陽市企画管理部 秘書広報課
〒610-0195 京都府城陽市寺田東ノ口16番地、17番地
TEL : 0774-56-4051
